

先端科学技術研究科
Graduate School of
Science and Technology

平成30年度

学生ハンドブック

奈良先端科学技術大学院大学

先端科学技術研究科



Student Handbook 2018

学生ハンドブック

履修案内・キャンパスライフ・諸規則



奈良先端科学技術大学院大学
Nara Institute of Science and Technology

無限の可能性、ここが最先端
— Outgrow your limits —

平成30年度カレンダー

2018年4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5

5月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

6月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

8月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

9月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

10月

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

11月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1

12月

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

2019年1月

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

2月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	1	2

3月

日	月	火	水	木	金	土
24	25	26	27	28	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

奈良先端科学技術大学院大学 学歌

作曲：古川 聖

若々しく ♩ = 116

かす がやま ずい うんなびき あけ ぼののそらのはるけさ
とみ おがわ たゆ ることなくせせ らぎのひかりはながる
いこ まやま ゆう こえみれば なに わづにつ どうもふね

ちの もりの さい せんたんへ どく そうのせいふうを おく
さか りゆく みら いのそらへ えい えんのしんり を おしめ
じょう ほうは ここ にあつまり せん たんのえい ち を つな

る なら せ んたん かがく ぎ じゅつ たい が く いん た か き り そ
す な ら せ んたん かがく ぎ じゅつ たい が く いん た か き り そ
ぐ な ら せ んたん かがく ぎ じゅつ たい が く いん あ ら た な じ

-(う)の きざ は し の ぼ る
せいの きざ は し の ぼ る
だいの きざ は し の ぼ る

奈良先端科学技術大学院大学学歌

一、春日山 瑞雲なびき
あけぼのの 空の遙けさ
知の森の 最先端へ
独創の 清風を送る
奈良先端科学技術大学院
高き理想の階のぼる

二、富雄川 絶ゆることなく
せせらぎの 光は流る
盛りゆく 未来の蒼天へ
永遠の 真理を示す
奈良先端科学技術大学院
輝く知性の階のぼる

三、生駒山 夕越え見れば
難波津に 集う百船
情報は 平城に集まり
先端の 叡知を繋ぐ
奈良先端科学技術大学院
新たな時代の階のぼる

原作：岡部 剛機

平成30年度 奈良先端科学技術大学院大学 学年暦

学期	月 日 (曜日)	事 項
春学期	4月 1日 (日) ~ 4月 2日 (月)	春季休業
	4月 3日 (火)	博士前期課程 新入生オリエンテーション
	4月 5日 (木)	入 学 式 (終了後、博士後期課程オリエンテーション)
	4月 6日 (金)	全学安全教育 研究倫理講習会
	4月 9日 (月) ~ 4月11日 (水)	研究室紹介
	4月12日 (木) ~ 5月31日 (木)	第Ⅰクォーター授業期
	6月 1日 (金)	博士前期課程教育プログラム別 履修ガイダンス (教育プログラムの開始)
	6月 1日 (金) ~ 9月28日 (金)	第Ⅱクォーター授業期
	6月20日 (水) ~ 6月22日 (金)	健康診断日
	6月25日 (月)	学位記授与式
	7月11日 (水) ~ 7月14日 (土)	博士前期課程第1回入学者選抜試験
	8月 4日 (土) ~ 8月31日 (金)	夏季休業
	9月25日 (火)	学位記授与式
秋学期	10月 1日 (月)	創立記念日
	10月 2日 (火)	入学式
	10月 3日 (水)	全学安全教育 研究倫理講習会
	10月 4日 (木) ~ 11月30日 (金)	第Ⅲクォーター授業期
	10月16日 (火) ~ 10月18日 (木)	博士前期課程第2回入学者選抜試験
	12月 3日 (月) ~ 2月15日 (金)	第Ⅳクォーター授業期
	12月21日 (金)	学位記授与式
	12月29日 (土) ~ 1月 3日 (木)	冬季休業
	3月22日 (金)	学位記授与式
3月23日 (土) ~ 3月31日 (日)	春季休業	

※ 春学期の健康診断日は、原則、授業休止となります。

※ 博士前期課程入学者選抜試験（第1回、第2回）の期間は、原則、授業休止となります。

授業時間

1時限	9:20~10:50 (90分授業)
2時限	11:00~12:30 //
3時限	13:30~15:00 //
4時限	15:10~16:40 //
5時限	16:50~18:20 //
6時限	18:30~20:00 //

目 次

■第1章 奈良先端科学技術大学院大学の教育方針	
1-1 目的、教育使命、人材養成目的、教育方針	1
1-2 アドミッション・ポリシー	2
1-3 ディプロマ・ポリシー	3
1-4 カリキュラム・ポリシー	4
1-5 研究活動上の行動規範	5
■第2章 先端科学技術研究科の概要	
2-1 先端科学技術研究科の概要	7
2-2 7つの教育プログラム	8
2-3 博士前期課程の教育課程	11
2-4 博士後期課程の教育課程	13
■第3章 入学当初学生ガイド	
3-1 研究室配属から教育プログラム選択まで（博士前期課程）	15
3-2 研究室配属から教育プログラム選択まで（博士後期課程）	18
■第4章 履修手続（履修規程を含む）	
4-1 履修登録	19
4-2 履修規程	25
4-3 研究倫理教育講習会の受講について	34
4-4 修了要件	34
4-5 ダブルディグリープログラム	36
■第5章 シラバス等	
5-1 電子シラバスについて	39
5-2 教育カルテについて	40
5-3 成績評価について	42
5-4 グローバル人材を目指して	45
5-5 英語Eラーニングシステム（ALC NetAcademy 2）	47
■第6章 授業科目及び担当教員一覧等	
6-1 平成30年度授業科目及び担当教員一覧	49
6-2 授業番号に関する情報	54
6-3 授業時間割	54
■第7章 学位論文審査基準等（学位規程を含む）	
7-1 学位論文審査基準	55
7-2 学位規程	57
7-3 学位授与までの日程	62
■第8章 学修支援	
8-1 保健管理センター	63
8-2 障害学生支援室	63
8-3 キャリア支援室	63
8-4 総合情報基盤センター	64
■第9章 キャンパスライフ	
9-1 授業料の額及び納付方法	65
9-2 学生証	65
9-3 学生個人報告書	66

9-4	諸手続・諸証明書	66
9-5	通学証明書	68
9-6	日本学生支援機構奨学金制度	69
9-7	民間育英団体の奨学金	69
9-8	授業料免除	69
9-9	学生教育研究災害傷害保険	69
9-10	学研災付帯賠償責任保険	70
9-11	学生宿舎	70
9-12	大学借り上げ住宅	70
9-13	駐車場及び駐輪場の利用	70
9-14	福利厚生施設	71
9-15	学生なんでも相談、各種相談受付体制	71
9-16	その他	72
9-17	キャンパスマップ・建物平面図	73
■第10章 学則		
	・学則	77

第1章 奈良先端科学技術大学院大学の教育方針

■第1章 奈良先端科学技術大学院大学の教育方針

1-1. 目的、教育使命、人材養成目的、教育方針

○目的

奈良先端科学技術大学院大学（NAIST）は、学部を置かない大学院大学として、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、科学技術の進歩と社会の発展に寄与します。

○教育使命

NAIST は、先端科学技術の発展に資する人材を養成するために、学部を置かない大学院大学として平成3年（1991年）10月に設置されました。NAISTの研究教育分野は、「情報科学」、「バイオサイエンス」及び「物質創成科学」の3つの基盤的な学問領域です。

21世紀における人類の豊かな生活と住みよい社会を実現し、持続していくためには、次代を担う人材を養成し、人類の存続に役立つ多様な研究成果を社会に提供することが不可欠です。そのためには、単に科学技術に精通するだけでなく、大局的な視点を合わせ持つ人材を育成する全人的な教育が必要です。

本学では、「情報科学」、「バイオサイエンス」及び「物質創成科学」という先端科学技術の基盤的な学問領域に加え、それらの融合領域の研究教育、また倫理教育や知的財産教育などにも積極的に取り組んでいます。

○人材養成目的

体系的な授業カリキュラムと研究活動を通じて、博士前期課程では、社会・経済を支える高度な専門性を持ち、社会において指導的な立場に立てる人材を、博士後期課程では、科学技術に高い志を持って挑戦し、国際社会で指導的な役割を果たす研究者・技術者を養成します。

○教育方針

専門教育カリキュラムに加えて、人間として備えておくべき倫理観、広い視野、理論的な思考力、積極的な行動力、総合的な判断力、さらには豊かな言語表現能力を養う、教育カリキュラムを実施します。

また、新たな融合領域へ挑戦する人材を養成するための教育プログラム、高度な国際性を養成するための、海外の教育研究連携校との共同プログラムを含む、教育プログラムを実施します。

そして、自己評価や外部評価をフィードバックして、常に教育の質の向上を図るとともに、教育研究環境の充実と優秀な学生の経済的支援を進めます。

1-2. アドミッション・ポリシー

<博士前期課程>

○求める学生像

国内外を問わず、また大学での専攻にとらわれず、高い基礎学力を持った学生あるいは社会で活躍中の研究者・技術者などで、将来に対する明確な目標と志、先端科学技術分野に対する強い興味と意欲を持った人を求めます。特に、物事を論理的に考えることができ、また、自分の考えが的確に表現できる力を持った人、旺盛な好奇心と何にでも挑戦する実行力を持った人を積極的に受け入れます。

○入学者選抜の基本方針

上記資質を有する優秀な人材を国内外から選抜するため、入学者選抜は人物重視とし、面接試験を中心とした選抜試験を実施するとともに、推薦入試などの多様な選抜方法を実施します。

<博士後期課程>

○求める学生像

国内外を問わず、高い基礎学力を持った学生あるいは社会で活躍中の研究者・技術者などで、将来に対する明確な目標と志、先端科学技術分野に対する強い興味と意欲を持った人を求めます。特に、これまでに修得してきた深く広い専門知識を、人類社会の諸問題の解決に役立たせることに強い関心を持ち、幅広い先端科学技術分野での活躍を志している人を積極的に受け入れます。

○入学者選抜の基本方針

上記資質を有する優秀な人材を国内外から選抜するため、入学者選抜は人物重視とし、面接試験を中心とした選抜試験を実施するとともに、推薦入試などの多様な選抜方法を実施します。

1-3. ディプロマ・ポリシー

本学は、情報理工学、バイオサイエンス及び物質理工学の3つの先端科学技術分野に加えて、新たに社会的要請のあるそれらの融合分野にも積極的に挑戦を行い、かかる分野に関連する幅広い知識、高度な先端知識を有し、次代の先端科学技術分野の牽引に貢献する挑戦性、総合性、融合性及び国際性溢れる先導的な人材を育成する。この目的に則して編成された教育課程及び多角的な視点での教育研究指導体制（複数の教員による異なる視点からの研究指導）が前提となる質保証がされた学位授与プロセスを遂行する。

<博士前期課程>

「修士」の学位は、“先端科学技術科目群”を通じて先端科学技術分野（情報理工学、バイオサイエンス、物質理工学の分野及びその融合分野）の幅広い基礎概念を理解して問題解決に専門知識を応用できる能力を身につけ、“研究活動科目群”で特定分野での研究あるいは技術開発能力を身につけ、“一般科目群”で優れた国際コミュニケーション能力と高い倫理観を身につけ、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、修士論文審査と試験に合格した者に授与する。

<博士後期課程>

「博士」の学位は、“自立的な研究能力を養う科目群”を通じて先端科学技術分野（情報理工学、バイオサイエンス、物質理工学の分野及びその融合分野）の幅広い理論や体系を理解した上で高度の専門的知識・技術を有し、問題発見及び問題解決ができる能力を身につけ、“研究者の素養を身につける科目群”でグローバルコミュニケーション能力、高い倫理観、俯瞰的視野を持ち、先端科学技術分野においてリーダーシップを発揮できる能力を身につけ、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、国際的に通用する博士論文を提出して、その審査及び試験に合格した者に授与する。

1-4. カリキュラム・ポリシー

先端科学技術専攻では、情報、バイオ、物質とそれらの融合分野に関する専門知識とともに、次代の先端科学技術分野の発展とその産業活動・社会活動に貢献する人材に求められる挑戦性、総合性、融合性及び国際性を身につけさせるための体系的な教育課程を編成する。特に学問分野の融合性を重視することを踏まえ、博士前期課程においては学生のキャリアと将来の目標に応じて柔軟性と融合性の高いプログラムを設置し、博士後期課程においては学生の国際性や主体性・自立性を重視したプログラムを設置する。

<博士前期課程>

1. 先端科学技術を学ぶ上で共通に必要な科学技術の潮流や俯瞰的なものの見方を学ぶ序論等の科目を設置する。
2. 専門分野だけに偏らない多様な分野からの入学者にも対応した、先端科学技術の基盤知識を教授し、総合性を育成する科目を設置する。
3. 先端科学技術に係る高度な専門知識を教授する科目を設置する。
4. 課題を俯瞰的に捉え、問題発見とその問題を協働して解決する能力と挑戦性の修得を目指したPBL形式で行う科目を設置する。
5. 社会で活躍する上で必要なプレゼンテーション・コミュニケーション能力の向上を目指した科目を設置する。
6. 産官など学外からの協力を得つつ、産業活動・社会活動における科学技術の課題やあるべき姿を考察する能力の修得を目指した科目を設置する。
7. 研究者・技術者として必要な英語力や留学生の日本語力の強化を図る科目を設置する。
8. 研究者・技術者に求められる倫理観や社会の趨勢を俯瞰する能力の強化を目指した科目を設置する。

<博士後期課程>

1. 情報、バイオ、物質とそれらの融合分野に関する先端専門知識を教授する科目を設置する。
2. 学際的な知識に基づく幅広い俯瞰力と総合性やキャリアパスを含めた社会とのかかわりを構想する能力の育成を目指した科目を設置する。
3. 研究プロジェクトを主体的に企画立案・遂行し課題を解決する能力と挑戦性の修得を目指した科目を設置する。
4. 国際的な活躍に必要なプレゼンテーション・コミュニケーション能力の修得を目指した科目を設置する。

1-5. 研究活動上の行動規範

次頁を参照してください。

奈良先端科学技術大学院大学における研究活動上の行動規範

平成20年2月21日

研究活動とは、先人達が行った研究の諸業績を踏まえた上で、調査、観察、実験等によって知り得た事実やデータを素材としつつ、自分自身の省察、発想、アイデア等に基づく新たな知見を創造し、知の体系を構築していく行為である。

その成果は、人類共通の知的資産を築くものであり、人類の幸福、経済及び社会の発展を支えている。

このような研究活動は、研究活動に対する研究者の誠実さが前提となっており、データや結果の捏造、改ざん、及び他者の研究成果の盗用に加え、同じ研究成果の重複発表、論文著者が適正に公表されない不適切なオーサiership等の不正行為は、研究活動の本質に反するものであり、絶対に許されるものではなく、厳しい姿勢で臨まなければならない。

奈良先端科学技術大学院大学は、このような研究活動に関する基本的認識の下に、“本学で研究活動に携わるすべての者”（以下「研究者」という。）が研究を遂行する上で求められる行動規範を定める。

1. 研究者の責任

研究者は、自らが生み出す専門知識や技術の質を担保する責任を有し、更に自らの専門知識、技術及び経験を活かして、社会の安全と安寧、そして環境の保全に対する責任を有する。

2. 研究者の行動

科学の自律性が社会からの信頼と負託の上に成り立つことを自覚し、自らの研究姿勢を常に点検しつつ正しい信念に基づいて誠実に行動する。また、研究によって生み出される知の正確さや正当性を、科学的にかつ客観的に示す最善の努力をするとともに、科学者コミュニティ、特に自らの専門領域における研究者相互の評価に積極的に参加する。

3. 自己の研鑽

自らの専門知識・能力・技芸の維持向上に努めるとともに、科学技術と社会・自然環境の関係を広い視野から理解できるようにたゆまず努力する。

4. 説明と公開

自ら携わる研究の意義と役割を積極的に公開して説明し、その研究が人間、社会、環境に及ぼし得る影響並びに起こし得る変化を評価し、その結果を中立性・客観性をもって公表するとともに、社会との建設的な対話を築くように努める。

5. 研究活動

自らの研究の立案・計画・申請・実施・報告等の過程において、この規範の趣旨に沿って誠実に行動する。研究・調査データの記録保存や厳正な取扱いを徹底し、捏造、改ざん、盗用等の不正行為を行わず、また加担もしない。

6. 研究環境の整備

責任ある研究の実施と不正行為の防止を可能にする公正な環境の確立・維持も自らの重要な責務であることを自覚し、科学者コミュニティ及び自らの所属する組織の研究環境の質的向上に積極的に取組む。また、これを達成するために社会の理解と協力が得られるよう努める。

7. 研究費の適正な使用

研究費の使用に当たっては、関係法令、学内諸規約等並びに各種外部資金による研究において定められた条件及び使用ルール等を遵守する。

8. 研究対象、環境、安全等への配慮及び生命倫理の尊重

研究への協力者の人格・人権を尊重し、福利に配慮する。また、研究実施上、環境及び安全に対して有害となる可能性のあるもの（放射線、放射性同位元素、遺伝子組換え生物、核燃料物質、外来生物、毒劇物、環境汚染物資等）を取り扱う場合には、関係法令、学内諸規約及び学会等の指針等を遵守し、ヒトや動物を対象とした研究においては、生命倫理を最大限尊重する。

9. 他者との関係

他者の成果を適切に評価すると同時に、自らの研究に対する批判には謙虚に耳を傾け、誠実な態度で意見を交える。また、他者の知的財産権に係るものに関しては、守秘義務を遵守する。中でも、論文や研究費の審査の過程で知り得たものについては、守秘義務の遵守に厳密に注意を払わなくてはならない。さらに、研究の過程で入手した他者の個人情報の保護に努め適正な取扱いを行う。

10. 差別・ハラスメントの排除

人種、性別、地位、思想・宗教等によって個人を差別せず、公平に対応して、個人の自由と人格を尊重する。また、立場や権限を利用して、その指示・指導等を受ける者に不利益を与えるような言動は取らない。

11. 利益相反

自らの研究、審査、評価、判断等において、個人と所属組織又は異なる組織間の利益の衝突に十分に注意を払い、公共性に配慮しつつ適切に対応する。さらに、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学利益相反ポリシー等を遵守する。

第2章 先端科学技術研究科の概要

■第2章 先端科学技術研究科の概要

2-1. 先端科学技術研究科の概要

<目的>

既存の学問領域の延長線上にない革新的な研究、とりわけ従来の専門分野の壁を取り払った研究領域の融合化に取り組むことでイノベーション創出につなげるとともに、本学が開学以来醸成してきた最先端の情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学及びこれらの融合分野を含む広範な領域をカバーした体系的な教育カリキュラムを通じて、挑戦性と創造性に富んだ先導的な研究者及び高度な専門性を持った技術者を育成することを目的とします。

<特色>

- ▶ これまでの研究科間の垣根をなくすことで、関連する研究分野の教員が集結して最先端科学技術教育を行える柔軟な教育体制を構築します。
- ▶ 学生の興味、意欲にきめ細やかに対応するため、履修科目選択に自由度を持たせた教育を実現します。
- ▶ 高度な専門性を修得させるための、7つの「教育プログラム」を設定します。
- ▶ 他の分野を学ぶのに必要な基礎・専門知識を学べる仕組みを導入し、大学・高専専攻科で身に着けた専門性をベースとして、他の専門分野への挑戦を可能とします。
- ▶ 社会実装までを想定して社会ニーズに基づく問題の解決を行う PBL (Project Based Learning) 形式の演習を、民間企業等での実習や民間企業の研究者・技術者による講習等を通して実施します。

<人材育成目標>

博士前期課程では、社会・経済を支える、情報科学、バイオサイエンス、あるいは、物質創成科学の高度な専門性と、それらの融合分野に取り組むための広範な素養を持ち、社会全体を見渡す俯瞰的な視点から物事を考え、社会において先端科学技術の活用やイノベーションを担う人材を育成します。

博士後期課程では、情報科学、バイオサイエンス、あるいは、物質創成科学及び関連する融合分野に係る高度な先端知識と幅広い視野に加え、国際性や主体性・自立性を備え、高い志を持って科学技術研究に挑戦し、産官学にわたり国際社会で指導的な役割を果たす研究者・高度専門技術者を育成します。

<幅広い進路選択>

専門とする分野から融合分野へ展開する広い学識と柔軟な思考を身につけることで、個々の学生にとっての進路の選択肢がこれまで以上に広がります。

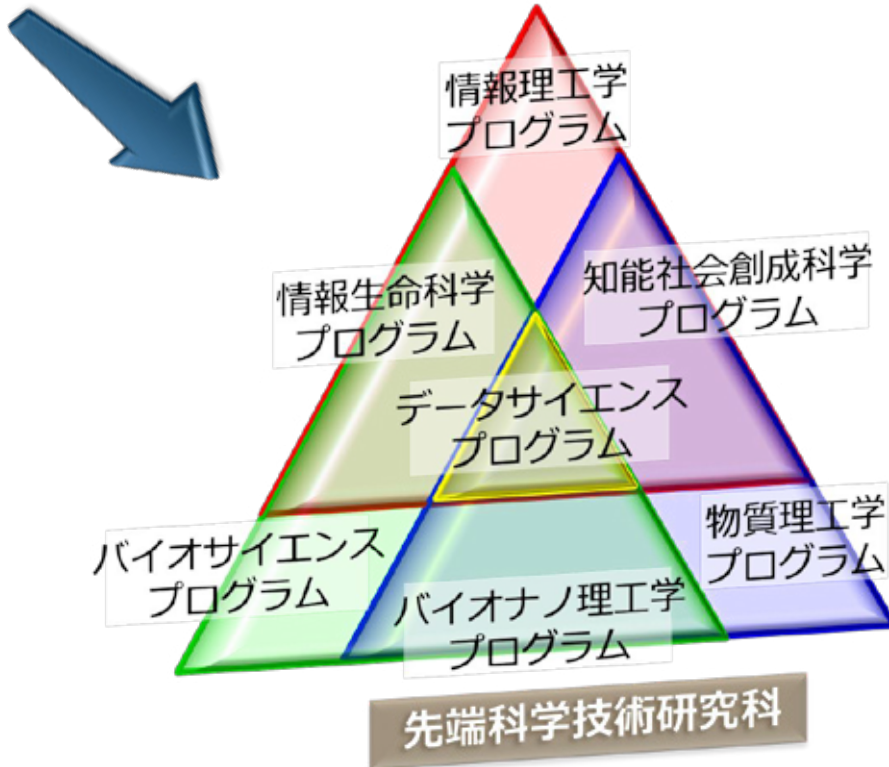
2-2. 7つの教育プログラム

先端科学技術研究科では、開学から培ってきた情報科学・バイオサイエンス・物質創成科学の3分野が主体の「情報理工学」、「バイオサイエンス」、「物質理工学」に、それらの融合プログラムの「情報生命科学」、「知能社会創成科学」、「バイオナノ理工学」、「データサイエンス」が加わり、7つの教育プログラムが選択できます。これらを教育カリキュラムの基本的枠組みとすることで、学生自身の希望進路に沿いながら高度な専門性を身につけるための科目履修を可能にします。

これまでの3研究科体制



平成30年度から3分野を融合して1研究科に



○7つの教育プログラムの概要と人材育成目標

情報理工学プログラム	授与される学位 修士・博士(工学/理学)
<p>情報科学を主体とするプログラムです。</p> <p>コンピュータ本体及び情報ネットワークに関する技術、コンピュータと人間のインタラクション及びメディアに関する技術、ロボット等コンピュータを駆使する各種システムに関する技術など、広い視野と高度な専門性を備え、様々な分野で情報科学技術の高度化やその多面的な活用により、高度情報化社会を支える人材を育成します。</p>	
情報生命科学プログラム	授与される学位 修士・博士(工学/理学/バイオサイエンス)
<p>情報科学とバイオサイエンスの融合プログラムです。</p> <p>遺伝子やタンパク質、代謝などに関する膨大な生体情報や医用画像データなど、生命現象にかかわる大規模なデータの取得ができる人材及びその解釈ができる人材あるいはこれらの技術開発のできる人材を育成します。</p>	
バイオサイエンスプログラム	授与される学位 修士・博士(バイオサイエンス)
<p>バイオサイエンスを主体とするプログラムです。</p> <p>動植物・微生物について、分子・細胞・個体レベルで、生命現象の基本原則から生物の多様性まで、最先端の幅広い知識と高度な専門性を備え、それを国内外の民間・公的機関において、環境・エネルギー・食糧・資源や健康・長寿等の諸問題解決に資することにより、人類の発展と地球環境の保全に貢献する人材を育成します。</p>	
バイオナノ理工学プログラム	授与される学位 修士・博士(工学/理学/バイオサイエンス)
<p>バイオサイエンスと物質創成科学の融合プログラムです。</p> <p>生命活動の分子的基盤を理解し、医薬品や医用工学材料の開発、植物機能を増強する新規化合物の探索、生命機能を模した新規高分子の開発、植物由来の有効成分の開発、人工蛋白質材料の開発、再生医療を支える新規細胞工学の開拓など、人類の未来を支える新たな機能材料を開発する能力を育成し、物質科学の理解に基づくバイオサイエンス研究の新潮流の開拓に携わることのできる人材を育成します。</p>	
物質理工学プログラム	授与される学位 修士・博士(工学/理学)
<p>物質創成科学を主体とするプログラムです。</p> <p>固体物性学、デバイス工学、分子化学、高分子材料、バイオナノ理工学などを横断する教育プログラムにより、物質科学に関する基盤知識と専門性を活かすための高度な知識を持ち、人類の豊かな生活の維持と社会の発展を支える次代の科学技術の担い手となる人材を育成します。</p>	
知能社会創成科学プログラム	授与される学位 修士・博士(工学/理学)
<p>物質創成科学と情報科学の融合プログラムです。</p> <p>機能性物質の設計、新機能を実装したデバイスや現実世界をセンシング、分析するデバイスの設計、分析結果をさまざまに生かすシステム構築、機械やロボットの制御システムまでを統合的に捕らえる広い視野を持ちつつ、その中の特定分野の深い専門知識を身につけた IoT 時代の社会システムを支える人材を育成します。</p>	
データサイエンスプログラム	授与される学位 修士・博士(工学/理学/バイオサイエンス)
<p>情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学の融合プログラムです。</p> <p>情報科学、バイオサイエンス、物質科学に関わるデータ駆動型科学、AI 駆動型科学の最先端の幅広い知識と高度な専門性を備え、蓄積された膨大なデータの処理、可視化、分析を通じてその奥に隠れた「真理」や「価値」を引き出して、次代の科学・技術の進歩や社会の発展に貢献できる人材を育成します。</p>	

※取得できる学位の名称は、履修科目や学位論文の内容によって決定します。

○所属する研究室で選択できる教育プログラムの一覧

<情報科学領域>

研究室名	PI (研究室主宰者)	情報理工学プログラム	情報生命科学プログラム (情報とバイオの融合)	知能社会創成科学プログラム (情報と物質の融合)	データサイエンスプログラム (3領域融合)
コンピューティング・アーキテクチャ	中島 康彦	○		○	
ディメンダルシステム学	井上 美智子			○	
ユビキタスコンピューティングシステム	安本 慶一	○	○	○	
モバイルコンピューティング	伊藤 実	○		○	
ソフトウェア工学	松本 健一	○		○	
ソフトウェア設計学	飯田 元	○		○	
サイバーレジリエンス構成学	門林 雄基	○		○	○
情報セキュリティ工学	林 優一	○		○	
情報基盤システム学	藤川 和利	○		○	○
自然言語処理学	松本 裕治	○			○
知能コミュニケーション	中村 哲	○			○
ネットワークシステム学	岡田 実	○	○	○	
インタラクティブメディア設計学	加藤 博一	○		○	
光メディアインタフェース	向川 康博	○	○	○	
サイバネティクス・リアリティ工学	清川 清	○		○	
環境知能学	萩田 紀博	○		○	
ソーシャル・コンピューティング	荒牧 英治	○			○
ロボティクス	小笠原 司	○	○	○	
知能システム制御	杉本 謙二	○	○		○
大規模システム管理	笠原 正治	○		○	
数理情報学	池田 和司	○	○		○
生体医用画像	佐藤 嘉伸	○	○		○
計算システムズ生物学	金谷 重彦	○	○	○	○
ロボットビジョン	金出 武雄	○	○	○	

<バイオサイエンス領域>

研究室名	PI (研究室主宰者)	バイオサイエンスプログラム	情報生命科学プログラム (バイオと情報の融合)	バイオナノ理工学プログラム (バイオと物質の融合)	データサイエンスプログラム (3領域融合)
植物細胞機能	橋本 隆	○		○	
植物発生シグナル	中島 敬二	○	○		
植物代謝制御	出村 拓	○		○	○
植物成長制御	梅田 正明	○		○	
花発生分子遺伝学	伊藤 寿朗	○		○	○
植物生理学	遠藤 求	○	○	○	○
植物免疫学	西條 雄介	○	○	○	○
植物二次代謝	峠 隆之	○	○		○
植物共生学	吉田 聡子	○	○	○	
分子情報薬理学	伊東 広	○		○	
機能ゲノム医学	石田 靖雅	○			
腫瘍細胞生物学	加藤 順也	○	○	○	
分子免疫制御	河合 太郎	○		○	
分子医学細胞生物学	末次 志郎	○		○	○
幹細胞工学	栗崎 晃	○	○		
発生医科学	笹井 紀明	○	○	○	
器官発生工学	磯谷 綾子	○		○	
原核生物分子遺伝学	真木 善治	○			
システム微生物学	森 浩禎	○	○		○
細胞シグナル	塩崎 一裕	○	○	○	
ストレス微生物学	高木 博史	○		○	
環境微生物学	吉田 昭介	○	○	○	
構造生物学	箱崎 敏雄	○	○		
膜分子複合機能学	塚崎 智也	○		○	
遺伝子発現制御	別所 康全	○	○	○	○
神経システム生物学	稲垣 直之	○	○	○	
計算生物学	作村 諭一	○	○		○

<物質創成科学領域>

研究室名	PI (研究室主宰者)	物質理工学プログラム	知能社会創成科学プログラム (物質と情報の融合)	バイオナノ理工学プログラム (物質とバイオの融合)	データサイエンスプログラム (3領域融合)
量子物性科学	柳 久雄	○	○		
凝縮系物性学	大門 寛	○			○
高分子創成科学(新規の学生配属なし)	藤木 道也				
光機能素子科学	太田 淳	○	○	○	
情報機能素子科学	浦岡 行治	○	○	○	○
反応制御科学	堀内 喜代三	○		○	
超分子集合体科学	廣田 俊	○		○	
光情報分子科学	河合 壯	○		○	
有機光分子科学	山田 容子	○	○	○	
センシングデバイス	柳田 健之	○		○	
有機固体素子科学	中村 雅一	○	○		
生体プロセス工学	細川 陽一郎	○		○	○
分子複合系科学	上久保 裕生	○		○	○
ナノ構造磁気科学	細糸 信好	○			
高分子設計化学	安藤 剛	○		○	
データ駆動型化学	船津 公人				○
バイオメテック分子科学	Gwenaél RAPENNE	○		○	
ナノ高分子材料	網代 広治	○			
マテリアルズ・インフォマティクス	畑中 美穂	○			○
メゾスコピック物質科学	藤井映志、足立秀明	○			
知能物質科学(学生配属なし)	和泉 真				
機能高分子科学	本田崇宏、榎本裕志	○		○	
環境適応物質学	余語克則、後藤和也	○	○		
感覚機能素子科学	北村圭司、叶井正樹	○	○	○	
先進機能材料	上利泰幸、藤原裕	○	○	○	

※上記は平成30年2月現在(平成30年4月予定を含む)の情報です。これ以降に新設される研究室で選択できる教育プログラムについては、大学ホームページ等から最新の情報を確認してください。

2-3. 博士前期課程の教育課程

博士前期課程には、以下の科目群を配置する。

◇一般科目群

次世代の先端科学技術を担うために欠かすことのできない幅広い素養と社会性、国際性を育むため、倫理、哲学、コミュニケーション、知的財産権、ベンチャー起業論及び語学等の科目を配置する。英語については、レベル別にクラスを編成し、コミュニケーション、プレゼンテーション、ディスカッション、ライティングの講義により、国際的に通用するコミュニケーション能力の習得を目標とする。

◇先端科学技術科目群

以下の①～④の科目を開設し、専門の異なる学生が様々な分野の最新科学技術や社会ニーズを理解し議論することにより、他の先端科学技術分野を俯瞰できる広い視野や柔軟な発想、創造性を持つ人材を育成する。

① 序論科目

7つの教育プログラムがカバーする各々の研究分野について、世界の最先端科学がどのように進展・融合しつつあり、今後どのような新しい科学技術や研究領域が生まれると期待されるかなどを俯瞰的視点から学ぶことで、総合的な視野を身につける「序論科目」を配置する。

② 基盤科目

広範な分野からの入学者に対応し、大学で学んだ専門分野だけに偏らず異分野や融合分野に挑戦することを可能にし、各教育プログラムの履修に必要な基盤知識を修得するために「基盤科目」を配置する。「基盤科目」は、どの教育プログラムの学生も各自のこれまでの学習歴に応じて、不足部分を補うことを目的とする。

③ 専門科目

各プログラムの人材育成目標に沿った高度な専門知識を学ぶことを目的とする、プログラムの中核となる講義である。各学生が履修する「PBL科目」の課題と出口を見据えたキャリアパスに通じる選択科目を配置する。また、先端的技術や方法論を用いた先端研究分野の調査研究などに関して、研究室の枠を超えて学生により提案された課題に取り組む演習や、企業が行う研究テーマを提示したインターンシップに参加して「ものづくり」の精神を学ぶ実習からなるプロジェクト実習を配置する。

④ PBL 科目

“先端科学技術科目群”の履修の集大成として、他分野や他研究室の学生と協働して先端科学技術の問題の発見と、それを解決する能力を育成するためPBL (Project Based Learning) 形式で行う「PBL科目」を必修科目として配置する。「PBL科目」を通じて、自身の専門分野の裾野を広げるのみならず、専門の異なる研究者・技術者が協力して融合分野を開拓する際に必要となる異分野間コミュニケーション能力や挑戦性を育成する。

「基盤科目」及び「専門科目」のうち、教育プログラム毎に、その特徴的な専門知識を学ぶのに必要なコアとなる科目（コア科目）を、必修又は選択必修科目として指定する。（コア科目については、本書「第4章 履修手続き」の「4-4. 修了要件」の頁を参照のこと。）

◇研究活動科目群

幅広い基礎概念を理解した上で、特定の科学的・技術的問題の解決に専門知識を応用する

能力を育成するため、各学生が取り組む個々の修士論文研究に直接関わる授業として以下の科目を配置する。

- ・ ゼミナール I、II
 自他の修士論文研究の成果や論文調査結果の発表と討論を通じて自身の研究を深めるとともに、プレゼンテーションとディスカッションの能力を育成する。
- ・ コロキアム A、B
 外部講師による日々進歩し続ける最先端科学技術分野に関する講演を聴講し討論することで、自身の研究の進展の刺激とする。
- ・ 研究実験 I、II
 先端科学研究の原理と方法論を学ぶとともに研究計画の立案能力を育成する。
- ・ 研究論文
 博士前期課程の教育の集大成として、自身の研究実験で得られたデータの中から、新規性、有用性、実用性のある結論を抽出する能力、抽出された結論から新たな課題を展開する能力、研究の背景やプロセス及び結論を科学論文や報告書として論理的に記述する能力を育成する。

◇その他の教育

① 研究の実施に関わる教育等

研究を安全かつ法に従い遂行するために、研究倫理講習会、遺伝子組換え実験講習会、RI・X線安全講習会と実習、動物実験講習会、情報ネットワークガイダンス、情報セキュリティ講習・訓練、化学薬品取扱い講習の講習・実習を、入学直後あるいは研究室配属後に実施する。また、心身の健康管理を学ぶ、「メンタル・フィジカルヘルス講習会」を実施する。

② キャリア教育

社会からの要請を踏まえた自己キャリアビジョンを構築し実践する能力を強化するため、企業や公的研究機関等とも連携して、社会の多様な場での活躍を見据えたキャリア教育を実施する。社会における修士課程修了者の働き方を考える研修会、ジョブマッチングを考えるための就職セミナー、企業のトップ、イノベーションを担った技術者、本学修了生あるいはベンチャー企業の起業者の経験をキャリアパスに生かす講演会などを開催する。

[博士前期課程における教育課程の概念図]



2-4. 博士後期課程の教育課程

博士後期課程には、以下の科目群を配置する。

◇研究者の素養を養う科目群

国際性、国際コミュニケーション能力を育成するため、以下の科目を配置する。

- ・ 英語上級 A～D
学内で行われる講義により科学技術研究に関する英語論文の作成法と海外の研究者との高度な国際コミュニケーションの方法を学ぶ。
- ・ 海外英語研修 I～III
海外での英語研修を行う。
- ・ 国際研修 I～III
国際的な会議や海外の研究室などで研究成果の発表と討論を行う。
- ・ 研究留学 I～III
海外企業での研究インターンシップや海外の大学等への研究留学を行う。

挑戦性、プロジェクト企画力、課題発見力、知識や研究手法の融合能力、研究推進力を育成するため、以下の科目を配置する。

- ・ 国際ワークショップ企画演習
国際ワークショップの提案、開催、運営、管理を体験する。
- ・ プロジェクトマネジメント I～III
研究課題の提案・研究費マネジメント、研究プロジェクトの運営と推進方法、多様な知識と技法を融合しての問題解決法を学内外の場で学ぶ。

先端専門知識を学ぶため、以下の科目を配置する。

- ・ 情報理工学特別講義、情報生命科学特別講義、バイオサイエンス特別講義、バイオナノ理工学特別講義、物質理工学特別講義、知能社会創成科学特別講義、データサイエンス特別講義
博士前期課程における7つの教育プログラムに対応した分野の最新で質の高い研究を主に集中講義で学ぶ。

挑戦性、研究マネジメント能力、社会連携・俯瞰力、キャリアパス構想力を育成するため、以下の科目を配置する。

- ・ イノベーションマネジメント A、B
イノベーションを国際的に展開するために必要とされる知的財産に関する知識や科学技術倫理、異文化の理解力を学ぶ。
- ・ キャリアマネジメント A、B
アカデミアのみならずノンアカデミアを含む多様なキャリアパスに必要な能力を育成するために、教授法の指導や教育力の育成、トランスファラブルスキルの涵養、起業のための知識を学ぶ。

「研究留学」の履修を、すべての学生に推奨し、国際性、国際コミュニケーション能力を養う。また、学内外、国内外での教育研究の機会を広く持つことにより、多様な研究活動の場を通じて研鑽を積むことを目指す。

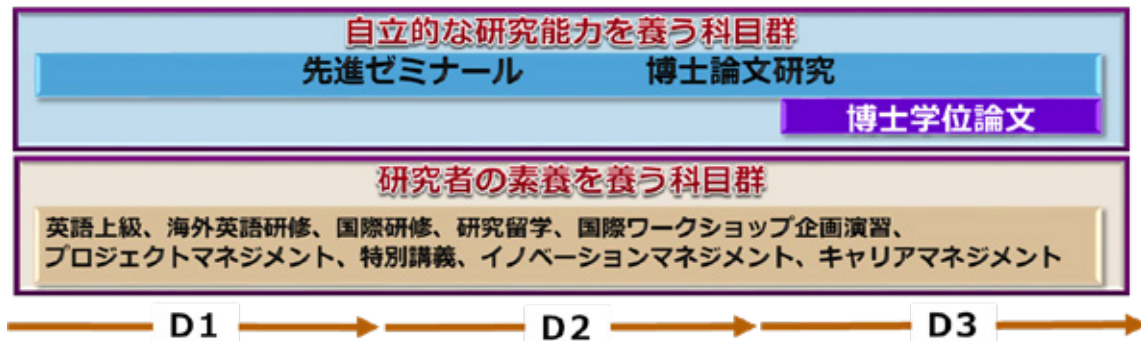
◇自立的な研究能力を養う科目群

- ・ 先進ゼミナール
研究課題進捗状況を報告し討論する演習であり、博士前期課程における7つの教育プログラム毎に行うことで、幅広い視野からの研究指導を行うとともに、ディスカッションやプレゼンテーションの能力を養う。
- ・ 博士論文研究 I～VI
博士論文執筆に必要な研究活動を通じ、自立して研究活動を行う能力と課題の設定力及び創造性を育成する。

◇その他の教育

研究の実施に関わる教育等は、博士前期課程と同様に実施する。

[博士後期課程における教育課程の概念図]



第3章 入学当初学生ガイド

■第3章 入学当初学生ガイド

3-1. 研究室配属から教育プログラム選択まで【博士前期課程】

時期	平成30年	行事等	内容
4 月 上 旬	4月3日(火)	新入生オリエンテーション PC/デスク割当 研究室配属 教育プログラム キャリア支援 学生生活 など	NAISTでの活動を円滑にスタートすることが出来るように教育課程、研究活動、奨学支援や学生生活等の内容を把握します。
	4月4日(水)	TOEIC-IPテスト 新入生全員が対象	入学時の英語能力を理解し今後の英語学習に対し目標を持って取り組みます。このテストの結果は物質創成科学領域の研究室配属にも考慮されるものです。
	4月5日(木)～4月18日(水)	履修登録(先端科学技術序論科目)	すべての序論科目(7科目: 4/12(木)～5/8(火)で開講)を登録し、受講することを推奨します。少なくとも修了要件に必要な3科目(3単位)以上は登録してください。
	4月9日(月)～4月11日(水)	研究室紹介 研究室が所属する領域別に3日間実施	興味のある研究室が取り組んでいる内容などの説明を聞き、配属を希望する研究室を検討します。
4 月 中 旬 ～ 下 旬	4月12日(木)～4月25日(水)	研究室訪問 研究室毎の説明会に参加したり、オフィスアワーを利用したり、或いは、研究室とメールでアポイントをとることにより随時実施	研究室紹介に興味を持った研究室を直接訪ねて、研究室の更に詳しい内容や自身の研究目標など教授等の研究室責任者と直接話をする機会です。また、研究室の先輩方と情報交換できる機会でもあります。
	4月12日(木) 15:00まで	研究室配属希望アンケート提出 入試を受けた区分の事務室に提出	研究室紹介を踏まえて、この時点で配属を希望する研究室を第3希望まで記入します。この時、5年一貫コース(博士後期課程へ進学)の希望の有無も併せて記入します。

研究室配属から教育プログラム選択まで【博士前期課程】

時期	平成30年	行事等	内容
4 月 中 旬 ～ 下 旬	4月12日(木)～5月8日(火)	先端科学技術序論の受講	先端科学技術の世界的な潮流と方向性を広く理解したうえで、どの教育プログラムを選択するのか理解を深めるために7科目の「序論科目」を受講します(各1単位×7科目=7単位)。このうち3単位取得していることが修了要件の一つとなります。
	4月13日(金) 16:50～18:20	基礎学力テスト バイオサイエンス領域の研究室に配属を希望する学生は必須	受験時の入試区分に関係なく、バイオサイエンス領域の研究室に配属を希望する学生は、全員が受験しなければなりません。このテストの結果はバイオサイエンス領域の研究室配属に考慮されます。
	4月13日(金) 午後	研究室配属希望アンケート結果発表 WEBで公表	研究室ごとに第1希望者の人数から第3希望者の人数まで公表されるので、研究室配属希望本調査の参考にします。また、博士後期課程への進学希望者(5年一貫コース希望者)も公表されます。
	4月17日(火) 13:00まで	領域移動(※)可否審査申請書提出 希望研究室の事前面談証明書必須 バイオサイエンス領域所属の研究室希望者は、基礎学力テスト受験必須	<u>(※) 受験時の入試区分以外の領域に所属する研究室へ配属</u> を希望する場合は、希望研究室の教授又は准教授と事前に面談を受けて「事前面談証明書」とともに提出します。
	4月19日(木)	領域移動可否審査日時の通知 メールで通知	領域移動可否審査申請の申請者に個別に通知されます。
	4月20日(金),23日(月),24日(火) 各日16:50～18:20	領域移動可否審査	

時期	平成30年	行事等	内容
4 月 下 旬	4月25日(水)	領域移動可否審査結果通知 メールで通知	申請者に個別に通知されます。
	4月26日(木) 15:00まで	研究室配属希望本調査票提出	研究室訪問や領域移動可否審査の結果を踏まえて、第5希望まで記入して提出します。
5 月	5月1日(火)~5月11日(金) 随時	研究室配属内定結果の公表 WEBで公表 メールで通知	研究室配属の調整状況に合わせて配属内定が決まった学生から随時配属研究室が公表されます。
	5月1日(火) から随時	教育プログラムの選択	研究室に配属内定された学生から順次指導教員と相談して教育プログラムを決めていきます。
	5月2日(水)~5月16日(水) 5月25日(金)~6月7日(木)	履修登録 (基盤科目) (一般科目、専門科目)	教育プログラムが決まった学生から履修登録を行います。

* 上記日程は予定です。進捗や調整状況により変更される場合があります。

[その他の講習会等]

* 4/6(金) 1・2限 情報ネットワークガイダンス、安全教育 (全新入生)

* 4/6(金) 3・4限 第1回RI・X線習会 (該当学生: RI・X線を使用した実験への従事可能性がある場合)

* 4/6(金) 5限 研究倫理講習会 (全新入生)

* 4/17(火) 4・5限 遺伝子組換え生物等実験に関する講習会 (該当学生: 遺伝子組換え生物等実験への従事可能性がある場合)

* その他、奨学金申請や宿舍入居希望等の手続きについては、新入生オリエンテーションで説明しますので、必ず出席してください。

3-2. 研究室配属から教育プログラム選択まで【博士後期課程】

時期	平成30年	行事等	内容
4 月 ～ 5 月	4月4日(水)	TOEIC-IPテスト 新入生全員が対象	入学時の英語能力を理解し今後の英語学習に対し目標を持って取り組みます。物質創成科学領域の研究室配属にも考慮されるものです。
	4月5日(木)	新入生オリエンテーション	NAISTでの活動を円滑にスタートすることが出来るように教育課程、研究活動、奨学支援や学生生活等の内容を把握します。
	随時	教育プログラムの選択	研究室に配属された学生から指導教員と相談して教育プログラムを決めていきます。

* 上記日程は予定です。進捗や調整状況により変更される場合があります。

[その他の講習会等]

- * 4/6(金) 1・2限 情報ネットワークガイダンス、安全教育 (全新入生)
- * 4/6(金) 3・4限 第1回RI・X線習会 (該当学生：RI・X線を使用した実験への従事可能性がある場合)
- * 4/6(金) 5限 研究倫理講習会 (全新入生)
- * 4/17(火) 4・5限 遺伝子組換え生物等実験に関する講習会 (該当学生：遺伝子組換え生物等実験への従事可能性がある場合)

* その他、奨学金申請や宿舍入居希望等の手続きについては、新入生オリエンテーションで説明しますので、必ず出席してください。

第4章 履修手続（履修規程を含む）

■第4章 履修手続

授業科目の履修については、指導教員とよく相談して各期に履修計画を立ててください。

履修登録の対象となる課程は、博士前期課程のみです。博士前期課程では、研究活動科目群以外の科目群に属する授業科目については、原則として履修登録の対象となります。ただし、集中講義、他の大学院等と連携して行う教育プログラム及び履修証明を行うプログラムの授業科目については、この限りではありません。

4-1. 履修登録

履修登録は、履修登録システムにより、下表に記載の履修登録期間中のみ行ってください。この期間中は、新規登録以外に登録変更や取消もできます。

<<大学ホームページ → 在学生の方へ（学内専用） → 学務関係 → 履修登録システム>>

[平成30年度履修登録期間]

カリキュラム学期 (授業期間)	履修登録期間	対象科目
I期 (4/12～5/31)	4/5 (木) ～18 (水)	・序論科目 (春)
	5/2 (水) ～16 (水)	・基盤科目
II期 (6/1～7/31)	5/25 (金) ～6/7 (木)	・一般科目、専門科目
III期 (10/14～11/30)	10/2 (火) ～16 (火)	・一般科目、専門科目、序論科目 (秋)、基盤科目 (秋)
IV期 (12/3～2/15)	11/27 (火) ～12/10 (月)	・一般科目、専門科目、PBL科目

なお、履修登録期間とは別に、授業科目（クラス）毎に履修取消可能期間を設けます。履修取消を希望する場合は、履修取消可能期間内であれば、履修登録を取り消すことができます。

履修取消可能期間 : 2コマ目の開講日まで

授業時間が重複している科目の履修登録は、原則として認めません。また、他大学院の授業科目の履修等については、事前に別の手続きを課すことがあります。

履修登録期間前には電子メールでも履修登録期間を通知します。手続きの通知の確認を怠ったために、不利益が生じることがないように各自で充分注意してください。

* 履修登録システムについて

履修登録システムでの履修登録方法は、本学のホームページに掲載している「履修登録システムマニュアル」を参照してください。システムの使い方をよく理解し、登録等に不備がないようにしてください。



奈良先端科学技術大学院大学
履修登録システム

- 履修登録状況
- 履修登録
- 履修取消
- 時間割
- ログアウト

Language: 

2017年度 履修登録

現在日時: 2018/3/9 9:31:04

学生番号: 00000001
氏名: 学生 太郎
学年: M1
研究室: 情報研究室A
プログラム: -

課程: 前期課程 キーワード:

表示可能なデータがありません。

前年度以前の入学者は、授業の読み替えに注意 → [授業読み替え](#)
履修しても、読み替えられないため、修了要件単位に含まれない科目もある。

COPYRIGHT © 2018 NARA INSTITUTE of SCIENCE and TECHNOLOGY ALL RIGHTS RESERVED.



奈良先端科学技術大学院大学
履修登録システム

- 履修登録状況
- 履修登録
- 履修取消
- 時間割
- ログアウト

Language: 

2017年度 履修登録状況

現在日時: 2018/3/9 9:37:26


学生番号: 00000001
氏名: 学生 太郎
学年: M1
研究室: 情報研究室A
プログラム: -

表示年度:

科目名	開講時期	担当教員	取消期限
技術と論理 (1001)	II	-	
科学医学 (1002)	II	-	09/18


前年度以前の入学者は、授業の読み替えに注意 → [授業読み替え](#)
履修しても、読み替えられないため、修了要件単位に含まれない科目もある。

COPYRIGHT © 2018 NARA INSTITUTE of SCIENCE and TECHNOLOGY ALL RIGHTS RESERVED.



奈良先端科学技術大学院大学
履修登録システム

- 履修登録状況
- 履修登録
- 履修取消
- 時間割
- ログアウト

Language: 

月別時間割

年度: 月:

■ 2017年 4月

[今日]は、2018年 03月 09日 です

日	曜日	時間	学内行事および講義内容	備考および注意事項
01	土			
02	日			
03	月			
04	火			
05	水			
06	木			
07	金			
08	土			
09	日			
10	月			
11	火			

次の日=>

○入学前の既修得単位の認定について

教授会において教育上有益と認めるときは、10単位を超えない範囲で入学前の他の大学院での既修得単位を認定することができます。認定を願い出る者は次の書類を添えて教育支援課学務係まで願い出てください。

- (1) 入学前の既修得単位認定願出書（教育支援課にあります。）
- (2) 単位を修得した大学院の単位修得・成績証明書
- (3) 認定を希望する授業科目の講義内容が説明できる書類（講義概要等の写）

※願出手続き等の日時については、掲示等により連絡しますので注意してください。
詳しくは教育支援課学務係までお問い合わせください。

○他の大学院との間における授業交流について

本学は、以下の大学院、研究科と授業交流を実施しています（他の大学院等と連携して行う教育プログラムについては掲載省略）。

- ・大阪大学大学院工学研究科 ・大阪大学大学院基礎工学研究科
- ・奈良女子大学大学院人間文化研究科

他の大学院の授業科目を履修することについて、履修希望者は次の事項を熟読の上、所定の手続きをとってください。詳細については教育支援課学務係に照会してください。

- (1) 履修方法等について
 - ① 履修希望学生は、所定の履修願及び理由書を提出してください。
 - ② 履修総単位数は、博士前期課程において、10単位以下とします。
 - ③ 履修科目の範囲は、原則として講義のみとし、演習、実習、実験、研究等は含みません。
 - ④ 授業科目によっては、相手先大学院研究科の授業収容人数その他の都合により、履修が許可されないことがあります。
- (2) 単位の認定について
当該授業科目を履修する前に、本研究科教授会で修了に必要な単位として認められた場合は、相手先大学院研究科で修得した単位は、本研究科所定の単位に認定します。
- (3) 履修願及び理由書取扱期間
詳しい日程は、各大学により取扱いが異なりますので、後日掲示等にて連絡します。
- (4) 履修願及び理由書提出手続
 - ① 履修願及び理由書の用紙は、教育支援課学務係で交付します。
 - ② 履修希望学生は、相手大学院研究科の講義内容及び開講時期等を参考に履修科目を選定し、指導教員の承認（承認印を必要とする）を得て、履修願及び理由書を教育支援課学務係に提出してください。

○他の大学院等における研究指導について

他の大学院や研究所等において研究指導を受けることが教育上有益であると認められた場合には、該当する他の大学院等と協議の上、他の大学院等において必要な研究指導を

受けることができます。研究指導を受けられる期間は、博士前期課程、博士後期課程ともそれぞれ通算して1年以内ですが、博士後期課程については、期間の延長を認められることがあります。他の大学院等における研究指導を希望される場合は、事前に指導教員と相談の上、指導を受ける予定月の2ヶ月前までに教育支援課学務係に連絡してください。

○教育職員免許状〔中学校・高等学校教諭専修免許状（理科）〕について

現に中学校教諭又は高等学校教諭一種免許状（理科）を有する者（免許状申請に必要な単位取得者を含む）は、本学の博士前期課程を修了する時に次に掲げる「教科及び教科の指導法に関する科目」を24単位修得していれば当該校種の専修免許状（理科）を取得することができます。

奈良県教育委員会への申請は、教育支援課学務係が一括して行います。10月頃に申請予定者を照会后、手続き等の詳細は、1月頃に電子メール等で通知します。

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

	授 業 科 目 名
序論 科目	バイオサイエンス序論 物質理工学序論
基盤 科目	細胞生物学 分子生物学 細胞膜と物質輸送 細胞の情報伝達 微生物科学 植物科学 バイオメディカルサイエンス 細胞骨格と細胞周期 遺伝学と幹細胞 量子力学 物質物理学 物質化学 物理化学 現代固体物理学 現代半導体物性 有機反応化学 反応解析化学 生体材料化学
専門 科目	応用生命科学・微生物科学 応用生命科学・植物科学 応用生命科学・バイオメディカル バイオサイエンスの産業展開 I バイオサイエンスの産業展開 II 発生生物学特別講義 バイオサイエンスの先端技法 植物発生生理学 動物発生学 薬理・病態生化学 免疫学 ゲノム・がん生物学 生物間相互作用学 バイオサイエンスにおけるビッグデータ 電子原子物性特論 フォトニクス特論 光・情報素子工学特論 量子情報・エネルギー材料特論 生体分子科学特論 精密有機・高分子合成特論 分子フォトサイエンス特論 高分子化学特論 マテリアルインフォマティクス特論 物質科学技術特論 半導体材料 光電子工学 有機・高分子化学
PBL 科目	バイオサイエンスPBL I バイオサイエンスPBL II 物質理工学PBL I 物質理工学PBL II

以上の授業科目から、24単位を修得すること

○交通機関運休及び気象警報発令の場合の授業の取扱いについて

・交通機関運休の場合

大規模な災害、事故等の発生により、通学路線のうち「近鉄電車（けいはんな線、奈良線、京都線）」あるいは「奈良交通バス（学研北生駒駅、学園前駅、高の原駅路線）」が運休した場合、授業は休講とします。

なお、運休が解除された場合の取扱いは次表のとおりです。

・気象警報発令の場合

奈良市・生駒市のいずれか又はこれらの市を含む地域に「暴風警報（又は暴風雪警報）」又は「特別警報」が発令された場合、授業は休講とします。

なお、同警報が解除された場合の取扱いは次表のとおりです。

運休及び警報解除時刻	授業の取扱い
午前7時以前に解除された場合	全日授業実施
午前10時以前に解除された場合	午後授業実施
午前10時を経過しても解除されない場合	全日授業休講

（注）運休（運行）及び発令（解除）の確認は、テレビ・インターネット等の報道によります。

「特別警報とは」
特別警報が発表された地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。居住地や通学経路において、特別警報が発令された場合は、周囲の状況や市町村から発表される避難指示・避難警告などの情報に留意し、ただちに命を守る行動をとってください。

休講の場合は、授業責任教員により、該当学生に対して原則として補講が行われます。ただし、授業責任教員の判断で該当学生に対して当該授業に相当する学修を課すことをもって補講に替えることがあります。

○感染症に罹患した場合の出席停止の取扱い

医師による診断の結果、感染症（インフルエンザ等）に罹患している場合、学校保健安全法第19条に規定する出席停止となります。出席停止に該当する学生は、所属研究室の長に必要な情報（学籍番号、氏名、メールアドレス等）を連絡してください。

【参考：出席停止期間（一例、比較的症頻度が高いと思われるもののみ）】

対象疾病	出席停止の期間の基準（※）
インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで
百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
麻疹	解熱した後3日を経過するまで
流行性耳下腺炎	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
風疹	発疹が消失するまで

※上記の出席停止の期間は、学校保健安全法関係法令の定めによる基準であり、通学の再開にあたっては、個別に医師に相談してください。

出席停止の場合は、授業責任教員により、該当学生に対して原則として当該授業に相当する学修が課されます。

また、感染の拡大を防止するために本学が休業する場合は、授業責任教員により、該当学生に対して原則として補講が行われます。ただし、授業責任教員の判断で該当学生に対して当該授業に相当する学修を課すことをもって補講に替えることがあります。

○公欠の対象範囲について

以下に該当する場合で授業を欠席するときは、授業責任教員の判断で公欠として取扱うことができるものとします。

- 1) 2親等以内の親族の死亡に伴い必要と認められる行事のために通学できない場合
- 2) 裁判員制度に基づき裁判所に出頭する場合その他証人、参考人等として裁判所その他官公署へ出頭するために通学できない場合
- 3) 骨髄移植のために骨髄液等の提供を行うために必要と認められる検査等のために通学できない場合

公欠の取扱いを希望する学生は、授業責任教員に相談してください。

公欠として取扱うと判断された場合は、授業責任教員から当該授業に相当する学修が課されます。

○公欠以外の理由での欠席の取扱いについて

公欠に該当しない理由で欠席を希望する学生は、欠席の理由を示したうえで授業責任教員に相談してください。

成績評価に当たって授業責任教員が何らかの考慮を行うと判断した場合は、授業責任教員により、該当学生に対して当該授業に相当する学修が課されます。

4-2. 履修規程

次頁を参照してください。

奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科履修規程

平成30年3月26日

規程第 1 号

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）第34条の規定に基づき、先端科学技術研究科における学生の履修に関し必要な事項を定める。

(指導教員)

第2条 授業科目の履修指導及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）を行うため、学生1人ごとに研究室等が異なる2人以上の指導教員を定める。

2 指導教員のうち、1人を主指導教員とする。

3 学修上又は研究指導上必要がある場合は、指導教員を変更することができる。

(研究指導)

第3条 研究指導の内容は、学生1人ごとに定めるものとする。

(授業科目の区分等)

第4条 博士前期課程における授業科目の区分及び修了のために必要となる修得単位数は、別表第1のとおりとする。

2 博士後期課程における授業科目の区分及び修了のために必要となる修得単位数は、別表第2のとおりとする。

3 博士前期課程及び博士後期課程における授業科目、単位数及び履修方法は、別に定める。

(履修手続き)

第5条 学生は、主指導教員の指導に基づき、履修する授業科目を選ばなければならない。

2 同じ時間に開講される複数の授業科目を同時に履修することは、原則として認めない。

(履修の認定)

第6条 授業科目履修の認定は、試験又は研究報告により行う。ただし、平常の学修活動の評価をもって試験に代えることがある。

2 試験又は研究報告の成績は、100点を満点とする点数によって評価し、60点以上を合格、60点未満を不合格とする。この場合において、次の各号に掲げる区分に応じて、当該各号に定める評語をもって表すことができる。

- (1) 90点以上 秀
- (2) 80点以上 優
- (3) 70点以上 良
- (4) 60点以上 可
- (5) 60点未満 不可

- 3 前項の点数をもって評価し難い場合は、合格又は不合格をもってこれに代えることができる。
- 4 前2項により合格とされたものには、所定の単位を与える。
- 5 既に単位を修得した授業科目については、再履修することはできない。

(研究指導の認定)

第7条 研究指導の認定は、主指導教員が行い、研究科長に報告するものとする。

(学位論文の題目)

第8条 学生は、学位論文の題目について主指導教員の承認を得て、指定する期日までに申告しなければならない。

(学位論文の提出)

第9条 学生は、学位論文について主指導教員の承認を得て、指定する期日までに提出しなければならない。

- 2 学位論文は、課程修了に必要な単位を修得した者又は修得見込みの者で、かつ、指導教員による必要な研究指導が修了した者でなければ提出することができない。

(授業料未納により除籍された者の単位の不認定)

第10条 学則第53条の2第4号の規定により除籍された者については、授業料未納期間に係る単位は認定しない。

(成績の指標)

第11条 第6条第2項に規定する成績に基づき、一定期間又は累積期間に係る客観的な成績指標を算出し、評価することができる。

(雑則)

第12条 この規程に定めるもののほか、学生の履修に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。

(廃止)

- 2 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科履修規程(平成16年規程第20号)、奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科履修規程(平成16年規程第21号)及び奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科履修規程(平成16年規程第22号)(以下「旧規程」という。)は、廃止する。

(経過措置)

- 3 平成29年度以前に入学した学生(以下「在学生」という。)の履修については、旧規程は、この規程の施行後も、なおその効力を有する。ただし、在学生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

別表第1 (第4条2項関係)

授業科目の区分		必要修得単位数
大区分	小区分	
一般科目群	—	4
先端科学技術科目群	序論科目	3
	基盤科目	1 2
	専門科目	
	P B L 科目	2
研究活動科目群	—	9
合 計		3 0

別表第2 (第4条2項関係)

授業科目の区分	必要修得単位数
研究者の素養を養う科目群	3
自立的な研究能力を養う科目群	7
合 計	1 0

奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科履修細則

平成30年3月27日

細則第 1 号

(趣旨)

第1条 この細則は、奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科履修規程（平成30年規程第1号。以下「履修規程」という。）第4条第3項の規定に基づき、授業科目、単位数及び履修方法に関し必要な事項を定める。

(授業科目等)

第2条 博士前期課程における授業科目、単位数及び履修方法は、別表第1のとおりとする。

2 博士後期課程における授業科目、単位数及び履修方法は、別表第2のとおりとする。

附 則

(施行期日)

1 この細則は、平成30年4月1日から施行する。

別表第1 (第2条第1項関係)

先端科学技術研究科教育課程表

(1) 授業科目名等		(博士前期課程)											
大区分	小区分	授業科目名	授業番号	単位数	修了要件単位数	履修区分						備考	
						教育プログラム							
						情報理工学	情報生命科学	バイオサイエンス	バイオナノ理工学	物質理工学	知能社会創成科学		データサイエンス
一般科目群	-	技術と倫理	1001	1		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	選択必修6科目から2科目を選択 留学生優先科目 留学生対象科目 同上
		科学哲学	1002	1		○	○	○	○	○	○	○	
		科学コミュニケーション	1003	1		○	○	○	○	○	○	○	
		知的財産権	1004	1		○	○	○	○	○	○	○	
		グローバルアントレプレナーⅠ	1005	1		○	○	○	○	○	○	○	
		グローバルアントレプレナーⅡ	1006	1		○	○	○	○	○	○	○	
		グローバルアントレプレナーⅢ	1007	1		○	○	○	○	○	○	○	
		グローバルアントレプレナーⅣ	1008	1		○	○	○	○	○	○	○	
		グローバルアントレプレナーⅤ	1009	1		○	○	○	○	○	○	○	
		プロフェッショナルコミュニケーションⅠ	1010	1	4	□	□	□	□	□	□	□	
		プロフェッショナルコミュニケーションⅡ	1011	1		□	□	□	□	□	□	□	
		アカデミックディスカッション	1012	1		□	□	□	□	□	□	□	
		リサーチプレゼンテーション	1013	1		□	□	□	□	□	□	□	
		リサーチライティング	1014	1		□	□	□	□	□	□	□	
		アドバンスドリサーチライティング	1015	1		□	□	□	□	□	□	□	
		日本文化	1016	2		○	○	○	○	○	○	○	
		日本語初級Ⅰ	1017	2		△	△	△	△	△	△	△	
		日本語初級Ⅱ	1018	2		△	△	△	△	△	△	△	
序論科目	-	情報理工学序論	2001	1		○	○	○	○	○	○		
		情報生命科学序論	2002	1		○	○	○	○	○	○		
		バイオサイエンス序論	2003	1		○	○	○	○	○	○		
		バイオナノ理工学序論	2004	1	3	○	○	○	○	○	○		
		物質理工学序論	2005	1		○	○	○	○	○	○		
		知能社会創成科学序論	2006	1		○	○	○	○	○	○		
		データサイエンス序論	2007	1		○	○	○	○	○	○		
先端科学技術科目群	基盤科目	形式言語理論	3001	1		□C	△	△	△	△	○	○	留学生対象科目
		プログラミング演習	3002	1		□C	○	△	△	△	○	○	
		信号処理論	3003	1		○	○	△	△	△	○	○	
		応用解析学	3004	1		○	○	△	△	△	○	○	
		データ工学基礎	3005	1		○	△	△	△	△	○	□C	
		機械学習概論	3006	1		○	△	△	△	△	○	□C	
		光学	3007	1		○	○	△	△	△	□C	△	
		高性能計算基盤	3008	1		□C	△	△	△	△	□C	○	
		ソフトウェア設計論	3009	1		□C	△	△	△	△	○	△	
		人工知能	3010	1		□C	△	△	△	△	△	○	
		細胞生物学	3011	1		△	○	○	○	△	△	△	
		分子生物学	3012	1		△	○	○	○	△	△	△	
		細胞膜と物質輸送	3013	1		△	○	○	○	△	△	△	
		細胞の情報伝達	3014	1		△	○	○	○	△	△	△	
		微生物科学	3015	1		△	○	□C	○	△	△	△	
		植物科学	3016	1		△	○	□C	○	△	△	△	
		バイオメディカルサイエンス	3017	1		△	○	□C	○	△	△	△	
		細胞骨格と細胞周期	3018	1		△	○	□C	○	△	△	△	
		遺伝学と幹細胞	3019	1		△	○	□C	○	△	△	△	
		遺伝子クローニングとDNA解析	3020	1		△	○	○	○	△	△	△	
		物質科学解析	3021	1		△	△	△	○	○	○	△	
		量子力学	3022	1		△	△	△	○	○	□C	○	
		物質物理学	3023	1		△	△	△	○	○	○	○	
物質化学	3024	1		△	△	△	○	○	□C	○			
物理化学	3025	1		△	△	△	○	○	○	○			
現代固体物理学	3026	1		△	△	△	○	□C	組合せ科目	○			
現代半導体物性	3027	1		△	△	△	○	□C	組合せ科目	○			
有機反応化学	3028	1		△	△	△	○	○	○	○			
反応解析化学	3029	1		△	△	△	□C	○	○	○			
生体材料化学	3030	1		△	△	△	□C	○	○	○			
専門科目	-	分散コンピューティング論	4001	1		○	△	△	△	△	○	△	
		アルゴリズム設計論	4002	1		○	△	△	△	△	○	△	
		ユビキタスシステム	4003	1		○	△	△	△	△	□C	△	
		モバイルコンピューティング論	4004	1		○	△	△	△	△	○	△	
		仮想化システム基盤	4005	1		○	△	△	△	△	○	△	
		ソフトウェア工学	4006	1		○	△	△	△	△	○	△	
		インターネット工学	4007	1		○	△	△	△	△	○	△	
		コンピュータ・ネットワーク	4008	1		○	△	△	△	△	○	△	
		環境知能	4009	1		○	△	△	△	△	○	△	
		自然言語処理	4010	1		○	△	△	△	△	△	△	
		バーチャルリアリティ	4011	1		○	△	△	△	△	○	△	
		コンピュータビジョン	4012	1		○	△	△	△	△	○	△	
		コンピュータグラフィックス	4013	1		○	△	△	△	△	○	△	
		メディア情報処理	4014	1		○	△	△	△	△	○	△	
		無線通信システム	4015	1		○	○	△	△	△	○	△	
		信号検出理論	4016	1		○	○	△	△	△	○	○	



履修規程

履修規程

大区分	小区分	授業科目名	授業番号	単位数	修了要件単位数	履修区分						備考		
						教育プログラム								
						情報理工学	情報生命科学	バイオサイエンス	バイオナノ理工学	物質理工学	知能社会創成科学		データサイエンス	
先端科学技術科目群	専門科目	ヒューマンコンピュータインタラクション	4017	1	基盤科目及び専門科目から12	○	△	△	△	△	□C	○		
		パターン認識	4018	1		○	○	△	△	△	△	○	○	
		社会システム理論	4019	1		○	△	△	△	△	△	○	△	
		機械学習と知能制御	4020	1		○	○	△	△	△	△	□C	○	
		モデルベース制御	4021	1		○	○	△	△	△	△	○	○	
		人間ロボット情報学	4022	1		○	○	△	△	△	△	○	△	
		数理モデル論	4023	1		○	○	△	△	△	△	△	○	
		システムズバイオロジ	4024	1		○	□C	○	△	△	△	○	○	
		データマイニング	4025	1		○	○	△	△	△	△	○	□C	
		生体医用画像解析	4026	1		○	□C	△	△	△	△	○	△	
		生体医用メディア情報学	4027	1		○	□C	△	△	△	△	○	△	
		データサイエンス論	4028	2		○	○	○	△	△	△	△	◎	○
		情報科学特別講義A	4029	1		○	○	○	△	△	△	○	○	
		情報科学特別講義B	4030	1		○	○	○	△	△	△	○	○	
		情報科学特別講義C	4031	1		○	○	○	△	△	△	○	○	
		情報科学特別講義D	4032	1		○	○	○	△	△	△	○	○	
		音情報処理	4033	1		○	○	△	△	△	△	△	○	
		系列データモデリング	4034	1		○	○	△	△	△	△	△	○	
		ロボティクス	4035	1		○	○	○	△	△	△	□C	△	
		現代情報セキュリティ論	4036	1		○	○	○	△	△	△	△	○	
		情報理論	4037	1		○	○	○	△	△	△	○	○	
		ハードウェアセキュリティ	4038	1		○	○	△	△	△	△	○	△	
		符号理論	4039	1		○	○	○	△	△	△	○	○	
		確率過程論	4040	1		○	○	△	△	△	△	○	△	
		計算神経科学	4041	1		○	○	○	△	△	△	△	○	
		情報セキュリティ運用リテラシーⅠ	4042	1		○	○	○	△	△	△	○	○	
		情報セキュリティ運用リテラシーⅡ	4043	1		○	○	○	△	△	△	○	○	
		情報セキュリティ演習A	4044	1		○	○	○	△	△	△	○	○	
		情報セキュリティ演習B	4045	1		○	○	○	△	△	△	○	○	
		情報セキュリティ演習C	4046	1		○	○	○	△	△	△	○	○	
		最適化数学	4047	1		○	○	○	△	△	△	○	○	
		データ解析	4048	1		○	○	○	△	△	△	○	○	
		応用生命科学・微生物科学	4049	1		△	△	□C	○	○	△	△	△	
		応用生命科学・植物科学	4050	1		△	△	□C	うち、1科目	○	○	△	△	
		応用生命科学・バイオメディカル	4051	1		△	△	□C	うち、1科目	○	○	△	△	
		バイオサイエンスの産業展開Ⅰ	4052	1		△	△	□C	○	○	△	△	△	
		バイオサイエンスの産業展開Ⅱ	4053	1		△	△	○	○	○	△	△	△	
		発生生物学特別講義	4054	1		△	△	○	○	○	△	△	△	
		バイオサイエンスの先端技法	4055	1		△	△	○	□C	○	△	△	△	
		植物発生生理学	4056	1		△	△	○	○	○	△	△	△	
		動物発生理学	4057	1		△	△	○	○	○	△	△	△	
		薬理・病態生化学	4058	1		△	△	○	○	○	△	△	△	
		免疫学	4059	1		△	△	○	○	○	△	△	△	
		ゲノム・がん生物学	4060	1		△	△	○	○	○	△	△	△	
		生物間相互作用学	4061	1		△	△	○	○	○	△	△	△	
		国際バイオ特論A	4062	1		△	△	△	○	△	△	△	△	
		国際バイオ特論B	4063	1		△	△	△	○	△	△	△	△	
		バイオサイエンスにおけるビッグデータ	4064	1		△	△	△	○	△	△	△	□C	
バイオサイエンスにおける先進トピックス	4065	1	△	△	○	○	○	△	△	△				
電子原子物性特論	4066	1	△	△	△	△	○	○	○	○				
フォトニクス特論	4067	1	△	△	△	△	○	○	○	○				
光・情報素子工学特論	4068	1	△	△	△	△	○	○	○	○				
量子情報・エネルギー材料特論	4069	1	△	△	△	△	○	○	○	○				
生体分子科学特論	4070	1	△	△	△	△	□C	○	△	○				
精密有機・高分子合成特論	4071	1	△	△	△	△	○	○	△	○				
分子フォトサイエンス特論	4072	1	△	△	△	△	○	○	△	○				
高分子化学特論	4073	1	△	△	△	△	○	○	△	○				
マテリアルインフォマティクス特論	4074	1	△	△	△	△	○	○	□C	□C				
物質科学技術特論	4075	1	△	△	△	△	○	○	○	○				
物質科学特論A	4076	1	△	△	△	△	○	○	○	○				
物質科学特論B	4077	1	△	△	△	△	○	○	○	○				
物質科学特論C	4078	1	△	△	△	△	○	○	○	○				
物質科学特論D	4079	1	△	△	△	△	○	○	○	○				
半導体材料	4080	1	△	△	△	△	○	○	□C	○				
光電子工学	4081	1	△	△	△	△	○	○	□C	○				
有機・高分子化学	4082	1	△	△	△	△	○	○	□C	○				
プロジェクト実習	4083	1	○	○	○	○	○	○	○	○				

留学生対象科目

大区分	小区分	授業科目名	授業番号	単位数	修了要件単位数	履修区分						備考	
						教育プログラム							
						情報理工学	情報生命科学	バイオサイエンス	バイオナノ理工学	物質理工学	知能社会創成科学		データサイエンス
先端科学技術科目群	PBL科目	情報理工学PBL I	5001	1	2	◎							選択した教育プログラムにかかるPBL科目のみ履修可能
		情報理工学PBL II	5002	1		◎							
		情報生命科学PBL I	5003	1			◎						
		情報生命科学PBL II	5004	1			◎						
		バイオサイエンスPBL I	5005	1				◎					
		バイオサイエンスPBL II	5006	1				◎					
		バイオナノ理工学PBL I	5007	1					◎				
		バイオナノ理工学PBL II	5008	1					◎				
		物質理工学PBL I	5009	1						◎			
		物質理工学PBL II	5010	1						◎			
		知能社会創成科学PBL I	5011	1							◎		
		知能社会創成科学PBL II	5012	1							◎		
		データサイエンスPBL I	5013	1								◎	
		データサイエンスPBL II	5014	1								◎	
研究活動科目群	-	ゼミナールⅠ	6001	1	9	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
		ゼミナールⅡ	6002	1		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		コロキウムA	6003	1		◎	□	□	□	□	□	□	
		コロキウムB	6004	1		◎	□	□	□	□	□	□	
		研究実験Ⅰ	6005	2			□	□	□	□	□	□	
		研究実験Ⅱ	6006	2			□	□	□	□	□	□	
		研究論文	6007	5			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
修了要件単位数				30									

履修区分欄の◎は必修科目を、□は選択必修科目を、○は選択科目を、△は自由科目（修了に必要な単位としては不算入）を示す。また、Cはプログラム毎のコア科目を示す。

(2) 履修方法

- ア 授業科目のうち、一般科目群から4単位以上、序論科目から3単位以上、基盤科目及び専門科目から12単位以上、PBL科目から2単位以上及び研究活動科目群から9単位以上の計30単位以上履修すること。
- イ 基盤科目のうち、出身学部・学科のカリキュラムから既習と判断できる科目は、当該学生が修了に必要な単位としては算入しない場合がある。
- ウ 上記アの基盤科目及び専門科目から12単位以上のなかには、下記の教育プログラム毎の履修方法によるコア科目の履修単位が含まれる必要があるため留意すること。
 - ・ 情報理工学プログラムでは、コア科目である「形式言語理論」、「プログラミング演習」、「高性能計算基盤」、「ソフトウェア設計論」及び「人工知能」から2科目以上を履修すること。
 - ・ 情報生命科学プログラムでは、コア科目である「システムズバイオロジー」、「生体医用画像解析」、「生体医用メディア情報学」、「『応用生命科学・微生物科学、応用生命科学・植物科学、応用生命科学・バイオメディカル』のうちいずれか1科目」及び「バイオサイエンス産業展開Ⅰ」から3科目以上を履修すること。
 - ・ バイオサイエンスプログラムでは、コア科目である「『微生物科学、植物科学、バイオメディカルサイエンス』のうちいずれか1科目」、「細胞骨格と細胞周期」、「遺伝学と幹細胞」及び「バイオサイエンスの先端技法」から3科目以上を履修すること。
 - ・ バイオナノ理工学プログラムでは、コア科目である「反応解析化学」、「生体材料化学」、「『応用生命科学・微生物科学、応用生命科学・植物科学、応用生命科学・バイオメディカル』のうちいずれか1科目」、「バイオサイエンスの産業展開Ⅰ」及び「生体分子科学特論」から3科目以上を履修すること。
 - ・ 物質理工学プログラムでは、コア科目である「『現代固体物理学、現代半導体物性』の組合せ」又は「『有機反応化学、反応解析化学』の組合せ」のうち、いずれかの組合せを選択履修すること。加えて、同じくコア科目である「生体材料化学」、「半導体材料」、「光電子工学」及び「有機・高分子化学」から2科目以上を履修すること。
 - ・ 知能社会創成科学プログラムでは、コア科目である「光学」、「高性能計算基盤」、「量子力学」、「物質化学」、「ユビキタスシステム」、「ヒューマンコンピュータインタラクション」、「機械学習と知能制御」、「ロボティクス」及び「マテリアルインフォマティクス特論」から3科目以上を履修すること。
 - ・ データサイエンスプログラムでは、コア科目であり必修科目の「データサイエンス論」を履修すること。加えて、同じくコア科目である「データ工学基礎」、「機械学習概論」及び「データマイニング」から1科目以上を履修すること。さらに、同じくコア科目である「バイオサイエンスにおけるビッグデータ」及び「マテリアルインフォマティクス特論」から1科目以上を履修すること。

(3) 授業番号の見方

授業番号は、授業科目の区分等に基づく4桁の数字で構成される。以下を参照の上、授業科目の履修を決める際の目安にすること。

- 1桁目：1XXX = 一般科目群（博士前期課程）
- 2XXX = 序論科目（博士前期課程）
- 3XXX = 基盤科目（博士前期課程）
- 4XXX = 専門科目（博士前期課程）
- 5XXX = PBL科目（博士前期課程）
- 6XXX = 研究活動科目群（博士前期課程）
- 7XXX = 研究者の素養を養う科目群（博士後期課程）
- 8XXX = 自立的な研究能力を養う科目群（博士後期課程）

2～4桁目：1桁目の区分毎の授業科目の識別番号を示す。
XXX = 001～999の番号

別表第2 (第2条第2項関係)

先端科学技術研究科教育課程表

(1) 授業科目名等

(博士後期課程)

科目区分	授業科目名	授業番号	単位数	修了要件 単位数	履修区分	備考
研究者の素養を養う科目群	英語上級A	7001	1	3	○	学内英語講義
	英語上級B	7002	1		○	
	英語上級C	7003	1		○	
	英語上級D	7004	1		○	
	海外英語研修Ⅰ	7005	2		○	海外での英語研修 (概ね3週間以上)
	海外英語研修Ⅱ	7006	2		○	
	海外英語研修Ⅲ	7007	2		○	
	国際研修Ⅰ	7008	1		○	国際会議での発表
	国際研修Ⅱ	7009	1		○	
	国際研修Ⅲ	7010	1		○	
	研究留学Ⅰ	7011	2		○	※履修方法イ ・外国の研究所等でのインターンシップ (概ね3週間以上) ・外国の大学等での研修(概ね3週間以上) ・研究留学
	研究留学Ⅱ	7012	2		○	
	研究留学Ⅲ	7013	2		○	
	国際ワークショップ企画演習	7014	1		○	国際ワークショップの提案等
	プロジェクトマネジメントⅠ	7015	1		○	研究プロジェクトの運営等
	プロジェクトマネジメントⅡ	7016	1		○	
	プロジェクトマネジメントⅢ	7017	1		○	
	情報理工学特別講義	7018	1		○	特別講義 (博士前期課程における 7つの教育プログラム に対応した特別講義)
	情報生命科学特別講義	7019	1		○	
	バイオサイエンス特別講義	7020	1		○	
	バイオナノ理工学特別講義	7021	1		○	
	物質理工学特別講義	7022	1		○	
	知能社会創成科学特別講義	7023	1		○	
	データサイエンス特別講義	7024	1		○	
	イノベーションマネジメントA	7025	1		○	
	イノベーションマネジメントB	7026	1		○	
	キャリアマネジメントA	7027	1		△	
	キャリアマネジメントB	7028	1		△	
自立的な研究能力を養う科目群	先進ゼミナール	8001	1		◎	研究進捗ヒアリング (中間発表会)
	博士論文研究Ⅰ	8002	3		○	(第1半期)
	博士論文研究Ⅱ	8003	3		○	(第2半期)
	博士論文研究Ⅲ	8004	3	7	○	(第3半期)
	博士論文研究Ⅳ	8005	3		○	(第4半期)
	博士論文研究Ⅴ	8006	3		○	(第5半期)
	博士論文研究Ⅵ	8007	3		○	(第6半期)
修了要件単位数				10		

履修区分欄の◎は必修科目を、□は選択必修科目を、○は選択科目を、△は自由科目(修了の要件となる単位としては不算入)を示す。

※ ダブル・ディグリー・プログラムにおける本学の授業科目名等についても上記のとおりとする。

(2) 履修方法

ア 授業科目のうち、科目区分の「研究者の素養を養う科目群」から3単位以上及び「自立的な研究能力を養う科目群」から7単位以上（修得単位として「先進ゼミナール」1単位を含むこと。）の計10単位以上を履修すること。

イ 「研究留学I」及び「イノベーションマネジメントA」の2科目については、積極的な履修に努めること。

(3) 授業番号の見方

授業番号は、授業科目の水準・難易度等に基づく4桁の数字で構成される。
以下を参照の上、授業科目の履修を決める際の目安にすること。

- 1桁目：1XXX = 一般科目群（博士前期課程）
- 2XXX = 序論科目（博士前期課程）
- 3XXX = 基盤科目（博士前期課程）
- 4XXX = 専門科目（博士前期課程）
- 5XXX = PBL科目群（博士前期課程）
- 6XXX = 研究活動科目群（博士前期課程）
- 7XXX = 研究者の素養を養う科目群（博士後期課程）
- 8XXX = 自立的な研究能力を養う科目群（博士後期課程）

- 2～4桁目：1桁目の区分毎の授業科目の識別番号を示す。
- XXX = 001～999の番号

4-3. 研究倫理教育講習会の受講について

本学では、入学時に研究者として必要とされる最低限の研究倫理習得のため、新入生を対象とした本講習会を実施しています。(日英同時開講)

平成30年度研究倫理教育講習会の実施日程は、以下のとおりです。

春学期入学者	平成30年	4月	6日(金)	5時限目	(16:50~18:20)
秋学期入学者	平成30年	10月	3日(水)	5時限目	(16:50~18:20)

新入生は、この講習会を受講しなかった場合、以後の修学上、不利益が発生することがありますので、必ず受講してください。

4-4. 修了要件

以下に示す要件を満たしていることが修了に必要となります。修了要件を満たしているか否かの確認は、指導教員と相談の上、各自責任を持って行ってください。

<博士前期課程>

博士前期課程に2年以上在学し、「一般科目群」から4単位以上、「先端科学技術科目群」の序論科目から3単位以上、基盤科目及び教育プログラム毎に指定する専門科目から合わせて12単位以上(※)、教育プログラム毎に開設するPBL科目から2単位以上、「研究活動科目群」から9単位以上、合計30単位以上を修得し(「研究倫理教育講習会」を受講し、合格することを含む)、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

(※)の履修においては、以下のとおり、教育プログラム毎に、その特徴的な専門知識を学ぶのに必要なコアとなる科目を、必修又は選択必修科目として指定する。

なお、個々の学生が選択した教育プログラム以外の他の教育プログラムにおいて指定する専門科目についても、自由科目として履修できる。

[教育プログラム毎のコア科目]

<p>【情報理工学プログラム】</p> <p>下記の5科目から選択必修2科目以上</p> <p>①形式言語理論(基盤科目)</p> <p>②プログラミング演習(基盤科目)</p> <p>③高性能計算基盤(基盤科目)</p> <p>④ソフトウェア設計論(基盤科目)</p> <p>⑤人工知能(基盤科目)</p>
<p>【情報生命科学プログラム】</p> <p>下記の7科目から選択必修3科目以上</p> <p>ただし、④⑤⑥はいずれか1科目の選択となる</p> <p>①システムズバイオロジ(専門科目)</p>

- ②生体医用画像解析（専門科目）
- ③生体医用メディア情報学（専門科目）
- ④応用生命科学・微生物科学（専門科目）
- ⑤応用生命科学・植物科学（専門科目）
- ⑥応用生命科学・バイオメディカル（専門科目）
- ⑦バイオサイエンスの産業展開 I（専門科目）

【バイオサイエンスプログラム】

- 下記の6科目から選択必修3科目以上
ただし、①②③はいずれか1科目の選択となる
- ①微生物科学（基盤科目）
 - ②植物科学（基盤科目）
 - ③バイオメディカルサイエンス（基盤科目）
 - ④細胞骨格と細胞周期（基盤科目）
 - ⑤遺伝学と幹細胞（基盤科目）
 - ⑥バイオサイエンスの先端技法（専門科目）

【バイオナノ理工学プログラム】

- 下記の7科目から選択必修3科目以上
ただし、③④⑤はいずれか1科目の選択となる
- ①反応解析化学（基盤科目）
 - ②生体材料化学（基盤科目）
 - ③応用生命科学・微生物科学（専門科目）
 - ④応用生命科学・植物科学（専門科目）
 - ⑤応用生命科学・バイオメディカル（専門科目）
 - ⑥バイオサイエンスの産業展開 I（専門科目）
 - ⑦生体分子科学特論（専門科目）

【物質理工学プログラム】

- 下記の4科目から「①と②」または「③と④」の組み合わせ2科目を必修
- ①現代固体物理学（基盤科目）
 - ②現代半導体物性（基盤科目）
 - ③有機反応化学（基盤科目）
 - ④反応解析化学（基盤科目）
- さらに、下記の4科目から選択必修2科目以上
- ⑤生体材料化学（基盤科目）
 - ⑥半導体材料（専門科目）
 - ⑦光電子工学（専門科目）
 - ⑧有機・高分子化学（専門科目）

【知能社会創成科学プログラム】

下記の9科目から選択必修3科目以上

- ①光学（基盤科目）
- ②高性能計算基盤（基盤科目）
- ③量子力学（基盤科目）
- ④物質化学（基盤科目）
- ⑤ユビキタスシステム（専門科目）
- ⑥ヒューマンコンピュータインタラクション（専門科目）
- ⑦機械学習と知能制御（専門科目）
- ⑧ロボティクス（専門科目）
- ⑨マテリアルインフォマティクス特論（専門科目）

（正）

【データサイエンスプログラム】

下記の科目を必修とする

データサイエンス論（専門科目）

さらに、下記の3科目から選択必修1科目以上

データ工学基礎（基盤科目）

機械学習概論（基盤科目）

データマイニング（専門科目）

さらに、下記2科目から選択必修1科目以上

バイオサイエンスにおけるビッグデータ（専門科目）

マテリアルインフォマティクス特論（専門科目）

＜博士後期課程＞

博士後期課程に3年以上在学し、“研究者の素養を養う科目群”から3単位以上、“自立的な研究能力を養う科目群”から7単位以上、合計10単位以上を修得し（「研究倫理教育講習会」を受講し、合格することを含む）、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

4-5. ダブルディグリープログラム

多くの産業や社会活動においてグローバル化が急速に進みつつあり、国や地域の壁を越えて全人类的な重要課題に対して人材や技術シーズを結集する国際共同研究を先導する研究リーダーが求められています。このような「国際共同研究能力」や「国際協働能力」の強化を重視した体系的な人材育成を目的として、ダブルディグリープログラムを実施します。

ダブルディグリープログラムは、連携先の大学に同時に学籍を置き、両大学の教員から研究指導を受け、それぞれの大学から学位の認定を受ける制度です。現在、博士後期課程において、5つの大学とプログラムを実施しています。いずれの連携先大学においても、

学位の認定を受けるためには、最低1年間それぞれの大学に滞在し学習することが必要です。派遣・受入学生数は、いずれも若干名です。入学時期は、原則として、2018年度秋学期、2019年度春学期とします。

本ダブルディグリープログラムの実施要領（出願資格、選考方法、学位論文審査など）は、本学のホームページで確認できます。

<<大学ホームページ → 在学生の方へ（学内専用） → 学務関係 →
ダブルディグリープログラム>>

また、本ダブルディグリープログラムの募集要項については、本学の英語ホームページの下記サイトを参照してください。

http://www.naist.jp/en/international_students/prospective_students/admission_information/double_degree.html

○ユニテック工科大学（ニュージーランド）

以前から、情報科学分野での共同研究を実施しており、2012年3月に学術交流協定締結、2015年5月からダブルディグリープログラムを開始しました。これまでにユニテック工科大学から2名の学生を受け入れています。

○ウルム大学（ドイツ）

以前から、情報科学分野での共同研究を実施しており、2014年11月に学術交流協定締結、2018年4月からダブルディグリープログラムを開始しました。

○マラヤ大学（マレーシア）

2008年から本学バイオサイエンス研究科（当時）はマラヤ大学生物工学農学研究センター（Centre for Research in Biotechnology for Agriculture (CEBAR)）との教育研究交流を開始し、学生・教員の相互派遣や合同シンポジウムの開催などを通じて、互いの研究領域・得意分野の理解と教育理念・教育方法の相互啓発を深めています。また、2009年3月に本学とマラヤ大学との学術交流協定が締結されてからは、毎年、マラヤ大学卒業生を留学生特別推薦選抜制度により受け入れています。

このような両校の国際交流の成果を発展させるために、本学とCEBARとの協同で国際的に活躍する博士人材を育成することを目的としたダブルディグリープログラムの設置が双方から提案され、このプログラムに関する覚書が2014年に締結され、これまでにマラヤ大学から1名の学生を受け入れています。

○ポールサバチエ大学（フランス）

2007年に学術交流協定を締結して以来、短期研修留学プログラムを通じて、これまでに多数の研究者及び留学生の交流を行ってきました。2014年10月、ポールサバチエ大学のフランス国立科学研究センター（CEMES）と提携し、本学の海外研究拠点整備プロジェクトの第1号となる国際共同研究室を設置しました。本ダブルディグリープログラムでは、これまでにポールサバチエ大学から2名の学生を受け入れています。

○国立交通大学（台湾）

2010年5月の学術交流協定締結以降、共同研究やシンポジウムを毎年実施して活発に交流を行っており、2015年11月、ダブルディグリープログラム協定の調印に至りました。

第5章 シラバス等

■第5章 シラバス等


5-1. 電子シラバスについて

シラバスは、電子シラバスシステムから確認できます。

＜＜大学ホームページ → 在学生の方へ（学内専用） → 学務関係 → 電子シラバスシステム＞＞


* 電子シラバスシステムについて


電子シラバスシステムでのシラバスの閲覧方法は、上記のホームページに掲載している「電子シラバスシステムマニュアル」を参照してください。システムの使い方をよく理解するとともに、随時、最新の情報を確認してください。



奈良先端大学院大学
シラバスシステム

- ▶ 授業連絡情報
- ▶ 講義科目一覧
- ▶ 時間割
- ▶ 教室使用状況 (PC専用)

Language : 



2018年度 講義科目一覧

年度	2018 ▼	課程	前期課程 ▼
キーワード	<input type="text"/>		
<input type="button" value="検索"/>			

授業科目名	授業番号	開講時期	単位数	履修登録・変更期間	修了単位プログラム								クラス分け	備考
					IS	CB	BS	BN	MS	CP	DS			
一般科目群														
一般科目														
技術と倫理	1001	Ⅱ	1	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
科学哲学	1002	Ⅱ	1	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
科学コミュニケーション	1003	Ⅱ	1	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
知的財産権	1004	Ⅱ	1	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
グローバルアントレプレナーⅠ	1005	集中講義	1	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
グローバルアントレプレナーⅡ	1006	集中講義	1	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	



奈良先端大学院大学
シラバスシステム

Language : 



科学哲学 (1002)

■ 講義科目基本情報

科目区分	一般科目	教職科目	-
単位数	1	選択・必修・自由	選択
授業形態	講義/必修	主な使用言語	日本語
開講時期	Ⅱ	講義室	-
履修登録期間	-	履修取消期限	2018/09/18

■ 教育プログラム別の履修区分

プログラム名	IS	CB	BS	BN	MS	CP	DS
履修区分	○	○	○	○	○	○	○
コア科目	-	-	-	-	-	-	-

■ 講義科目概要

担当教員筆頭者名	-
担当教員	-
教育目的/授業目標	科学技術の性質・方法・変化、さらにはそれを取り巻く社会的問題について考察し、科学技術についてのより深い理解とより広い視野を涵養する。
指導方針	

5-2. 教育カルテについて

教育カルテは、教育カルテシステムから確認できます。

<<大学ホームページ → 在学生の方へ（学内専用） → 学務関係 → 教育カルテシステム>>

* 教育カルテシステムについて

教育カルテシステムは、博士前期課程では2年次に行う中間報告での主副を含む複数の指導教員等による評価（マイルストーン）と指摘事項及び論文審査の評価（キャップストーン）をネットワーク上で行うシステムで、教員による研究指導を支援するとともに、学生は自らの研究課題、研究計画等を積極的に教員に提示できます。

教育カルテの閲覧方法は、上記のホームページに掲載している「教育カルテシステムマニュアル」を参照してください。システムの使い方をよく理解するとともに、随時、最新の情報を確認してください。

教育カルテについて

教育カルテシステム ホーム マニュアル 学生：学生001 ログアウト

学生情報

学籍番号	10001
学生氏名	学生001
学年	M2
学籍状況	在学
入学年度	平成30年度（春）
専攻	先端科学技術
コース	テストコース
所属研究室	神経機能科学
研究室責任者	塩坂 典夫 教授
教育プログラム	情報生命科学プログラム

教育カルテ一覧

カルテ名				
平成30年度 修士論文中間報告 --作成中--				
カルテ詳細	更新日	締切日	更新	PDF
平成30年度 修士論文中間報告書	2018/09/27 00:00	2018/10/30	作成中	編集

GPA履歴

該当するデータがありません。

TOEIC点数履歴

該当するデータがありません。

帳票出力

- 予備審査結果報告書
- 論文審査結果
- 学位論文審査
- 題図書
- 論文目録
- 同意承諾書
- 論文審査委員候補者名簿

教育カルテシステム マニュアル 学生：学生001 閉じる

学生情報

学籍番号	10001
学生氏名	学生001
学年	M2
学籍状況	在学
入学年度	平成30年度（春）
専攻	先端科学技術
コース	テストコース
所属研究室	神経機能科学
研究室責任者	塩坂 典夫 教授
教育プログラム	情報生命科学プログラム

平成30年度 修士論文中間報告書

研究課題

経過と今後の計画

学籍番号	10002	カルテ名			
学生氏名	学生002	平成30年度 博士論文研究計画・進捗状況報告書 -作成中-			
学年	D3	カルテ詳細			
学籍状況	在学	更新日	締切日	ｽｰﾀﾞ	閲覧
入学年度	平成30年度(春)	2018/02/27 00:00	2018/12/31	作成中	編集
専攻	先端科学技術	平成30年度 研究実験・課題研究中間報告書 -完了-			
コース	テストコース	平成30年度 研究実験・課題研究中間報告書 -完了-			
所属研究室	神経機能科学	平成28年度 研究実験・課題研究中間報告書 -完了-			
研究室責任者	塩坂 良夫 教授	カルテ詳細			
教育プログラム	バイオサイエンスプログラム	更新日	締切日	ｽｰﾀﾞ	閲覧
		2016/09/27 00:00	2016/10/30	完了	PDF
		2016/09/27 11:02	2016/10/30	完了	PDF
		2016/09/27 11:02	2016/10/30	完了	PDF
		2016/09/27 11:02	2016/10/30	完了	PDF
		2016/09/27 11:02	2016/10/30	完了	PDF

GPA履歴	TOEIC点数履歴	振込出力
該当するデータがありません。	該当するデータがありません。	予備審査結果報告書 論文審査結果

教育カルテについて

教育カルテシステム [マニュアル](#) 学生：学生002 [閉じる](#)

平成28年度 中間報告評価・助意カード

主指導教員	教員001 (教授)
アドバイザー	教員003 (准教授)
学籍番号	10002
学生氏名	学生002
提出日	平成30年3月9日

評価

評価項目	A (卓越: advanced)	B (目標到達: accomplished)	C (発展途上: developing)	D (初級: beginning)
課題設定	研究課題を設定し、その課題が達成された場合の意義も言明して、その研究の背景と目的を明確に整理・分析した上で説明している。	研究課題を設定し、その課題が達成された場合の意義も言明して、その研究の背景と目的を説明している。	研究課題を設定しているが、その研究の背景や目的の説明が明確でない。	研究課題を検討している。
	設定した研究課題に関わる基本知識や関	設定した研究課題に関わる基本知識や関	設定した研究課題に関わる基本知識を理	設定した研究課題に関わる基本知識につ

教育カルテシステム [マニュアル](#) 学生：学生002 [閉じる](#)

学籍情報	平成30年度 博士論文の修正
学籍番号	10002
学生氏名	学生002
学年	D3
学籍状況	在学
入学年度	平成30年度(春)
専攻	先端科学技術
コース	テストコース
所属研究室	神経機能科学
研究室責任者	塩坂 良夫 教授
教育プログラム	バイオサイエンスプログラム

教育情報	論文題目
主指導教員	教員001 (教授)
アドバイザー	教員002 (教授)
	教員003 (准教授)
主査	教員001 (教授)

教育カルテシステム ホーム マニュアル 学生：学生002 ログアウト

学生情報

学籍番号	10002
学生氏名	学生002
学年	D3
学籍状況	在学
入学年度	平成30年度(春)
専攻	先端科学技術
コース	デストコース
所属研究室	神経細胞科学
研究室責任者	塩坂 典夫 教授
教育プログラム	バイオサイエンスプログラム

教員情報

主指導教員	教員001 (教授)
アドバイザー	教員002 (教授)
	教員003 (准教授)
主査	教員001 (教授)

教育カルテ一覧

カルテ名						
平成30年度 博士論文最終審査 -作成中-						
カルテ詳細	更新日	締切日	ステータス	閲覧	編集	PDF
平成30年度 博士論文の審査	2018/02/27 00:00	2018/12/31	作成中		編集	
平成30年度 研究実跡・課題研究中間報告書 -完了-						
カルテ詳細	更新日	締切日	ステータス	閲覧	編集	PDF
平成30年度 研究実跡・課題研究中間報告書	2018/09/27 00:00	2018/10/30	完了	閲覧		PDF
平成30年度 中間報告評価・助言カード (教員001)	2018/09/27 13:11	2018/10/30	完了	閲覧		PDF
平成30年度 中間報告評価・助言カード (教員002)	2018/09/27 13:11	2018/10/30	完了	閲覧		PDF
平成30年度 中間報告評価・助言カード (教員003)	2018/09/27 13:11	2018/10/30	完了	閲覧		PDF
平成30年度 中間報告アドバイザー-研究指導報告書	2018/09/27 13:11	2018/10/30	完了	閲覧		PDF
平成29年度 研究実跡・課題研究中間報告書 -完了-						
カルテ詳細	更新日	締切日	ステータス	閲覧	編集	PDF
平成29年度 研究実跡・課題研究中間報告書	2017/09/27 00:00	2017/10/30	完了	閲覧		PDF
平成29年度 中間報告評価・助言カード (教員001)	2017/09/27					

成績評価について

5-3. 成績評価について

○成績評価終了科目の通知について

成績評価を終了したときには、授業責任教員から当該授業終了後3週間以内に報告される成績をもとに、ホームページや掲示板等によりお知らせします。

履修登録した科目の成績の確認については、附属図書館1階に設置している証明書自動発行機により成績表(交付用)を出力し、学生自らが確認する方法をとっています。

○成績評価の異議申立てについて

通知された成績評価に異議がある場合は、成績が通知された日から1ヶ月以内に「成績評価に対する異議申立書」を教育支援課学務係に提出してください。

(※) 成績評価の異議申立てが可能な範囲は、学生が次の各号に該当すると判断する場合のみとします。

- (1) 誤記入等、明らかに採点の誤りであると思われるもの
- (2) シラバス等により周知している成績評価の方法から、明らかに評価方法等について疑義があると思われるもの

申立てに対する回答は、研究科教務委員会で検討の後、教育支援課学務係を通じて口頭又は文書で伝達します。

なお、異議申立書の様式や異議申立てのフローなどについては、本学のホームページに掲載しています。

<<大学ホームページ → 在学生の方へ(学内専用) → 学務関係 → 成績評価終了科目>>

○グレード・ポイント・アベレージ(GPA)制度

対外的に学内における各学生の相対位置を公正に示すことで成績評価の透明性を高めるとともに、今後の教育の国際化促進を図るため、平成30年度入学者からGPA制度を導入しました。学修の状況及び成果を示す指標としてのGPAを算出することにより、自

身の履修状況をより客観的に把握して履修計画の作成に活用されることを期待します。

<制度概要>

GPA制度とは、欧米の大学で一般的な成績評価方法で、学生一人ひとりの履修科目の成績評価をグレード・ポイント(GP)に置きかえた平均を数値により表すものです。

<算出基準>

以下のとおり、GPは5段階(S、A、B、C、D)評価とします。

評語	GP	評価基準	100点満点での目安
秀(S)	4	到達目標を達成し、極めて優秀な成績を修めている	90点以上
優(A)	3	到達目標を達成し、優秀な成績を修めている	80点以上 90点未満
良(B)	2	到達目標を達成し、良好な成績を修めている	70点以上 80点未満
可(C)	1	到達目標を達成している	60点以上 70点未満
不可(D)	0	到達目標を達成していない	60点未満

(参考)

評語	GP	評価基準	100点満点での目安
認(N)	対象外	本学での授業科目の履修により修得したものとみなす	非該当
合格(P)	対象外	定められた学修水準に達している	非該当
不合格(F)	対象外	定められた学修水準に達していない	非該当

<対象学生>

平成30年度入学の博士前期課程1年次学生から年次進行とします。

<対象科目>

博士前期課程の以下の授業科目区分のうち、修了要件に算入できる授業科目を対象とします。ただし、科目の特性で5段階評価されない授業科目はGPAの計算から除くものとします。

- ◇ 一般科目
- ◇ 基盤科目
- ◇ 専門科目

<GPAの種類と算出方法>

当該年度におけるGPA(年度GPA)及び在学全期間におけるGPA(累積GPA)があります。

年度GPA及び累積GPAを算出する計算式は以下のとおりです。(GPAの算出は、小数点以下第3位の値を四捨五入します。)

- 年度GPA算出の計算式

$$\text{年度GPA} = \frac{\text{当該年度の履修登録科目の単位数} \times \text{当該科目のGP}}{\text{当該年度における総履修登録単位数}}$$

□ 累積GPA算出の計算式

$$\text{累積GPA} = \frac{\text{（在学全期間の履修登録科目の単位数} \times \text{当該科目のGP）の総和}}{\text{在学全期間における総履修登録単位数}}$$

<再履修の取り扱い>

不合格科目を再履修し、合格の評価を得た場合及び再履修の結果再び不合格の評価であった場合の、それぞれ再履修前の不合格評価及び履修登録単位数については、GPAには算入しません（再履修前のデータは除外します）。

<成績証明書上の取り扱い>

年度GPA及び累積GPAをそれぞれ成績証明書に記載します。

5-4. グローバル人材を目指して

本学は平成26年9月に文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」事業に採択されました。本プログラムを通して、カリフォルニア大学デービス校等97の海外学術交流協定校を中心とした世界の学術機関との連携の元、海外留学を推進しています。さらに、海外インターンシップや国際ワークショップへの参加についても推奨しています。

また、博士前期課程では英語論文を読解し、英語で行われる講義・セミナーを理解できる力を身に付けさせ、博士後期課程では英語で研究発表や質疑応答、交渉やトラブルに対処できる英語力を修得させることを目標としており、TOEIC テストも実施しています。

現在、34カ国からの257名の留学生が本学で学んでおり、多様な出身国、文化を背景にした留学生と日本人学生が協同で学べる環境にもあり、多くの国際感覚、実践的なコミュニケーション能力及び専門知識・研究技術を併せ持つグローバル人材の養成を目指しています。

○留学奨学金について

本学の学生の多くは、以下の留学奨学金を活用し海外留学しています。個人で応募できる奨学金もありますが大学のプログラムとして実施しているものが多いため、留学にあたっては、事前に指導教員または国際課にご相談ください。

1. 日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度
http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_a/scholarship.html
2. トビタテ！留学 JAPAN
<http://www.tobitate.mext.go.jp/>
3. その他日本学生支援機構（JASSO）が収集・提供している奨学金サイト
<http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>

○海外渡航前の学内手続きについて

外国の大学院又は研究所等の教育研究機関で授業科目の履修や、研究指導を受ける場合は、事前に教授会で審議する必要がありますので、「留学願」に添えて「特別聴講派遣学生履修願」又は「特別研究派遣学生申請書」を渡航の2ヶ月前までに国際課に提出してください。「留学願」が不要の海外渡航であっても、渡航先での災害・事件・事故等があった場合の学生の安否確認等を行う目的で、「海外渡航届」の提出を義務づけていますので、忘れないように提出してください。詳細は、下記学内ホームページ「留学及び海外渡航の手続きについて」をご参照ください。

<https://ad-info.naist.jp/gakusei/member/kaigairyugaku/index.html>

○ビザ（査証）について

海外渡航する場合は、できるだけ早く渡航先の国の情報を集めて、ビザ取得申請を行う必要があります。

短期渡航であっても渡航目的によりビザ免除に該当しない場合があります。また、各国によってビザの取得方法が異なります。主要国を例にあげると、米国では、大学に留学す

る場合はF-1 ビザ(学生ビザ) が必要で、申請書類の作成、補足書類の準備、パスポート取得、面接等、留学出発2ヶ月前程度から準備を開始する必要があり、フランスでは、オンライン申請が可能で交換留学であれば面接も免除されるなど、国によって事情が異なりますので、留学先や国内にある渡航国の大使館・領事館に確認するなど早めに情報を収集して動く必要があります。

事前にビザ取得申請をしない場合、国によっては入国できないなどの不利益を受ける可能性がありますので、わからないことがあれば、事前に国際課に相談してください。

○海外渡航前の安全確認について

海外渡航をする場合には、外務省のWeb ページ(海外渡航安全情報)などを参照して渡航先の情勢等を事前に調査し、安全を確認してから渡航するよう心がけてください。また、外務省では、海外に3ヶ月以上滞在を予定している邦人には「在留届」提出の徹底を、3か月未満の滞在を予定している邦人には外務省海外旅行登録「たびレジ」への登録を呼びかけています。海外へ渡航する際は、本学での手続きとは別に、外務省へ提出又は登録をしてください。詳しくは外務省 Web ページをご覧ください。

また、渡航者の安全管理に資するため、海外渡航に係る注意事項を下記の学内ホームページに掲載しましたので、海外への渡航に際して、下記ホームページ「海外渡航に係る注意事項について」を活用し、十分な安全管理を行うことを心がけてください。

<https://ad-info.naist.jp/gakusei/member/kaigairyugaku/caution/caution.html>

(参考)

留学/海外渡航の取扱いについて

	学籍上の留学※		旅行依頼をとまなう海外渡航	
海外派遣の種類	外国の大学院又は研究所等の教育研究機関で授業科目の履修や、研究指導を受けるもの	ダブルディグリープログラム	左記「学籍上の留学」以外の、外国の大学院又は研究所等と連携して行われる各種学修プログラム	学会・シンポジウム・セミナー出席等
内容	・外国の大学院又は研究所等の教育研究機関で授業科目の履修や、研究指導を受ける場合	・ダブルディグリープログラムに基づく海外大学滞在学习修	・外国の大学院又は研究所等での研修等 ・外国の研究所等でのインターンシップ(本学の学修プログラムとして行うもの)	・学会・シンポジウム・セミナー等への参加・発表を行う場合
期間	原則3ヶ月以上		原則3ヶ月未満	
提出書類	留学願 特別聴講派遣学生履修願 ※授業科目を履修する場合 特別研究派遣学生申請書 ※研究指導委託を行う場合	留学願	海外渡航届	海外渡航届
統計上の取扱い	留学	留学	留学	—
海外旅行保険の適用	○	○	○	○
学研災の適用	○	○	○	○

※学則第48条 外国の大学院又は研究所等に留学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

私事渡航について

- 1: 私事の旅行で一時的に居住地を離れる場合は、家族や友人や研究室などに緊急連絡先を伝えてください。
- 2: 私事で3ヶ月以上海外渡航する場合は、遅くとも海外渡航する2週間前に休学願及び海外渡航届の提出が必要です。

5-5. 英語Eラーニングシステム (ALC NetAcademy 2)

1. ALC NetAcademy 2 とは

ALC NetAcademy 2はLAN環境で使用するネットワーク型の英語学習システムです。英語力の向上、TOEICテスト対策、理工系の論文読解等、自学自習に役立ててください。

学習者は各自の英語レベル、興味ある教材、リスニング・リーディングなど強化したい分野を選んで学習が可能です。

2. 利用対象者

本学の学生・教職員であれば「在学生の方へ(学内専用)」ホームページから利用することができます。学内はもちろん、自宅などの学外からも24時間利用することができます。利用登録等は必要ありません。

3. アクセス

<<大学ホームページ → 在学生の方へ(学内専用) → ALC NetAcademy>>
ログインするには、アカウント(MANDARA-DOMAIN¥曼陀羅アカウント名)とパスワード(曼陀羅パスワード)が必要です。

4. コース

スーパースタANDARDコース、STANDARDコース、初中級コース プラス、技術英語<基礎>コース、技術英語パワーアップコースの5つのコースを利用できます。

5. 動作環境

ALC NetAcademy 2は以下の環境で動作確認ができています。

OS	Windows Vista SP2 / 7 SP1 / 8 , 8.1 ※
WWW ブラウザ	InternetExplorer 8 / 9 / 10 / 11
そのほか	FLashPlayer 12.0

※対象OS以外でもFlashPlayerが動作すれば利用できるようです。ただし、表示がおかしい等の不具合が発生する可能性があります。

※MacOS X 10.3/10.4では『[初中級コース]の[TOEIC(R) テスト演習]で学習できない』という症状が確認されています。

第6章 授業科目及び担当教員一覧等

■第6章 授業科目及び担当教員一覧等

6-1. 平成30年度授業科目及び担当教員一覧

平成30年度先端科学技術研究科 博士前期課程 授業科目及び担当教員一覧

区分	授業科目名	授業形態	授業番号	クラスコード	単位数	責任教員	所属(正)	所属(副)	担当教員	授業開講期間		総授業時間数	英語開講(主たる言語)	備考
										開始日	終了日			
一般科目	技術と倫理	L	1001	A	1	別所康全	バ	—	別所康全、加藤順也、秋山昌広、(渡辺政隆)	5/9	5/17	15		
	技術と倫理	L	1001	B	1	(上田修史)	情	—	(上田修史)	6/5	7/24	15		
	技術と倫理	L	1001	C	1	(三井均)	物	—	(三井均)	6/5	7/24	15		
	技術と倫理	L	1001	D	1	(高橋謙二)	物	—	(高橋謙二)	6/5	7/24	15		
	技術と倫理	L	1001	E	1	(三井均)	物	—	(三井均)	10/5	11/30	15		
	技術と倫理	L	1001	F	1	(上田修史)	情	—	(上田修史)	10/5	11/30	15	○	
	科学哲学	L	1002	A	1	(中尾央)	情	—	(中尾央)	9/18	9/28	15		
	科学コミュニケーション	L	1003	A	1	別所康全	バ	—	別所康全	11/1	11/22	15		社会対話技術研究所との連携
	知的財産権	L	1004	A	1	久保浩三	研(情)	—	久保浩三	9/5	9/14	15		
	知的財産権	L	1004	B	1	久保浩三	研(情)	—	久保浩三	10/15	12/3	15	○	
	グローバルアントレプレナーⅠ	L	1005	A	1	(光井将一)	情	—	(光井将一)	集中講義	集中講義	15		学外実施
	グローバルアントレプレナーⅡ	L	1006	A	1	(光井将一)	情	—	(光井将一)	集中講義	集中講義	15		学外実施
	グローバルアントレプレナーⅢ	L	1007	A	1	(光井将一)	情	—	(光井将一)	集中講義	集中講義	15		
	グローバルアントレプレナーⅣ	L	1008	A	1	(光井将一)	情	—	(光井将一)	集中講義	集中講義	15		
	グローバルアントレプレナーⅤ	L	1009	A	1	飯田元	情	—	飯田元、(宮下敬宏)、(中川賀史)	集中講義	集中講義	15		
	プロフェッショナルコミュニケーションⅠ	L	1010	A	1	(David Sell)	情	—	(David Sell)	6/4	7/30	15	○	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅠ	L	1010	B	1	Mike Barker	情	—	Mike Barker	6/6	8/1	15	○	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅠ	L	1010	C	1	Mike Barker	情	—	Mike Barker	6/1	8/3	15	○	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅠ	L	1010	D	1	Paul McAleese	バ	—	Paul McAleese	12/12	2/6	15	○	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅠ	L	1010	E	1	Paul McAleese	バ	—	Paul McAleese	12/11	2/5	15	○	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅠ	L	1010	F	1	Paul McAleese	バ	—	Paul McAleese	12/6	2/7	15	○	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅠ	L	1010	G	1	Leigh McDowell	物	—	Leigh McDowell	6/4	7/30	15	○	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅠ	L	1010	H	1	Leigh McDowell	物	—	Leigh McDowell	6/7	8/2	15	○	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅠ	L	1010	I	1	Leigh McDowell	物	—	Leigh McDowell	6/1	8/3	15	○	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅡ	L	1011	A	1	(David Sell)	情	—	(David Sell)	10/15	12/3	15	○	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅡ	L	1011	B	1	Mike Barker	情	—	Mike Barker	10/9	12/4	15	○	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅡ	L	1011	C	1	Mike Barker	情	—	Mike Barker	10/4	11/29	15	○	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅡ	L	1011	D	1	Mike Barker	情	—	Mike Barker	10/10	12/5	15	○	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅡ	L	1011	E	1	Paul McAleese	バ	—	Paul McAleese	10/9	12/4	15	○	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅡ	L	1011	F	1	Paul McAleese	バ	—	Paul McAleese	10/4	11/29	15	○	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅡ	L	1011	G	1	Paul McAleese	バ	—	Paul McAleese	10/10	12/5	15	○	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅡ	L	1011	H	1	Leigh McDowell	物	—	Leigh McDowell	10/4	11/29	15	○	
プロフェッショナルコミュニケーションⅡ	L	1011	I	1	Leigh McDowell	物	—	Leigh McDowell	10/10	12/5	15	○		
アカデミックディスカッション	L	1012	A	1	Mike Barker	情	—	Mike Barker	12/3	2/4	15	○		
アカデミックディスカッション	L	1012	B	1	Paul McAleese	バ	—	Paul McAleese	1/8	1/31	15	○		
アカデミックディスカッション	L	1012	C	1	Leigh McDowell	物	—	Leigh McDowell	1/11	2/1	15	○		
リサーチプレゼンテーション	L	1013	A	1	Mike Barker	情	—	Mike Barker	11/5	1/7	15	○		
リサーチプレゼンテーション	L	1013	B	1	(David Sell)	情	—	(David Sell)	11/2	11/30	15	○		
リサーチプレゼンテーション	L	1013	C	1	Paul McAleese	バ	—	Paul McAleese	11/1	11/27	15	○		
リサーチライティング	L	1014	A	1	Leigh McDowell	物	—	Leigh McDowell	11/2	11/30	15	○		
リサーチライティング	L	1014	B	1	(中山裕木子)	物	—	(中山裕木子)	11/7	11/28	15	○		
リサーチライティング	L	1014	C	1	Mike Barker	情	—	Mike Barker	11/2	1/11	15	○		
アドバンスドリサーチライティング	L	1015	A	1	Leigh McDowell	物	—	Leigh McDowell	9/5	9/28	15	○		
アドバンスドリサーチライティング	L	1015	B	1	(中山裕木子)	物	—	(中山裕木子)	9/7	9/28	15	○		
日本文化	L	1016	A	2	(Adarsh Bala Sharma)	情	—	(Adarsh Bala Sharma)	11/1	2/21	30	○	留学生優先 フィールドワーク有	
日本語Ⅰ	L	1017	A	2	(岩崎美紀子)	物	—	(岩崎美紀子) (國井紀子)	11/6	12/25	30		留学生対象	
日本語Ⅰ	L	1017	B	2	(中尾紀子)	バ	—	(中尾紀子)	11/6	3/12	30		留学生対象	
日本語Ⅱ	L	1018	A	2	(橋本昌子)	バ	—	(橋本昌子)	11/6	3/12	30		留学生対象	
序論科目	情報理工学序論	L	2001	A	1	プログラム長(正)	情	—	中島康彦、安本慶一、荒川豊、井上美智子、大下福仁、松本裕治、新保仁、進藤裕之	4/12	5/7	15		※序論科目の責任教員はプログラム長(正)とする。
	情報理工学序論	L	2001	B	1	プログラム長(正)	情	—	中島康彦、安本慶一、荒川豊、井上美智子、大下福仁、松本裕治、進藤裕之	10/4	10/30	15	○	
	情報生命科学序論	L	2002	A	1	プログラム長(正)	バ	情	安本慶一、岡田実、向川康博、小笠原司、杉本謙二、池田和司、佐藤嘉伸、金谷重彦、中島敬二、伊藤寿朗、西條維介、吉田聡子、加藤順也、末次志郎、森浩禎、塩崎一裕、稲垣直之、作村論一、別所康全	4/13	5/8	15		
	情報生命科学序論	L	2002	B	1	プログラム長(正)	バ	情	向川康博、小笠原司、杉本謙二、池田和司、佐藤嘉伸、金谷重彦、中島敬二、伊藤寿朗、西條維介、吉田聡子、加藤順也、末次志郎、森浩禎、塩崎一裕、稲垣直之、作村論一、別所康全	10/5	10/31	15	○	
	バイオサイエンス序論	L	2003	A	1	プログラム長(正)	バ	—	真木壽治、石田靖雅、伊東広	4/12	5/7	15		
	バイオサイエンス序論	L	2003	B	1	プログラム長(正)	バ	—	真木壽治、石田靖雅、伊東広	10/4	10/30	15	○	
	バイオナノ理工学序論	L	2004	A	1	プログラム長(正)	物	バ	橋本隆、出村拓、梅田正明、伊藤寿朗、伊東広、加藤順也、河合太郎、末次志郎、笹井紀明、磯谷綾子、塩崎一裕、高木博史、箱崎敏雄、塚崎智也、稲垣直之、上久保裕生、廣田俊、安藤剛、網代広治	4/13	5/8	15		
バイオナノ理工学序論	L	2004	B	1	プログラム長(正)	物	バ	橋本隆、出村拓、梅田正明、伊藤寿朗、伊東広、加藤順也、河合太郎、末次志郎、笹井紀明、磯谷綾子、塩崎一裕、高木博史、箱崎敏雄、塚崎智也、稲垣直之、上久保裕生、廣田俊、安藤剛、網代広治	10/4	10/30	15	○		
物質理工学序論	L	2005	A	1	プログラム長(正)	物	—	香月浩之、荒谷直樹、河合社、大門寛、中村雅一、藤木道也、細川陽一郎、柳田隆之、山田容子、細糸信好、森本隼、足立秀明、上利泰幸、本田宗宏、余路克則	4/12	5/7	15			

平成30年度授業科目及び担当教員一覧

区分	授業科目名	授業形態	授業番号	クラスコード	単位数	責任教員	所属(正)	所属(副)	授業開講期間			英語講(注)る言語	備考	
									開始日	終了日	総授業時間数			
基礎科目	物質工科学序論	L	2005	B	1	プログラム長(正)	物	—	香月浩之、荒谷直樹、河合壮、大門寛、中村雅一、藤木道也、細川陽一郎、柳田健之、山田容子、細永信好、森本種、足立秀明、上利泰幸、本田崇宏、奈語克則	10/5	10/31	15	○	
	知能社会創成科学序論	L	2006	A	1	プログラム長(正)	情	物	浦岡行治、太田淳、徳田崇、石河泰明、北村圭司、安本慶一、林優一、岡田実、杉本謙二、松原崇亮	4/12	5/7	15		
	知能社会創成科学序論	L	2006	B	1	プログラム長(正)	情	物	浦岡行治、太田淳、徳田崇、石河泰明、北村圭司、安本慶一、林優一、岡田実、杉本謙二	10/4	10/30	15	○	
	データサイエンス序論	L	2007	A	1	プログラム長(正)	デ(情)	物	中村哲、森浩禎、浦岡行治、船津公人、金谷重彦、荒牧英治、小野直亮、作村論一、国田勝行	4/13	5/8	15		
	データサイエンス序論	L	2007	B	1	プログラム長(正)	デ(情)	物	中村哲、森浩禎、浦岡行治、船津公人、金谷重彦、荒牧英治、小野直亮、作村論一、国田勝行	10/5	10/31	15	○	
基礎科目	形式言語理論	L	3001	A	1	伊藤実	情	—	伊藤実	5/10	5/30	15		
	プログラミング演習	P	3002	A	1	松本健一	情	—	松本健一、石尾隆、伊原彰紀、畑秀明	5/9	5/17	15		
	信号処理論	L	3003	A	1	加藤博一	情	—	加藤博一、武富貴史	5/9	5/29	15		
	応用解析学	L	3004	A	1	佐藤嘉伸	情	—	佐藤嘉伸	5/9	5/29	15		
	データ工学基礎	L	3005	A	1	鈴木優	情	—	鈴木優、吉野幸一郎	5/10	5/30	15		
	機械学習概論	L	3006	A	1	池田和司	情	—	池田和司、中村 哲、須藤克仁	5/10	5/30	15	○	
	光学	L	3007	A	1	加藤博一	情	—	加藤博一	5/10	5/30	15		
	高性能計算基盤	L	3008	A	1	中島康彦	情	—	中島康彦、中田尚	5/10	5/30	15	○	
	ソフトウェア設計論	L	3009	A	1	飯田元	情	—	飯田元、崔恩壽	5/10	5/24	15		
	人工知能	L	3010	A	1	新保仁	情	—	新保仁	5/9	5/29	15	○	
	細胞生物学	L	3011	A	1	別所康全	バ	—	別所康全、出村拓、高木博史、庄司翼	5/9	5/17	15		
	細胞生物学	L	3011	B	1	別所康全	バ	—	別所康全、出村拓、高木博史、庄司翼	5/9	5/17	15		
	細胞生物学	L	3011	C	1	別所康全	バ	—	別所康全、出村拓、高木博史、庄司翼	10/4	10/15	15	○	留学生優先
	分子生物学	L	3012	A	1	秋山昌広	バ	—	秋山昌広、伊藤寿朗、加藤晃、(新蔵礼子)	5/10	5/18	15		
	分子生物学	L	3012	B	1	秋山昌広	バ	—	秋山昌広、伊藤寿朗、加藤晃、(新蔵礼子)	5/10	5/18	15		
	分子生物学	L	3012	C	1	秋山昌広	バ	—	秋山昌広、伊藤寿朗、加藤晃、(新蔵礼子)	10/5	10/19	15	○	留学生優先
	細胞膜と物質輸送	L	3013	A	1	塚崎智也	バ	—	塚崎智也、駒井章治、末次志郎、木俣行雄	5/21	5/29	15		
	細胞膜と物質輸送	L	3013	B	1	塚崎智也	バ	—	塚崎智也、駒井章治、末次志郎、木俣行雄	5/21	5/29	15		
	細胞膜と物質輸送	L	3013	C	1	塚崎智也	バ	—	塚崎智也、駒井章治、末次志郎、木俣行雄	10/22	10/30	15	○	留学生優先
	細胞の情報伝達	L	3014	A	1	塩崎一裕	バ	—	塩崎一裕、西條雄介、吉田聡子、松井貴輝	5/22	5/30	15		
	細胞の情報伝達	L	3014	B	1	塩崎一裕	バ	—	塩崎一裕、西條雄介、吉田聡子、松井貴輝	5/22	5/30	15		
	細胞の情報伝達	L	3014	C	1	塩崎一裕	バ	—	塩崎一裕、西條雄介、吉田聡子、松井貴輝	10/23	10/31	15	○	留学生優先
	微生物科学	L	3015	A	1	森浩禎	デ(バ)	—	森浩禎、真木壽治、秋山昌広、塩崎一裕、高木博史、塚崎智也、木俣行雄	5/10	5/30	15		
	植物科学	L	3016	A	1	伊藤寿朗	バ	—	伊藤寿朗、橋本隆、庄司翼、中島敬二、出村拓、梅田正明、西條雄介、吉田聡子、峠隆之	5/10	5/30	15		
	バイオメディカルサイエンス	L	3017	A	1	末次志郎	バ	—	末次志郎、河合太郎、笹井紀明、駒井章治、別所康全、磯谷綾子、松井貴輝、箱崎敏雄	5/10	5/30	15		
	細胞骨格と細胞周期	L	3018	A	1	稲垣直之	バ	—	梅田正明、加藤順也、橋本隆、稲垣直之	6/4	6/27	15		
	細胞骨格と細胞周期	L	3018	B	1	稲垣直之	バ	—	梅田正明、加藤順也、橋本隆、稲垣直之	6/4	6/27	15		
	細胞骨格と細胞周期	L	3018	C	1	稲垣直之	バ	—	梅田正明、加藤順也、橋本隆、稲垣直之	11/1	11/9	15	○	留学生優先
	遺伝学と幹細胞	L	3019	A	1	中島敬二	バ	—	中島敬二、石田清雅、磯谷綾子、笹井紀明	6/4	6/27	15		
	遺伝学と幹細胞	L	3019	B	1	中島敬二	バ	—	中島敬二、石田清雅、磯谷綾子、笹井紀明	6/4	6/27	15		
	遺伝学と幹細胞	L	3019	C	1	中島敬二	バ	—	中島敬二、石田清雅、磯谷綾子、笹井紀明	11/2	11/12	15	○	留学生優先
	遺伝学とDNA解析	L	3020	A	1	別所康全	バ	—	別所康全、秋山昌広、木俣行雄	(電子シラバスで確認)	15		○	留学生対象
	物質科学解析	P	3021	A	1	富田知志	物	—	富田知志、武田さくら、野田俊彦、上沼陸典、山崎洋一、長尾聡、藤井菜美	5/9	5/11	15		
	量子力学	L	3022	A	1	中村雅一	物	—	中村雅一、服部賢	5/10	5/16	15		
	量子力学	L	3022	B	1	中村雅一	物	—	中村雅一、服部賢	10/4	10/11	15	○	留学生優先
	物質物理学	L	3023	A	1	細川陽一郎	物	—	細川陽一郎、服部賢、細永信好	5/18	5/24	15		
	物質物理学	L	3023	B	1	細川陽一郎	物	—	細川陽一郎、服部賢、細永信好	10/15	10/29	15	○	留学生優先
	物質化学	L	3024	A	1	河合壮	物	—	河合壮、柳久雄、上久保裕生	5/15	5/21	15		
	物質化学	L	3024	B	1	河合壮	物	—	河合壮、柳久雄、上久保裕生	10/10	10/22	15	○	留学生優先
	物理化学	L	3025	A	1	柳久雄	物	—	柳久雄、荒谷直樹、辨天宏明	5/17	5/30	15		
	物理化学	L	3025	B	1	柳久雄	物	—	柳久雄、荒谷直樹、辨天宏明	10/24	10/31	15	○	留学生優先
	現代固体物理学	L	3026	A	1	柳田健之	物	—	柳田健之、河口範明	5/25	5/30	15		
	現代固体物理学	L	3026	B	1	柳田健之	物	—	柳田健之、河口範明	11/1	11/6	15	○	留学生優先
	現代半導体物性	L	3027	A	1	大門寛	物	—	大門寛、香月浩之、細永信好	6/4	6/27	15		
	現代半導体物性	L	3027	B	1	大門寛	物	—	大門寛、香月浩之、細永信好	11/7	11/12	15	○	留学生優先
有機反応化学	L	3028	A	1	藤木道也	物	—	藤木道也、中嶋球也、森本種	5/25	5/30	15			
有機反応化学	L	3028	B	1	藤木道也	物	—	藤木道也、中嶋球也、森本種	11/1	11/6	15	○	留学生優先	
反応解析化学	L	3029	A	1	廣田俊	物	—	廣田俊、山田容子、松尾貴史	6/4	6/27	15			
反応解析化学	L	3029	B	1	廣田俊	物	—	廣田俊、山田容子、松尾貴史	11/7	11/12	15	○	留学生優先	
生体材料化学	L	3030	A	1	上久保裕生	物	—	上久保裕生、松尾貴史、安藤剛	6/4	6/27	15		隔年英語開講	
分散コンピューティング論	L	4001	A	1	井上美智子	情	—	井上美智子、大下福仁	6/5	6/28	15	○		
アルゴリズム設計論	L	4002	A	1	井上美智子	情	—	井上美智子、大下福仁	6/5	6/28	15			
エビキタシステム	L	4003	A	1	安本慶一	情	—	安本慶一、荒川豊	11/1	11/21	15			
モバイルコンピューティング論	L	4004	A	1	柴田直樹	情	—	柴田直樹	6/5	6/28	15	○		
仮想化システム基盤	L	4005	A	1	市川真平	情	—	市川真平	12/7	2/1	15	○		
ソフトウェア工学	L	4006	A	1	松本健一	情	—	松本健一、石尾隆、伊原彰紀、畑秀明	6/4	6/27	15			
インターネット工学	L	4007	A	1	門林雄基	情	—	門林雄基、妙中輝三、Doudou Fall	6/29	7/26	15	○		
コンピュータ・ネットワーク	L	4008	A	1	藤川和利	情	—	藤川和利、(猪俣敦夫)、新井イスミル、垣内正年	10/4	10/30	15			
環境知能	L	4009	A	1	神原誠之	情	—	神原誠之、(萩田紀博)	11/2	11/22	15	○		
自然言語処理	L	4010	A	1	松本裕治	情	—	松本裕治、(柏岡秀紀)、進藤裕之	7/2	7/27	15			
バーチャリアリティ	L	4011	A	1	清川清	情	—	清川清	6/4	6/27	15		隔年英語開講	
コンピュータビジョン	L	4012	A	1	向川康博	情	—	向川康博	7/2	7/27	15			
コンピュータグラフィックス	L	4013	A	1	松富卓哉	情	—	松富卓哉、久保母之、田中賢一郎	10/4	10/30	15	○		

第6章 授業科目及び担当教員一覧等

区分	授業科目名	授業形態	授業番号	クラスコード	単位数	責任教員	所属(正)	所属(副)	担当教員	授業開講期間		英語開講(注)有無	備考
										開始日	終了日		
専門科目	メディア情報処理	L	4014	A	1	酒田信親	情	—	酒田信親	6/29	7/26	15	
	無線通信システム	L	4015	A	1	岡田実	情	—	岡田実、東野武史、(侯垂飛)、Duong Quang Thang	10/5	10/31	15	
	信号検出理論	L	4016	A	1	岡田実	情	—	岡田実、東野武史、(侯垂飛)、Duong Quang Thang	11/2	11/22	15	○
	ヒューマンコンピュータインタラクション	L	4017	A	1	Christian Sandor	情	—	Christian Sandor, Alexander Plopski	6/29	7/26	15	○
	パターン認識	L	4018	A	1	松富卓哉	情	—	松富卓哉、神原謙之	6/29	7/26	15	
	社会システム理論	L	4019	A	1	笹部昌弘	情	—	笹部昌弘	7/2	7/27	15	
	機械学習と知能制御	L	4020	A	1	松原崇充	情	—	松原崇充	7/2	7/27	15	○
	モデルベース制御	L	4021	A	1	杉本謙二	情	—	杉本謙二	10/5	10/31	15	
	人間ロボット情報学	L	4022	A	1	小笠原司	情	—	小笠原司、高松淳、(松本吉史)、(多田充徳)、(村井明彦)	11/1	11/21	15	○
	数理モデル論	L	4023	A	1	池田和司	情	—	池田和司、佐々木博昭	1/8	2/7	15	
	システムズバイオロジー	L	4024	A	1	金谷重彦	情	—	金谷重彦、MD, ALTAF-UL-AMIN	10/5	10/31	15	○
	データマイニング	L	4025	A	1	MD, ALTAF-UL-AMIN	情	—	MD, ALTAF-UL-AMIN	6/4	6/27	15	○
	生体医用画像解析	L	4026	A	1	佐藤嘉伸	情	—	佐藤嘉伸	6/29	7/26	15	○
	生体医用メディア情報学	L	4027	A	1	大竹義人	情	—	大竹義人	7/2	7/27	15	
	データサイエンス論	L	4028	A	2	中村哲	デ(情)	—	中村哲、船津公人、Altaf-Ul-Amin、宮尾知幸、小野直亮、鈴木優、田田勝行、吉野幸一郎、田中宏季、(岩爪道昭)、(高橋哲朗)	11/1	11/21	30	○
	情報科学特別講義A	L	4029	A	1	プログラム長(情報理工学)	情	—	張任遠、諏訪博彦、畑秀明、崔恩謙、進藤裕之、酒田信親、田中賢一郎、小藏正輝、張元玉、佐々木博昭	1/4	1/9	15	○
	情報科学特別講義B	L	4030	A	1	プログラム長(情報理工学)	情	—	(AとBは隔年開講)	-	-	15	○
	情報科学特別講義C	L	4031	A	1	プログラム長(情報理工学)	情	—	張任遠、諏訪博彦、畑秀明、崔恩謙、進藤裕之、酒田信親、田中賢一郎、小藏正輝、張元玉、佐々木博昭	1/10	1/16	15	○
	情報科学特別講義D	L	4032	A	1	プログラム長(情報理工学)	情	—	(CとDは隔年開講)	-	-	15	○
	音情報処理	L	4033	A	1	中村哲	デ(情)	—	中村哲、Sakriani Sakti、吉野幸一郎、(高道慎之介)	11/2	11/22	15	
	系列データモデリング	L	4034	A	1	須藤克仁	情	—	須藤克仁、Sakriani Sakti、吉野幸一郎	10/4	10/30	15	○
	ロボティクス	L	4035	A	1	小笠原司	情	—	小笠原司、高松淳	10/4	10/30	15	
	現代情報セキュリティ論	L	4036	A	1	門林雄基	情	—	門林雄基、妙中雄三、(村井純)	9/27	11/15	15	○
	情報理論	L	4037	A	1	(橋勇一)	情	—	(橋勇一)	6/8	8/3	15	
	ハードウェアセキュリティ	L	4038	A	1	林優一	情	—	林優一、藤本大介	11/1	11/21	15	
	符号理論	L	4039	A	1	岡田実	情	—	岡田実、門林雄基	10/4	10/30	15	○
	離散過程論	L	4040	A	1	笠原正治	情	—	笠原正治	10/5	10/31	15	
	計算神経科学	L	4041	A	1	吉本潤一郎	情	—	吉本潤一郎、作村論一	10/5	10/31	15	
	情報セキュリティ運用リテラシーⅠ	L	4042	A	1	藤川和利	情	—	(砂原秀樹)、藤川和利、門林雄基、(猪俣教夫)、林優一	5/25	7/20	15	(大阪大学中之島センター)
	情報セキュリティ運用リテラシーⅡ	L	4043	A	1	藤川和利	情	—	(砂原秀樹)、藤川和利、門林雄基、(猪俣教夫)、林優一	10/19	1/18	15	(大阪大学中之島センター)
	情報セキュリティ演習A	P	4044	A	1	藤川和利	情	—	藤川和利、門林雄基、林優一	(電子シラバスで確認)		15	
	情報セキュリティ演習B	P	4045	A	1	藤川和利	情	—	藤川和利、門林雄基、林優一、(本間尚文)	(電子シラバスで確認)		15	
	情報セキュリティ演習C	P	4046	A	1	藤川和利	情	—	藤川和利、門林雄基、林優一	(電子シラバスで確認)		15	
	最適化数学	L	4047	A	1	杉本謙二	情	—	杉本謙二	6/4	6/27	15	
	データ解析	L	4048	A	1	金谷重彦	情	—	金谷重彦	6/4	6/27	15	
	応用生命科学・微生物学	L	4049	A	1	森浩禎	デ(バ)	—	森浩禎、真木壽治、秋山昌広、塩崎一裕、高木博史、塚崎智也、木俣行雄	10/4	10/30	15	
	応用生命科学・植物学	L	4050	A	1	西條雄介	バ	—	伊藤寿朗、橋本隆、中島敬二、出村拓、加藤晃、梅田正明、西條雄介、吉田聡子、峠隆之	10/4	10/30	15	
	応用生命科学・バイオメディカル	L	4051	A	1	末次志郎	バ	—	末次志郎、伊東広、石田靖雅、加藤順也、河合太郎、(新藏礼子)、稲垣直之、磯谷綾子	10/4	10/30	15	
	バイオサイエンスの産業展開Ⅰ	L	4052	A	1	加藤晃	バ	—	加藤晃、高木博史、庄司翼、(新藏礼子)	10/5	10/31	15	
	バイオサイエンスの産業展開Ⅱ	L	4053	A	1	高木博史	バ	—	(山口京二、佐藤孝明、野中源、藤田朋宏、北川雄司、新城雅子(本学客員教授)、戸川俊彦、村上敬)	9/4	9/28	15	
	発生生物学特別講義	L	4054	A	1	別所康全	バ	—	別所康全	(電子シラバスで確認)		15	理研CDBとの連携
	バイオサイエンスの先端技法	L	4055	A	1	別所康全	バ	—	別所康全、森浩禎、石田靖雅、秋山昌広	6/5	6/28	15	○
	植物発生生物学	L	4056	A	1	吉田聡子	バ	—	伊藤寿朗、橋本隆、中島敬二、出村拓、梅田正明、西條雄介、吉田聡子、峠隆之	6/29	7/26	15	
	動物発生学	L	4057	A	1	笹井紀明	バ	—	笹井紀明、松井典輝、稲垣直之、磯谷綾子、駒井肇治	6/5	6/28	15	
	薬理・病態生化学	L	4058	A	1	伊東広	バ	—	伊東広、箱崎敏雄、別所康全、塩崎一裕、木俣行雄、塚崎智也	10/4	10/30	15	
	免疫学	L	4059	A	1	河合太郎	バ	—	河合太郎、石田靖雅、西條雄介、(新藏礼子)	10/5	10/31	15	
	ゲノム・がん生物学	L	4060	A	1	加藤順也	バ	—	加藤順也、森浩禎、末次志郎、真木壽治、秋山昌広	11/1	11/21	15	
生物間相互作用学	L	4061	A	1	吉田聡子	バ	—	吉田聡子、(新藏礼子)、西條雄介	7/2	7/27	15		
国際バイオ特論A	L	4062	A	1	塩崎一裕	バ	—	(外部講師)	(電子シラバスで確認)		15	○	
国際バイオ特論B	L	4063	A	1	塩崎一裕	バ	—	(外部講師)	(電子シラバスで確認)		15	○	
バイオサイエンスにおけるビッグデータ	L	4064	A	1	森浩禎	デ(バ)	—	森浩禎	6/29	7/26	15	○	
バイオサイエンスにおける先進トピックス	L	4065	A	1	プログラム長(バ(特)バ)	バ	—	(助教が分担しておこなう。)	1/4	1/9	15	○	
電子原子物性特論	L	4066	A	1	大門寛	物	—	大門寛、服部賢、細信好	6/29	7/26	15	隔年英語開講	
フォトニクス特論	L	4067	A	1	太田淳	物	—	太田淳、柳田健之、徳田崇、河口範明	6/29	7/20	15	隔年英語開講	
光・情報素子工学特論	L	4068	A	1	細川陽一郎	物	—	細川陽一郎、浦岡行治、石河泰明	7/2	7/27	15	隔年英語開講	
量子情報・エネルギー材料特論	L	4069	A	1	柳久雄	物	—	柳久雄、中村雅一、香月浩之、辨天宏明	7/2	7/27	15	隔年英語開講	
生体分子科学特論	L	4070	A	1	廣田俊	物	—	上久保裕生、廣田俊、松尾貴史、山崎洋一、林有吾	6/29	7/26	15	隔年英語開講	
精密有機・高分子合成特論	L	4071	A	1	垣内喜代三	物	—	垣内喜代三、森本穰、網代広治、谷本裕樹	6/29	7/26	15	隔年英語開講	
分子フォトサイエンス特論	L	4072	A	1	山田容子	物	—	山田容子、河合社、中嶋球也、荒谷直樹	7/2	7/27	15	隔年英語開講	

平成30年度先端科学技術研究科 博士前期課程 授業科目及び担当教員一覧

区分	授業科目名	授業形態	授業番号	クラスコード	単位数	責任教員	所属(正)	所属(副)	担当教員	授業開講期間		英語開講(主たる言語)	備考	
										開始日	終了日			
	高分子化学特論	L	4073	A	1	安藤 剛	物	—	安藤 剛、藤木道也	7/2	7/27	15	隔年英語開講	
	マテリアルインフォマティクス特論	L	4074	A	1	畑中美徳	物	—	畑中美徳	6/5	7/31	15	隔年英語開講	
	物質科学技術特論	L	4075	A	1	プログラム長(物質工学)	物	—	連携研究室教員	10/4	11/9	24		
	物質科学特論A	L	4076	A	1	プログラム長(物質工学)	物	—	(橋本秀樹(1回-4回))、(河田聡(5回-8回))	10/9	11/7	15	隔年英語開講	
	物質科学特論B	L	4077	A	1	プログラム長(物質工学)	物	—	(内藤 裕義(1回-4回))、(荒川 貴博(5回-8回))	11/2	11/19	15	隔年英語開講	
	物質科学特論C	L	4078	A	1	プログラム長(物質工学)	物	—	(吉田 潤一(1回-2回))、(忍久保洋(3回-6回))、(内田 裕之(7回-8回))	10/5	11/26	15		
	物質科学特論D	L	4079	A	1	プログラム長(物質工学)	物	—	(藤井 浩(1回-4回))、(内橋 貴之(5回-8回))	10/23	11/15	15		
	半導体材料	L	4080	A	1	浦岡行治	物	—	浦岡行治、石河泰明	6/4	6/27	15	隔年英語開講	
	光電子工学	L	4081	A	1	太田 淳	物	—	太田淳、徳田崇	6/5	6/28	15	隔年英語開講	
	有機・高分子化学	L	4082	A	1	山田容子	物	—	山田容子、網代広治	6/5	6/28	15	隔年英語開講	
	プロジェクト実習	P	4083	A	1	主指導教員	—	—	テーマ毎に異なる			—	—	
P B L 科 目	情報理工学PBL I	P	5001	—	1	プログラム長(正)	情	—	中島康彦、井上美智子、安本慶一、伊藤実、松本健一、飯田元、門林雄基、林慶一、藤川和利、松本裕治、中村哲、岡田実、清川清、加藤博一、向川康博、萩田紀博、荒牧英治、小笠原司、杉本謙二、笠原正治、池田和司、佐藤嘉伸、金谷重彦、(金出武雄)	テーマ毎に異なる		—	—	※PBL科目の責任教員はプログラム長(正)とする。
	情報理工学PBL II	P	5002	—	1	プログラム長(正)	情	—	中島康彦、井上美智子、安本慶一、伊藤実、松本健一、飯田元、門林雄基、林慶一、藤川和利、松本裕治、中村哲、岡田実、清川清、加藤博一、向川康博、萩田紀博、荒牧英治、小笠原司、杉本謙二、笠原正治、池田和司、佐藤嘉伸、金谷重彦、(金出武雄)	テーマ毎に異なる		—	—	
	情報生命科学PBL I	P	5003	—	1	プログラム長(正)	バ	情	別所康全、金谷重彦、小野直亮、MD.ALTA-UL-AMIN	テーマ毎に異なる		—	—	
	情報生命科学PBL II	P	5004	—	1	プログラム長(正)	バ	情	別所康全、金谷重彦、小野直亮、MD.ALTA-UL-AMIN	テーマ毎に異なる		—	—	
	バイオサイエンスPBL I	P	5005	—	1	プログラム長(正)	バ	—	別所康全、他	テーマ毎に異なる		—	—	
	バイオサイエンスPBL II	P	5006	—	1	プログラム長(正)	バ	—	別所康全、(加藤和人(大阪大学))、伏木信次(京都府立医大)、渡辺政隆(筑波大学)、他	テーマ毎に異なる		—	—	
	バイオナノ理工学PBL I	P	5007	—	1	プログラム長(正)	物	バ	梅田正明、伊東広、稲垣直之、木保行雄、高塚大知、小林哲夫、鳥山道則	テーマ毎に異なる		—	—	
	バイオナノ理工学PBL II	P	5008	—	1	プログラム長(正)	物	バ	上久保裕生、廣田俊、松尾貴史、森本穂、安藤剛、網代広治、山崎洋一、林有吾、長尾聡、山中優、谷本裕樹、林宏暢	テーマ毎に異なる		—	—	
	物質理工学PBL I	P	5009	—	1	プログラム長(正)	物	—	中村雅一、河口範明、服部賢、細糸信好、Jung Min-Cherl、岡田豪、河野直樹、武田さくら、田口宗孝、松田博之、重城貴信	テーマ毎に異なる		—	—	
	物質理工学PBL II	P	5010	—	1	プログラム長(正)	物	—	中村雅一、荒谷直樹、中嶋琢也、上利泰幸、藤原裕、高橋雅也、余諾貞則、後藤和也、山田秀尚、小島広孝、鈴木充朗、寺田佳世、安國良平、野々口斐之、安原主馬	テーマ毎に異なる		—	—	
	知能社会創成科学PBL I	P	5011	—	1	プログラム長(正)	情	物	中島康彦、井上美智子、安本慶一、伊藤実、松本健一、飯田元、門林雄基、林慶一、藤川和利、岡田実、清川清、加藤博一、向川康博、小笠原司、杉本謙二、笠原正治	テーマ毎に異なる		—	—	
	知能社会創成科学PBL II	P	5012	—	1	プログラム長(正)	情	物	浦岡行治、太田淳、徳田崇、石河泰明、上沼健典、藤井菜美、Bermundo Juan Paolo Soria、笹川清隆、野田俊彦、春田牧人、辨天 宏明、富田知志、北村圭司、叶井正樹、堀池重吉	テーマ毎に異なる		—	—	
	データサイエンスPBL I	P	5013	—	1	プログラム長(正)	デ(情)	バ物	中村 哲、森 浩樹、浦岡行治、小野直亮、鈴木 優	12/3	12/11	15	—	
	データサイエンスPBL II	P	5014	—	1	プログラム長(正)	デ(情)	バ物	浦岡行治、畑中美徳、中村 哲、森 浩樹、小野直亮、上沼健典、藤井菜美、Bermundo Juan Paolo Soria	12/13	12/21	15	—	
研 究 活 動 科 目	ゼミナール I	—	6001	—	1	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	研究室毎に異なる		—	—	
	ゼミナール II	—	6002	—	1	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	研究室毎に異なる		—	—	
	コロキアムA	—	6003	—	1	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	テーマ毎に異なる		—	—	
	コロキアムB	—	6004	—	1	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	テーマ毎に異なる		—	—	
	研究実験 I	—	6005	—	2	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	研究室毎に異なる		—	—	
	研究実験 II	—	6006	—	2	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	研究室毎に異なる		—	—	
研究論文	—	6007	—	5	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	研究室毎に異なる		—	—		

・講義形態のLは講義科目、Pは演習科目を示す。
 ・担当教員の()は、非常勤講師を示す。集中講義日程の詳細は電子シラバスに掲載。

授業開講期間に具体的日付が入っていない授業科目の日程は、詳細が決まり次第、随時、電子シラバスに掲載しますので、確認してください。

<<大学ホームページ → 在学生の方へ(学内専用) → 学務関係 → 電子シラバスシステム>>

平成30年度先端科学技術研究科 博士後期課程 授業科目及び担当教員一覧

区分	授業科目名	授業形態	授業番号	クラスコード	単位数	責任教員	主担当	副担当	担当教員	授業開講期間		英語開講(注)する言語	備考	
										開始日	終了日			
研究者の素養を養う科目	英語上級A	L	7001	A	1	Mike Barker	情	—	Mike Barker	12/3	2/4	15	○	
	英語上級A	L	7001	B	1	Paul McAleese	バ	—	Paul McAleese	1/8	1/31	15	○	
	英語上級A	L	7001	C	1	Leigh McDowell	物	—	Leigh McDowell	1/11	2/1	15	○	
	英語上級B	L	7002	A	1	Mike Barker	情	—	Mike Barker	11/5	1/7	15	○	
	英語上級B	L	7002	B	1	(David Sell)	情	—	(David Sell)	11/2	11/30	15	○	
	英語上級B	L	7002	C	1	Paul McAleese	バ	—	Paul McAleese	11/1	11/27	15	○	
	英語上級C	L	7003	A	1	Leigh McDowell	物	—	Leigh McDowell	11/2	11/30	15	○	
	英語上級C	L	7003	B	1	(中山裕木子)	物	—	(中山裕木子)	11/7	11/28	15	○	
	英語上級C	L	7003	C	1	Mike Barker	情	—	Mike Barker	11/2	1/11	15	○	
	英語上級D	L	7004	A	1	Leigh McDowell	物	—	Leigh McDowell	9/5	9/28	15	○	
	英語上級D	L	7004	B	1	(中山裕木子)	物	—	(中山裕木子)	9/7	9/28	15	○	
	海外英語研修Ⅰ	P	7005	—	2	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	テーマ毎に異なる		30	—	
	海外英語研修Ⅱ	P	7006	—	2	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	テーマ毎に異なる		30	—	
	海外英語研修Ⅲ	P	7007	—	2	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	テーマ毎に異なる		30	—	
	国際研修Ⅰ	P	7008	—	1	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	テーマ毎に異なる		15	—	
	国際研修Ⅱ	P	7009	—	1	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	テーマ毎に異なる		15	—	
	国際研修Ⅲ	P	7010	—	1	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	テーマ毎に異なる		15	—	
	研究留学Ⅰ	P	7011	—	2	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	テーマ毎に異なる		30	—	
	研究留学Ⅱ	P	7012	—	2	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	テーマ毎に異なる		30	—	
	研究留学Ⅲ	P	7013	—	2	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	テーマ毎に異なる		30	—	
	国際ワークショップ企画演習	P	7014	—	1	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	テーマ毎に異なる		15	—	
	プロジェクトマネジメントⅠ	P	7015	—	1	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	テーマ毎に異なる		15	—	
	プロジェクトマネジメントⅡ	P	7016	—	1	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	テーマ毎に異なる		15	—	
	プロジェクトマネジメントⅢ	P	7017	—	1	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	テーマ毎に異なる		15	—	
	情報理工学特別講義	L	7018	A	1	プログラム長(正)	情	—	(電子シラバスで確認)	(電子シラバスで確認)		15	○	※特別講義の責任教員はプログラム長(正)とする。
	情報生命科学特別講義	L	7019	A	1	プログラム長(正)	バ	情	(電子シラバスで確認)	(電子シラバスで確認)		15	○	
	バイオサイエンス特別講義	L	7020	A	1	プログラム長(正)	バ	—	大谷美沙都、中畑泰和、渡辺大輔、吉田聡子、島山道則、田中良樹、宮島俊介、由利俊佑	(電子シラバスで確認)		15	○	
	バイオナノ理工学特別講義	L	7021	A	1	プログラム長(正)	物	バ	廣田俊、上久保裕生、安藤剛、細代広治、橋本隆、出村拓、梅田正明、伊藤寿朗	(電子シラバスで確認)		15	○	
	物質理工学特別講義	L	7022	A	1	プログラム長(正)	物	—	中村雅一 他	(電子シラバスで確認)		15	○	
	知能社会創成科学特別講義	L	7023	A	1	プログラム長(正)	情	物	浦岡行治、太田淳、他情報科学領域教員	(電子シラバスで確認)		15	○	
データサイエンス特別講義	L	7024	A	1	プログラム長(正)	デ(情)	バ物	中村 哲、森 浩禎、浦岡行治、小野直亮、鈴木 優	(電子シラバスで確認)		15	○		
イノベーションマネジメントA	L	7025	A	1	久保浩三	研(情)	—	久保浩三	11/1	11/15	15	○		
イノベーションマネジメントB	L	7026	A	1	(David Sell)	情	—	(David Sell)	12/10	2/25	15	○		
キャリアマネジメントA	L	7027	—	1	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員、(外部講師)	テーマ毎に異なる		15	—		
キャリアマネジメントB	L	7028	A	1	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員、(外部講師)	(電子シラバスで確認)		15	—		
自立的な研究能力を養う科目	先進ゼミナール	—	8001	—	1	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	研究室毎に異なる		—	—	
	博士論文研究Ⅰ	—	8002	—	3	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	研究室毎に異なる		—	—	
	博士論文研究Ⅱ	—	8003	—	3	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	研究室毎に異なる		—	—	
	博士論文研究Ⅲ	—	8004	—	3	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	研究室毎に異なる		—	—	
	博士論文研究Ⅳ	—	8005	—	3	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	研究室毎に異なる		—	—	
	博士論文研究Ⅴ	—	8006	—	3	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	研究室毎に異なる		—	—	
	博士論文研究Ⅵ	—	8007	—	3	主指導教員	—	—	所属研究室担当教員	研究室毎に異なる		—	—	

・講義形態のLは講義科目、Pは演習科目を示す。
 ・担当教員の()は、非常勤講師を示す。集中講義日程の詳細は電子シラバスに掲載。

授業開講期間に具体的日付が入っていない授業科目の日程は、詳細が決まり次第、随時、電子シラバスに掲載しますので、確認してください。

<<大学ホームページ → 在学生の方へ(学内専用) → 学務関係 → 電子シラバスシステム>>

6-2. 授業番号に関する情報 (ナンバリング)

授業番号は、授業科目の水準に基づく4桁の数字で構成されます。

[ナンバリングの見方]

1桁目：授業科目の水準を示す。

1XXX = 一般科目 (博士前期課程)

2XXX = 序論科目 (博士前期課程)

3XXX = 基盤科目 (博士前期課程)

4XXX = 専門科目 (博士前期課程)

5XXX = PBL 科目 (博士前期課程)

6XXX = 研究活動科目 (博士前期課程)

7XXX = 研究者の素養を養う科目 (博士後期課程)

8XXX = 自律的な研究能力を養う科目 (博士後期課程)

2~4桁目：1桁目の区分毎の授業科目の識別番号を示す。

XXXX = 001~999の番号

また、授業科目によってはクラス分けされるものがありますので、授業科目及び担当教員一覧の授業番号の列の右側にクラスコードの列を設け表示しています。

6-3. 授業時間割

授業時間割は、電子シラバスシステムから確認できます。

<<大学ホームページ → 在学生の方へ (学内専用) → 学務関係 →
電子シラバスシステム>>

第7章 学位論文審査基準等（学位規程を含む）

■第7章 学位論文審査基準等（学位規程を含む）

7-1. 学位論文審査基準

<博士前期課程>

（修士論文の審査基準）

修士論文は、新規性や有効性を重視した上で、専攻分野にかかる学術論文として以下の項目に基づき審査を行います。

具体的には、各審査委員が修士論文の内容に関わる項目についての評価を行い、その評価が設定された基準を満たした場合に、合格とします。

1. 研究の背景や目的が十分に説明されている。
2. 研究の進め方や研究方法についての吟味が十分になされている。
3. 実験データや理論計算の結果、調査結果についての整理と解析が十分になされている。
4. 得られた結果に基づく結論や新しい仮説への展開が論理的に十分に示されている。
5. 論文が学術的な記述法で適切に記述されている。
6. 研究倫理の問題に適切に対応している。

<博士後期課程>

（博士論文の審査基準）

博士論文は、新規性や有効性を有する専攻分野にかかる学術論文として以下の項目に基づき審査を行います。

なお、その主要な部分は、博士論文提出者自身が査読のある学術論文、査読のある国際会議、或いは、著書などで公表しているか、もしくは、公表予定であることを審査における前提条件とします。

具体的には、各審査委員が博士論文の内容に関わる項目についての評価を行い、その評価が設定された基準を満たした場合に、合格とします。

1. 研究の背景や目的が十分に説明されている。
2. 研究の進め方や研究方法についての吟味が十分になされている。
3. 実験データや理論計算の結果、調査結果についての整理と解析が十分になされている。
4. 得られた結果に基づく結論や新しい仮説への展開が論理的に十分に示されている。
5. 論文が学術的な記述法で適切に記述されている。
6. 研究倫理の問題に適切に対応している。

○学位取得を見据えたマイル／キャップストーン

本学では、円滑な学位授与を促進するため、学位取得を博士前期課程・博士後期課程それぞれのキャップストーンとし、それを見据えたマイルストーンを設定しています。この制度は、平成30年度受入れ学生から適用します。以下に、例として、4月入学で標準修業年限修了の場合のマイル／キャップストーンの設定時期のガイドラインを示します。

＜博士前期課程＞

- ・ マイルストーン : 2年次 11月までに1回 (中間報告)
- ・ キャップストーン : 2年次 2月 (修士論文審査)

＜博士後期課程＞

- ・ マイルストーン : 1年次 11月までに1回 (中間報告)
- ・ マイルストーン : 2年次 11月までに1回 (中間報告)
- ・ マイルストーン : 3年次 11月までに1回 (中間報告)
- ・ キャップストーン : 3年次 2月 (博士論文審査)

※マイルストーンでの評価は、博士前期課程2年次以降、毎年次1回は行うものとする。

マイル／キャップストーンの指標となるルーブリック表は、教育カルテシステムから確認できます。

自身で研究を進める過程において、このルーブリックを定期的に活用することで、より質の高い研究に到達するために必要なことを確認し、論文を自ら改善するのに役立てください。

＜＜大学ホームページ → 在学生の方へ (学内専用) → 学務関係 → 教育カルテシステム＞＞

7-2. 学位規程

次頁を参照してください。

奈良先端科学技術大学院大学学位規程

平成16年4月1日
規程第 19 号

（趣旨）

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）第44条第3項の規定に基づき、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）において授与する学位に関し必要な事項を定める。

（学位の種類及び専攻分野の名称）

第2条 本学において授与する学位は、修士及び博士とする。

2 学位には、専攻分野の名称として、理学、工学又はバイオサイエンスを付記するものとする。

（学位授与の要件）

第3条 修士の学位は、本学の博士前期課程を修了した者に授与する。

2 博士の学位は、本学の博士後期課程を修了した者に授与する。

3 前項に定めるもののほか、博士の学位は、博士論文の審査に合格し、かつ、本学の博士後期課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認（以下「学力の確認」という。）された者に授与することができる。

（学位論文の提出等）

第4条 本学研究科の博士前期課程を修了しようとする者は、所定の学位論文審査願に修士論文を添えて、研究科長に提出し、試験を受けるものとする。

2 特定の課題についての研究の成果を、前項の修士論文に代えることができる。

3 本学研究科の博士後期課程を修了しようとする者は、所定の学位論文審査願に博士論文、論文目録、論文の内容の要旨及び履歴書を添えて、研究科長に提出し、試験を受けるものとする。

4 前条第3項の規定により、博士の学位の授与を受けようとする者は、学位申請書に博士論文、論文目録、論文内容の要旨、履歴書及び学位論文審査手数料を添え、学位に付記する専攻分野を指定して学長に提出するものとする。

5 学位論文審査手数料は、57,000円とする。

6 学長は、第4項の学位申請書を受理したときは、研究科長に回付するものとする。

7 提出した学位論文等及び納付した学位論文審査手数料は、返還しない。

（学位論文）

第5条 学位論文は、1編とし、修士論文は1通、博士論文は3通を提出するものとする。ただし、参考として他の論文を添付することができる。

2 研究科長は、学位論文の審査のため必要があるときは、学位論文の訳文、模型、標本その他必要な資料の提出を求めることができる。

（試験及び学力の確認）

第6条 試験は、学位論文に関連のある専門分野について、筆記又は口述により行うもの

とする。

- 2 第3条第3項に規定する学力の確認は、博士論文に関連のある科目及び外国語について、筆記又は口述により行うものとする。

(審査委員会)

第7条 教授会は、論文の審査、試験及び学力の確認を行うため、審査委員会を設ける。

- 2 前項の審査委員会は、研究科及び学内共同教育研究施設の教員のうちから3人以上で構成する。この場合において、少なくとも教授2人又は教授1人及び教授会において認められた准教授1人を構成員としなければならない。

- 3 審査委員会に主査を置く。

- 4 教授会において審査のため必要があると認めたときは、他の大学院若しくは研究所等の教員等を審査委員に加えることができる。

- 5 第4条第4項の規定により提出のあった者の論文の審査及び学力の確認は、博士論文が提出された日から1年以内に終了しなければならない。ただし、特別の事由があるときは、教授会の議を経て、その期間を延長することができる。

(審査結果の報告)

第8条 修士の学位に係る審査委員会は、論文の審査及び試験が終了したときは、直ちに、学位を授与できるか否かの意見を教授会に文書で報告しなければならない。

- 2 博士の学位に係る審査委員会は、論文の審査及び試験又は学力の確認が終了したときは、直ちに、学位を授与できるか否かの意見を教授会に文書で報告しなければならない。この場合において、次の各号に定める区分に応じ、当該各号に掲げる書類を提出するものとする。

- (1) 第4条第3項の規定による者の場合 論文の内容の要旨、審査の結果の要旨及び試験の結果の要旨
 (2) 第4条第4項の規定による者の場合 論文の内容の要旨、審査の結果の要旨及び学力の確認の結果の要旨

(学位授与の審議)

第9条 教授会は、前条の報告に基づいて、学位の授与について審議する。

(審議結果の報告)

第10条 研究科長は、教授会の審議結果を文書で学長に報告しなければならない。

(学位の授与)

第11条 学長は、前条の報告に基づいて学位を授与できると決定した者に学位記を授与する。

- 2 学位記の様式は、様式第1号、様式第2号及び様式第3号までのおりとする。
 3 学長は、学位を授与できないと決定した者には、その旨通知する。

(博士論文の要旨等の公表等)

第12条 学長は、博士の学位を授与したときは、当該博士の学位を授与した日から3月以内に文部科学大臣に報告するとともに、その論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。

（博士論文の公表）

第13条 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に当該博士論文の全文を公表しなければならない。ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りでない。

2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、本学の承認を得て、当該博士論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表することができる。この場合において、本学は、当該博士論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。

3 博士の学位を授与された者が行う前2項の規定による公表は、本学を通じて、インターネットの利用により行うものとする。

（学位名称の使用）

第14条 本学の学位を授与された者が、学位の名称を用いるときは、本学の名称を付記するものとする。

（学位授与の取消）

第15条 学長は、学位を授与された者が、不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したときは、教授会の議を経て、学位授与を取り消し、学位記を返還させ、かつ、その旨を公表するものとする。

（雑則）

第16条 この規程に定めるもののほか、学位の授与に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

（施行期日）

1 この規程は、平成25年6月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規程による改正後の学位規程（以下「新学位規程」という。）第12条の規定は、この規程の施行の日以後に博士の学位を授与した場合について適用し、同日前に博士の学位を授与した場合には、なお従前の例による。

3 新学位規程第13条の規定は、この規程の施行の日以後に博士の学位を授与された者について適用し、同日前に博士の学位を授与された者については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

（施行期日）

1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 平成29年度以前に入学した学生については、第7条第2項の規定を除き、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。

様式第1号（第11条関係）（博士前期課程を修了した場合）

修第 号

学 位 記

氏 名

年 月 日 生

本学大学院先端科学技術研究科先端科学技術専攻の博士前期課程（〇〇プログラム）を修了したので修士（〇〇）の学位を授与する

平成 年 月 日

奈良先端科学技術大学院大学長

学長名
大学の印 学長の印

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY

Hereby confers the degree of
Master of（専攻分野の名称）
upon

(氏 _____ 名)
(Surname) (Givenname)

(Date of Birth)

for having successfully completed the Master`s
Course (Program of 〇〇) in the Graduate School of
Science and Technology

Date of Issue: (発行日)

Official Seal of the Institute President`s Seal

(学長署名)
(学長名)
President,
Master`s No. : (番号) Nara Institute of Science and Technology

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

様式第2号（第11条関係）（博士後期課程を修了した場合）

博第 号

学 位 記

氏 名

年 月 日 生

本学大学院先端科学技術研究科先端科学技術専攻の博士後期課程を修了したので博士（〇〇）の学位を授与する

論文題目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○

平成 年 月 日

奈良先端科学技術大学院大学長

学長名
大学の印 学長の印

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY

Hereby confers the degree of
Doctor of（専攻分野の名称）
upon

(氏 _____ 名)
(Surname) (Givenname)

(Date of Birth)

for having successfully completed the Doctoral Course
in the Graduate School of Science and Technology

Thesis Title : (論文題目)

Date of Issue:(発行日)

Official Seal of the Institute President`s Seal

(学長署名)
(学長名)
President,
Doctorate No. : (番号) Nara Institute of Science and Technology

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。



学位規程

様式第3号（第11条関係）（第3条第3項の規定により授与する場合）

博第 号	
学 位 記	
氏 名	
年 月 日生	
本学に学位論文を提出し所定の審査に合格したので博士(〇〇)の学位を授与する	
論文題目	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
平成 年 月 日	
奈良先端科学技術大学院大学長	
大学の印	学長名 学長の印

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY	
Hereby confers the degree of Doctor of（専攻分野の名称） upon	
(氏) (名) (Surname) (Givenname)	
<hr style="width: 10%; margin: auto;"/> (Date of Birth)	
for having submitted a Doctoral Dissertation and having passed the Prescribed Evaluations	
Thesis Title : (論文題目)	
Date of Issue:(発行日)	
Official Seal of the Institute President's Seal	
	(学長署名) (学長名) President,
Doctorate No. : (番号) Nara Institute of Science and Technology	



(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

7-3. 学位授与までの日程

学位授与は、3ヶ月毎（3月、6月、9月、12月）に行われます。以下に、学位授与までのおよその日程を、4月入学で3月修了する場合（標準修業年限修了（2年））の例を示します。

<博士前期課程>

12月下旬	学位論文審査願、論文内容の要旨の提出 →期日までに研究科長(所属研究室の棟の1階事務室)に提出する。審査願には、専攻分野の名称希望(理学、工学、バイオサイエンス)を記入する。
1月中旬	教授会（論文題目、論文審査委員の承認）
2月中旬 ～ 2月下旬	修士論文発表会（論文審査と試験） →修士論文審査委員は、キャップストーンを確認し、学位論文審査基準に沿って審査する。審査結果は教授会に報告する。
2月下旬 or 3月上旬	教授会（審査報告・審議・議決：修了認定） →修了要件(修得単位、論文審査合格、試験合格)を満たすことを確認し、修了認定を行う。

<博士後期課程>

12月上旬	博士論文審査願、論文目録、論文内容の要旨、履歴書の提出 →期日までに研究科長(所属研究室の棟の1階事務室)に提出する。審査願には、専攻分野の名称希望(理学、工学、バイオサイエンス)を記入する。
12月中旬 ～ 1月中旬	教授会（論文題目、論文審査委員の承認）
12月中旬 ～ 2月中旬	公聴会（予備審査） →博士論文審査委員は、キャップストーンを確認し、学位論文審査基準に沿って審査する。必要であれば博士論文(最終稿)の指導を行う。参加者から評価に関する意見があった際は、審査委員はそれらを審査に取り入れる。合格すれば、学位論文審査に進める。公聴会の際に提出した博士論文に修正を加えて博士論文(最終稿)を仕上げる。
予備審査 合格次第	学位論文審査 →博士論文審査委員は、学位論文審査基準に沿って博士論文(最終稿)の審査を行う。必要に応じて当該学生が参加する。審査結果は教授会に報告する。
2月下旬 or 3月上旬	教授会（審査報告・審議・議決：修了認定） →修了要件(修得単位、論文審査合格、試験合格)を満たすことを確認し、修了認定を行う。

第8章 学修支援

■第8章 学修支援

8-1. 保健管理センター（キャンパスマップ③）

学生・教職員の心身の健康を保持するため、Check 機能として健康診断を、Cure 機能としては日常診療を行い、Care 機能として生活指導・健康教育を充実させ、これらを相乗させ健康増進（health promotion）を目指すよう、学生会館の2階に保健管理センターがあります。センターには、診察室・懇話室／健康相談室・休養室が機能的に配置され、内科医師・看護師各1名が常勤しています。

所 長 寶學 英隆（連絡先（所長室） 内線：5105）

看 護 師 西山 絹代（連絡先（診察室受付） 内線：5108）

利用時間 月曜日～金曜日 9:00～13:30、14:30～17:00（年末年始、祝日除く）

健康診断の日程など必要な事項は、電子メールで連絡します。なお、HCC NEWS（保健管理センターだより）を大学ホームページに掲載しています。

<<本学ホームページ → 各研究科・学内施設 → 保健管理センター>>

8-2. 障害学生支援室

本学では、障害のある学生が自立的な学生生活を送る上でのサポートを行うため、障害学生支援室を設置しています。本室には、障害やカウンセリングに関する専門知識を有するスタッフがおり、スタッフが関連部局や教職員等と連携しながら、障害のある学生の学修支援と学生相談（心理・生活相談）を行います。

8-3. キャリア支援室

本学では、学生のキャリア形成をサポートするために、キャリア支援室を設置しています。事務局棟1階（教育支援課隣り）に位置し、就職関連図書（SPI 対策本や会社四季報など）、インターンシップや就職に関するチラシを取り揃え、キャリア支援室担当者が皆さんのキャリア形成に関する様々なサポートを行っています。

1. 開室時間 9:30～17:30（12:00～13:00を除く）（大学が定める休日は閉室）

2. キャリア相談

キャリアビジョンや就職活動を進めていく上での悩み・不安などについて相談を受け付けています。相談には、キャリア支援室担当者のほか、就職支援機関のキャリア・アドバイザーが対応します。相談は予約制で、予約方法の詳細はキャリア支援室ホームページに掲載しています。なお、相談内容の秘密は厳守されます。

[予約用 URL] <http://www.supersaas.jp/schedule/naist-career/>

3. 就職ガイダンス

学生のキャリアアップや就職活動を支援するために、キャリアアップセミナー、就職ガイダンス、業界・企業研究会、公務員対策講座、各種テスト対策、エントリーシート対策講座などを実施しています。日程等の詳細は、後日、キャリア支援室ホームページやメールによりお知らせします。

4. 就職関連図書の貸出

就職活動やキャリアビジョン策定に役立つ図書の貸出を行っています。図書貸出のルールはキャリア支援室ホームページに掲載しています。

5. 連絡先

内線番号:5921/5922 E-mail:career@ad.naist.jp URL:<http://www.naist.jp/career/>

8-4. 総合情報基盤センター（キャンパスマップ⑦）

総合情報基盤センター（ITC：Information iniTiative Center）は、本学の情報基盤、及び情報ネットワークシステム（曼陀羅システム）の整備・運用・管理、情報セキュリティ管理、情報メディアを活用した教育研究の支援等を行なっています。

曼陀羅システムとは

総合情報基盤センターでは、大学の情報基盤・情報ネットワークシステムのことを、**曼陀羅システム**と呼んでいます。“曼陀羅”とは密教における無限小の求心が逆に無限大の拡散に繋がる心理を意味しています。本学ではこれを基本理念として、利用者のニーズに基づいたシステム展開と、先進的な環境構築のために戦略的なアーキテクチャ構成を行っています。また“曼陀羅”が表す「過不足の無い充実した状態」の達成を目指し、曼陀羅システムの構築を進めています。

○曼陀羅システムを利用するには

主要サービス利用については、下記 URL をご覧ください。

- メール
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/Mail/mailenv.html>
- 無線 LAN
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/wireless/>
- キャンパスライセンスソフトウェア
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/campuslicense/>
- プリンタ（複合機）
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/manual/printer/printer.html>
- 小規模計算サーバ
<http://trac.naist.jp/trac/grid/>

その他のサービス・問合せ窓口に関する情報は下記 URL の上部タブから参照できます。

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/index.ja.html>

また、下記の各種規定及び基本ルール等を必ず守った上で利用してください。

- 情報ネットワーク利用に関する倫理規定
<http://reiki.naist.jp/kiyaku/pdf/12020.pdf>
- 全学情報環境システム運用方針
http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/mandara_operation_policy_ja.pdf
- パスワードについて
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/password/good-passwd.html>
- PC のセキュリティ対策について
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/security/>
使用する PC においてはセキュリティ対策を必ず実施してください。
- P2P ソフトウェア利用に関して
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/p2p/p2p-request.html>
P2P ソフトウェアは学内および学生宿舎での利用を禁止しています。

第9章 キャンパスライフ

■第9章 キャンパスライフ

9-1. 授業料の額及び納付方法

○授業料の額及び口座振替による引落日

区分	授業料の額(※1)	引落日(※2)
博士前期課程	535,800 円	春学期(4月～9月)分：平成30年5月28日(月)
博士後期課程	(半期267,900 円)	秋学期(10月～3月)分：平成30年11月27日(火)

※1：在学中に授業料改訂が行われた場合には、新授業料が適用されます。

(5月及び11月に、電子メールにより授業料金額を通知しますので、ご確認願います。)

※2：5月及び11月の授業料の引落日は27日ですが、27日が金融機関休業日の場合、翌営業日の引き落としとなります。(引き落とし日の前営業日の15時に残高照会が行われます)

○納付方法

本学で定める春学期分及び秋学期分の引落日に、それぞれ半期分を口座振替(代行納付)により引落しします。(春学期分と併せて秋学期分も納入を希望される方は、4月27日(金)までに申し出てください。なお、免除申請者は申請の結果がわかるまで猶予されません。)口座振替の手続き等の詳細については会計課資金係(内線6227)へ問い合わせてください。授業料の納付を2期分怠ると除籍となりますので、ご注意ください。

9-2. 学生証

本学の学生証はカードになっています。このカードは、学生の身分を証明すると同時に、各建物への時間外(午後7時以降翌朝午前7時30分までの間、土日祝)の入室や証明書自動発行機の操作、図書館の本を貸し出しするための電子キーとしての働きもしますので、学内では常時着用してください。カードには、各学生の学籍番号、入学年月日等が入力されていますので、各建物への入室許可条件を自動判別することになります。

○カード所持にあたっての注意事項

- ① 学内では学生証入れ等を使用し、常時着用すること。
- ② 他人に貸与又は譲渡しないこと。
- ③ 紛失した場合あるいは磁気不良等でカードが使用できない場合は、直ちに教育支援課学務係へ届け出ること。
当該建物に入る際、カードリーダーを通して作動しない場合は、インターホンで所属と氏名を告げてロックを解除してもらうこと。(事務局棟1階：防災センターで対応)
- ④ 有効期間が満了したとき及び退学等により学生の身分を失ったときは、直ちに教育支援課学務係へ返却すること。
- ⑤ 学生証の取扱いについては以下の事項に注意すること。
 - ・高磁場・磁気(NMR等)に近づけない
 - ・高温な場所(夏場の車内等)に放置しない
 - ・折り曲げない

9-3. 学生個人報告書

入学手続き時に提出していただいた「学生個人報告書」の情報は、緊急時における連絡用として使用しますので、以下の記載事項に変更が生じた場合は、速やかに教育支援課学務係へ届け出てください。

記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ・入学後の住所、電話番号、携帯電話番号 ・勤務先の情報（有職者のみ） ・緊急時の連絡先欄の連絡先氏名、続柄、住所、電話番号
届出方法	教育支援課窓口（学務係）で受け付けます。

9-4. 諸手続・諸証明書

○諸手続

手続きには、大学があらかじめ掲示等で通知をし、一定の期間内に行うものと、必要となった都度自発的に行うものがあります。手続きを怠ったり時期を失したりした場合には、本人の不利益となるばかりでなく、多方面に支障をきたすことがあるので、十分注意してください。

提出書類	内容	問合せ・提出窓口
休学願	3ヶ月以上修学できない場合 （個人留学を含む。病気の場合は診断書添付） ※2週間前までに提出	教育支援課学務係
復学願	休学期間の途中で復学する場合 （病気の場合は診断書添付）	
復学届	休学期間満了時に復学する場合 （病気を理由に休学し、指導教員の指示があった場合は診断書添付）	
退学願	退学する場合 ※2週間前までに提出	
改姓（名）届	姓名が変更した場合 ※住民票等、姓名の変更を確認できるものを添えて提出すること	
学生証再交付願	学生証を紛失したとき、汚損により使用不能となったとき	
海外渡航届	海外に渡航するとき	教育支援課教育企画係
留学願	海外に留学するとき ※2ヶ月前までに提出	国際課国際連携係
進路・就職（内定）届	修了等により本学の学籍がなくなる時	キャリア支援室
教育支援課関係の各種の願・届出書等の所定用紙は、教育支援課窓口及び大学ホームページから入手できます。 <<大学ホームページ → 在学生の方へ（学内専用） → 学務関係 → 教育カルテシステム>>		

○休学・退学の手続きに関する注意事項

(1) 休学

- ・病気その他やむを得ない事由により、引き続き3ヶ月以上修学できない場合に申請することができます。病気を理由に休学する場合は診断書を添付してください。
- ・休学期間は1年以内です。ただし、特別の理由がある場合は1年を限度として延長を申請できます。休学期間の延長を申請する場合には、再度、休学(延長)願を提出してください。
- ・休学期間は標準修業年限及び在学年限に算入しません。
- ・復学後の修了の見込み等もお知らせください。
- ・一部の証明書(修了見込証明書、健康診断証明書、学割証)について発行することはできません。
- ・図書館の利用はできません。
- ・休学期間中の授業料は徴収しません。
- ・休学期間の途中で復学する場合には「復学願」をご提出ください。
(病気を理由に休学していた場合は診断書を添付してください。)
- ・休学期間満了時に復学する場合には「復学届」をご提出ください。
(病気を理由に休学していた場合で、指導教員の指示があったときは診断書を添付してください。 ※指導教員の指示がなければ不要です。)
- ・休学のため健康診断を受けていない方は保健管理センターに相談してください。

(2) 退学

- ・博士後期課程に3年以上在籍し、指導教員から研究指導を認定された上で退学される場合は、学籍(履歴)上は「研究指導認定退学」となります。
- ・すでに納付した授業料は返還しません。
- ・学生証は返却してください。
- ・学生宿舎に入居している方は、退去手続きが必要です。
- ・奨学金を受けている方は、変更手続きをしてください。
- ・授業料免除申請中の方は、学生支援係に連絡してください。

(3) 共通

- ・授業料の納付が許可の条件となります。
- ・原則 学期単位で申請してください。
休学：開始日は原則4月または10月から。終了日は9月末または3月末。
退学：許可希望日は原則9月末または3月末。
- ・学籍異動希望日の2週間前が締切となります。願出の提出が遅れた場合は許可日が翌月となります。
- ・願出書の理由欄には具体的にご記入ください。「一身上の都合」では申請できません。業務多忙の場合には勤務先名称も併せてご記入ください。
- ・学生宿舎等の退去、奨学金受給停止手続きなども必要です。詳細は教育支援課学生支援係へ問い合わせてください。
- ・休学により健康診断を未受診の場合は、原則、健康診断の受診が必要ですので、復学後、速やかに保健管理センターに相談してください。
- ・学籍記録については各自で把握してください。不明な点がありましたら教育支援課学務係へ問い合わせてください。

○証明書自動発行機で交付する証明書等

在学証明書、修了見込証明書、成績証明書、修了証明書、健康診断証明書及び学生旅客運賃割引証（学割証）については、学生証があれば証明書自動発行機により、即日交付します。なお、交付条件のあるものについては、以下の表を参照してください。

証明書の名称	交付条件等	証明書自動発行機 取扱時間及び設置場所
在学証明書 英文在学証明書	研究生等の非正規生を除く	取扱時間： 月曜日から金曜日 （祝日及び年末年始は除く） 7:30～19:00 まで ※早朝夜間に機器故障 が発生する可能性が ありますので、証明 書類の発行は余裕を もって行ってくださ い。 設置場所： 附属図書館玄関ロビー
修了見込証明書 英文修了見込証明書	博士前期課程については半年間在 学後、博士後期課程についてはD2 から交付可能	
（博士前期課程在籍時の） 修了証明書 英文修了証明書 成績証明書 英文成績証明書	本学学内進学者のみ対象	
成績証明書／ 英文成績証明書	研究科長名で交付される証明書 で、修得した科目のみ記載され、不 合格科目は記載されません。	
成績表／英文成績表	自身の成績を確認するものです。 修得した科目及び不合格科目につ いて記載しています。	
健康診断証明書	一般定期健康診断時の全項目を検 査している者に限る。なお、秋学期 入学者は翌年に実施される同健康 診断を受検後に発行	
学校学生生徒旅客運賃 割引証（学割証）	・年間割当数1人当たり10枚 ・有効期間3か月 （研究生等の非正規生、休学者を除く）	

○窓口で交付する証明書

「学生宿舍入居証明書」、「学研災学研陪保険加入証明書」については、所定の証明書交付申請書を使用し、教育支援課学生支援係に申し込んでください。交付に日時を要する場合があります。あらかじめ余裕をもって申し込んでください。

9-5. 通学証明書

○通学定期券について

自宅から本学間の通学定期券を購入する場合は、入学（進学）時に配布しています通学定期乗車券発行控に学籍番号、氏名及び住所を記入の上、定期券売り場で定期券購入申込書、学生証及び通学定期乗車券発行控を提示してください。（記入欄がなくなりましたら教育支援課学生支援係に申し出てください。）

なお、本学が指定している近鉄の最寄り駅は、京都線は「高の原」駅、奈良線は「学園前」駅、けいはんな線は「学研北生駒」駅です。

○実習用通学定期券について

外部研究機関等における実習のため、実習用通学定期券を購入する場合は、通学証明書を発行しますので、実習開始の1ヶ月前までに教育支援課学生支援係に申し出てください。（鉄道会社等の承認が必要なため、発行に日数を要します。）

※研究生等の非正規生や休学中の学生は通学定期券を購入することはできません。

9-6. 日本学生支援機構奨学金制度

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により、修学が困難であると認められる場合には、本人の出願に基づいて選考の上、奨学金が貸与されます。

日本学生支援機構奨学金制度には、無利子の第一種奨学金制度と有利子の第二種奨学金制度があります。第一種奨学金の貸与を受け、在学中に特に優れた業績をあげた者として支援機構が認定した方には、貸与期間終了時に、奨学金の全部または一部の返還が免除される制度があります。

区分	貸与月額		貸与期間
	第一種奨学金	第二種奨学金	
博士前期課程	月額50,000円、88,000円の選択可能	申請者が次の貸与月額から選択(5・8・10・13・15万円)	当該課程の標準(最短)修業年限以内
博士後期課程	月額80,000円、122,000円の選択可能		

申請手続き等詳細については、教育支援課学生支援係へ問い合わせてください。

9-7. 民間育英団体の奨学金

民間の育英奨学団体から奨学生の募集があった場合は、その都度通知します。

9-8. 授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる方及び入学前1年以内に、学資負担者が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の被害を受けたこと等により、授業料の納付が著しく困難であると認められる方に対し、選考の上、授業料の全額又は一部を免除する制度があります。申請手続き等詳細については、教育支援課学生支援係へ問い合わせてください。

9-9. 学生教育研究災害傷害保険（略称：学研災）

学生教育研究災害傷害保険は、学生が正課中、学校行事中、課外活動中、キャンパス内の休憩中及び通学中や学外実習等の移動中に被った不慮の災害事故に対する救済措置として全国の国・公・私立大学等の学生を対象とした傷害保険です。本学では、入学手続き時に加入手続きを行い、全員加入となっています。詳細については、「学生教育研究災害傷害保険加入者のしおり」を参照してください。

区分	保険料	保険期間（※）
博士前期課程	1,750円	2年間
博士後期課程	2,600円	3年間

※4月入学者は所定修了年次3月31日まで、10月入学者は所定修了年次9月30日まで

9-10. 学研災付帯賠償責任保険（略称：付帯賠償）

学研災付帯賠償責任保険は、学生が正課中、学校行事、課外活動及びその往復中で、他人にけがをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する保険制度です。本学では、入学手続き時に加入手続きを行い、全員加入となっています。詳細については、「学研災付帯賠償責任保険加入者のしおり」を参照してください。

区分	保険料	保険期間（※）
博士前期課程	680 円	2 年間
博士後期課程	1,020 円	3 年間
対人賠償・対物賠償／1 事故 1 億円限度		

※4 月入学者は所定修了年次 3 月 31 日まで、10 月入学者は所定修了年次 9 月 30 日まで

9-11. 学生宿舎（キャンパスマップ④）

本学キャンパス内には次のとおり学生宿舎が設置されています。

[学生宿舎の概要]

区分	単 身 用	夫 婦 用	家 族 用
建物構造	鉄筋 5 階建	鉄筋 5 階建	鉄筋 5 階建
居室数	559 室	50 室	10 室
居室面積	13 m ²	36.98～41.45 m ²	51.56 m ²
設備等	机, ベッド, ミニキッチン, トイレ等	机, キッチン, トイレ, 浴室, 洗濯機, エアコン等	机, キッチン, トイレ, 浴室, 洗濯機, エアコン等
共用設備	浴室, ランドリー室, ラウンジ等	—————	—————
寄宿料	月額 5,900 円	月額 11,900 円	月額 14,200 円
共益費	月額 4,100 円	月額 600～1,100 円	月額 1,100 円
光熱水料	入居者負担	入居者負担	入居者負担

9-12. 大学借り上げ住宅

（独）都市再生機構の賃貸住宅（UR 住宅）を大学が借り上げ、希望者に提供しています。対象団地は中登美第三団地、富雄団地、平城第一団地の 3 団地です。

詳細は教育支援課学生支援係へ問い合わせてください。

9-13. 駐車場及び駐輪場の利用**○自動車に通学する場合**

大学構内に自動車を駐停車することはできません。大学北側の高山地区公共駐車場に駐車してください。駐車場は有料で、現金（1 日 300 円）を用意し又は予め定期券（駐車券）を購入して駐車してください。

なお、定期券（駐車券）は、初回のみ高山地区公共駐車場北側の大学支援財団（高山サイエンスプラザ内）で購入してください。2 回目以降は、大学会館 1 階コンビニエンスストアで購入することができます。

・定期券料金（学生）：1 ヶ月 1,500 円、3 ヶ月 4,000 円、6 ヶ月 7,500 円

○自転車及びバイクで通学する場合

大学構内に自転車及びバイクを駐車することはできません。大学北側の高山地区公共駐車場内にある駐輪場に駐輪してください。駐輪料金は無料です。

なお、駐輪場を利用する場合は、教育支援課学生支援係で登録手続きを行ってください。登録のない自転車やバイクは、放置自転車として撤去されます。

9-14. 福利厚生施設

○大学会館（キャンパスマップ③）

学生及び教職員の厚生施設である大学会館に、食堂、喫茶室、コンビニエンスストア、保健管理センターを設けています。

○研究者交流施設「ゲストハウスせんたん」（キャンパスマップ⑥）

本学学生・教職員も利用できます。詳しくは本学ホームページをご覧ください。

<http://www.naist.jp/facilities/institution/person.html>

[宿泊施設] 予約・問合せ先：人事課福利厚生係

[集会施設] 予約・問合せ先：人事課福利厚生係

[フィットネス室] 申込みは必要ありません

○各種運動施設

本学学生・教職員が利用できます。申込み方法等は次のとおりです。

区 分	利用時間	申込み方法
グラウンド	午前8時から日没まで	毎月20日（土、日、祝日の場合は翌平日）に翌月分を抽選。 ・場所：学際融合領域研究棟 2号館1階ロビー ・時間：午前9時
バレー・バスケットコート	午前8時から午後10時まで	
テニスコート	平日：午前8時から日没まで 土日祝：午前7時から日没まで	
テニスコート （照明付き）	平日：午前8時から午後9時まで 土日祝：午前7時から午後9時まで	

テニス、ソフトボール等スポーツ用具類、バーベキューセットの貸出しも行っています。利用についての詳細は、教育支援課学生支援係へ問い合わせてください。

9-15. 学生なんでも相談、各種相談受付体制

○学生なんでも相談窓口

みなさんが、大学院生活を送るうえで、さまざまな問題や悩みに直面することがあると思います。本学では、そういった学生を支援するため、各研究科、保健管理センター、教育支援課に相談員を配置し、「学生なんでも相談」窓口を設けています。相談員が、問題解決へのアドバイスのほか、相談内容によってはさらに適切な相談窓口を紹介しています。悩み事が生じた場合は、一人で抱え込まず「学生なんでも相談」窓口を訪ねてください。相談内容の秘密は厳守します。なお、相談員等の詳細は、本学ホームページを参照してください。

<<大学ホームページ → 在学生の方へ（学内専用） → なんでも相談>>

○ハラスメントに関する相談

ハラスメントとは、相手の意に反する言動や行為により、相手の人格を傷つけ、人権を侵害する行為をいいます。ハラスメントには、主に次の5つが挙げられます。

セクシャル・ハラスメント アカデミック・ハラスメント パワー・ハラスメント
 妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント モラル・ハラスメント

本学では、このようなハラスメントに関する苦情の申出や相談に対応するために、ハラスメント相談員を置いています。苦情や相談がある場合は、相談員に遠慮なく電話やメール等で連絡してください。相談員等の詳細は、本学ホームページを参照してください。
 <<大学ホームページ → 在学生の方へ（学内専用） → ハラスメント関係>>

○授業内容に関する相談

本学では、授業に対する理解をより深めることを目的として、オフィスアワーの時間帯を設定しています。オフィスアワーでは、学生が授業担当教員の研究室を訪問し、授業についての質問又は相談をすることができます。各授業担当教員のオフィスアワーの時間帯及び連絡方法については、各授業科目のシラバスを参照してください。シラバスは、電子シラバスシステムから確認できます。

<<大学ホームページ → 在学生の方へ（学内専用） → 学務関係 → 電子シラバスシステム>>

○研究指導に関する相談

教育・研究上の悩み等については、指導教員（本学では、複数教員指導制を採用しています）が相談に応じます。

9-16. その他

○教育支援課窓口業務取扱時間

8:30～17:30（土、日、祝日、創立記念日、夏期一斉休業の期間及び12月29日～1月3日の期間を除く。）

上記時間外でも緊急の場合は、事務室入口から申し出てください。

○大学からの通知事項

本学学生への通知事項は、電子メールもしくは掲示により行いますが、個人あての通知事項は、主に電子メールで行います。諸手続の通知の確認を怠ったために、不利益が生じることがないように各自で充分注意してください。

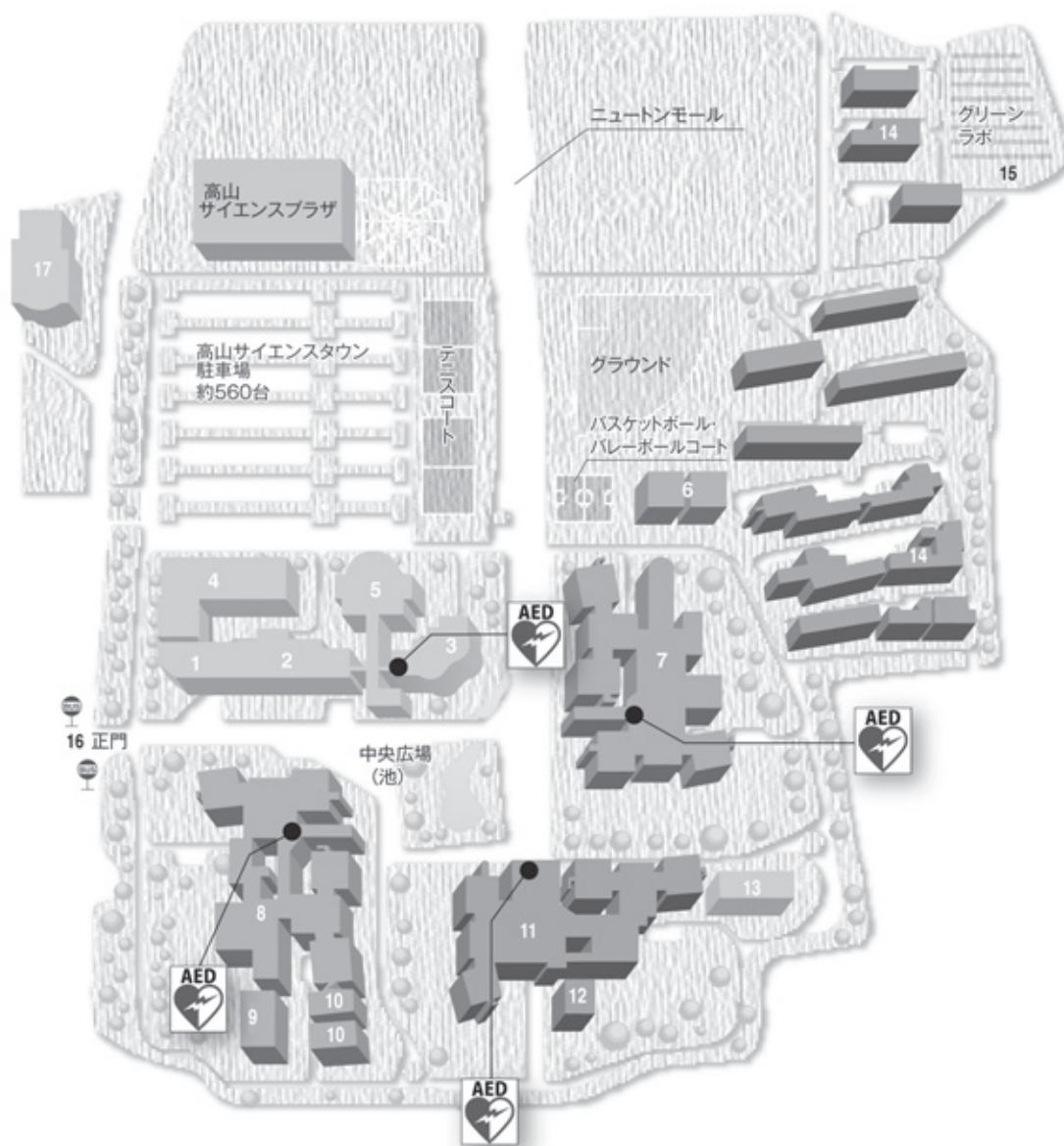
○学生向けHPの開設【<https://ad-info.naist.jp/member/>】

本学ホームページ内に「在学生の方へ（学内専用）」を開設しています。お知らせ（新着情報）や、学務関係（履修・成績評価終了通知・時間割変更）、オンライン型英語学習システム（ALC NetAcademy）、就職関連情報など様々なコンテンツを用意しています。

9-17. キャンパスマップ・建物平面図

キャンパスマップ・建物平面図は、次頁以降を参照してください。

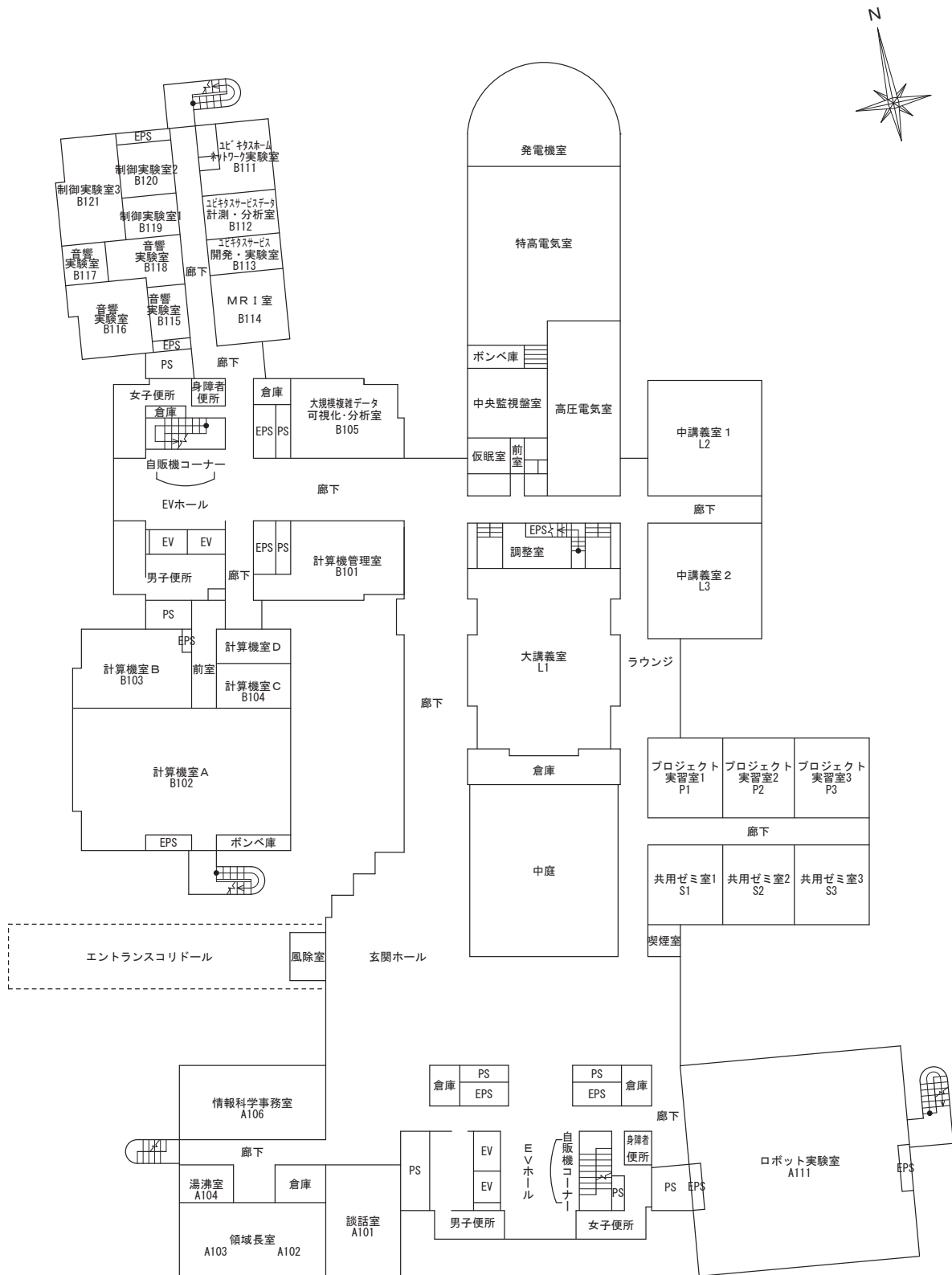
・キャンパスマップ



キャンパスマップ

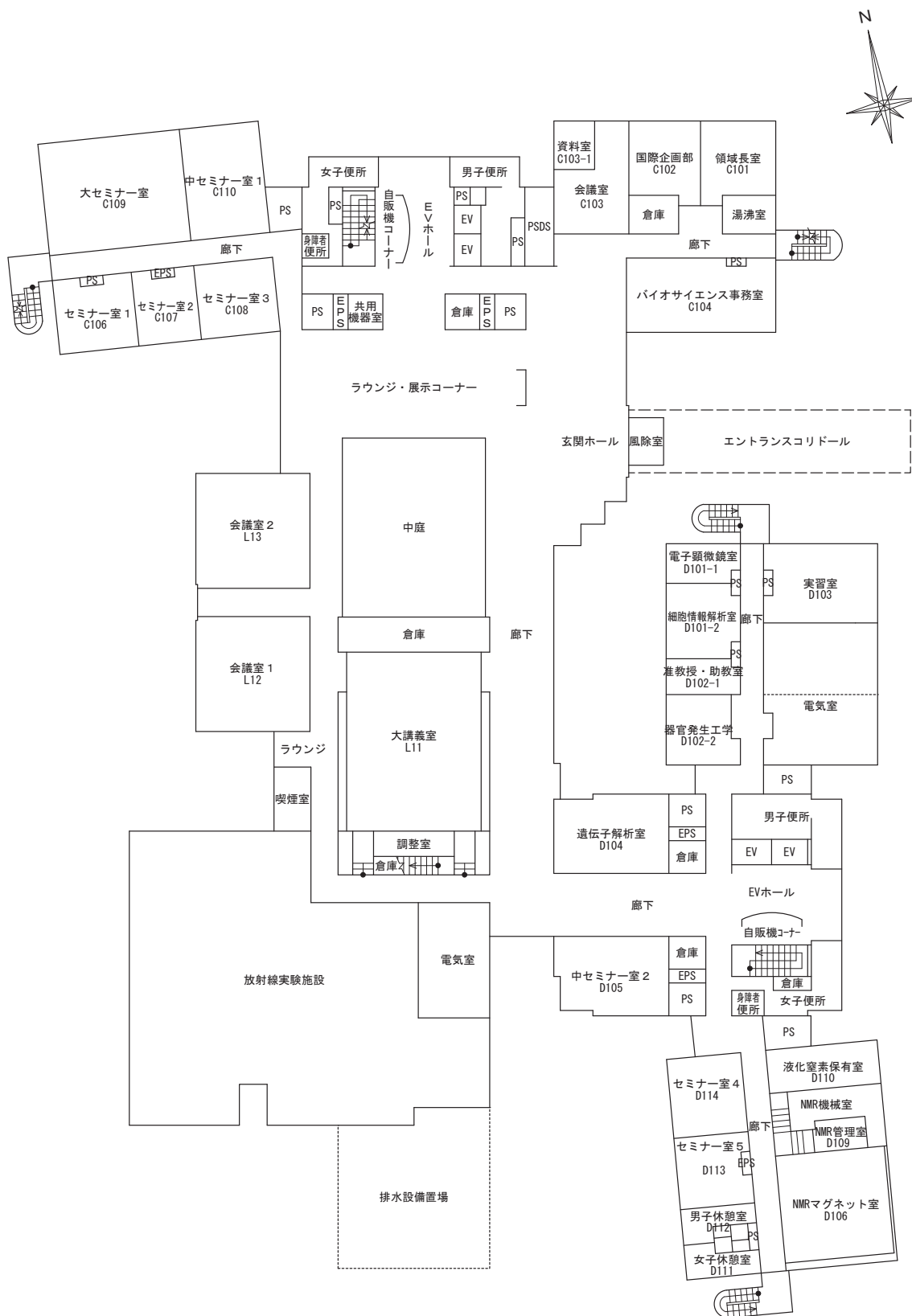
- | | |
|--|---------------------------|
| ①事務局 | ⑨動物飼育実験施設 |
| ②附属図書館(電子図書館) | ⑩植物温室 |
| ③学生会館・保健管理センター | ⑪物質創成科学棟・
物質科学教育研究センター |
| ④学際融合領域研究棟 2号館 | ⑫バイオナノプロセス実験施設 |
| ⑤ミレニアムホール | ⑬学際融合領域研究棟 1号館 |
| ⑥ゲストハウスせんたん | ⑭学生宿舎・職員宿舎 |
| ⑦情報科学棟・
データ駆動型サイエンス創造センター
総合情報基盤センター | ⑮グリーンラボ |
| ⑧バイオサイエンス棟・
遺伝子教育研究センター | ⑯正門 |
| | ⑰事務局別館 |

・ 情報科学棟 1 階平面図



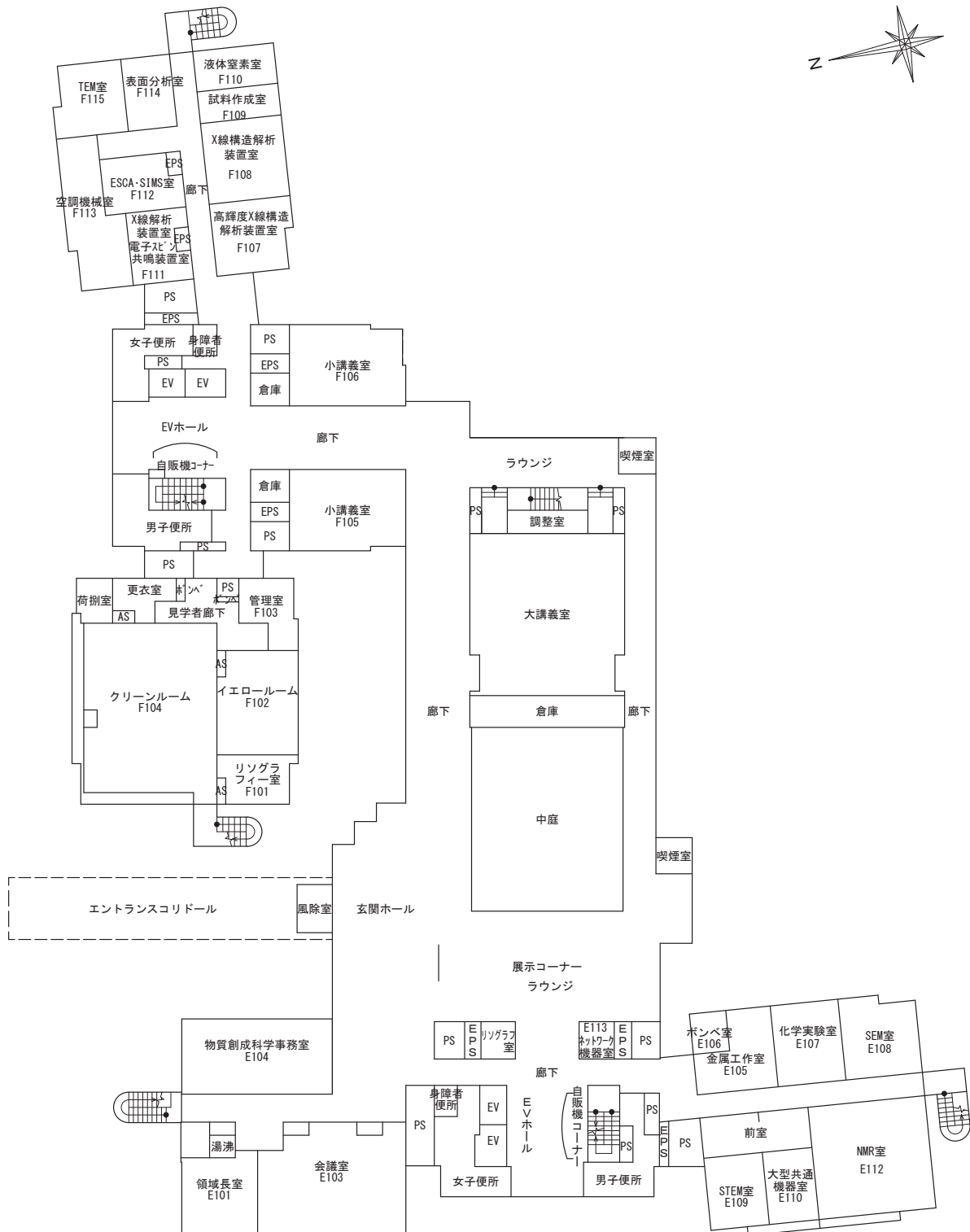
情報科学棟1階平面図

・バイオサイエンス棟 1階平面図



バイオサイエンス棟 1階平面図

・物質創成科学棟 1階平面図



物質創成科学棟 1階平面図

第 10 章 学則

奈良先端科学技術大学院大学学則

平成16年4月1日
学則第 1 号

目次

- 第1章 総則（第1条－第3条）
- 第2章 教育研究組織等（第4条－第11条）
- 第3章 学長、副学長及び研究科長等（第12条－第19条）
- 第4章 教授会（第20条）
- 第5章 入学定員及び収容定員（第21条）
- 第6章 学年、学期及び休業日（第22条－第24条）
- 第7章 入学（第25条－第30条）
- 第8章 標準修業年限及び在学年限（第31条・第32条）
- 第9章 教育方法等（第33条－第40条）
- 第10章 修了の要件及び学位等（第41条－第46条）
- 第11章 休学、留学、再入学、転入学、転学、退学及び除籍（第47条－第53条の2）
- 第12章 検定料、入学料及び授業料等（第54条－第65条）
- 第13章 特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生、研究生及び特別学修生（第66条－第69条の2）
- 第14章 賞罰（第70条）
- 第15章 学生宿舍（第71条）
- 第16章 公開講座（第72条）
- 第17章 特別の課程（第73条）
- 附則

第1章 総則

（目的）

第1条 奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）は、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、もって科学技術の進歩及び社会の発展に寄与することを目的とする。

（自己評価等）

第2条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価（以下「自己評価等」という。）を行い、その結果を公表するものとする。

- 2 本学は、自己評価等の結果について、学外者による検証を行う。
- 3 自己評価等の実施に関し必要な事項は、別に定める。

（情報の積極的な提供）

第3条 本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他の広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする。

第2章 教育研究組織等

(大学院)

第4条 本学に、大学院を置く。

(研究科、専攻)

第5条 大学院に、次に掲げる研究科及び専攻を置く。

研 究 科	専 攻
先端科学技術研究科	先端科学技術専攻

(研究科の目的)

第6条 研究科は、先端科学技術の基盤となる情報科学、バイオサイエンス及び物質創成科学の研究領域並びにこれらの融合領域において世界レベルの先進的な研究を推進し、更なる深化と融合、そして新たな研究領域の開拓を進めるとともに、その成果に基づく体系的な教育を通じて、世界と未来の問題解決や先端科学技術の新たな展開を担う「挑戦性、総合性、融合性、国際性」を持った人材を育成することを目的とする。

(教員組織)

第7条 研究科に、教員組織を置く。

2 教員組織に関し必要な事項は、別に定める。

(課程及び課程の目的)

第8条 研究科の課程は、博士課程とする。

2 博士課程は、これを前期の課程（以下「博士前期課程」という。）及び後期の課程（以下「博士後期課程」という。）に区分し、博士前期課程は、これを修士課程として取り扱うものとする。

3 博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的とする。

4 博士後期課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

(教育プログラム)

第8条の2 博士前期課程及び博士後期課程に、それぞれ次に掲げる教育プログラムを置く。

- (1) 情報理工学プログラム
- (2) 情報生命科学プログラム
- (3) バイオサイエンスプログラム
- (4) バイオナノ理工学プログラム
- (5) 物質理工学プログラム
- (6) 知能社会創成科学プログラム
- (7) データサイエンスプログラム

2 教育プログラムに関し必要な事項は、別に定める。



(総合情報基盤センター)

第9条 本学に、総合情報基盤センターを置く。

- 2 総合情報基盤センターに、附属図書館を置く。
- 3 総合情報基盤センターに関し必要な事項は、別に定める。

(学内共同教育研究施設)

第10条 本学に、次に掲げる学内共同教育研究施設を置く。

- (1) 遺伝子教育研究センター
- (2) 物質科学教育研究センター
- (3) データ駆動型サイエンス創造センター
- 2 学内共同教育研究施設に関し必要な事項は、別に定める。

(保健管理センター)

第11条 本学に、保健管理センターを置く。

- 2 保健管理センターに関し必要な事項は、別に定める。

第3章 学長、副学長及び研究科長等

(構成員)

第12条 本学の構成員は、次のとおりとする。

- 学長
- 副学長
- 研究科長
- 領域長
- 副領域長
- 総合情報基盤センター長
- 学内共同教育研究施設の長
 - 遺伝子教育研究センター長
 - 物質科学教育研究センター長
 - データ駆動型サイエンス創造センター長
- 保健管理センター所長
- 教員
- 一般職員
- その他必要な職員
- 2 教員は、教授、准教授、講師、助教及び助手とする。
- 3 一般職員は、事務職員、技術職員、看護職員及び教務職員とする。

(学長)

第13条 学長は、本学の校務をつかさどり、所属職員を統督する。

(副学長)

第14条 副学長は、学長を補佐し、又は学長の命を受けて校務をつかさどる。



(研究科長)

第15条 研究科長は、研究科の運営をつかさどる。

(領域長)

第16条 領域長は、研究科長を補佐するとともに、領域の運営をつかさどる。

(副領域長)

第16条の2 副領域長は、領域長を補佐する。

(総合情報基盤センター長)

第17条 総合情報基盤センター長は、総合情報基盤センターの業務をつかさどる。

(学内共同教育研究施設の長)

第18条 各学内共同教育研究施設の長は、当該学内共同教育研究施設の業務をつかさどる。

(保健管理センター所長)

第19条 保健管理センター所長は、保健管理センターの業務をつかさどる。

第4章 教授会

(教授会)

第20条 研究科に、教授会を置く。

- 2 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
 - (1) 学生の入学及び課程の修了
 - (2) 学位の授与
 - (3) 教育課程の編成
 - (4) 学生の表彰及び懲戒
- 3 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び研究科長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する次に掲げる事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
 - (1) 学生の他大学等における履修及び既修得単位等に関する事項
 - (2) 特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生、研究生及び特別学修生の受入れ等に関する事項
 - (3) 研究科が締結する協定に関する事項
 - (4) 研究室の設置及び改廃に関する事項
 - (5) 法令等に定める評価に係る研究科での自己点検及び評価に関する事項
 - (6) 前各号に掲げるもののほか、教育及び研究に関する事項
- 4 教授会は、研究科の教育又は研究に携わる専任の教授及び准教授で組織する。ただし、研究科長は、必要に応じて、その他教育又は研究に携わる教員を教授会の構成員とすることができる。
- 5 前項にかかわらず、外国出張中の者、休職中の者その他の者を構成員から除くことができる。

- 6 教授会に議長を置き、研究科長をもって充てる。
- 7 議長は、教授会を主宰する。
- 8 議長に事故があるときは、領域長のうちから研究科長があらかじめ指名した者が議長の職務を代理する。
- 9 教授会は、構成員の過半数の出席がなければ、議事を開き、議決することができない。
- 10 教授会の議事は、出席構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 11 研究科長が必要と認めたときは、構成員以外の者を教授会に出席させることができる。

(代議員会)

- 第20条の2 教授会は、その定めるところにより、教授会に属する教員のうちの一部の者をもって構成される代議員会を置くことができる。
- 2 教授会は、その定めるところにより、代議員会の議決をもって、教授会の議決とすることができる。

第5章 入学定員及び収容定員

(入学定員及び収容定員)

- 第21条 入学定員及び収容定員は、別表のとおりとする。

第6章 学年、学期及び休業日

(学年)

- 第22条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 2 前項の規定にかかわらず、秋学期に入学した者の学年は、10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

(学期)

- 第23条 前条の学年を、次の学期に分ける。
- (1) 春学期 4月1日から9月30日まで
 - (2) 秋学期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

- 第24条 休業日は、次のとおりとする。
- (1) 日曜日及び土曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に定める休日
 - (3) 創立記念日(10月1日)
 - (4) 春季、夏季及び冬季の休業日
- 2 前項第4号の休業日については、別に定める。
- 3 学長は、必要があると認めるときは、臨時の休業日を定めることができる。
- 4 第1項の規定にかかわらず、研究科長が教育上の必要があると認めるときは、休業日に授業を行うことができる。

第7章 入学

(入学資格)

第25条 博士前期課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条第1項に定める大学を卒業した者
 - (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
 - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの当該課程を修了した者
 - (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (8) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第155条第1項第6号に定める文部科学大臣の指定した者
 - (9) 次のいずれかに該当し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、本学において認めた者
 - ア 大学に3年以上在学した者
 - イ 外国において、学校教育における15年の課程を修了した者
 - ウ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - エ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの当該課程を修了した者
 - (10) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学したことがある者であって、本学において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - (11) 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの
- 2 博士後期課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
- (1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）

を有する者

- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
 - (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - (7) 学校教育法施行規則第156条第6号に定める文部科学大臣の指定した者
 - (8) 本学において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの
- 3 第1項第10号及び前項第8号に定める入学資格審査の実施方法等については、別に定める。

（入学の時期）

第26条 入学の時期は、学期の始めとする。

（入学の出願）

第27条 本学に入学を志願する者は、入学願書に所定の書類等を添えて、学長に願い出なければならない。

（入学者の選抜）

第28条 本学に入学を志願する者については、別に定めるところにより選抜を行う。

（入学手続き及び入学許可）

第29条 前条の選抜の結果に基づき合格の通知を受け、入学しようとする者は、所定の書類等を提出しなければならない。

2 学長は、前項の手続きを完了した者に入学を許可する。

（博士後期課程への進学）

第30条 本学の博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に進学を志願する者については、教授会において選考の上、学長が進学を許可する。

第8章 標準修業年限及び在学年限

（標準修業年限）

第31条 博士前期課程の標準修業年限は2年、博士後期課程の標準修業年限は3年とす

る。

(在学年限)

第32条 博士前期課程の学生は4年、博士後期課程の学生は6年を超えて在学することができない。

第9章 教育方法等

(教育方法)

第33条 研究科における教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導(以下「研究指導」という。)によって行う。

(授業科目及びその単位数並びに履修方法等)

第34条 前条の授業科目及びその単位数並びに履修方法等は、別に定める。

(単位の計算方法)

第35条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲の授業をもって1単位とする。

(2) 実験及び実習については、30時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位とする。

(3) 一の授業科目について、講義、演習、実験又は実習のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮した時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、研究論文及び課題研究の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(成績評価基準等の明示等)

第35条の2 研究科は、学生に対して、授業及び研究指導の方法及び内容並びに1年間の授業及び研究指導の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 研究科は、学修の成果及び学位論文に係る評価並びに修了の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第35条の3 本学は、授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

2 教育内容等の改善のための組織的な研修等に関し必要な事項は、別に定める。

(単位の授与)

第36条 授業科目を履修し、その試験又は研究報告に合格した者には、所定の単位を与

える。

第37条 削除

(他の大学院における授業科目の履修等)

第38条 学生が他の大学院の授業科目を履修することについて、教授会の議を経て、研究科長が教育上有益であると認めるときは、あらかじめ、当該他の大学院と協議の上、当該他の大学院の授業科目を履修することを認めることがある。

- 2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、本学において修得したものとみなす。ただし、本学において修得したものとみなすことができる単位数は、10単位を超えないものとする。
- 3 第1項の規定により授業科目を履修した期間は、在学期間に算入する。
- 4 前3項の規定は、外国の大学院が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合、外国の大学院の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合及び国際連合大学の教育課程における授業科目を履修する場合について準用する。
- 5 他の大学院における授業科目の履修等に関し必要な事項は、別に定める。

(休学期間中に外国の大学院において修得した授業科目の単位の認定)

第38条の2 学生が休学期間中に外国の大学院において修得した授業科目の単位について、教授会の議を経て、研究科長が教育上有益であると認めるときは、本学において修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定により本学において修得したものとみなすことができる単位数は、前条第2項及び第4項により修得したものとみなす単位数と合わせて10単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位の認定)

第39条 学生が本学に入学する前に大学院において修得した授業科目の単位（大学院設置基準第15条において準用する大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第31条に定める科目等履修生として修得した単位を含む。）について、教授会の議を経て、研究科長が教育上有益であると認めるときは、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定により本学において修得したものとみなすことができる単位数は、本学において修得したものを以外については、10単位を超えないものとする。
- 3 入学前の既修得単位の認定に関し必要な事項は、別に定める。

(他の大学院等における研究指導等)

第40条 学生が他の大学院又は研究所等において研究指導を受けることについて、教授会の議を経て、研究科長が教育上有益であると認めるときは、あらかじめ、当該他の大学院又は研究所等と協議の上、当該他の大学院又は研究所等において必要な研究指導を受けることを認めることがある。ただし、博士前期課程の学生が当該研究指導を受ける期間は、1年を超えないものとする。

- 2 前項の規定により他の大学院又は研究所等において受けた研究指導は、本学の研究科

において受けた研究指導とみなすことができる。

- 3 第1項の規定により研究指導を受けた期間は、在学期間に算入する。
- 4 他の大学院等における研究指導等に関し必要な事項は、別に定める。

第10章 修了の要件及び学位等

(博士前期課程の修了の要件)

第41条 博士前期課程の修了の要件は、博士前期課程に標準修業年限以上在学し、研究科の定めるところにより、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士前期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

- 2 前項の場合において、当該研究科長が適当と認めるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。

(博士後期課程の修了の要件)

第42条 博士後期課程の修了の要件は、博士後期課程に標準修業年限以上在学し、研究科の定めるところにより、所要の単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

- 2 前条第1項ただし書の規定による在学期間をもって博士前期課程を修了した者及び他の大学院の修士課程又は博士前期課程を1年以上2年未満で修了した者の博士後期課程の修了の要件は、前項ただし書中「1年」とあるのは「3年から博士前期課程又は修士課程における在学期間を減じた期間」と読み替えて、同項の規定を適用する。
- 3 前2項の規定にかかわらず、学校教育法施行規則第156条の規定により、大学院への入学資格に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が、博士後期課程に入学した場合の博士後期課程の修了の要件は、博士後期課程に3年以上在学し、研究科の定めるところにより、所要の単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

(修了の認定)

第43条 修了の認定は、教授会の議を経て、学長が行う。

(学位)

第44条 研究科の課程を修了した者には、修了した課程に応じて修士又は博士の学位を授与する。

- 2 前項に定めるもののほか、博士の学位は、本学に博士論文を提出して、その審査に合格し、かつ、本学の博士後期課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認された者にも授与することができる。
- 3 学位に関し必要な事項は、別に定める。

(修了の時期)

第45条 修了の時期は、学期の終りとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、学長が必要と認めた場合は、学期の途中において修了させることができる。

(教育職員の免許状授与の所要資格の取得)

第46条 教育職員の免許状授与の所要資格（以下「授与資格」という。）を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める所要の単位を修得しなければならない。

- 2 本学において、授与資格を取得できる教育職員の免許状の種類及び免許教科等は、次の表に掲げるとおりとする。

研究科	専攻	免許状の種類	免許教科
先端科学技術研究科	先端科学技術専攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	理科 理科

第11章 休学、留学、再入学、転入学、転学、退学及び除籍

(休学)

第47条 病気その他のやむを得ない事由又は学長が認める事由により、引き続き3月以上修学できない者は、学長の許可を得て、休学することができる。

- 2 病気のため修学することが適当でない認められる者については、学長は休学を命ずることができる。
- 3 休学期間中に休学の事由が消滅したときは、学長の許可を得て、復学することができる。
- 4 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。
- 5 休学期間は、博士前期課程及び博士後期課程ごとに、それぞれ通算して2年を超えることができない。
- 6 前2項の規定にかかわらず、学長が特に認める休学の事由については、休学期間を別に定めることができる。
- 7 休学期間は、第31条に規定する標準修業年限及び第32条に規定する在学年限に算入しない。

(留学)

第48条 外国の大学院又は研究所等に留学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

- 2 留学期間中における授業科目の履修等の取扱いについては、第38条及び第40条の規定を準用する。

(再入学)

第49条 本学を退学した者又は除籍された者で、再入学を志願する者がある場合は、研究科の教育研究に支障がないときに限り、教授会において選考の上、学長が再入学を許可することがある。

- 2 前項の場合において、既に修得した授業科目の単位及び在学期間の認定は、教授会の



議を経て、研究科長が行う。

(転入学)

第50条 他の大学院に在学する者又は外国の大学院に在学する者で、本学に転入学を志願する者がある場合は、本学の教育研究に支障がないときに限り、教授会において選考の上、学長が転入学を許可することがある。

2 前項の場合において、既に修得した授業科目の単位及び在学期間の認定は、教授会の議を経て、研究科長が行う。

3 前2項の規定は、我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程に在学する者(学校教育法第102条第1項に規定する者に限る。)及び国際連合大学の課程に在学する者の場合について準用する。

(転学)

第51条 他の大学院又は外国の大学院に転学を志願する者は、学長の許可を受けなければならない。

2 前項の規定は、我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの及び国際連合大学の場合について準用する。

第52条 削除

(退学)

第53条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第53条の2 学長は、次の各号のいずれかに該当する者があるときは、これを除籍する。

- (1) 第32条に規定する在学年限を超えた者
- (2) 第47条第5項に規定する休学期間又は同条第6項に基づき別に定める休学期間を超えてなお修学できない者
- (3) 入学料の免除を許可されなかった者及び一部の免除を許可された者並びに徴収を猶予された者又は免除の許可を取り消された者で、その納付すべき入学料を所定の期日までに納付しなかったもの
- (4) 授業料の納付を怠り、督促を受けてなお納付しなかった者
- (5) 行方不明の届出があった者
- (6) 死亡した者

第12章 検定料、入学料及び授業料等

(検定料、入学料及び授業料の額)

第54条 検定料、入学料及び授業料の額は、次の表のとおりとする。

検定料	入学料	授業料(年額)
30,000円	282,000円	535,800円

(検定料の納付)

第55条 入学、再入学及び転入学を志願する者は、入学願書提出と同時に、検定料を納付しなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、国費外国人留学生制度実施要項（昭和29年3月31日文部大臣裁定。以下「実施要項」という。）第4条の推薦による入学志望者その他学長が必要と認める者は、検定料の納付を要しない。

(入学料の納付)

第56条 入学、再入学及び転入学しようとする者は、所定の期日までに、入学料を納付しなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、国費外国人留学生（実施要項第2条に定めるものをいう。以下同じ。）その他学長が必要と認める者は、入学料の納付を要しない。

(授業料の納付)

第57条 授業料は、春学期（4月から9月まで）及び秋学期（10月から翌年3月まで）の2期に分けて、年額の2分の1ずつ納付しなければならない。

- 2 納付の時期は、第63条の規定により授業料の徴収猶予を許可された場合を除き、5月及び11月とする。
- 3 前2項の規定にかかわらず、学生の申出があったときは、春学期の授業料を徴収する時に、当該年度の秋学期に係る授業料を併せて徴収するものとする。
- 4 入学年度の春学期又は春学期及び秋学期に係る授業料については、第1項及び第2項の規定にかかわらず、入学を許可される者の申出があったときは、入学を許可する時に徴収するものとする。
- 5 第1項の規定にかかわらず、国費外国人留学生その他学長が必要と認める者は、授業料の納付を要しない。

(復学等の場合における授業料の額及び徴収方法)

第58条 春学期又は秋学期の中途において復学、転入学又は再入学（以下「復学等」という。）をした者から春学期又は秋学期において徴収する授業料の額は、授業料の年額の12分の1に相当する額（以下「月額」という。）に復学等当月から次の徴収の時期前までの月数を乗じて得た額とし、復学等当月に徴収するものとする。

(学年の途中で修了する場合における授業料の額)

第59条 特別の事情により、学年の途中で修了する者から徴収する授業料の額は、月額に在学する月数を乗じて得た額とする。

(休学する場合における授業料の額)

第60条 休学期間の授業料は、徴収しない。

- 2 徴収しない授業料の額は、月額に休学当月の翌月（休学開始日が月の初日の場合は、休学当月）から復学当月の前月までの月数を乗じて得た額とする。

(退学等の場合における授業料の額)

第61条 春学期又は秋学期の中途において退学し、転学し、除籍され、又は退学を命ぜられた者の授業料は、当該期分を徴収する。

- 2 停学を命ぜられた者の停学期間中の授業料は、これを徴収する。
- 3 第1項の規定にかかわらず、死亡又は行方不明のために除籍された者から徴収すべき授業料の額は、月額に在学した月数を乗じて得た額とする。

(入学料及び授業料の免除等)

第62条 入学料の全額若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 経済的理由によって、入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者又はその他やむを得ない事情があると認められる者
- (2) 学業成績が特に優秀であり、かつ、人物が優れていると認められる者
- (3) その他学長が必要と認める者

第63条 授業料の全額若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 経済的理由によって、授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者又はその他やむを得ない事情があると認められる者
- (2) 学業成績が特に優秀であり、かつ、人物が優れていると認められる者
- (3) その他学長が必要と認める者

第64条 入学料及び授業料の免除及び徴収猶予に関し必要な事項は、別に定める。

(納付済みの検定料、入学料及び授業料)

第65条 納付済みの検定料、入学料及び授業料は返還しない。

2 前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる場合には、当該各号に定める授業料を返還する。

- (1) 第57条第3項の規定により春学期及び秋学期に係る授業料を併せて納付した者が、当該年度の9月30日までに退学し、転学し、除籍され、又は退学を命ぜられた場合
秋学期に係る授業料相当額
- (2) 第57条第4項の規定により入学を許可する時に授業料を納付した者が、入学する月の前月の末日までに入学を辞退した場合
当該授業料相当額
- (3) 第57条に基づき授業料を納付した者が、特別の事情により、学年の途中で修了する場合
当該者が支払った授業料から、月額に在学する月数を乗じた額を減じて得た授業料相当額
- (4) 授業料を納付している者が休学する場合
第60条第2項に該当する授業料相当額
- (5) 死亡又は行方不明のために除籍された場合
当該者が支払った授業料から、月額に在学した月数を乗じた額を減じて得た授業料相当額

第13章 特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生、研究生及び特別学修生

(特別聴講学生)

第66条 教授会の議を経て、研究科長が教育上有益であると認めるときは、他の大学院又は外国の大学院との協議に基づき、当該他の大学院又は外国の大学院に在学中の者を

特別聴講学生として入学を許可し、研究科の授業科目を履修させることができる。

- 2 前項の規定は、我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの及び国際連合大学の場合について準用する。
- 3 特別聴講学生に関し必要な事項は、別に定める。

(特別研究学生)

第67条 教授会の議を経て、研究科長が教育上有益であると認めるときは、他の大学院又は外国の大学院との協議に基づき、当該他の大学院又は外国の大学院に在学中の者を特別研究学生として入学を許可し、研究科の研究指導を受けさせることができる。

- 2 特別研究学生に関し必要な事項は、別に定める。

(科目等履修生)

第68条 本学の学生以外の者で研究科の授業科目中1科目又は複数科目を選択し履修しようとする者がある場合は、教授会の議を経て、研究科長が教育研究に支障がないと認めるときに限り、科目等履修生として入学を許可し、単位を与えることができる。

- 2 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

(研究生)

第69条 研究科において特定事項について研究しようとする者がある場合は、教授会の議を経て、研究科長が教育研究に支障がないと認めるときに限り、研究生として入学を許可することがある。

- 2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

(特別学修生)

第69条の2 教授会の議を経て、研究科長が教育上有益であると認めるときは、他の大学(外国の大学を含む。)又は高等専門学校との協議に基づき、当該他の大学の学部若しくはこれに相当する組織又は高等専門学校の専攻科に在学中の者を特別学修生として入学を許可し、学修指導を受けさせることができる。

- 2 特別学修生に関し必要な事項は、別に定める。

第14章 賞罰

(賞罰)

第70条 学長は、表彰に価する行為を行った者があるときは、教授会の議を経て、表彰することができる。

- 2 学長は、本学の規約に違反し又は本学の教育研究活動を著しく阻害する行為を行った者があるときは、教授会の議を経て、懲戒することができる。
- 3 前項に規定する懲戒は、退学、停学及び訓告とする。
- 4 停学期間は、第32条に規定する在学年限に算入し、第31条に規定する標準修業年限に算入しない。ただし、停学期間が3月を超えないときは、当該停学期間を標準修業年限に算入する。

第15章 学生宿舎

(学生宿舎)

第71条 本学に、学生宿舎を置く。

2 学生宿舎に関し必要な事項は、別に定める。

第16章 公開講座

(公開講座)

第72条 本学に、社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、公開講座を開設することができる。

2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

第17章 特別の課程

(特別の課程)

第73条 本学は、本学の学生以外の者を対象とした特別の課程を編成し、これを修了した者に対し、修了の事実を証する証明書を交付することができる。

2 前項の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成16年3月31日現在において本学に在学している者（以下この項で「在学者」という。）及び平成16年4月1日以後において在学者の属する年次に再入学及び転入学する者については、旧奈良先端科学技術大学院大学学則は、この学則の施行後も、なおその効力を有する。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年4月21日から施行し、この学則による改正後の奈良先端科学技術大学院大学学則の規定は、平成17年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成17年11月17日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成20年1月24日から施行し、この学則による改正後の奈良先端科学技術大学院大学学則の規定は、平成19年12月26日から適用する。

附 則

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年12月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年12月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 情報科学研究科の情報処理学専攻、情報システム学専攻及び情報生命科学専攻並びにバイオサイエンス研究科の細胞生物学専攻及び分子生物学専攻は、改正後の第5条の規定にかかわらず、平成23年3月31日に当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

(平成23年度及び平成24年度の収容定員)

- 3 第21条の規定にかかわらず、平成23年度及び平成24年度の収容定員は、次の表に掲げるとおりとする。

年度	研究科	専攻	入学定員		収容定員
			博士前期課程	博士後期課程	
平成23年度	情報科学研究科	情報科学専攻	135人	40人	175人
		情報処理学専攻			96人
		情報システム学専攻			77人
		情報生命科学専攻			59人
	計	135人	40人	407人	
平成23年度	バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻	125人	37人	162人
		細胞生物学専攻			81人
		分子生物学専攻			101人
		計			125人
平成24年度	情報科学研究科	情報科学専攻	135人	40人	350人
		情報処理学専攻			18人
		情報システム学専攻			14人
		情報生命科学専攻			11人
		計			135人

バイオサイエ ンス研究科	バイオサイエ ンス専攻	125人	37人	324人
	細胞生物学専 攻			15人
	分子生物学専 攻			19人
	計	125人	37人	358人

(研究科において所要資格を取得できる教育職員の免許状の種類に関する経過措置)

4 附則第2項の専攻において取得できる教育職員の免許状の種類及び免許教科は、改正後の第46条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成24年6月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成25年2月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成26年12月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成27年11月26日から施行する。

附 則

この学則は、平成28年5月17日から施行する。

附 則

この学則は、平成28年12月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。

(研究科及び専攻に関する経過措置)

2 改正後の奈良先端科学技術大学院大学学則第5条の規定にかかわらず、情報科学研究科及び情報科学専攻、バイオサイエンス研究科及びバイオサイエンス専攻並びに物質創成科学研究科及び物質創成科学専攻は、平成30年3月31日に当該研究科及び専攻に在学する者(以下「在学生」という。)が当該研究科及び専攻に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。



学
則

(平成30年度及び平成31年度の収容定員)

3 第21条の規定にかかわらず、平成30年度及び平成31年度の収容定員は、次の表に掲げるとおりとする。

年度	研究科	専攻	入学定員		収容定員
			博士前期課程	博士後期課程	
平成30年度	先端科学技術研究科	先端科学技術専攻	350人	107人	457人
	情報科学研究科	情報科学専攻			215人
	バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻			199人
	物質創成科学研究科	物質創成科学専攻			150人
平成31年度	先端科学技術研究科	先端科学技術専攻	350人	107人	914人
	情報科学研究科	情報科学専攻			40人
	バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻			37人
	物質創成科学研究科	物質創成科学専攻			30人

(在学生に関する経過措置)

4 第2項の規定により存続する研究科における在学生の教育に係る事項については、改正後の奈良先端科学技術大学院大学学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表（第21条関係）

研究科	専攻	入学定員		収容定員
		博士前期課程	博士後期課程	
先端科学技術研究科	先端科学技術専攻	350人	107人	1,021人

Index

□ 1	Educational policies of the Nara Institute of Science and Technology	
1 – 1	Objectives, Educational mission, Objectives for each individual student, Educational policy	1
1 – 2	Admission Policy	2
1 – 3	Diploma Policy	3
1 – 4	Curriculum Policy	4
1 – 5	Code of Conduct for Research Activities at NAIST	5
□ 2	Concept of the Graduate School of Science and Technology	
2 – 1	Concept of the Graduate School of Science and Technology	9
2 – 2	Seven Education Programs	10
2 – 3	Curriculum for Master's Courses	13
2 – 4	Curriculum for Doctoral Courses	15
□ 3	Introduction for Incoming Students	
3 – 1	Selecting Labs and Education Programs [Master's Courses]	17
3 – 2	Selecting Labs and Education Programs [Doctoral Courses]	20
□ 4	Courses	
4 – 1	Course Registration	21
4 – 2	Registration Regulations	25
4 – 3	Research Ethics Training Session	34
4 – 4	Completion Requirements	34
4 – 5	Double Degree Program	36
□ 5	Syllabus, etc.	
5 – 1	Online Syllabus	37
5 – 2	Research Guidance System	37
5 – 3	Evaluation of academic performance	37
5 – 4	Toward Cultivating Globally-Aware Human Resources	39
5 – 5	English E-Learning System (ALC NetAcademy 2)	42
□ 6	List of subjects and faculty members in charge, etc.	
6 – 1	List of subjects and faculty members in charge in academic year 2018	43
6 – 2	Numbering Information	48
6 – 3	2018 Timetable	48
□ 7	Degree examination criteria, etc.	
7 – 1	Degree examination criteria	49
7 – 2	Degree Regulations	51
7 – 3	Schedule until degree conferral	57
□ 8	Study Support	
8 – 1	Health Care Center	59
8 – 2	Office for Students with Disabilities	59
8 – 3	Career Services Office	59
8 – 4	Information iniTiative Center (ITC)	60
□ 9	Campus Life	
9 – 1	Tuition and payment	61
9 – 2	Student ID Card	61

9 – 3	Student Personal Report	62
9 – 4	Procedures and issuance of certificates	62
9 – 5	Commuter certificate	65
9 – 6	Scholarships of private organizations	66
9 – 7	Tuition fee exemption	66
9 – 8	Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (PAS)	66
9 – 9	Liability Insurance coupled with PAS	66
9 – 10	Student dormitories	67
9 – 11	Dwellings rented by NAIST for students	67
9 – 12	Parking a car and bicycle	67
9 – 13	Student welfare facilities	68
9 – 14	Student Consultation, Our various counseling service systems	68
9 – 15	Other matters	69
9 – 16	Campus Map	70
□10	Regulations of Nara Institute of Science and Technology	
	• Regulations of Nara Institute of Science and Technology	71

I Educational policies of the Nara Institute of
Science and Technology

1 Educational policies of the Nara Institute of Science and Technology

1 – 1. Objectives, Educational mission, Objectives for each individual student, Educational policy

○Objectives

As a university composed solely of graduate schools, NAIST promotes cutting edge research and offers a sophisticated outcome-based education for each student so as to promote advances in science and technology and in society as a whole.

○Educational mission

NAIST was founded in October 1991 as a graduate university which nurtures individuals who will contribute to the development of advanced science and technology. Research and education at NAIST cover the three core areas: Information Science, Biological Sciences and Materials Science.

In order to promote a suitable standard of living for people throughout the world in the 21st century, and indeed to secure our very survival, the coming generation of leading researchers must possess the highest scientific and technical competence, along with a clear grounding in professional ethics. At NAIST, we aim to cultivate such researchers and educators.

Therefore, in addition to the areas of Information Science, Biological Sciences and Materials Science, we actively encourage interdisciplinary research and provide educational training in the principles of ethics and intellectual property.

○Objectives for each individual student

Education and research in NAIST Master's Courses cultivate sophisticated expertise and personal initiative to support society and the economy. The Doctoral Courses are designed to nurture in researchers and engineers a drive to seek new frontiers in science and technology and to take on leading roles internationally.

○Educational policy

In addition to a specialized education, a wide-ranging curriculum cultivates ethical thinking, vision, theoretical thinking, comprehensive judgment and sharpened writing skills.

A coordinated educational program is offered to promote interdisciplinary research and cooperative programs are offered with centers of education and research institutions abroad.

The quality of education is maintained through external evaluations, student-evaluations, improved research environments, and economic assistance for competent students.

1 – 2. Admission Policy

<Master's course>

○Prospective students

We are looking for students, researchers or engineers who have fundamental academic skills, a clear vision, a resolve toward the future, and a strong interest in and motivation for advanced science and technology, regardless of their background or undergraduate major. Especially, we actively accept those who have the ability to reason logically and accurately express their thoughts, and those who have intense curiosity and adventurously tackle challenges.

○Basic admissions policy

In order to select outstanding persons with the above qualifications both domestically and abroad, applicants' character is of the most value. We have various routes for admission including examinations focusing on interviews as well as examinations specific to recommended candidates.

<Doctoral course>

○Prospective students

We are looking for students, researchers or engineers who have fundamental academic skills, a clear vision, a resolve toward the future and a strong interest and motivation for advanced science and technology regardless of their background. Especially we actively accept those who have a strong interest in making the best use of their deep and broad expertise to solve various problems facing society, and are aiming to be active in a wide range of advanced science and technology fields.

○Basic admissions policy

In order to select outstanding persons with the above qualifications both domestically and abroad, applicants' character is of the most value. We have various routes for admission including examinations focusing on interviews as well as examinations specific to recommended candidates.

1 – 3 . Diploma Policy

In addition to three cutting-edge science and technology fields – information science and engineering, biological science, and materials science and engineering – our university actively promotes related interdisciplinary fields which are in high demand in order to foster scholars whose broad knowledge encompasses related fields with a high-degree of cutting-edge skill. Furthermore, the university encourages such scholars to be able to contribute to the leading fields of the next generation of advanced science and technology with holistic perspectives and the ability to challenge, integrate and lead from internationally conscious viewpoints. The university operates a high quality degree program with such purposes in mind under an educational research advising body formed to achieve these goals from multifaceted perspectives (multiple faculty members with different viewpoints advise and guide students).

<Master's course>

Master's degrees shall be given to students who understand the basic concepts of advanced science and technology (information science and engineering, biological science, materials science and engineering, and their interdisciplinary fields) achieved through “science and technology subjects” and are able to apply their expertise to problem solving, who have the skills to perform research in a specific field or technology development developed through “research-based subjects,” and have acquired excellent international communication skills and high ethical standards through “general subjects.” They will also have been enrolled in the course for the stipulated period, acquired the necessary credits, and passed the master's thesis review and examination.

<Doctoral course>

Doctor's degrees shall be given to students who have advanced expertise and skills based on an understanding of a wide range of theories and systems of advanced science and technology (information science and engineering, biological science, materials science and engineering, and their interdisciplinary fields), who have the ability to discover and solve problems developed through “subjects fostering independent researchers,” and who have global communication skills, high ethical standards and a holistic perspective, and the ability to exercise leadership in advanced science and technology fields. They will also have been enrolled in the course for the stipulated period, acquired the necessary credits, and have submitted an internationally valid doctoral thesis, passing its review and examination.

1 – 4. Curriculum Policy

<Master's course>

For the master's degree, we will implement programs with high flexibility and interdisciplinarity depending on students' career and future objectives, with a focus on interdisciplinarity.

1. Implementation of introductory subjects to introduce general science and technology trends necessary for studying advanced science and technology and holistically grasping them.
2. Introduction of subjects to provide basic knowledge of advanced science and technology and to develop comprehensive understanding, which also appeal to students from diverse fields who want to study in areas outside of their specialized fields
3. Introduction of subjects to provide highly specialized knowledge of advanced science and technology
4. Introduction of PBL subjects to develop the ability to grasp issues comprehensively, to discover and solve problems in cooperation with others, and to overcome challenges
5. Introduction of subjects to improve presentation and communication skills that are necessary to be active professionally in society.
6. Establishment of subjects to foster the ability to study and understand the ideal relationships of science and technology within industrial and societal activities, with the cooperation of industry and the government
7. Introduction of subjects to improve English communication skills for Japanese students and Japanese communication skills for international students for researchers and engineers
8. Introduction of subjects to enhance ethical thinking and foster a broader perspective of trends in society that are required for researchers and engineer

<Doctoral course>

The doctoral course provides programs focusing on the development of an international-focus understanding, independence, and self-reliance for its students.

1. Introduction of subjects on state-of-the-art expertise in information science, biological science, materials science and the fusion of these research fields.
2. Introduction of subjects to foster the ability to envisage their relationships with society including broad perspectives based on interdisciplinary knowledge, comprehensive understanding and career paths.
3. Introduction of subjects to develop ability to plan and execute research projects independently, to solve problems and pursue boundaries of science and technology.
4. Introduction of subjects focused on the acquisition of presentation and communication skills necessary for successful international activity.

1 – 5. Code of Conduct for Research Activities at NAIST

Please refer to the next page.

February 21, 2008

Code of Conduct for Research Activities at NAIST

“Research activities” refers to actions that generate new findings and construction of systems of knowledge based on reflections, thinking, and ideas while continually using facts and data obtained by means of surveys, observations, experiments and other activities as raw material, building on the results of studies carried out by previous researchers.

The fruits of such activities form the building blocks for the common intellectual assets of humanity, underpinning human happiness as well as economic and social development.

Such research activities have as their premise the integrity of researchers toward their research activities. Dishonest behavior, including the fabrication or falsification of data or results, plagiarism of the results of others’ work, multiple publication of the same results, and inappropriate authorship whereby the authors of a paper are not attributed correctly, is contrary to the basic character of research activities. Such actions are unacceptable under any circumstances, and will be dealt with severely.

Given this fundamental awareness of research activities, NAIST has set out the following Code of Conduct outlining the behavior expected of all those involved in research activities at the university (hereafter “researchers”) during the performance of research.

1. Responsibilities of Researchers

Researchers shall be responsible for guaranteeing the quality of the specialist knowledge and techniques they themselves generate, and shall also be responsible for using their specialist knowledge, techniques, and experience for social safety and well-being, and for environmental preservation.

2. Actions of Researchers

Researchers shall act with integrity on the basis of correct beliefs, constantly reviewing their attitude toward and approach to research in the awareness that the autonomy of science is built on the trust and mandate of society. They shall both make the utmost efforts to demonstrate the accuracy and appropriateness of the knowledge generated by their research in a scientific and objective manner, and participate actively in the mutual evaluation of researchers within the scientific community, particularly in their own fields of specialization.

3. Self-Improvement

Researchers shall endeavor to maintain and improve their own specialist knowledge, abilities, and skills, and shall also strive unremittingly to understand the relationships of science and technology with society and the natural environment from a broad perspective.

4. Explanation and Disclosure

Researchers shall proactively disclose and explain the significance and role of the research in which they are involved, assessing the potential effect of this research on humanity, society, and the environment as well as any changes it may cause, and shall publish the results in a neutral and objective manner, while striving to build up a constructive dialogue with society.

5. Research Activities

Researchers shall act with integrity and in accordance with the spirit of this Code of Conduct during the process of making proposals, planning, submitting applications, carrying out research, reporting, and conducting other activities connected with their own research. They shall be scrupulous with respect to the recording and storage of research and survey data and strictly impartial treatment, without engaging in dishonest behavior such as fabrication, falsification, or plagiarism, nor shall they be complicit in such behavior.

6. Improvement of Research Environment

Researchers shall be aware that the establishment and maintenance of a fair research environment that enables the implementation of responsible research and the prevention of dishonest behavior is also an important obligation, and shall be actively engaged in improving the quality of the research environment of both the scientific community and the organization to which they belong. They shall also strive to obtain the understanding and cooperation of society in order to achieve this.

7. Appropriate Use of Research Funds

When using research funds, researchers shall comply with all applicable legislation, university regulations and other rules, and conditions, rules for use, and other stipulations set out for all types of externally funded research.

8. Concern for Research Subjects, the Environment, Safety, and Related Issues, and Respect for Bioethics

Researchers shall respect the persons and human rights of those who cooperate in their research, and shall take their well-being into account. When dealing with materials that could have an adverse effect on the environment or safety during the implementation of research (radiation, radioactive isotopes, genetically modified organisms, nuclear fuel material, non-native species, poisonous materials, environmental pollutants, etc.), they shall comply with all applicable legislation, university regulations, guidelines and other stipulations issued by academic societies and other bodies concerned, and shall have the greatest possible respect for bioethics in research on human or animal subjects.

9. Interpersonal Relationships

Researchers shall both evaluate others' results appropriately and listen humbly to criticism of their own research, exchanging opinions with an attitude of sincerity. They shall comply with the obligation of confidentiality concerning the intellectual property rights of others. In particular, they must pay strict attention to compliance with the obligation of confidentiality concerning information obtained during the review process for papers or research funds. They shall also endeavor to protect the personal

information of others obtained during the process of research, and take appropriate measures for its handling.

10. Elimination of Discrimination and Harassment

Researchers shall not discriminate against any individual on the basis of his or her race, gender, rank, ideology, religion, or for any other reason, but shall treat each person fairly while respecting the freedom and person of the individual. They shall not use their status or authority to disadvantage any person under their instruction, guidance, or similar circumstances in either word or deed.

11. Conflicts of Interest

Researchers shall pay careful attention to any conflict of interest that may arise between an individual and his or her own institution or another organization in the course of their research, review, evaluation, judgment, or other undertaking, and shall deal with it appropriately while giving due consideration to its public nature. Researchers shall also comply with the NAIST Conflict of Interest Policy and related policies.



II Concept of the Graduate School of Science and Technology

2 Concept of the Graduate School of Science and Technology

2 – 1. Concept of the Graduate School of Science and Technology

< Objectives >

NAIST will create innovation by undertaking revolutionary research that moves ahead of current trends, especially by creating interdisciplinary research areas by removing the boundaries of traditional research fields. At the same time, NAIST aims to train leading researchers with an aspirational spirit and creativity and engineers with highly advanced expertise through a systematic curriculum, which we have cultivated since our foundation, that covers wide-ranging fields from the most advanced information sciences, biological sciences, and material sciences to interdisciplinary fields that include all of the above.

< New Graduate School Features >

- ▶ Removal of barriers between fields for a dynamic educational structure where diverse faculty will perform education together at the forefronts of science and technology
- ▶ An educational format facilitating diverse coursework to respond thoroughly to students' needs and interests
- ▶ Seven 'Education Programs' established to disseminate highly specialized knowledge and training
- ▶ An educational system for basic and advanced knowledge to prepare students for diverse pursuits, and to allow them to reach beyond their expertise
- ▶ Practical training at private businesses or workshops taught by researchers and engineers from private businesses will be offered to implement project-based learning seminars which include real-world applications based on societal needs.

< Objectives for each individual student >

Master's Courses cultivate sophisticated expertise in information sciences, biological sciences, or material sciences in order to support society and the economy, wide-ranging qualities to engage in interdisciplinary fields that cover them, a comprehensive perspective to see the entirety of society, and a willingness to be at the forefront of science and technology in society and create innovation.

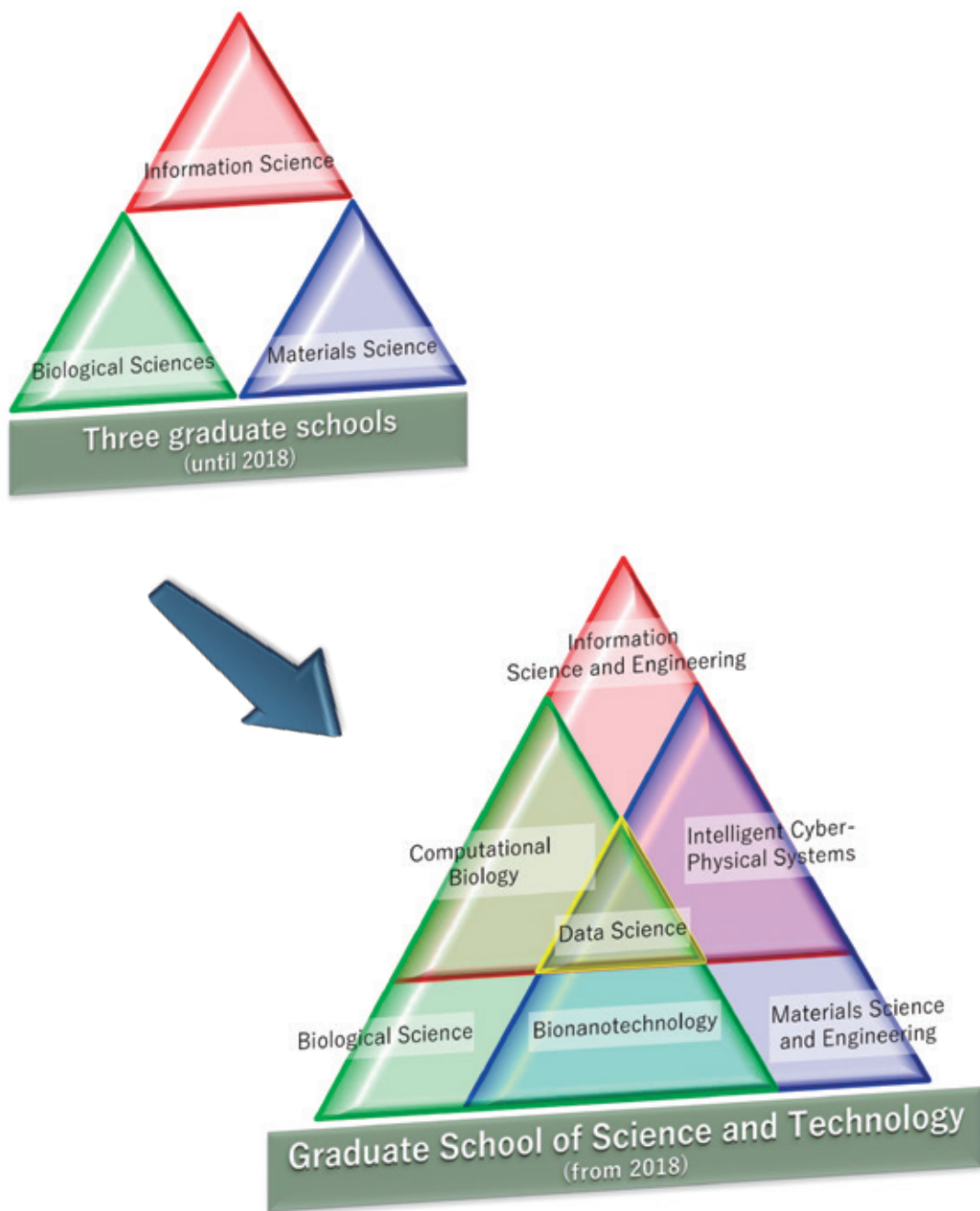
In addition to developing highly advanced knowledge and broad perspectives in information sciences, biological sciences, or material sciences and related interdisciplinary fields, the Doctoral Courses are designed to nurture in researchers and advanced specialized engineers the aspiration to take on challenges in science and technology research with an international mindset, initiative, and independence, and to play a leading role in international society covering industry, government, and academia.

< Diverse career options >

Students will obtain a wide range of knowledge, both within their specialized fields and through interdisciplinary development and critical thinking, that will open a wide array of career opportunities.

2 – 2 . Seven Education Programs

The Graduate School of Science and Technology offers seven Education Programs to choose from. Programs based on information sciences, biological sciences, and material sciences, which have been cultivated since the school’s foundation, include Information Science and Engineering, Biological Science, and Materials Science and Engineering. Interdisciplinary programs that combine these disciplines include Computational Biology, Intelligent Cyber-Physical Systems, Bionanotechnology, and Data Science. The curriculum framework allows students to take courses to obtain advanced specialties while pursuing their career paths.



○Seven Education Programs facilitating research in leading-edge science and technology

Information Science and Engineering	Degrees granted	Master's / Doctorate (engineering, science)
<p>A focused program fostering students to support our dynamic advanced information society, implementing further achievements in diverse fields. This program cultivates specialized knowledge and skills in computer hardware/information network technology, computer/human interaction and media technology, and computer systems to utilize robotics.</p>		

Computational Biology	Degrees granted	Master's / Doctorate (engineering, science, bioscience)
<p>An interdisciplinary program fostering students able to collect and analyze the huge amounts of data related to the phenomena of life, such as medical imaging data and the enormous amounts of bio-information concerning genes, proteins, and metabolism, while producing researchers who will undertake the development of these technologies.</p>		

Biological Science	Degrees granted	Master's / Doctorate (bioscience)
<p>A focused program fostering students to lead societal development and environmental protection in areas such as energy, food supply, resources, and life/health quality. This program enhances knowledge and expertise from the basic principles of the phenomena of life to biodiversity at the molecular, cellular and individual levels of plants, animals and microorganisms.</p>		

Bionanotechnology	Degrees granted	Master's / Doctorate (engineering, science, bioscience)
<p>An interdisciplinary program fostering students to pursue new trends in bioscience based on materials science, and lead novel functional material creation, including development of pharmaceuticals, medical engineering materials, new polymers imitating biological functions, plant-based active components, and artificial protein materials, investigations of novel chemical compounds to augment plant functions, and exploration of cellular engineering to support regenerative medicine.</p>		

Materials Science and Engineering	Degrees granted	Master's / Doctorate (engineering, science)
<p>A focused program fostering students with foundational knowledge of materials science and advanced knowledge to fully utilize their expertise in a program spanning solid state physics, device engineering, molecular chemistry, polymeric materials and bionano-engineering, and undertake next generation science and technology to maintain affluent living and support societal development.</p>		

Intelligent Cyber-Physical Systems	Degrees granted	Master's / Doctorate (engineering, science)
<p>An interdisciplinary program fostering students able to holistically grasp areas including functional material design, novel and real-world sensing devices, analytical device design, system structuring to fully utilize analysis results, and machine and robot control systems, and who have specialized knowledge and experience to support social systems of this IoT era.</p>		

Data Science	Degrees granted	Master's / Doctorate (engineering, science, bioscience)
<p>An interdisciplinary program fostering students with a wide range of expertise in data- and AI-driven sciences in information, biological, and materials sciences, to find hidden 'value' and 'truth' through data processing, visualization, and analysis of huge amounts of data to contribute to science, technology, and societal development.</p>		

※Degree type will be decided based on subjects taken and thesis contents.

OList of Educational Programs that can be selected for each laboratory

<Information Science>

Laboratory	PI (Principal Investigator)	Program of Information Science and Engineering	Program of Computational Biology	Program of Intelligent Cyber-Physical Systems	Program of Data Science
Computing Architecture	Yasuhiko Nakashima	○		○	
Dependable System	Michiko Inoue	○		○	
Ubiquitous Computing Systems	Keiichi Yasumoto	○	○	○	
Mobile Computing	Minoru Ito	○		○	
Software Engineering	Kenichi Matsumoto	○		○	
Software Design and Analysis	Hajimu Iida	○		○	
Cyber Resilience	Youki Kadobayashi	○		○	○
Information Security Engineering	Yuichi Hayashi	○		○	
Internet Architecture and Systems	Kazutoshi Fujikawa	○		○	○
Computational Linguistics	Yuji Matsumoto	○		○	○
Augmented Human Communication	Satoshi Nakamura	○		○	○
Network Systems	Minoru Okada	○	○	○	
Interactive Media Design	Hirokazu Kato	○		○	
Optical Media Interface	Yasuhiro Mukaigawa	○	○	○	
Cybernetics and Reality Engineering	Kiyoshi Kiyokawa	○		○	
Ambient Intelligence	Norihiro Hagita	○		○	
Social Computing	Eiji Aramaki	○		○	○
Robotics	Tsukasa Ogasawara	○		○	
Intelligent System Control	Kenji Sugimoto	○	○	○	○
Large-Scale Systems Management	Shoji Kasahara	○		○	
Mathematical Informatics	Kazushi Ikeda	○	○		○
Imaging-based Computational Biomedicine	Yoshinobu Sato	○	○		○
Computational Systems Biology	Shigehiko Kanaya	○	○	○	○
Robotics Vision	Takeo Kanade	○	○	○	

<Biological Sciences>

Laboratory	PI (Principal Investigator)	Program of Biological Science	Program of Computational Biology	Program of Bionanotechnology	Program of Data Science
Plant Cell Function	Takashi Hashimoto	○		○	
Plant Developmental Signaling	Keiji Nakajima	○	○		
Plant Metabolic Regulation	Taku Demura	○		○	○
Plant Growth Regulation	Masaaki Umeda	○		○	
Plant Stem Cell Regulation and Floral Patterning	Toshiro Ito	○		○	○
Plant Physiology	Motomu Endo	○	○		○
Plant Immunity	Yusuke Saijo	○	○		○
Plant Secondary Metabolism	Takayuki Tohge	○	○		○
Plant Symbiosis	Satoko Yoshida	○	○	○	
Molecular Signal Transduction	Hiroshi Itoh	○		○	
Functional Genomics and Medicine	Yasumasa Ishida	○			
Tumor Cell Biology	Jun-ya Kato	○	○	○	
Molecular Immunobiology	Taro Kawai	○		○	
Molecular Medicine and Cell Biology	Shiro Suetsugu	○		○	○
Stem Cell Technologies	Akira Kurisaki	○	○		
Developmental Biomedical Science	Noriaki Sasai	○	○	○	
Organ Developmental Engineering	Ayako Isotani	○		○	
Microbial Molecular Genetics	Hisaji Maki	○			
Systems Microbiology	Hirotsada Mori	○	○		○
Cell Signaling	Kaz Shiozaki	○	○	○	
Applied Stress Microbiology	Hiroshi Takagi	○		○	
Environmental Microbiology	Shosuke Yoshida	○	○	○	
Structural Biology	Toshio Hakoshima	○	○		
Membrane Molecular Biology	Tomoya Tsukazaki	○		○	
Gene Regulation Research	Yasumasa Bessho	○	○	○	○
Systems Neurobiology and Medicine	Naoyuki Inagaki	○		○	
Computational Biology	Yuichi Sakumura	○	○		○

<Materials Science>

Laboratory	PI (Principal Investigator)	Program of Materials Science and Engineering	Program of Intelligent Cyber-Physical Systems	Program of Bionanotechnology	Program of Data Science
Quantum Materials Science	Hisao Yanagi	○	○		
Surface and Materials Science	Hiroshi Daimon	○			○
Advanced Polymer Science (no new assignment)	Michiya Fujiki				
Photonic Device Science	Jun Ohta	○	○	○	
Information Device Science	Yukiharu Uraoka	○	○	○	○
Synthetic Organic Chemistry	Kiyomi Kakiuchi	○		○	
Supramolecular Science	Shun Hirota	○		○	
Photonic Molecular Science	Tsuyoshi Kawai	○		○	
Photofunctional Organic Chemistry	Hiroko Yamada	○	○	○	
Sensing Devices	Takayuki Yanagida	○			
Organic Electronics	Masakazu Nakamura	○	○		
Bio-Process Engineering	Yoichiro Hosokawa	○		○	○
Complex Molecular Systems	Hironari Kamikubo	○		○	○
Nanostructure Magnetism	Nobuyoshi Hosoito	○			
Precision Polymer Design and Engineering	Tsuyoshi Ando	○		○	
Data Driven Chemistry	Kimito Funatsu				○
Biomimetic and Technomimetic Materials Science	Gwenael RAPENNE	○		○	
Nanomaterials and Polymer Chemistry	Hiroharu Ajiro	○		○	
Materials Informatics	Miho Hatanaka	○			○
Mesoscopic Materials Science	Eiji Fujii, Hideaki Adachi	○			
Intelligent Materials Science (no new assignment)	Makoto Izumi				
Functional Polymer Science	Takahiro Honda, Hiroshi Enomoto	○		○	
Ecomaterial Science	Katsunori Yogo, Kazuya Goto	○	○		
Sensory Materials and Devices	Keishi Kitamura, Masaki Kanai	○	○	○	
Advanced Functional Materials	Yasuyuki Agari, Yutaka Fujiwara	○	○	○	

※The above information is as of February 2018 (including undecided April 2018). For educational programs that can be selected in the newly established laboratory, please check the latest information from the NAIST website etc.

2 – 3. Curriculum for Master's Courses

Master's Courses offer the following categories of subjects:

◇General Subjects

This category includes courses on ethics, philosophy, communication, intellectual property rights, venture entrepreneurship, and languages in order to cultivate a wide range of qualities and social and international skills that are essential for the next generation of science and technology leaders. English classes will be organized into different levels and help students gain the communication skills necessary to be successful in international society through lectures on communication, presentation, discussion, and writing.

◇Science and Technology Subjects

Subjects are offered in four subcategories to help students from different academic backgrounds to understand and discuss the latest science and technology and social needs in various fields. These subjects are designed to cultivate individuals with broad perspectives, flexible inspiration, and creativity to have a comprehensive view of other science and technology fields.

① Introduction Subjects

Students develop a cohesive view by learning about each research field under the seven Education Programs from a comprehensive perspective, including how the most world-wide scientific advancements have developed and merged with each other and what types of new science and technology and research fields will be created in the future.

② Basic Subjects

These Basic Subjects cater to students from a wide range of fields, allow them to tackle different fields or interdisciplinary fields in addition to their specialized fields, and help them to obtain the foundational knowledge required to take individual Education Programs. Basic Subjects are designed to supplement each student's ability from any education program according to their academic history.

③ Specialized Subjects

This is a core lecture in the program in which students gain advanced specialized knowledge along with the human resource development goal of each program. These selective subjects present challenges for the Project Based Learning subjects for each student and provide opportunities within their career paths at the end of the program. Students will engage in exercises to work on the themes presented by students from other labs and to perform research in advanced fields with advanced technologies and methodology. They will also engage in Project Practice to learn the spirit of "mono-tsukuri" manufacturing through participating in internships offered by companies with specific themes.

④ PBL Subjects

As the culmination of "Science and Technology Subjects," students explore issues in science and technology in collaboration with students from other fields or labs and develop the ability to resolve them in a PBL (Project Based Learning) format. PBL subjects are required subjects and they will not only provide students with broader perspectives in their fields of specialization but also nurture their interdisciplinary communication capability and the aspirational spirit that will be critical when researchers and engineers from different specializations pioneer interdisciplinary fields together.

Among the “Basic Subjects” and “Specialized Subjects,” Core Subjects are designated either as required or a selection is required for each of the Education Programs as they are necessary to obtain specialized knowledge that are key to each course. (See “4-4 Completion Requirements” in “Chapter 4. Registration Procedure” in this document for details on the Core Subjects.

◇Research-based Subjects

The following subjects are offered as they are directly related to students’ master’s theses in order to develop their ability to apply their specialized knowledge to address specific issues in science and technology based on the wide-ranging foundational concepts they have learned.

- Seminar I, II

During the seminar, students collaborate to examine their research work through presentations and discussions on the achievements in their master’s theses research or survey for their academic paper. The seminar also builds students’ aptitude for presentations and discussions.

- Colloquium A, B

Visiting instructors examine the most advanced science and technology fields that continue to evolve and students discuss the topic to reinforce the development of their research work.

- Research Experiments I, II

This subject is designed to teach the principles and methodology of science and technology while fostering the ability for developing research plans.

- Research Thesis

As the culmination of the Master’s Course, this subject develops aptitude for extracting new, effective, and practical conclusions from the data obtained from research experiments, developing new challenges based on the conclusions extracted, and logically stating research backgrounds, processes, and conclusions for scientific papers and reports.

◇Other Education

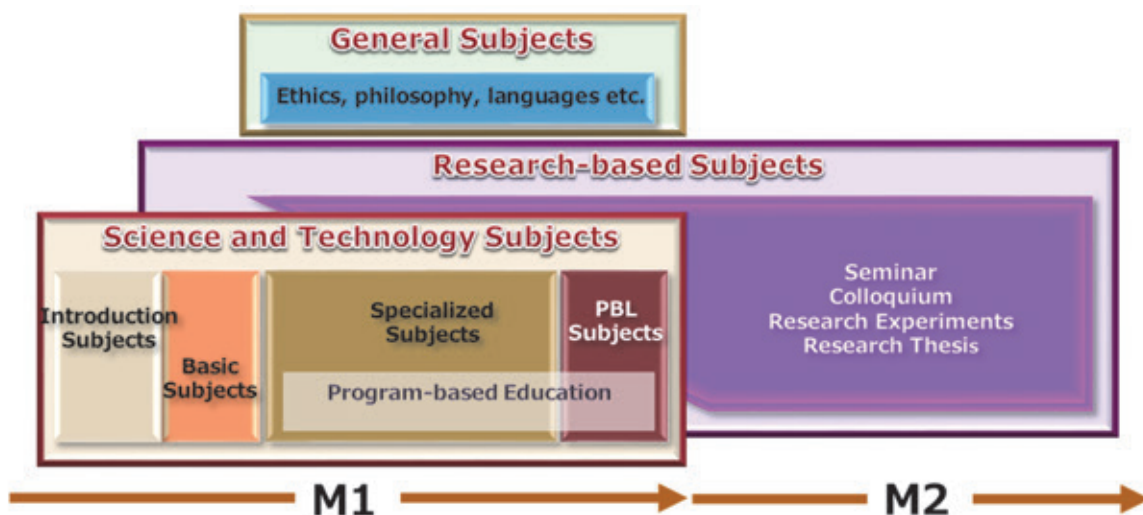
① Education related to performing research

In order to pursue research work safely and legally, lectures and lab work are offered right after students are admitted or allocated to labs. The courses include a Research Ethics Workshop, a Genetic Modification Experiment Workshop, an RI/X-Ray Safety Workshop and Practical Training, an Animal Experiment Workshop, Information Network Guidance, Information Security Workshop/Training, and a Chemical Handling Workshop and Practical Training. A Mental/Physical Health Workshop is also available for learning mental and physical health management.

② Career Education

Career Education reinforces students’ abilities for developing and actualizing their career vision in response to social needs. It is provided in cooperation with private businesses and public research institutions to prepare students for their future achievements in various fields in society. This includes a training workshop for discussing Master’s degree holders’ careers in society, a job seminar for discussing job matching, and lectures for learning from the experiences of company leaders, innovative engineers, graduates of NAIST, or venture entrepreneurs for better career paths.

[Outline of Curriculum for Master's Courses]



2 – 4. Curriculum for Doctoral Courses

The Doctoral Courses offer the following groups of subjects:

◇ Courses for Research Skills

The following subjects are offered to develop students' international mindsets and international communication skills

- Advanced English A-D
Advanced international communication is taught in NAIST lectures to teach how to write science and technology papers in English and the methodology of advanced international communication with researchers overseas.
- Overseas English Training I-III
Students learn English overseas.
- International Training I-III
Presentations and discussions on research results are held at international conferences or overseas labs.
- Study Abroad I-III
Students go abroad to participate in research internships at companies overseas or engage in research at universities overseas.

The following subjects are offered to develop students' aspirational spirit and ability for planning projects, discovering issues, combining knowledge and research methodologies, and driving research forward:

- Seminar for International Workshop Planning
Students experience all aspects of international workshops, including proposals, organization, operation, and management.
- Project Management I-III
Students learn on and off campus how to present research topics and research fund management, how to operate and promote research projects, and how to solve problems by combining various knowledge and techniques.

Special Lectures are offered to gain advanced specialized knowledge on the following subjects:

- Information Science and Engineering, Computational Biology, Biological Science, Bionanotechnology, Materials Science and Engineering, Intelligent Cyber-Physical Systems, and Data Science
Students learn in intensive lectures about the latest high-quality research in the fields that correspond to the seven Education Programs in the Master's Courses.

The following subjects are offered to develop students' aspirational spirit and capability for managing research, improving social coordination and comprehensive perspective, and building career paths.

- Innovation Management A, B
Students obtain knowledge on intellectual property necessary for developing innovation internationally, science and technology ethics, and cross-cultural understanding.
- Career Management A, B
Students receive instructions on teaching methods, developing their educational ability, fostering transferrable skills, and obtaining knowledge for starting businesses in order to develop the capability that is necessary for diverse career paths including academia and non-academia.

All students are encouraged to take "Study Abroad" so they can cultivate an international mindset and international communication skills. By providing opportunities for education and research on and off campus and outside Japan, students will be trained in various research environments.

◇Courses for Independent Research Abilities

- Research Status Hearing
Students report on and discuss the progress of their research on specific assignments. This seminar is held for each of the seven Education Programs to give students instructions from broader perspectives and develop their capability for discussion and presentation.
- Doctoral Research I-VI
Students develop their capability for performing research activities independently, setting topics, and being creative through their research work as these skills are necessary for doctoral dissertations.

◇Other Education

Education related to performing research is provided as in the Master's Courses.

[Outline of Curriculum for Doctoral Courses]



III Introduction for Incoming Students

3 Introduction for Incoming Students

3 – 1. Selecting Labs and Education Programs [Master's Courses]

2018

April 3 (Tue): Orientation for Incoming Students

Please make sure you understand the curriculum, research activities, scholarship programs, and campus living in order to begin your life at NAIST smoothly.

April 4 (Wed): TOEIC-IP Test

All incoming students are encouraged to take this test. Please take this opportunity to understand your English ability at the time of admission and to engage in your future English studies with clear goals. Your test results will be taken into account for assigning you to labs in the materials science fields.

April 5 (Thu) to April 18 (Wed): Registration (Introductory subjects on advanced science and technology)

Students are encouraged to register for and take all of the Introduction Subjects (seven subjects: Being held from April 12 (Thu) to May 8 (Tue)). Students must register for at least three subjects which are required to complete the Master's degree (three credits). Changes can be made during the above registration period.

April 9 (Mon) to April 11 (Wed): Introduction of Labs

Labs for each field will be introduced over the course of three days. Please listen carefully to the work of each lab that you are interested in and think about which lab to choose.

April 12 (Thu) to April 25 (Wed): Lab Visits

Students can visit labs by participating in their briefings, attending their office hours, or making appointments with them by email. This is an opportunity to directly visit the labs you find interesting during the introduction in order to ask professors and other lab supervisors for more detailed information about the lab or to discuss students' research goals, as well as to exchange information with senior associates at the lab.

April 12 (Thu) before 15:00: Submission of Questionnaire on Lab Assignment Preference

Please submit the questionnaire to the office for the same subject area to which you applied in the entrance exam. Based on the lab introductions, select up to three labs. Please also state if you wish to continue on to the five-year course (continue to the Doctoral Courses) at this time.

April 12 (Thu) to May 8 (Tue): Lecture on the Introduction of Science and Technology

Please take the seven "Introduction Subjects" (1 credit each x 7 subjects = 7 credits) for a deeper understanding of the Education Programs that you want to take after getting a broader picture of world

trends and the direction of science and technology. You need at least three credits from these courses in order to complete the Master's Course.

April 13 (Fri) 16:50-18:20: Basic Academic Achievement Test

Regardless of what areas were applied for in the entrance exam, any student who wishes to study at a lab in the Biological Sciences field needs to take this test. The results will be taken into account for a lab assignment in the Biological Sciences field.

April 13 (Fri) Afternoon: Announcement of the Questionnaire Results for Lab Assignment Preference
Each lab will announce the number of students who selected it as their first, second, or third choices on the web so please use this information in order to complete your preferences for the actual survey on lab assignments. Also, students who wish to continue to Doctoral Courses (five-year courses) will be announced.

April 17 (Tue) before 13:00: Submission of the Change of Field Screening Application.

If you wish to be assigned to a lab in a field other than the one you selected at the time of the entrance exam, please attach the "Proof of Advance Interview" that was issued to you after having an interview with the professor or associate professor of the lab you wish to join. Students who wish to be assigned to a lab in the Biological Sciences field must take the Basic Academic Achievement Test.

April 19 (Thu): Notification of the Dates for the Change of Field Screening

Applicants for the Change of Field Screening will be notified individually by email.

April 20 (Fri), 23 (Mon), 24 (Tue) 16:50-18:20 each day: Change of Field Screening

April 25 (Wed): Notification of the Results of the Change of Field Screening

Applicants will be notified individually by email.

April 26 (Thu) before 15:00: Submission of the Survey on Lab Assignment Preference

Please write your first to fifth choices based on your lab visits and the results of the Change of Field Screening.

May 1 (Tue) to 11 (Fri) as needed: Announcement of Lab Assignment Results

Lab assignments will be posted on the web in the order they are decided. Students will receive the results by email as well.

May 1 (Tue) and onward as needed: Selection of Education Program

Students are encouraged to consult their instructors in the order that they are assigned to labs and decide on their Education Program.

May 2 (Wed) to 16 (Wed): Registration (Basic Subjects)

Once your Education Program is decided, please register for Basic subjects. You can change them during the above registration period.

May 25 (Fri) to June 7 (Thu): Registration (General Subjects, Specialized Subjects)

Once your Education Program is decided, please register for General and Specialized subjects. You can change them during the above registration period.

*The above schedule may change depending on progress and coordination between departments.

[Other workshops, etc.]

April 6 (Fri)

- 1st and 2nd classes: Information Network Guidance, Safety Education (for all incoming students)
- 3rd and 4th classes: First RI/X-Ray Workshop (for anyone who may engage in experiments using RI/X-ray)
- 5th class: Research Ethics Workshop (for all incoming students)

April 17 (Tue)

- 4th and 5th classes: Genetic Modification Experiment Workshop (for anyone who may engage in genetic modification experiments)

*Other procedures for applying for scholarship programs or student dormitories will be explained at the orientation sessions for incoming students so please do not miss them.

3 – 2. Selecting Labs and Education Programs [Doctoral Courses]

2018

April 4 (Wed): TOEIC-IP Test

All incoming students are encouraged to take this test. Please take this opportunity to understand your English ability at the time of admission and to engage in your future English studies with clear goals. Your test results will be taken into account for assigning you to labs in the material science fields.

April 5 (Thu): Orientation for Incoming Students

Please make sure you understand the curriculum, research activities, scholarship programs, and campus living in order to begin your life at NAIST smoothly.

Onward as needed: Selection of Education Program

Students are encouraged to consult their instructors in the order that they are assigned to labs and decide on their Education Program.

*The above schedule may change depending on progress and coordination between departments.

[Other workshops, etc.]

April 6 (Fri)

- 1st and 2nd classes: Information Network Guidance, Safety Education (for all incoming students)
- 3rd and 4th classes: First RI/X-Ray Workshop (for anyone who may engage in experiments using RI/X-ray)
- 5th class: Research Ethics Workshop (for all incoming students)

April 17 (Tue)

- 4th and 5th classes: Genetic Modification Experiment Workshop (for anyone who may engage in genetic modification experiments)

*Other procedures for applying for scholarship programs or student dormitories will be explained at the orientation sessions for incoming students so please do not miss them.

IV Courses

4 Courses

Students are required to develop plans to register for subjects for each semester, based on full consultation with their research instructors.

The Master's Course program guides the registration for courses. In principle, the Master's Course must include courses outside the group of subjects related to the student's main research activities. However, intensive lectures, educational collaboration programs with other graduate schools of other universities, etc., and certificate programs may not be subject to this restriction.

4-1. Course Registration

Course registration must be done through the website (Course Registration System) during the designated period. During this period, it is also possible to make course changes and withdrawals in addition to registration for new courses.

<<NAIST TOP PAGE → For Students (Internal Only) → Academic Affairs →
Course Registration System>>

[The Designated Period for Course Registration 2018]

Semester (Academic Terms)	Period	Subjects
1 st Semester (April 12 to May 31)	April 5 (Tue) to 18 (Wed)	• Introduction Subjects (Spring)
	May 2 (Wed) to 16 (Wed)	• Basic Subjects
2 nd Semester (June 1 to July 31)	May 25 (Fri) to June 7 (Thu)	• General Subjects, Specialized Subjects
3 rd Semester (October 14 to November 30)	October 2 (Tue) to 16 (Tue)	• General Subjects, Specialized Subjects, Introduction Subjects (Autumn), Basic Subjects (Autumn)
4 th Semester (December 3 to February 15)	November 27 (Tue) to December 10 (Mon)	• General Subjects, Specialized Subjects, PBL Subjects

After course registration, there is a course withdrawal period for each subject (class). If you wish to withdraw, you can do so during this period.

Course withdrawal period: Before the second class day

In principle, it is not permitted to simultaneously take two subjects offered in the same time slot. In addition, registering for a subject at another graduate school may require a separate registration procedure in advance.

You will receive an e-mail announcement regarding course registration at the beginning of every term. Please check incoming e-mails carefully: If you overlook important information sent by NAIST, you may suffer a disadvantage.

* Course Registration System

Check the course registration system manual on the NAIST web page. Familiarize yourself with how to use the system and make sure to register correctly.

○About credits earned prior to admission to NAIST

The Faculty Council of this graduate school can give credit for up to 10 credits earned at graduate schools other than NAIST, if deemed educationally beneficial to do so. Students who apply for this procedure are required to apply to the Educational Affairs Section of the Educational Affairs Division with the following documents.

- (1) Application form for this purpose (The form is available at the Educational Affairs Division.)
- (2) Certificate of credits earned, or certificate of academic record, issued by the graduate school other than NAIST at which credits have been earned
- (3) Documents that show in some detail the content of lectures given in subjects to be considered for accreditation by NAIST (a copy of the syllabus, etc.)

* The schedule for application procedures, etc. will be posted on the bulletin board or provided by other means. Please check the information carefully. For more information, please contact the Educational Affairs Section of the Educational Affairs Division.

○Credit transfer program with graduate schools of other universities

A credit transfer program is in place between this graduate school and the following graduate schools of other universities:

- Graduate School of Engineering, Osaka University
- Graduate School of Engineering Science, Osaka University
- Graduate School of Humanities and Sciences (Department of Information and Computer Sciences), Nara Women's University

Students who want to use the credit transfer program should read the instructions below carefully and follow the prescribed procedures. For more information, please contact the Educational Affairs Section of the Educational Affairs Division.

- (1) Registration method, etc.
 - (i) Students who want to use the credit transfer program are required to submit the prescribed registration application form and a statement of their reasons.
 - (ii) For the Master's Course, the total number of credits registered shall be a maximum of ten.
 - (iii) In principle, the scope of registration for subjects shall be lectures only, and shall not cover seminars, practical work, experiments, research, etc.
 - (iv) Students may be refused permission to take specific subjects due to reasons including lecture room capacity at the graduate school.
- (2) Credit transfer

Credits earned at the previous graduate school are counted as credits towards the completion requirements for this graduate school, provided that the Faculty Council of this graduate school recognizes them as such before the student take such subjects.
- (3) The period for accepting the registration application form and the statement of reasons

The period for accepting these documents differs depending on the graduate school. Students will be notified via the bulletin board at a later date.
- (4) Procedures for submitting a registration application form and a statement of reasons
 - (i) Registration application forms and the statement of reason forms are available from the Educational Affairs Section of the Educational Affairs Division.
 - (ii) Students who want to use the credit transfer program are required to select subjects they wish to take by referring to the content of the lectures and the class schedule, etc. at the graduate school; obtain approval from their research instructors (a seal of approval is required); and submit a registration application form and a statement of reasons to the Educational Affairs Section of the Educational Affairs Division.

○ Research guidance offered at non-NAIST graduate schools, etc.

Students can receive necessary research guidance at non-NAIST graduate schools and research institutions, etc. (hereinafter referred to as “non-NAIST graduate schools, etc.”) based on consultation with relevant non-NAIST graduate schools, etc. when it is deemed educationally beneficial to do so. The duration for which such research guidance is available is up to one year in total for the Master’s Course and Doctoral Course, respectively. Permission may be given to extend the duration for the Doctoral Course. Students who want to receive research guidance at non-NAIST graduate schools, etc. are required to consult with their research instructors in advance, and inform the Academic Affairs Section of the Educational Affairs Division at least two months before the month in which such students will start to receive guidance.

○ Handling of classes when public transport services are suspended, etc.

• Handling of classes when public transport services are suspended

Classes will be cancelled when the services of the Kintetsu lines (Keihanna, Nara, and Kyoto) and/or Nara Kotsu Bus lines (routes serving Gakken Kita-Ikoma Sta., Gakuenmae Sta., and Takanojima Sta.) (which are used by students to commute to the NAIST campus) are suspended due to a major disaster, accident, etc. The table below shows the handling of classes when public transport services are restored.

• Handling of classes when a weather warning is issued

Classes will be cancelled when an Emergency Warning and a storm (or snowstorm) warning is announced in Ikoma City, Nara City and the area including those cities. The table below shows the handling of classes when the warning is cancelled.

Status at 7:00 a.m./10:00 a.m.	Handling of classes
Public transport services are restored/the warning is cancelled at or before 7:00 a.m.	Classes are held for the whole day
Public transport services are restored/the warning is cancelled at or before 10:00 a.m.	Classes are held in the afternoon
Public transport services remain suspended/the warning remains in effect after 10:00 a.m.	Classes are cancelled for the whole day

Note: Information on the TV, Internet, etc. is used to check if public transport services are suspended/restored or a warning is issued/cancelled.

What is an Emergency Warning?

The issuance of an Emergency Warning for an area indicates a level of exceptional risk of a magnitude observed only once every few decades. Residents should pay attention to their surroundings and relevant information such as municipal evacuation advisories and orders, and should take all steps necessary to protect life.

In case of a class cancellation, a supplementary lecture is generally given to students by the lecturer in charge. However, at the lecturer’s discretion, an appropriate study assignment may be given to replace the lecture.

○ Mandatory Exclusion from Class Attendance for those with Infectious Diseases

If you suffer from a contagious illness (such as influenza) diagnosed by a medical doctor, you must observe mandatory exclusion from class attendance as outlined by Article 19 of the School Health and Safety Act. If you are diagnosed with an infectious disease, mandatory class exclusion is immediately in effect and you are required to inform the head of your laboratory of the necessary information (name, student ID number, e-mail address, etc.).

[For reference : Period of class exclusion (Only common disease examples)]

Name of diseases	Period of suspended ※
Influenza	5 days from the start of symptoms and 2 days from the decline of the fever
Whooping cough	Until the whooping cough has stopped or after finishing a 5 day antibacterial agent treatment
Measles	3 days from the decline of fever
Mumps	Until complete recover and 5 days after swelling of the Parotid gland, Glandula submandibularis and/or Glandula sublingualis has subsided
Rubella	Until the rash has completely disappeared

※These periods are standards established by the School Health and Safety Act. You should consult doctors on a case-by-case basis.

In case of a mandatory exclusion from class attendance, the lecturer in charge will generally provide a study assignment equivalent to the content of the missed classes.

In addition, if the University closes to prevent the spread of a contagious illness, the lecturer in charge will generally provide supplementary lectures. However these may be replaced by an appropriate study assignment at the lecturer's discretion.

○Excused absence

If you cannot attend a class due to one of the following reasons, the lecturer in charge for the class may treat this absence as an excused absence at his/her discretion.

- 1) Attending an event due the death of a family member closer than or of a second-degree relationship.
- 2) Appearing at a court or other public office due to jury duty, as an eyewitness or a reference witness, etc.
- 3) Attending a bone marrow examination necessary for a bone marrow transplant.

For students who wish to have their absence treated as an excused absence, they must consult with the lecturer in charge.

When an excused absence is granted, the lecturer will provide a study assignment.

○Treatment for other absences

If you cannot attend a class due to a reason which does not constitute an excused absence, consult the lecturer in charge to provide the reason for the absence.

If the lecturer decides to be lenient for the reason of your absence that may affect grading, the lecturer may give the student an appropriate study assignment that is equivalent to the missed lectures.

4 – 2 . Registration Regulations

Please refer to the next page.

Registration Regulations for the Graduate School of Science and Technology at the Nara Institute of Science and Technology

March 26, 2018
Regulation No. 1

Article 1 (Purpose)

These regulations stipulate matters necessary for registration by students of the Graduate School of Science and Technology in accordance with Article 34 of the Regulations of Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

Article 2 (Research instructors)

1. Two or more research instructors of different courses, etc. shall be designated for each student to provide guidance on choosing subjects and preparing a degree thesis, etc. (hereinafter referred to as “research guidance”).
2. One of such research instructors shall be designated as the main research instructor.
3. Research instructors may be changed if needed in the course of studying or research guidance.

Article 3 (Research guidance)

The details of research guidance shall be defined for respective students.

Article 4 (Subject categories)

1. Subject categories and the number of credits required for completion for the master’s course shall be as shown in Appendix chart 1.
2. Subject categories and the number of credits required for completion for the doctoral course shall be as shown in Appendix chart 2.
3. The subjects, number of credits, and registration methods for the master’s course and doctoral course shall be stipulated separately.

Article 5 (Registration procedures)

1. Students must, under guidance offered by the main research instructor, choose the subjects they will take.
2. In principle, taking multiple subjects held at the same time is not permitted.

Article 6 (Awarding of credits)

1. Credits shall be awarded by means of an examination or a research report. Credits may be awarded based on an evaluation of day-to-day study activities, instead of such examination.
2. Academic performance based on an examination or a research report shall be evaluated by points (full score: 100 points); 60 points or more is deemed as a “pass”, and less than 60 points is deemed as a “fail”. For evaluation purposes, academic performance may be represented with the evaluation grade prescribed in accordance with the categories below.

(1) 90 points or more	Excellent
(2) 80 points or more	Very good
(3) 70 points or more	Good
(4) 60 Points or more	Fair
(5) less than 60 points	Fail

3. In the event that it is difficult to evaluate academic performance based on points as described in the preceding paragraph, “pass” or “fail” may be used instead of such points.
4. Prescribed credits shall be awarded to students whose academic performance is “pass” in accordance with the two preceding paragraphs.
5. Subjects whose credits have been earned cannot be taken again.

Article 7 (Approval of research guidance)

Research guidance shall be approved by the main research instructor and reported to the dean of the graduate school.

Article 8 (Theme of the degree thesis)

Students shall be required to report the theme of their degree thesis by the specified date, with the approval of the main research instructor.

Article 9 (Submission of the degree thesis)

1. Students are required to submit a degree thesis by the specified date, with the approval of the main research instructor.
2. A degree thesis can be submitted by students who (i) have earned or who are expected to earn credits necessary for completion of the course and (ii) have completed the necessary research guidance offered by research instructors.

Article 10 (Disqualification of credits for students who have been expelled due to unpaid tuition)

Credits accrued during the period of unpaid tuition will be disqualified when the student has been expelled from school, pursuant to Article 53-2 (4) of Regulation.

Article 11 (Index indicating the academic performance)

An objective index indicating the academic performance related a certain period or cumulative period can be calculated and evaluated, based on the evaluation performed pursuant to Article 6-2.

Article 12 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to registration by students shall be stipulated separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2018.

(Abolition)

2. The Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology, The Registration Regulations for the Graduate School of Biological Sciences at the Nara Institute of Science and Technology and The Registration Regulations for the Graduate School of Materials Science at the Nara Institute of Science and Technology (hereinafter referred to as “the former Registration Regulations”) are abolished.

(Transitional measures)

3. For students who were admitted in the 2017 academic year or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”) to take subjects, the previous Registration Regulations shall remain in effect even after these Regulations come into effect. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Appendix chart 1 (supplement to Article 4, Paragraph 1)

Subject Category		Number of credits required for completion
Courses	Category	
General Subjects	—	4
Science and Technology Subjects	Introduction Subjects	3
	Basic Subjects	1 2
	Specialized Subjects	
	PBL Subjects	2
Research-based Subjects	—	9
Total		3 0

Appendix chart 2 (supplement to Article 4, Paragraph 2)

Subject Category	Number of credits required for completion
Courses for research skills	3
Courses for independent research abilities	7
Total	1 0

Registration Policies for the Graduate School of Science and Technology at the Nara Institute of Science and Technology

March 27, 2018

Policy No. 1

Article 1 (Purpose)

These Policies stipulate matters necessary for the subjects, number of credits, and registration methods in accordance with Article 34 of the Registration Regulations for the Graduate School of Science and Technology at the Nara Institute of Science and Technology (2018 Regulations No. 1) (“Registration Regulations”).

Article 2 (Subjects)

1. The subjects, number of credits, and registration methods for the Master’s Course shall be as shown in Schedule 1.
2. The subjects, number of credits, and registration methods for the Doctoral Course shall be as shown in Schedule 2.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Policies shall come into effect on April 1, 2018.

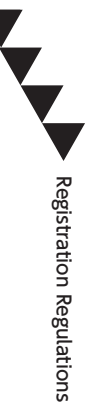
Appendix chart 1 (supplement to Article 2, Paragraph 1)

Curriculum table of the Graduate School of Science and Technology (Master's Course)

(1) Subject name, etc.

Courses	Category	Subject name	Subject Number	Number of credits	Number of credits required for completion	Registration Category						Remarks		
						Education Programs								
						Information Science and Engineering	Computational Biology	Biological Science	Bionanotechnology	Materials Science and Engineering	Intelligent Cyber-Physical Systems		Data Science	
General Subjects	-	Techonology and Professional Ethics	1001	1	4	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	two of the six subjects as elective subjects International students have priority For international students For international students	
		Philosophy of Science	1002	1		○	○	○	○	○	○	○		○
		Science Communication	1003	1		○	○	○	○	○	○	○		○
		Intellectual Property Right	1004	1		○	○	○	○	○	○	○		○
		Global Entrepreneur I	1005	1		○	○	○	○	○	○	○		○
		Global Entrepreneur II	1006	1		○	○	○	○	○	○	○		○
		Global Entrepreneur III	1007	1		○	○	○	○	○	○	○		○
		Global Entrepreneur IV	1008	1		○	○	○	○	○	○	○		○
		Global Entrepreneur V	1009	1		○	○	○	○	○	○	○		○
		Professional Communication I	1010	1		□	□	□	□	□	□	□		□
		Professional Communication II	1011	1		□	□	□	□	□	□	□		□
		Academic Discussion	1012	1		□	□	□	□	□	□	□		□
		Research Presentation	1013	1		□	□	□	□	□	□	□		□
		Research Writing	1014	1		□	□	□	□	□	□	□		□
		Advanced Research Writing	1015	1		□	□	□	□	□	□	□		□
		Japanese Culture	1016	2		○	○	○	○	○	○	○		○
		Japanese Course I	1017	2		△	△	△	△	△	△	△		△
		Japanese Course II	1018	2		△	△	△	△	△	△	△		△
Introduction Subjects	-	Introduction to Information Science and Engineering	2001	1	3	○	○	○	○	○	○	○		
		Introduction to Computational Biology	2002	1		○	○	○	○	○	○	○		
		Introduction to Biological Science	2003	1		○	○	○	○	○	○	○		
		Introduction to Bionanotechnology	2004	1		○	○	○	○	○	○	○		
		Introduction to Materials Science and Engineering	2005	1		○	○	○	○	○	○	○		
		Introduction to Intelligent Cyber-Physical Systems	2006	1		○	○	○	○	○	○	○		
		Introduction to Data Science	2007	1		○	○	○	○	○	○	○		
Science and Technology Subjects	Basic Subjects	Formal Language Theory	3001	1	at least 12 credits from the basic and specialized subjects required for each educational program	□C	△	△	△	△	○	○	For international students	
		Programming Course	3002	1		□C	△	△	△	△	△	○		○
		Principles of Signal Processing	3003	1		○	○	△	△	△	△	○		○
		Applied Analysis	3004	1		○	○	△	△	△	△	○		○
		Data Engineering	3005	1		○	△	△	△	△	△	○		□C
		Machine Learning	3006	1		○	△	△	△	△	△	○		□C
		Optics	3007	1		○	○	△	△	△	△	□C		△
		High Performance Computing Platforms	3008	1		□C	△	△	△	△	△	□C		○
		Software Design	3009	1		□C	△	△	△	△	△	○		△
		Artificial Intelligence	3010	1		□C	△	△	△	△	△	△		△
		Cell Biology	3011	1		△	○	○	○	○	△	△		△
		Molecular Biology	3012	1		△	○	○	○	○	△	△		△
		Cell Membranes and Transport	3013	1		△	○	○	○	○	△	△		△
		Cell Signaling	3014	1		△	○	○	○	○	△	△		△
		Microbial Science	3015	1		△	○	□C	○	○	△	△		△
	Plant Science	3016	1	△		○	□C	○	○	△	△	△		
	Biomedical Science	3017	1	△		○	□C	○	○	△	△	△		
	Cytoskeleton and Cell Cycle	3018	1	△		○	□C	○	○	△	△	△		
	Genetics and Stem Cell Biology	3019	1	△		○	□C	○	○	△	△	△		
	Gene Cloning and DNA Analysis	3020	1	△		○	○	○	○	△	△	△		
	Mathematical Analyses for Materials Science	3021	1	△		△	△	○	○	○	○	△		
	Quantum Mechanics	3022	1	△		△	△	○	○	○	□C	○		
	Core Quantum Mechanics II	3023	1	△		△	△	○	○	○	○	○		
	Core Physical Chemistry I	3024	1	△		△	△	○	○	○	□C	○		
	Physical Chemistry	3025	1	△		△	△	○	○	○	○	○		
	Core Solid State Physics I	3026	1	△		△	△	○	○	○	□C	○		
	Core Solid State Physics II	3027	1	△		△	△	○	○	○	□C	○		
	Core Molecular Science I	3028	1	△		△	△	○	○	○	○	○		
	Core Molecular Science II	3029	1	△		△	△	□C	○	○	○	○		
	Biomaterials Chemistry	3030	1	△		△	△	□C	□C	○	○	○		
Specialized Subjects	-	Distributed Computing	4001	1	○	△	△	△	△	△	○	△		
		Advanced Algorithm Design	4002	1	○	△	△	△	△	△	○	△		
		Ubiquitous Systems	4003	1	○	○	△	△	△	△	□C	△		
		Mobile Computing	4004	1	○	△	△	△	△	△	○	△		
		Virtual Systems Infrastructure	4005	1	○	△	△	△	△	△	○	△		
		Software Engineering	4006	1	○	△	△	△	△	△	○	△		
		Internet Engineering	4007	1	○	△	△	△	△	△	○	○		
		Computer Network	4008	1	○	△	△	△	△	△	○	○		
		Ambient Intelligence	4009	1	○	○	△	△	△	△	○	△		
		Natural Language Processing	4010	1	○	△	△	△	△	△	△	○		
		Virtual Reality	4011	1	○	△	△	△	△	△	○	△		
		Computer Vision	4012	1	○	△	△	△	△	△	○	△		
		Computer Graphics	4013	1	○	△	△	△	△	△	○	△		
		Media Information Processing	4014	1	○	△	△	△	△	△	○	△		
		Wireless Communication Systems	4015	1	○	○	△	△	△	△	○	△		
		Signal Detection Theory	4016	1	○	○	△	△	△	△	○	○		





Courses	Category	Subject name	Subject Number	Number of credits	Number of credits required for completion	Registration Category						Remarks	
						Education Programs							
						Information Science and Engineering	Computational Biology	Biological Science	Bionanotechnology	Materials Science and Engineering	Intelligent Cyber-Physical Systems		Data Science
Science and Technology Subjects	Specialized Subjects	Human Computer Interaction	4017	1	at least 12 credits from the basic and specialized subjects required for each educational program	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> C	<input type="radio"/>	
		Pattern Recognition	4018	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Social System Theory	4019	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Machine Learning and Intelligent Control	4020	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> C	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Model-based Control	4021	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Human Robot Informatics	4022	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Mathematical Modeling	4023	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Systems Biology	4024	1		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> C	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Data Mining	4025	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> C
		Medical Imaging Analysis	4026	1		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> C	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Biomedical Media Informatics	4027	1		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> C	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Data Science	4028	2		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Special Lecture in Information Science A	4029	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Special Lecture in Information Science B	4030	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Special Lecture in Information Science C	4031	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Special Lecture in Information Science D	4032	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Speech Processing	4033	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Sequential Data Modeling	4034	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Robotics	4035	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> C	<input type="radio"/>
		Information Security & Our Society	4036	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Information Theory	4037	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Hardware Security	4038	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Coding Theory	4039	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Stochastic Processes	4040	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Computational Neuroscience	4041	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Lecture of Information Security Management Literacy I	4042	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Lecture of Information Security Management Literacy II	4043	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Exercise for Information Security A	4044	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Exercise for Information Security B	4045	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Exercise for Information Security C	4046	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Mathematics for Optimization	4047	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Data Analysis	4048	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Applied Life Sciences · Microbial Science	4049	1		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Applied Life Sciences · Plant Science	4050	1		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Applied Life Sciences · Biomedical Science	4051	1		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Development of Bioscience into Industry I	4052	1		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Development of Bioscience into Industry II	4053	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Advanced Lecture in Developmental Biology	4054	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Advanced Techniques in Bioscience	4055	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> C	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Plant Developmental Physiology	4056	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Developmental Biology of Animals	4057	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Pharmacology and Pathological Chemistry	4058	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Immunology	4059	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		The Biology of Genome and Cancer	4060	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Biological Interactions	4061	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		International Forefront in Bioscience A	4062	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		International Forefront in Bioscience B	4063	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		Big data in Bioscience	4064	1		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> C
Advanced Topics in Biological Science	4065	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
Electronic Properties and Atomic Structures of Solids and Surfaces Special	4066	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
Photonics Special	4067	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
Light and Information Devices Special	4068	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
Materials Science for Quantum Information and Energy Conversion	4069	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
Biomolecular Science	4070	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> C	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
Advanced Synthetic Organic and Polymer Chemistry	4071	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
Molecular Photo-science	4072	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
Polymer Chemistry	4073	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
Materials Informatics	4074	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> C	<input type="radio"/>			
Industrial Science and Technology Special	4075	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
Materials Science Special A	4076	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
Materials Science Special B	4077	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
Materials Science Special C	4078	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
Materials Science Special D	4079	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
Semiconductor Materials	4080	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> C	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
Optoelectronics	4081	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> C	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
Organic Synthesis and Polymer Science	4082	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> C	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
Project Practice	4083	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			

For international students

Courses	Category	Subject name	Subject Number	Number of credits	Number of credits required for completion	Registration Category						Remarks	
						Education Programs							
						Information Science and Engineering	Computational Biology	Biological Science	Bionanotechnology	Materials Science and Engineering	Intelligent Cyber-Physical Systems		Data Science
Science and Technology Subjects	PBL Subjects	Information Science and Engineering PBL I	5001	1	2	⊙						Only PBL subjects related to the selected Educational Program can be taken	
		Information Science and Engineering PBL II	5002	1		⊙							
		Computational Biology PBL I	5003	1			⊙						
		Computational Biology PBL II	5004	1			⊙						
		Biological Sciences PBL I	5005	1				⊙					
		Biological Sciences PBL II	5006	1				⊙					
		Bionanotechnology PBL I	5007	1					⊙				
		Bionanotechnology PBL II	5008	1					⊙				
		Materials Science and Engineering PBL I	5009	1						⊙			
		Materials Science and Engineering PBL II	5010	1						⊙			
		Intelligent Cyber-Physical Systems PBL I	5011	1							⊙		
		Intelligent Cyber-Physical Systems PBL II	5012	1							⊙		
		Data Science PBL I	5013	1									⊙
		Data Science PBL II	5014	1									⊙
Research-based Subjects		Seminar I	6001	1	9	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙		
		Seminar II	6002	1		⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙		
		Colloquium A	6003	1		⊙	□	□	□	□	□		
		Colloquium B	6004	1		⊙	□	□	□	□	□		
		Research Experiments I	6005	2			□	□	□	□	□		
		Research Experiments II	6006	2			□	□	□	□	□		
		Research Thesis	6007	5			⊙	⊙	⊙	⊙	⊙		
Number of credits required for completion				30									

In the "Required/elective" column, ⊙, □, ○, and △ represent required subjects, required elective subjects, and elective subjects, respectively. Subjects marked △ do not count as credits toward the completion requirements. C mark represent the core subjects for each educational program.

(2) Registration requirements

A. Students are required to earn 30 credits or more in total. The total credits must include at least 4 credits from "General Subjects," at least 3 credits from introductory subjects in "Science and Technology Subjects," at least 12 credits from the basic and specialized subjects required for each educational program (※), at least 2 credits from PBL subjects, and at least 9 credits from "Research-based Subjects".

B. Of the basic subjects, subjects that can be judged to be have earned from the undergraduate department curriculum may not be included as a unit required for the student to complete.

C. The courses indicated by (※) are required or elective subjects which are core subjects to gain specialized knowledge required by each educational program.

- In the Program of Information Science and Engineering, students are required to study at least two of the following five subjects as elective subjects. ① Formal Language Theory, ② Programming Course, ③ High Performance Computing Platforms, ④ Software Design, ⑤ Artificial Intelligence
- In the Program of Computational Biology, students are required to study at least three of the following seven subjects as elective subjects. However, you can only choose one of ④, ⑤, or ⑥. ① Systems Biology, ② Medical Imaging Analysis, ③ Biomedical Media Informatics, ④ Applied Life Sciences · Microbial Science, ⑤ Applied Life Sciences · Plant Science, ⑥ Applied Life Sciences · Biomedical Science, ⑦ Development of Bioscience into Industry I
- In the Program of Biological Science, students are required to study at least three of the following six subjects as elective subjects. However, you can only select one of ①, ②, or ③. ① Microbial Science, ② Plant Science, ③ Biomedical Science, ④ Cytoskeleton and Cell Cycle, ⑤ Genetics and Stem Cell Biology, ⑥ Advanced Techniques in Bioscience
- In the Program of Bionanotechnology, students are required to study at least three of the following seven subjects as elective subjects. However, you can only select one of ③, ④, or ⑤. ① Core Molecular Science II, ② Biomaterials Chemistry, ③ Applied Life Sciences · Microbial Science, ④ Applied Life Sciences · Plant Science, ⑤ Applied Life Sciences · Biomedical Science, ⑥ Development of Bioscience into Industry I, ⑦ Biomolecular Science
- In the Program of Materials Science and Engineering, students are required to study of the following four subjects, you must study either a two-subject combination of ① and ② or ③ and ④ as elective subjects. ① Core Solid State Physics I, ② Core Solid State Physics II, ③ Core Molecular Science I, ④ Core Molecular Science II. Furthermore, you must study at least two of the following four subjects as elective subjects. ⑤ Biomaterials Chemistry, ⑥ Semiconductor Materials, ⑦ Optoelectronics, ⑧ Organic Synthesis and Polymer Science
- In the Program of Intelligent Cyber-Physical Systems, students are required to study at least three of the following nine subjects as elective subjects. ① Optics, ② High Performance Computing Platforms, ③ Quantum Mechanics, ④ Core Physical Chemistry I, ⑤ Ubiquitous Systems, ⑥ Human Computer Interaction, ⑦ Machine Learning and Intelligent Control, ⑧ Robotics, ⑨ Materials Informatics

(Corrected)

• In the Program of Data Science, students are required to study Data Science. Furthermore, you must study at least one of the following three subjects as elective subjects. Data Engineering, Machine Learning, Data Mining. Furthermore, you must study at least one of the following two subjects as elective subjects. Big data in Bioscience, Materials Informatics.

(3) Numbering Information

Subject numbers consist of 4-digit numbers based on levels of courses.

First digit : The first digit in the 6-digit numbers indicates levels of subjects:

- 1XXX = General Subjects (For master's course)
- 2XXX = Introduction Subjects (For master's course)
- 3XXX = Basic Subjects (For master's course)
- 4XXX = Specialized Subjects (For master's course)
- 5XXX = PBL Subjects (For master's course)
- 6XXX = Research-based Subjects (For master's course)
- 7XXX = Courses for research skills (For doctoral course)
- 8XXX = Courses for independent research abilities (For doctoral course)

From second to fourth digits : The from second to fourth digits in the 6-digit numbers indicate serial

XXXX = Serial numbers (ranging from 01 to 99)

Appendix chart 2 (supplement to Article 2, Paragraph 2)

Curriculum table of the Graduate School of Science and Technology (Doctoral Course)

(1) Subject name, etc.

Category	Subject name	Subject Number	Number of credits	Number of credits required for completion	Required/ elective	Remarks
Courses for research skills	Advanced English A	7001	1	3	○	English lectures at NAIST
	Advanced English B	7002	1		○	
	Advanced English C	7003	1		○	
	Advanced English D	7004	1		○	
	Overseas English Training I	7005	2		○	English training overseas (About 3 weeks or more)
	Overseas English TrainingII	7006	2		○	
	Overseas English TrainingIII	7007	2		○	
	International Training I	7008	1		○	Presentations at a international conference
	International TrainingII	7009	1		○	
	International TrainingIII	7010	1		○	
	Study Abroad I	7011	2		○	* Registration requirements B • Internship at an overseas corporation to perform research (About 3 weeks or more) • Research activities at a overseas partner laboratory or research institution (About 3 weeks or more) • Overseas research
	Study AbroadII	7012	2		○	
	Study AbroadIII	7013	2		○	
	Seminar for International Workshop Planning	7014	1		○	Plan an international student workshop, etc.
	Project Management I	7015	1		○	Management of research project, etc
	Project ManagementII	7016	1		○	
	Project ManagementIII	7017	1		○	
	Special Lectures in Information Science and Engineering	7018	1		○	Special lectures corresponding to seven educational programs in the Master's course
	Special Lectures in Computational Biology	7019	1		○	
	Special Lectures in Biological Science	7020	1		○	
Special Lectures in Bionanotechnology	7021	1	○			
Special Lectures in Materials Science and Engineering	7022	1	○			
Special Lectures in Intelligent Cyber-Physical Systems	7023	1	○			
Special Lectures in Data Science	7024	1	○			
Innovation ManagementA	7025	1	○	* Registration requirements B		
Innovation ManagementB	7026	1	○			
Career ManagementA	7027	1	△			
Career ManagementB	7028	1	△			
Courses for independent research abilities	Research Status Hearing	8001	1		◎	Research status hearing (A mid-term report)
	Doctoral Research I	8002	3		○	(The first half-year)
	Doctoral Research II	8003	3		○	(The second half-year)
	Doctoral Research III	8004	3	7	○	(The third half-year)
	Doctoral Research IV	8005	3		○	(The fourth half-year)
	Doctoral Research V	8006	3		○	(The fifth half-year)
	Doctoral Research VI	8007	3		○	(The sixth half-year)
Number of credits required for completion				10		
In the “Required/elective” column, ◎, □, ○, and △ represent required subjects, required elective subjects, and elective subjects, respectively. Subjects marked △ do not count as credits toward the completion requirements.						

* This curriculum is also used for double degree program students.

(2) Registration requirements

A. Students are required to earn 10 credits or more in total. The total credits must include at least 3 credits from "Courses for research skills" and at least 7 credits from "Courses for independent research abilities" (including earning 1 credit of "Research Status Hearing").

B. Students are required to actively take two subjects, "Study Abroad I " and "Innovation ManagementA".

(3) Numbering Information

Subject numbers consist of 4-digit numbers based on levels of courses.

First digit : The first digit in the 4-digit numbers indicates levels of subjects:

- 1XXX = General Subjects (For master's course)
- 2XXX = Introduction Subjects (For master's course)
- 3XXX = Basic Subjects (For master's course)
- 4XXX = Specialized Subjects (For master's course)
- 5XXX = PBL Subjects (For master's course)
- 6XXX = Research-based Subjects (For master's course)
- 7XXX = Courses for research skills (For doctoral course)
- 8XXX = Courses for independent research abilities (For doctoral course)

From second to fourth digits : The from second to fourth digits in the 4-digit numbers indicate serial

XXXX = Serial numbers (ranging from 01 to 99)

4 – 3. Research Ethics Training Session

NAIST offers Research Ethics Training Sessions every year to foster the ethical thinking necessary for researchers and technicians. These sessions are offered in both Japanese and English.

Session times: April 6 (Fri), 2018 16:50- 18:20 (For Spring students)

October 3 (Wed), 2018 16:50- 18:20 (For Fall students)

Attendance is mandatory for all new students. Please understand that if you do not successfully complete this session, you may experience some disadvantages during your studies.

4 – 4. Completion Requirements

The following conditions must be satisfied to complete the program. You are responsible for confirming whether or not the completion requirements have been satisfied by consulting with your advisor.

<Master's Course>

You must be registered in the Master's Course for at least two years, and complete at least 30 credits (including taking "Research Ethics Training Session" and passing the test). These credits must include at least 4 credits from "General Subjects," at least 3 credits from introductory subjects in "Science and Technology Subjects," at least 12 credits from the basic and specialized subjects required for each educational program (※), at least 2 credits from PBL subjects offered by each educational program, and at least 9 credits from "Research-based Subjects". In addition, you must receive necessary research guidance, your master's thesis must be accepted, and you must pass the final exam.

The courses indicated by (※) are required or elective subjects which are core subjects to gain specialized knowledge required by each educational program.

A student can also study specialized subjects required by educational programs other than the program the student chose.

[The core subjects for each educational program]

【Program of Information Science and Engineering】

You must study at least two of the five subjects listed below as elective subjects.

- ① Formal Language Theory (Basic Subjects)
- ② Programming Course (Basic Subjects)
- ③ High Performance Computing Platforms (Basic Subjects)
- ④ Software Design (Basic Subjects)
- ⑤ Artificial Intelligence (Basic Subjects)

【Program of Computational Biology】

You must study at least three of the seven subjects listed below as elective subjects.

However, you can only choose one of ④, ⑤, or ⑥.

- ① Systems Biology (Specialized Subjects)
- ② Medical Imaging Analysis (Specialized Subjects)
- ③ Biomedical Media Informatics (Specialized Subjects)
- ④ Applied Life Sciences · Microbial Science (Specialized Subjects)
- ⑤ Applied Life Sciences · Plant Science (Specialized Subjects)
- ⑥ Applied Life Sciences · Biomedical Science (Specialized Subjects)
- ⑦ Development of Bioscience into Industry I (Specialized Subjects)

【Program of Biological Science】

You must study at least three of the six subjects listed below as elective subjects.

However, you can only select one of ①, ②, or ③.

- ① Microbial Science (Basic Subjects)
- ② Plant Science (Basic Subjects)
- ③ Biomedical Science (Basic Subjects)
- ④ Cytoskeleton and Cell Cycle (Basic Subjects)
- ⑤ Genetics and Stem Cell Biology (Basic Subjects)
- ⑥ Advanced Techniques in Bioscience (Corrected) (Specialized Subject)

【Program of Bionanotechnology】

You must study at least three of the seven subjects listed below as elective subjects.

However, you can only select one of ③, ④, or ⑤.

- ① Core Molecular Science II (Basic Subjects)
- ② Biomaterials Chemistry (Basic Subjects)
- ③ Applied Life Sciences · Microbial Science (Specialized Subjects)
- ④ Applied Life Sciences · Plant Science (Specialized Subjects)
- ⑤ Applied Life Sciences · Biomedical Science (Specialized Subjects)
- ⑥ Development of Bioscience into Industry I (Specialized Subjects)
- ⑦ Biomolecular Science (Specialized Subjects)

【Program of Materials Science and Engineering】

Of the four subjects below, you must study either a two-subject combination of ① and ② or ③ and ④ as elective subjects.

- ① Core Solid State Physics I (Basic Subjects)
- ② Core Solid State Physics II (Basic Subjects)
- ③ Core Molecular Science I (Basic Subjects)
- ④ Core Molecular Science II (Basic Subjects)

Furthermore, you must study at least two of the four subjects listed below as elective subjects.

- ⑤ Biomaterials Chemistry (Basic Subjects)
- ⑥ Semiconductor Materials (Specialized Subjects)
- ⑦ Optoelectronics (Specialized Subjects)
- ⑧ Organic Synthesis and Polymer Science (Specialized Subjects)

【Program of Intelligent Cyber-Physical Systems】

You must study at least three of the nine subjects listed below as elective subjects.

- ① Optics (Basic Subjects)
- ② High Performance Computing Platforms (Basic Subjects)
- ③ Quantum Mechanics (Basic Subjects)
- ④ Core Physical Chemistry I (Basic Subjects)
- ⑤ Ubiquitous Systems (Specialized Subjects)
- ⑥ Human Computer Interaction (Specialized Subjects)
- ⑦ Machine Learning and Intelligent Control (Specialized Subjects)
- ⑧ Robotics (Specialized Subjects)
- ⑨ Materials Informatics (Specialized Subjects)

(Corrected)

【Program of Data Science】

The following subject is a requirement.

Data Science (Specialized Subjects)

Furthermore, you must study at least one of the following three subjects as elective subjects

Data Engineering (Basic Subjects)

Machine Learning (Basic Subjects)

Data Mining (Specialized Subjects)

Furthermore, you must study at least one of the following two subjects as elective subjects.

Big data in Bioscience (Specialized Subjects)

Materials Informatics (Specialized Subjects)

<Doctoral Course>

You must be registered in the Doctoral Course for at least three years and complete a total of ten credits (including taking "Research Ethics Training Session" and passing the test). The total credits must include at least three credits from "Courses for research skills" and at least seven credits from "Courses for independent research abilities." In addition, you must receive necessary research guidance, your doctoral dissertation must be accepted, and you must pass the final exam.

4 – 5. Double Degree Program

The 21st century has seen globalization rapidly changing industry and social activities. These changes further necessitate research leaders who in addition to managing technological advances, must be able to manage human resources across countries and borders in order to solve important issues on a global scale. In order to meet these challenges and systematically develop global research leaders with international collaborative research abilities, the Double Degree Program (hereinafter referred to as "DD Program") was developed by Nara Institute of Science and Technology (hereinafter referred to as "NAIST").

The DD Program of NAIST gives a doctoral course student to register for the partner university at the same time to obtain PhD degrees from both of NAIST and the partner university through guidance of the professors of the two universities. The DD Program has been established with the following five partner universities. The students participating in the program must conduct their studies at each university for at least one academic year. Number of students for acceptance (partner universities students to join NAIST doctoral program) and dispatchment (NAIST students to join partner universities doctoral program) are Limited. In principle, entrance to the program is the fall semester of 2017 and the spring semester of 2018.

Please refer to the following web site for details.

• Implementation Guidelines:

<<NAIST TOP PAGE → For Students (Internal Only) → Academic Affairs → Double Degree Program>>

• Admission Information and Application Guide:

http://www.naist.jp/en/international_students/prospective_students/admission_information/double_degree.html

- Unitec Institute of Technology (New Zealand)
- Ulm University (Germany)
- University of Malaya (Malaysia)
- Université Paul Sabatier (France)
- National Chiao Tung University (Taiwan)

V Syllabus, etc.

5 Syllabus, etc.

5 – 1. Online Syllabus

Check the course syllabus at:

<<NAIST TOP PAGE → For Students (Internal Only) → Academic Affairs →
Online Syllabus System>>

* Online Syllabus System

Please refer to the “online syllabus system manual,” available on the homepage shown above, for how to view online syllabus. Familiarize yourself with how to use the system and regularly check for the latest information.

5 – 2. Research Guidance System

Check the Research Guidance System at:

<<NAIST TOP PAGE → For Students (Internal Only) → Academic Affairs →
Research Guidance System>>

* Research Guidance System

The Research Guidance System is a network system that records the interim evaluation reports during the second year of the Master’s Course including evaluation results (milestones) by multiple faculty members such as the main advisor and sub-advisors, areas of improvement, and feedback on the thesis (capstone). This system supports research guidance by faculty members in addition to students being able to more proactively report and communicate their research topics and plans to the advisors.

Please refer to the “Research Guidance system manual” posted on the homepage shown above for how to view the Research Guidance system. Familiarize yourself with how to use the system and regularly check for the latest information.

5 – 3. Evaluation of academic performance

○ Notification of completed grade evaluation

Grades will be reported within three weeks after the completion of the course by the lecturer in charge and will be posted on the homepage and bulletin board, etc.

Students can confirm the subject registration status and academic performance by means of academic records which can be obtained from the automatic certificate issuing machine in the entrance lobby of the NAIST Library.

○ Information concerning objections to academic performance evaluation

If you have objections to the grading results you received, please submit a “Letter of Objection concerning Evaluation of Academic Performance” to the Academic Affairs Section of the Educational Affairs Division within one month of receiving your grading results.

(※) Academic Performance Evaluation Objections are possible only when students'cases are deemed as pertaining to one of the following areas.

(1) Cases where it is thought there are obvious mistakes in grading, such as paperwork errors, etc.

(2) Cases where there are obvious doubts concerning academic performance evaluation in relationship to the grading standards found in the syllabus, etc.

A response to an objection is given either orally or in writing through the Academic Affairs

Section of the Educational Affairs Division after review by the Graduate School's Education Committee.

The format for an objection form and the flow chart of the process of handling a claim can be found on the University's homepage.

<<NAIST TOP PAGE → For Students (Internal Only) → Academic Affairs → Released dates of Academic Performance>>

○The GPA [Grade Point Average] system

In order to promote the internationalization of future education and increase the transparency of the grading system, we have introduced a GPA system beginning with the students who entered in the 2018 school year. The GPA system will indicate a student's relative standing both within and beyond the University. By calculating a GPA, it can become an index for current learning and achievement; we expect this to help students grasp their academic achievement more objectively and utilize it to create their learning plans.

<System Overview>

The GPA system is a common method used in European and American universities to evaluate academic grades. Students receive grade evaluations after course completion and it is converted into Grade Points (GP) with the student's overall average computed as a single value.

<Calculation Method>

There are five levels of Grade Points (S, A, B, C, D) as shown below.

Definition and Letter Grade	G P	Evaluation Criteria	Criteria out of 100 points
Excellent (S)	4	Achieved learning outcomes with exceptionally high grade.	90 points or more
Very good (A)	3	Achieved learning outcomes with high grade.	80 points or more
Good (B)	2	Achieved learning outcomes with good grade.	70 points or more
Fair (C)	1	Achieved learning outcomes.	60 Points or more
Fail (D)	0	Did not achieve learning outcomes.	less than 60 points

(For Reference)

Definition and Letter Grade	G P	Evaluation Criteria	Criteria out of 100 points
Accredited (N)	Not Applicable	Considered as completed as studied in an academic course at this university.	Not Applicable
Pass (P)	Not Applicable	Reached the academic level for this course.	Not Applicable
Fail (F)	Not Applicable	Did not reach the academic level for this course.	Not Applicable

<Targeted Students>

The students who begin the Master's Course in the 2018 school year and all subsequent years.

< Targeted Subjects >

All subjects that count towards completion of the Master's Course in the subject categories shown below. However, if a subject cannot be evaluated by the five-level grading scheme due to the nature of the subject, it will be excluded from the GPA calculation.

- ◇ General Subjects
- ◇ Basic Subjects
- ◇ Specialized Subjects

< Types of GPAs and Calculation Method >

There is a GPA for the academic year (annual GPA) and a GPA for the entire program (cumulative GPA).

Here are the calculation methods for annual and cumulative GPAs. (Round off to two decimal digits in calculating a GPA.)

 Calculation of an Annual GPA

Annual GPA = The sum for all subjects of (the number of credits for a registered subject for the year × GP of the subject)/The total number of credits for the year's subjects.

 Calculation of Cumulative GPA

Cumulative GPA = The sum for all subjects of (the number of credits for a registered subject for the program × GP of the subject)/The total number of credits for the program.

< How to Treat Retake Subjects >

If a student retakes a subject which he/she has failed, and receives a passing grade or another failed grade as a result, the earlier result and credits are excluded from GPA. (The data before the retake will be excluded.)

< Treatment on Academic Record >

Both the annual GPA and the cumulative GPA will appear on the academic record.

5 – 4. Toward Cultivating Globally-Aware Human Resources

The Nara Institute of Science and Technology (NAIST) was selected for the Top Global University Project by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology in September 2014. We promote study abroad programs in cooperation with 97 academic exchange partner institutions in the world including the University of California, Davis. We also promote participation in overseas internship programs and international workshops.

The master's program aims to foster students' abilities to read academic papers and understand lectures and seminars in English. The doctoral program prepares students for giving presentations in English and equips them with the ability to answer questions and handle discussion and challenges. Each graduate school hosts TOEIC tests as well.

Two hundred and fifty seven students from 34 countries are studying at NAIST. We offer them an environment where international students from different backgrounds and cultures study with Japanese students so that many of them grow to be globally-aware human resources who have an international mindset, practical communications skills, excellent techniques in research, and areas of expertise.

○ Scholarships for Studying Abroad

Many of the students at NAIST use the following scholarships to study abroad. While students can apply to some of the programs individually, some are offered as part of graduate school programs. Please consult your supervisor or the International Affairs Division if you are considering studying abroad.

1. Support for studying abroad by the Japan Student Services Organization (JASSO) Scholarship
http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_a/scholarship.html
2. Tobitate! Study Abroad Program JAPAN
<http://www.tobitate.mext.go.jp/>
3. Lists of scholarships compiled by JASSO
<http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>

○ On-campus procedures before studying abroad

In order to study or receive instruction at an academic or research institution overseas, a Study Abroad Request form must be submitted to and approved by the Faculty Council, so please submit this form along with the Course Registration Request for Special Auditing Dispatchment Student or the Application for Special Research Dispatchment Student to the International Affairs Division at least two months before your planned departure. Even if the study abroad program you have chosen does not require a Study Abroad Request form, you must submit an Overseas Travel Notification for emergencies so that your safety can be confirmed in the event of natural disasters, terrorist acts, etc. Please see the following website “Procedures for study / travel abroad” for details.

<https://ad-info.naist.jp/gakusei/member/kaigairyugaku/index.html>

○ Visas

When you decide to travel abroad, please make sure to investigate where you are traveling and whether or not you need a visa to travel there. Also, leave enough time for whatever paperwork or procedures that may be necessary.

Regardless of the length of your stay, you may have to apply for a visa depending on the purpose of your visit. For example, to study in the US an F-1 visa is necessary and students must start preparing for their study abroad (preparing paperwork, obtaining forms and certificates, obtaining a passport, completing an interview, etc.) at least two months prior to their departure date. In France, online registration and application is possible and a visa interview is waived if you will be an exchange student. In this way, paperwork, requirements, and application processes may vary depending on your destination, program details and the agreements related to your studies, so it is necessary to start collecting information from the institution you will be attending and from the appropriate diplomatic agency in advance.

Depending on your destination, there may be punitive measures taken or you may be denied entrance to the country if you have not completed the proper visa application process. If you have any questions concerning the visa process or necessary paperwork, feel free to consult with the International Affairs Division staff.

○ Safety and security information before traveling overseas

When you travel abroad, please make sure that the country is safe to visit by checking the safety and security information for the destination country on the Foreign Ministry’s website (overseas safety page).

The Foreign Ministry encourages Japanese nationals who are planning to stay abroad longer than 3 months to submit a Resident Report, and Japanese nationals who are planning to stay less than 3

months to register at ‘Tabi-regi’, the registration system for Japanese travelers abroad.

Please submit a notice or register with the Foreign Ministry when you go abroad in addition to the on-campus administrative procedures.

Please see the Foreign Ministry’s website for details.

Information about “Safety when travelling abroad” has been included on the following website to contribute to risk management for those students who will or are travelling abroad. We ask that students check the following website to consider and plan for their safety when abroad.

<https://ad-info.naist.jp/gakusei/member/kaigairyugaku/caution/caution.html>

(For Reference)

Procedures for study/travel abroad

Types of dispatchment abroad	Official study abroad※		Travel notification requiring Travel Request	
	Course(s) or instruction at an overseas graduate school or research institution	Double degree program	Educational programs not included in 'Official study abroad' offered in cooperation with NAIST at an overseas graduate school or research institution	Conference/symposium/seminar/etc. attendance
Details	Attending of course(s) or receiving instruction at overseas graduate schools or research institutions	Studies at overseas universities in accordance with double degree program regulations	<ul style="list-style-type: none"> Education at an overseas graduate schools or research institutions Internship at an overseas graduate schools or research institutions (Held as a NAIST educational program) 	Attending or presenting at a Conference/symposium/seminar/etc.
Duration	In principle, 3 months or more		In principle, less than 3 months	
Necessary paperwork	<ul style="list-style-type: none"> Study Abroad Request Course Registration Request for Special Auditing Dispatchment Student (For students who will attend classes) Application for Special Research Dispatchment Student (For students who will receive instruction) 	Study Abroad Request	Overseas Travel Notification	Overseas Travel Notification
Statistical status	Study abroad student	Study abroad student	Study abroad student	—
University overseas travel insurance	Eligible	Eligible	Eligible	Eligible
Student personal accident Insurance◆	Eligible	Eligible	Eligible	Eligible

※Article 48 of the Student Regulations states that a student wanting to study abroad at an overseas graduate school or research institution must receive the President's permission.

◆Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (PAS)

For private travel

- 1: If you will leave your residence for a period of time for private travel, please give your emergency contact information to your family, relatives, friends, research lab, etc.
- 2: If you will travel overseas privately for three months or more, you must submit the Leave of Absence Request and Overseas Travel Notification forms at least two weeks before departure.

5 – 5. English E-Learning System (ALC NetAcademy 2)

1. What's ALC NetAcademy 2?

ACL NetAcademy 2 is an online English learning system which provides self-study courses to improve English competence, practice TOEIC, and develop reading skills for scientific papers.

2. Who can Use NetAcademy 2?

Students and faculty members of NAIST can use the system. This system is on service 24 hours a day and is accessible at home or from outside the campus. Registration is not required.

3. How to Access?

<<NAIST TOP PAGE → For Students (Internal Only) → ALC NetAcademy>>
 <How to login> Account : MANDARA-DOMAIN¥“MANDARA account”
 Password: “MANDARA password”

4. What Courses are available?

The following five courses are available:

- Super-standard Course
- Standard Course
- Course for Beginners and Intermediates Plus
- Technical English (Basic Course)
- Technical English (Power-up Course)

5. Recommended System Requirements

NetAcademy 2 has been tested on the following platforms:

OS	Windows Vista SP2 / 7 SP1 / 8 , 8.1 ※
WWW Browser	InternetExplorer 8 / 9 / 10 / 11
Browser Plug-in	FLashPlayer 12.0

※NetAcademy 2 should run on other platforms as long as Flash Player operates properly. However, there is a possibility that texts and animations are not displayed properly, etc.

※On MacOS X 10.3/10.4, TOEIC Test in the Course for Beginners and Intermediates Plus has been confirmed not to work properly.

VI List of subjects and faculty members in charge, etc.

6 List of subjects and faculty members in charge, etc.

6-1. List of subjects and faculty members in charge in academic year 2018

List of subjects and faculty members in charge for the Graduate School of Science and Technology in academic year 2018 (Master's Course)

Category	Subject name	Type	Subject Number	Class Code	Number of credit	Responsible person	Main	Sub	Faculty member in charge	Class Period		Total number of classes	English Subject	Remarks
										Start	End			
General Subjects	Techonology and Professional Ethics	L	1001	A	1	Yasumasa Bessho	BS	—	Yasumasa Bessho, Junya kato, Masahiro Akiyama, (Masataka Watanabe)	5/9	5/17	15		
	Techonology and Professional Ethics	L	1001	B	1	(Shushi Ueda)	IS	—	(Shushi Ueda)	6/5	7/24	15		
	Techonology and Professional Ethics	L	1001	C	1	(Mitsui Hitoshi)	MS	—	(Mitsui Hitoshi)	6/5	7/24	15		
	Techonology and Professional Ethics	L	1001	D	1	(Takahashi Kenji)	MS	—	(Takahashi Kenji)	6/5	7/24	15		
	Techonology and Professional Ethics	L	1001	E	1	(Mitsui Hitoshi)	MS	—	(Mitsui Hitoshi)	10/5	11/30	15		
	Techonology and Professional Ethics	L	1001	F	1	(Shushi Ueda)	IS	—	(Shushi Ueda)	10/5	11/30	15	○	
	Philosophy of Science	L	1002	A	1	(Hisashi Nakao)	IS	—	(Hisashi Nakao)	9/18	9/28	15		
	Science Communication	L	1003	A	1	Yasumasa Bessho	BS	—	Yasumasa Bessho	11/1	11/22	15		Collaboration with Social Dialogue Skills Laboratory
	Intellectual Property Right	L	1004	A	1	Kozo Kubo	IRI (IS)	—	Kozo Kubo	9/5	9/14	15		
	Intellectual Property Right	L	1004	B	1	Kozo Kubo	IRI (IS)	—	Kozo Kubo	10/15	12/3	15	○	
	Global Entrepreneur I	L	1005	A	1	Shoichi Mitsui	IS	—	Shoichi Mitsui	Intensive	Intensive	15		Out of Campus
	Global Entrepreneur II	L	1006	A	1	Shoichi Mitsui	IS	—	Shoichi Mitsui	Intensive	Intensive	15		Out of Campus
	Global Entrepreneur III	L	1007	A	1	Shoichi Mitsui	IS	—	Shoichi Mitsui	Intensive	Intensive	15		
	Global Entrepreneur IV	L	1008	A	1	Shoichi Mitsui	IS	—	Shoichi Mitsui	Intensive	Intensive	15		
	Global Entrepreneur V	L	1009	A	1	Hajimu Iida	IS	—	Hajimu Iida, Takahiro Miyashita, Masafumi Nakagawa	Intensive	Intensive	15		
	Professional Communication I	L	1010	A	1	(David Sell)	IS	—	(David Sell)	6/4	7/30	15	○	
	Professional Communication I	L	1010	B	1	Mike Barker	IS	—	Mike Barker	6/6	8/1	15	○	
	Professional Communication I	L	1010	C	1	Mike Barker	IS	—	Mike Barker	6/1	8/3	15	○	
	Professional Communication I	L	1010	D	1	Paul McAleese	BS	—	Paul McAleese	12/12	2/6	15	○	
	Professional Communication I	L	1010	E	1	Paul McAleese	BS	—	Paul McAleese	12/11	2/5	15	○	
	Professional Communication I	L	1010	F	1	Paul McAleese	BS	—	Paul McAleese	12/6	2/7	15	○	
	Professional Communication I	L	1010	G	1	Leigh McDowell	MS	—	Leigh McDowell	6/4	7/30	15	○	
	Professional Communication I	L	1010	H	1	Leigh McDowell	MS	—	Leigh McDowell	6/7	8/2	15	○	
	Professional Communication I	L	1010	I	1	Leigh McDowell	MS	—	Leigh McDowell	6/1	8/3	15	○	
	Professional Communication II	L	1011	A	1	(David Sell)	IS	—	(David Sell)	10/15	12/3	15	○	
	Professional Communication II	L	1011	B	1	Mike Barker	IS	—	Mike Barker	10/9	12/4	15	○	
	Professional Communication II	L	1011	C	1	Mike Barker	IS	—	Mike Barker	10/4	11/29	15	○	
	Professional Communication II	L	1011	D	1	Mike Barker	IS	—	Mike Barker	10/10	12/5	15	○	
	Professional Communication II	L	1011	E	1	Paul McAleese	BS	—	Paul McAleese	10/9	12/4	15	○	
	Professional Communication II	L	1011	F	1	Paul McAleese	BS	—	Paul McAleese	10/4	11/29	15	○	
	Professional Communication II	L	1011	G	1	Paul McAleese	BS	—	Paul McAleese	10/10	12/5	15	○	
	Professional Communication II	L	1011	H	1	Leigh McDowell	MS	—	Leigh McDowell	10/4	11/29	15	○	
	Professional Communication II	L	1011	I	1	Leigh McDowell	MS	—	Leigh McDowell	10/10	12/5	15	○	
	Academic Discussion	L	1012	A	1	Mike Barker	IS	—	Mike Barker	12/3	2/4	15	○	
	Academic Discussion	L	1012	B	1	Paul McAleese	BS	—	Paul McAleese	1/8	1/31	15	○	
	Academic Discussion	L	1012	C	1	Leigh McDowell	MS	—	Leigh McDowell	1/11	2/1	15	○	
	Research Presentation	L	1013	A	1	Mike Barker	IS	—	Mike Barker	11/5	1/7	15	○	
	Research Presentation	L	1013	B	1	(David Sell)	IS	—	(David Sell)	11/2	11/30	15	○	
	Research Presentation	L	1013	C	1	Paul McAleese	BS	—	Paul McAleese	11/1	11/27	15	○	
	Research Writing	L	1014	A	1	Leigh McDowell	MS	—	Leigh McDowell	11/2	11/30	15	○	
Research Writing	L	1014	B	1	(Yukiko Nakayama)	MS	—	(Yukiko Nakayama)	11/7	11/28	15	○		
Research Writing	L	1014	C	1	Mike Barker	IS	—	Mike Barker	11/2	1/11	15	○		
Advanced Research Writing	L	1015	A	1	Leigh McDowell	MS	—	Leigh McDowell	9/5	9/28	15	○		
Advanced Research Writing	L	1015	B	1	(Yukiko Nakayama)	MS	—	(Yukiko Nakayama)	9/7	9/28	15	○		
Japanese Culture	L	1016	A	2	(Adarsh Bala Sharma)	IS	—	(Adarsh Bala Sharma)	11/1	2/21	30	○	International students have priority. Fieldwork	
Japanese Course I	L	1017	A	2	(Mikiko Iwasaki)	MS	—	(Mikiko Iwasaki)(Noriko Kuni)	11/6	12/25	30		For international students	
Japanese Course I	L	1017	B	2	(Noriko Nakao)	BS	—	(Noriko Nakao)	11/6	3/12	30		For international students	
Japanese Course II	L	1018	A	2	(Masako Hashimoto)	BS	—	(Masako Hashimoto)	11/6	3/12	30		For international students	
Introduction Subjects	Introduction to Information Science and Engineering	L	2001	A	1	Program Director	IS	—	Yasuhiko Nakashima, Keichi Yasumoto, Yutaka Arakawa, Michiko Inoue, Fukuhito Oshita, Yuji Matsumoto, Masashi Shimizu, Hiroyuki Shindo	4/12	5/7	15		
	Introduction to Information Science and Engineering	L	2001	B	1	Program Director	IS	—	Yasuhiko Nakashima, Keichi Yasumoto, Yutaka Arakawa, Michiko Inoue, Fukuhito Oshita, Yuji Matsumoto, Hiroyuki Shindo	10/4	10/30	15	○	
	Introduction to Computational Biology	L	2002	A	1	Program Director	BS	IS	Keichi Yasumoto, Minoru Okada, Yasuhiro Mukaigawa, Tsukasa Ogasawara, Kenji Sugimoto, Kazushi Ikeda, Yoshinobu Sato, Shigehiko Kanaya, Keiji Nakajima, Toshiro Ito, Yusuke Saijo, Satoko Yoshida, Junya Kato, Shiro Suetetsugu, Hirotsugu Mori, Kazuhiko Shiozaki, Naoyuki Inagaki, Yuichi Sakumura, Yasumasa Bessho	4/13	5/8	15		
	Introduction to Computational Biology	L	2002	B	1	Program Director	BS	IS	Yasuhiko Mukaigawa, Tsukasa Ogasawara, Kenji Sugimoto, Kazushi Ikeda, Yoshinobu Sato, Shigehiko Kanaya, Keiji Nakajima, Toshiro Ito, Yusuke Saijo, Satoko Yoshida, Junya Kato, Shiro Suetetsugu, Hirotsugu Mori, Kazuhiko Shiozaki, Naoyuki Inagaki, Yuichi Sakumura, Yasumasa Bessho	10/5	10/31	15	○	
	Introduction to Biological Science	L	2003	A	1	Program Director	BS	—	Hisaji Maki, Yasumasa Ishida, Hiroshi Itoh	4/12	5/7	15		
	Introduction to Biological Science	L	2003	B	1	Program Director	BS	—	Hisaji Maki, Yasumasa Ishida, Hiroshi Itoh	10/4	10/30	15	○	
	Introduction to Bionanotechnology	L	2004	A	1	Program Director	MS	BS	Takashi Hashimoto, Taku Demura, Masaaki Umeda, Toshiro Ito, Hiroshi Itoh, Junya Kato, Taro Kawai, Shiro Suetetsugu, Noriaki Sasaki, Ayako Isohama, Kazuhiko Shiozaki, Hiroshi Takagi, Toshiro Hakoshima, Tomoya Takazaki, Naoyuki Inagaki, Hiromi Kamakubo, Shun Hirota, Tsuboshi Ando, Hiroharu Ajro	4/13	5/8	15		
	Introduction to Bionanotechnology	L	2004	B	1	Program Director	MS	BS	Takashi Hashimoto, Taku Demura, Masaaki Umeda, Toshiro Ito, Hiroshi Itoh, Junya Kato, Taro Kawai, Shiro Suetetsugu, Noriaki Sasaki, Ayako Isohama, Kazuhiko Shiozaki, Hiroshi Takagi, Toshiro Hakoshima, Tomoya Takazaki, Naoyuki Inagaki, Hiromi Kamakubo, Shun Hirota, Tsuboshi Ando, Hiroharu Ajro	10/4	10/30	15	○	
	Introduction to Materials Science and Engineering	L	2005	A	1	Program Director	MS	—	Hiroyuki Katsuki, Naoki Aratani, Tsuboshi Kawai, Hiroshi Daimon, Masakazu Nakamura, Michiya Fujiki, Yoichiro Hosokawa, Takayuki Yamaguchi, Hiroko Yamada, Nobuyoshi Hosono, Tsutomu Morimoto, Hidetaki Arai, Yasuyuki Agari, Takahiro Honda, Katsunori Yogo	4/12	5/7	15		

List of subjects and faculty members in charge in academic year 2018

Category	Subject name	Type	Subject Number	Class Code	Number of credit	Responsible person	Main	Sub	Faculty member in charge	Class Period		Total number of classes	English Subject	Remarks
										Start	End			
	Introduction to Materials Science and Engineering	L	2005	B	1	Program Director	MS		Hiroaki Katsuki, Naoki Aratani, Tsuyoshi Kawai, Hiroshi Daimon, Masakazu Nakamura, Michiya Fujiki, Yoichiro Hosokawa, Takayuki Yanagida, Hiroko Yamada, Nobuyoshi Hosoto, Tsumoru Morimoto, Hideaki Arai, Yasuyuki Agari, Takahiro Honda, Katsunori Yogo	10/5	10/31	15	○	
	Introduction to Intelligent Cyber-Physical Systems	L	2006	A	1	Program Director	IS	MS	Yukiharu Uraoka, Jun Ohta, Takashi Tokuda, Yasuaki Ishikawa, Keishi Kitamura, Keichi Yasumoto, Yuichi Hayashi, Minoru Okada, Kenji Sugimoto, Takamitsu Masubara	4/12	5/7	15		
	Introduction to Intelligent Cyber-Physical Systems	L	2006	B	1	Program Director	IS	MS	Yukiharu Uraoka, Jun Ohta, Takashi Tokuda, Yasuaki Ishikawa, Keishi Kitamura, Keichi Yasumoto, Yuichi Hayashi, Minoru Okada, Kenji Sugimoto	10/4	10/30	15	○	
	Introduction to Data Science	L	2007	A	1	Program Director	DSC (IS)	MS	Satoshi Nakamura, Hirotada Mori, Yukiharu Uraoka, Kimoto Funatsu, Shigehiko Kanaya, Eiji Aramaki	4/13	5/8	15		
	Introduction to Data Science	L	2007	B	1	Program Director	DSC (IS)	BS MS	Satoshi Nakamura, Hirotada Mori, Yukiharu Uraoka, Kimoto Funatsu, Shigehiko Kanaya, Eiji Aramaki	10/5	10/31	15	○	
Basic Subjects	Formal Language Theory	L	3001	A	1	Minoru Ito	IS		Minoru Ito	5/10	5/30	15		
	Programming Course	P	3002	A	1	Kenichi Matsumoto	IS		Kenichi Matsumoto, Takashi Ishio, Akinori Ihara, Hideaki Hata	5/9	5/17	15		
	Principles of Signal Processing	L	3003	A	1	Hirokazu Kato	IS		Hirokazu Kato, Takafumi Taketomi	5/9	5/29	15		
	Applied Analysis	L	3004	A	1	Yoshinobu Sato	IS		Yoshinobu Sato	5/9	5/29	15		
	Data Engineering	L	3005	A	1	Yu Suzuki	IS		Yu Suzuki, Koichiro Yoshino	5/10	5/30	15		
	Machine Learning	L	3006	A	1	Kazushi Ikeda	IS			5/10	5/30	15	○	
	Optics	L	3007	A	1	Hirokazu Kato	IS		Hirokazu Kato	5/10	5/30	15		
	High Performance Computing Platforms	L	3008	A	1	Yasuhiko Nakashima	IS		Yasuhiko Nakashima, Takashi Nakada	5/10	5/30	15	○	
	Software Design	L	3009	A	1	Hajimu Iida	IS		Hajimu Iida, Eungjoo Choi	5/10	5/24	15		
	Artificial Intelligence	L	3010	A	1	Masashi Shimbo	IS		Masashi Shimbo, Hiroshi Noji	5/9	5/29	15	○	
	Cell Biology	L	3011	A	1	Yasumasa Bessho	BS		Yasumasa Bessho, Taku Demura, Hiroshi Takagi, Tsubasa Shoji	5/9	5/17	15		
	Cell Biology	L	3011	B	1	Yasumasa Bessho	BS		Yasumasa Bessho, Taku Demura, Hiroshi Takagi, Tsubasa Shoji	5/9	5/17	15		
	Cell Biology	L	3011	C	1	Yasumasa Bessho	BS		Yasumasa Bessho, Taku Demura, Hiroshi Takagi, Tsubasa Shoji	10/4	10/15	15	○	International students have priority
	Molecular Biology	L	3012	A	1	Masahiro Akiyama	BS		Masahiro Akiyama, Toshiro Ito, Ko Kato, (Reiko Shinkura)	5/10	5/18	15		
	Molecular Biology	L	3012	B	1	Masahiro Akiyama	BS		Masahiro Akiyama, Toshiro Ito, Ko Kato, (Reiko Shinkura)	5/10	5/18	15		
	Molecular Biology	L	3012	C	1	Masahiro Akiyama	BS		Masahiro Akiyama, Toshiro Ito, Ko Kato, (Reiko Shinkura)	10/5	10/19	15	○	International students have priority
	Cell Membranes and Transport	L	3013	A	1	Tomoya Tsukazaki	BS		Tomoya Tsukazaki, Shoji Komai, Shiro Suetsugu, Yukio Kimata	5/21	5/29	15		
	Cell Membranes and Transport	L	3013	B	1	Tomoya Tsukazaki	BS		Tomoya Tsukazaki, Shoji Komai, Shiro Suetsugu, Yukio Kimata	5/21	5/29	15		
	Cell Membranes and Transport	L	3013	C	1	Tomoya Tsukazaki	BS		Tomoya Tsukazaki, Shoji Komai, Shiro Suetsugu, Yukio Kimata	10/22	10/30	15	○	International students have priority
	Cell Signaling	L	3014	A	1	Kazuhiro Shiozaki	BS		Kazuhiro Shiozaki, Yusuke Saijo, Satoko Yoshida, Takaaki Mastui	5/22	5/30	15		
	Cell Signaling	L	3014	B	1	Kazuhiro Shiozaki	BS		Kazuhiro Shiozaki, Yusuke Saijo, Satoko Yoshida, Takaaki Mastui	5/22	5/30	15		
	Cell Signaling	L	3014	C	1	Kazuhiro Shiozaki	BS		Kazuhiro Shiozaki, Yusuke Saijo, Satoko Yoshida, Takaaki Mastui	10/23	10/31	15	○	International students have priority
	Microbial Science	L	3015	A	1	Hirotada Mori	DSC (BS)		Hirotada Mori, Hisaji Maki, Masahiro Akiyama, Kazuhiro Shiozaki, Hiroshi Takagi, Tomoya Tsukazaki, Yukio Kimata	5/10	5/30	15		
	Plant Science	L	3016	A	1	Toshiro Ito	BS		Toshiro Ito, Takashi Hashimoto, Tsubasa Shoji, Keiji Nakajima, Taku Demura, Masaaki Umeda, Yusuke Saijo, Satoko Yoshida	5/10	5/30	15		
	Biomedical Science	L	3017	A	1	Shiro Suetsugu	BS		Shiro Suetsugu, Taro Kawai, Noriaki Sasai, Shoji Komai, Yasumasa Bessho, Ayako Isotani, Takaaki Mastui, Toshio Hakoshima	5/10	5/30	15		
	Cytoskeleton and Cell Cycle	L	3018	A	1	Naoyuki Inagaki	BS		Masaaki Umeda, Junya Kato, Takashi Hashimoto, Naoyuki Inagaki	6/4	6/27	15		
	Cytoskeleton and Cell Cycle	L	3018	B	1	Naoyuki Inagaki	BS		Masaaki Umeda, Junya Kato, Takashi Hashimoto, Naoyuki Inagaki	6/4	6/27	15		
	Cytoskeleton and Cell Cycle	L	3018	C	1	Naoyuki Inagaki	BS		Masaaki Umeda, Junya Kato, Takashi Hashimoto, Naoyuki Inagaki	11/1	11/9	15	○	International students have priority
	Genetics and Stem Cell Biology	L	3019	A	1	Keiji Nakajima	BS		Keiji Nakajima, Yasumasa Ishida, Ayako Isotani, Noriaki Sasai	6/4	6/27	15		
	Genetics and Stem Cell Biology	L	3019	B	1	Keiji Nakajima	BS		Keiji Nakajima, Yasumasa Ishida, Ayako Isotani, Noriaki Sasai	6/4	6/27	15		
	Genetics and Stem Cell Biology	L	3019	C	1	Keiji Nakajima	BS		Keiji Nakajima, Yasumasa Ishida, Ayako Isotani, Noriaki Sasai	11/2	11/12	15	○	International students have priority
	Gene Cloning and DNA Analysis	L	3020	A	1	Yasumasa Bessho	BS		Yasumasa Bessho, Masahiro Akiyama, Yukio Kimata	(Check the Online Syllabus)		15	○	For international students
	Mathematical Analyses for Materials Science	P	3021	A	1	Satoshi Tomita	MS		Satoshi Tomita, Sakura Takeda, Toshihiko Noda, Mutsunori Uenuma, Yoichi Yamazaki, Satoshi Nagao, Mami Fujii	5/9	5/11	15		
	Quantum Mechanics	L	3022	A	1	Masakazu Nakamura	MS		Masakazu Nakamura, Ken Hattori	5/10	5/16	15		
	Quantum Mechanics	L	3022	B	1	Masakazu Nakamura	MS		Masakazu Nakamura, Ken Hattori	10/4	10/11	15	○	International students have priority
	Core Quantum Mechanics II	L	3023	A	1	Yoichiro Hosokawa	MS		Yoichiro Hosokawa, Ken Hattori, Nobuyoshi Hosoto	5/18	5/24	15		
	Core Quantum Mechanics II	L	3023	B	1	Yoichiro Hosokawa	MS		Yoichiro Hosokawa, Ken Hattori, Nobuyoshi Hosoto	10/15	10/29	15	○	International students have priority
	Core Physical Chemistry I	L	3024	A	1	Tsuyoshi Kawai	MS		Tsuyoshi Kawai, Hisao Yanagi, Hironari Kamikubo	5/15	5/21	15		
	Core Physical Chemistry I	L	3024	B	1	Tsuyoshi Kawai	MS		Tsuyoshi Kawai, Hisao Yanagi, Hironari Kamikubo	10/10	10/22	15	○	International students have priority
	Physical Chemistry	L	3025	A	1	Hisao Yanagi	MS		Hisao Yanagi, Naoki Aratani, Hiroaki Bente	5/17	5/30	15		
	Physical Chemistry	L	3025	B	1	Hisao Yanagi	MS		Hisao Yanagi, Naoki Aratani, Hiroaki Bente	10/24	10/31	15	○	International students have priority
	Core Solid State Physics I	L	3026	A	1	Takayuki Yanagida	MS		Takayuki Yanagida, Noriaki Kawaguchi	5/25	5/30	15		
	Core Solid State Physics I	L	3026	B	1	Takayuki Yanagida	MS		Takayuki Yanagida, Noriaki Kawaguchi	11/1	11/6	15	○	International students have priority
	Core Solid State Physics II	L	3027	A	1	Hiroshi Daimon	MS		Hiroshi Daimon, Hiroyuki Katsuki, Nobuyoshi Hosoto	6/4	6/27	15		
	Core Solid State Physics II	L	3027	B	1	Hiroshi Daimon	MS		Hiroshi Daimon, Hiroyuki Katsuki, Nobuyoshi Hosoto	11/7	11/12	15	○	International students have priority
	Core Molecular Science I	L	3028	A	1	Michiya Fujiki	MS		Michiya Fujiki, Takuya Nakashima, Tsumoru Morimoto	5/25	5/30	15		
	Core Molecular Science I	L	3028	B	1	Michiya Fujiki	MS		Michiya Fujiki, Takuya Nakashima, Tsumoru Morimoto	11/1	11/6	15	○	International students have priority
	Core Molecular Science II	L	3029	A	1	Shun Hirota	MS		Shun Hirota, Hiroko Yamada, Takashi Matsuo	6/4	6/27	15		
	Core Molecular Science II	L	3029	B	1	Shun Hirota	MS		Shun Hirota, Hiroko Yamada, Takashi Matsuo	11/7	11/12	15	○	International students have priority
	Biomaterials Chemistry	L	3030	A	1	Hironari Kamikubo	MS		Hironari Kamikubo, Takashi Matsuo, Tsuyoshi Ando	6/4	6/27	15		Implemented in English every other year
Distributed Computing	L	4001	A	1	Michiko Inoue	IS		Michiko Inoue, Fukuhiro Oshita	6/5	6/28	15	○		
Advanced Algorithm Design	L	4002	A	1	Michiko Inoue	IS		Michiko Inoue, Fukuhiro Oshita	6/5	6/28	15			
Ubiquitous Systems	L	4003	A	1	Keichi Yasumoto	IS		Keichi Yasumoto, Yutaka Arakawa	11/1	11/21	15			
Mobile Computing	L	4004	A	1	Naoki Shibata	IS		Naoki Shibata	6/5	6/28	15	○		
Virtual Systems Infrastructure	L	4005	A	1	Kohei Ichikawa	IS		Kohei Ichikawa	12/7	2/1	15	○		
Software Engineering	L	4006	A	1	Kenichi Matsumoto	IS		Kenichi Matsumoto, Takashi Ishio, Akinori Ihara, Hideaki Hata	6/4	6/27	15			
Internet Engineering	L	4007	A	1	Youki Kadobayashi	IS		Youki Kadobayashi, Yuzo Taenaka, Doudou Fall	6/29	7/26	15	○		
Computer Network	L	4008	A	1	Kazutoshi Fujikawa	IS		Kazutoshi Fujikawa, (Atsuo Inomata), Ismail Arai, Masatoshi Kakuchi	10/4	10/30	15			
Ambient Intelligence	L	4009	A	1	Kambara Masayuki	IS		Kambara Masayuki, (Norihiko Hagita)	11/2	11/22	15	○		
Natural Language Processing	L	4010	A	1	Yuji Matsumoto	IS		Yuji Matsumoto, (Hideki Kashioka), Hiroyuki Shindo	7/2	7/27	15			
Virtual Reality	L	4011	A	1	Kiyoshi Kiyokawa	IS		Kiyoshi Kiyokawa	6/4	6/27	15		Implemented in English every other year	
Computer Vision	L	4012	A	1	Yasuhiro Mukaigawa	IS		Yasuhiro Mukaigawa	7/2	7/27	15			
Computer Graphics	L	4013	A	1	Takaya Funatomi	IS		Takaya Funatomi, Hiroyuki Kubo, Kenichiro Tanaka	10/4	10/30	15	○		

VI List of subjects and faculty members in charge, etc.

Category	Subject name	Type	Subject Number	Class Code	Number of credit	Responsible person	Main	Sub	Faculty member in charge	Class Prioed		Total number of classes	English Subject	Remarks	
										Start	End				
Specialized Subjects	Media Information Processing	L	4014	A	1	Nobuchika Sakata	IS	—	Nobuchika Sakata	6/29	7/26	15			
	Wireless Communication Systems	L	4015	A	1	Minoru Okada	IS	—	Minoru Okada, Takeshi Higashino, Yaei Hou, Duong Quang Thang	10/5	10/31	15			
	Signal Detection Theory	L	4016	A	1	Minoru Okada	IS	—	Minoru Okada, Takeshi Higashino, Yaei Hou, Duong Quang Thang	11/2	11/22	15	○		
	Human Computer Interaction	L	4017	A	1	Christian Sandor	IS	—	Christian Sandor, Alexander Plopski	6/29	7/26	15	○		
	Pattern Recognition	L	4018	A	1	Takuya Funatomi	IS	—	Takuya Funatomi, Kambara Masayuki	6/29	7/26	15			
	Social System Theory	L	4019	A	1	Masahiro Sasabe	IS	—	Masahiro Sasabe	7/2	7/27	15			
	Machine Learning and Intelligent Control	L	4020	A	1	Takamitsu Matsubara	IS	—	Takamitsu Matsubara	7/2	7/27	15	○		
	Model-based Control	L	4021	A	1	Kenji Sugimoto	IS	—	Kenji Sugimoto	10/5	10/31	15			
	Human Robot Informatics	L	4022	A	1	Tsukasa Ogasawara	IS	—	Tsukasa Ogasawara, Jun Takamatsu, (Yoshio Matsumoto), (Mitsunori Tada), (Akihiko Murai)	11/1	11/21	15	○		
	Mathematical Modeling	L	4023	A	1	Kazushi Ikeda	IS	—	Kazushi Ikeda, Hiroaki Sasaki	1/8	2/7	15			
	Systems Biology	L	4024	A	1	Shigehiko Kanaya	IS	—	Shigehiko Kanaya, MD. ALTAF-UL-AMIN	10/5	10/31	15	○		
	Data Mining	L	4025	A	1	MD. ALTAF-UL-AMIN	IS	—	MD. ALTAF-UL-AMIN	6/4	6/27	15	○		
	Medical Imaging Analysis	L	4026	A	1	Yoshinobu Sato	IS	—	Yoshinobu Sato	6/29	7/26	15	○		
	Biomedical Media Informatics	L	4027	A	1	Yoshito Otake	IS	—	Yoshito Otake	7/2	7/27	15			
	Data Science	L	4028	A	2	Satoshi Nakamura	DSC (IS)	—	Satoshi Nakamura, Kimoto Funatsu, Altaf-Ul-Amin, Naonori Ono, Yu Suzuki, Katsuyuki Kunida, Koichiro Yoshino, Hiroki Tanaka, (Michiaki Iwazume), (Tetsuro Takahashi)	11/1	11/21	30	○		
	Special Lecture in Information Science A	L	4029	A	1	Minoru Okada	IS	—	Renyuan Zhang, Hirohiko Sawa, Hideo Hata, Eunjong Choi, Hiroaki shindo, Nobuchika Sakata, Kenchiro Tanaka, Masaki Ogura, Yunsu Zhang, Hiroaki Sasaki	1/4	1/9	15	○		
	Special Lecture in Information Science B	L	4030	A	1	Minoru Okada	IS	—	(A and B to be held every other year)	-	-	15	○		
	Special Lecture in Information Science C	L	4031	A	1	Minoru Okada	IS	—	Renyuan Zhang, Hirohiko Sawa, Hideo Hata, Eunjong Choi, Hiroaki shindo, Nobuchika Sakata, Kenchiro Tanaka, Masaki Ogura, Yunsu Zhang, Hiroaki Sasaki	1/10	1/16	15	○		
	Special Lecture in Information Science D	L	4032	A	1	Minoru Okada	IS	—	(C and D to be held every other year)	-	-	15	○		
	Speech Processing	L	4033	A	1	Satoshi Nakamura	DSC (IS)	—	Satoshi Nakamura, Sakriani Sakti, Koichiro Yoshino, (Shimosuke Takamichi)	11/2	11/22	15			
	Sequential Data Modeling	L	4034	A	1	Katsuhito Sudoh	IS	—	Katsuhito Sudoh, Sakriani Sakti, Koichiro Yoshino	10/4	10/30	15	○		
	Robotics	L	4035	A	1	Tsukasa Ogasawara	IS	—	Tsukasa Ogasawara, Jun Takamatsu	10/4	10/30	15			
	Information Security & Our Society	L	4036	A	1	Youki Kadobayashi	IS	—	Youki Kadobayashi, Yuzo Taenaka, (Jun Murai)	9/27	11/15	15	○		
	Information Theory	L	4037	A	1	(Yuichi Kaji)	IS	—	(Yuichi Kaji)	6/8	8/3	15			
	Hardware Security	L	4038	A	1	Yuichi Hayashi	IS	—	Yuichi Hayashi, Daisuke Fujimoto	11/1	11/21	15			
	Coding Theory	L	4039	A	1	Minoru Okada	IS	—	Minoru Okada, Youki Kadobayashi	10/4	10/30	15	○		
	Stochastic Processes	L	4040	A	1	Shoji Kasahara	IS	—	Shoji Kasahara	10/5	10/31	15			
	Computational Neuroscience	L	4041	A	1	Junichiro Yoshimoto	IS	—	Junichiro Yoshimoto, Yuichi Sakumura	10/5	10/31	15			
	Lecture of Information Security Management Literacy I	L	4042	A	1	Kazutoshi Fujikawa	IS	—	(Hideki Sunahara), Kazutoshi Fujikawa, Youki Kadobayashi, (Aisuo Inomata), Yuichi Hayashi	5/25	7/20	15		(Osaka University Nakanoshima Center)	
	Lecture of Information Security Management Literacy II	L	4043	A	1	Kazutoshi Fujikawa	IS	—	(Hideki Sunahara), Kazutoshi Fujikawa, Youki Kadobayashi, (Aisuo Inomata), Yuichi Hayashi	10/19	1/18	15		(Osaka University Nakanoshima Center)	
	Exercise for Information Security A	P	4044	A	1	Kazutoshi Fujikawa	IS	—	Kazutoshi Fujikawa, Youki Kadobayashi, Yuichi Hayashi	(Check the Online Syllabus)		15			
	Exercise for Information Security B	P	4045	A	1	Kazutoshi Fujikawa	IS	—	Kazutoshi Fujikawa, Youki Kadobayashi, Yuichi Hayashi, (Naofumi Homma)	(Check the Online Syllabus)		15			
	Exercise for Information Security C	P	4046	A	1	Kazutoshi Fujikawa	IS	—	Kazutoshi Fujikawa, Youki Kadobayashi, Yuichi Hayashi	(Check the Online Syllabus)		15			
	Mathematics for Optimization	L	4047	A	1	Kenji Sugimoto	IS	—	Kenji Sugimoto	6/4	6/27	15			
	Data Analysis	L	4048	A	1	Shigehiko Kanaya	IS	—	Shigehiko Kanaya	6/4	6/27	15			
	Applied Life Sciences · Microbial Science	L	4049	A	1	Hirotda Mori	DSC (BS)	—	Hirotda Mori, Hisaji Maki, Masahiro Akiyama, Kazuhiro Shiozaki, Hiroshi Takagi, Tomoya Tsukazaki, Yukio Kimata	10/4	10/30	15			
	Applied Life Sciences · Plant Science	L	4050	A	1	Yusuke Saijo	BS	—	Toshiro Ito, Takashi Hashimoto, Keiji Nakajima, Taku Demura, Ko Kato, Masaaki Umeda, Yusuke Saijo, Satoko Yoshida, Takayuki Toge	10/4	10/30	15			
	Applied Life Sciences · Biomedical Science	L	4051	A	1	Shiro Suetsugu	BS	—	Shiro Suetsugu, Hiroshi Itoh, Yasumasa Ishida, Junya Kato, Taro Kawai, Reiko Shinkura, Naoyuki Inagaki, Ayako Isotani	10/4	10/30	15			
	Development of Bioscience into Industry I	L	4052	A	1	Ko Kato	BS	—	Ko Kato, Hiroshi Takagi, Tsubasa Shoji, (Reiko Shinkura)	10/5	10/31	15			
	Development of Bioscience into Industry II	L	4053	A	1	Hiroshi Takagi	BS	—	Kyoji Yamaguchi(DAICHI SANRYO), Takashi Sato(SHIM ADZU), Gen Nishida(ADNOMOTO), Tomoharu Fujita(Chusei Laboratory), Yoji Kitagawa(Lenters), Masaki Shoji(Visiting Professor), Toshihiko Ashikari(SUNTORI), Takashi Marukawa(TEIEN)	9/4	9/28	15			
	Advanced Lecture in Developmental Biology	L	4054	A	1	Yasumasa Bessho	BS	—	Yasumasa Bessho	(Check the Online Syllabus)		15			Collaboration with Riken(CDB)
	Advanced Techniques in Bioscience	L	4055	A	1	Yasumasa Bessho	BS	—	Yasumasa Bessho, Hirotda Mori, Yasumasa Ishida, Masahiro Akiyama	6/5	6/28	15	○		
	Plant Developmental Physiology	L	4056	A	1	Satoko Yoshida	BS	—	Toshiro Ito, Takashi Hashimoto, Keiji Nakajima, Taku Demura, Masaaki Umeda, Yusuke Saijo, Satoko Yoshida, Takayuki Toge	6/29	7/26	15			
	Developmental Biology of Animals	L	4057	A	1	Noriaki Sasai	BS	—	Noriaki Sasai, Takaaki Matsui, Naoyuki Inagaki, Ayako Isotani, Shoji Komai	6/5	6/28	15			
	Pharmacology and Pathological Chemistry	L	4058	A	1	Hiroshi Itoh	BS	—	Hiroshi Itoh, Toshio Hakoshima, Yasumasa Bessho, Kazuhiro Shiozaki, Yukio Kimata, Tomoya Tsukazaki	10/4	10/30	15			
	Immunology	L	4059	A	1	Taro Kawai	BS	—	Taro Kawai, Yasumasa Ishida, Yusuke Saijo, (Reiko Shinkura)	10/5	10/31	15			
	The Biology of Genome and Cancer	L	4060	A	1	Junya Kato	BS	—	Junya Kato, Hirotda Mori, Shiro Suetsugu, Hsaji Maki, Masahiro Akiyama	11/1	11/21	15			
	Biological Interactions	L	4061	A	1	Satoko Yoshida	BS	—	Satoko Yoshida, (Reiko Shinkura), Yusuke Saijo	7/2	7/27	15			
	International Forefront in Bioscience A	L	4062	A	1	Kazuhiro Shiozaki	BS	—	Visiting Lecturer	(Check the Online Syllabus)		15	○		
	International Forefront in Bioscience B	L	4063	A	1	Kazuhiro Shiozaki	BS	—	Visiting Lecturer	(Check the Online Syllabus)		15	○		
Big data in Bioscience	L	4064	A	1	Hirotda Mori	DSC (BS)	—	Hirotda Mori	6/29	7/26	15	○			
Advanced Topics in Biological Science	L	4065	A	1	Program Director	BS	—	(Assignment by Assistant Professor)	1/4	1/9	15	○			
Electronic Properties and Atomic Structure of Solids and Surface Spectra	L	4066	A	1	Hiroshi Daimon	MS	—	Hiroshi Daimon, Ken Hattori, Nobuyoshi Hosoito	6/29	7/26	15		Implemented in English every other year		
Photonics Special	L	4067	A	1	Jun Ohta	MS	—	Jun Ohta, Takayuki Yanagida, Takashi Tokuda, Noriaki Kawaguchi	6/29	7/20	15		Implemented in English every other year		
Light and Information Devices Special	L	4068	A	1	Yoichiro Hosokawa	MS	—	Yoichiro Hosokawa, Yukiharu Uraoka	7/2	7/27	15		Implemented in English every other year		
Materials Science for Quantum Information and Energy Conversion	L	4069	A	1	Hisao Yanagi	MS	—	Hisao Yanagi, Masakazu Nakamura, Hiroaki Katsuki, Hiroaki Bente	7/2	7/27	15		Implemented in English every other year		
Biomolecular Science	L	4070	A	1	Shun Hirota	MS	—	Hironari Kamikubo, Shun Hirota, Takashi Matsuo, Yoichi Yamazaki, Yugo Hayashi	6/29	7/26	15		Implemented in English every other year		
Advanced Synthetic Organic and Polymer Chemistry	L	4071	A	1	Kiyomi Kakiuchi	MS	—	Kiyomi Kakiuchi, Tsumoru Morimoto, Hiroharu Ajiro, Hiroki Tanimoto	6/29	7/26	15		Implemented in English every other year		
Molecular Photo-science	L	4072	A	1	Hiroko Yamada	MS	—	Hiroko Yamada, Tsuyoshi Kawai, Takuya Nakashima, Naoki Aratani	7/2	7/27	15		Implemented in English every other year		

List of subjects and faculty members in charge in academic year 2018

Category	Subject name	Type	Subject Number	Class Code	Number of credit	Responsible person	Main	Sub	Faculty member in charge	Class Period		Total number of classes	English Subject	Remarks
										Start	End			
	Polymer Chemistry	L	4073	A	1	Tsuyoshi Ando	MS	—	Tsuyoshi Ando, Michiya Fujiki	7/2	7/27	15		Implemented in English every other year
	Materials Informatics	L	4074	A	1	Miho Hatanaka	MS	—	Miho Hatanaka	6/5	7/31	15		Implemented in English every other year
	Industrial Science and Technology Special	L	4075	A	1	Program Director	MS	—	Lecturers of Core Laboratories(Collaborative)	10/4	11/9	24		
	Materials Science Special A	L	4076	A	1	Program Director	MS	—	(Hidaki Hashimoto (1st-4th): Professor of Kwansai Gakuin University), (Satoshi Kawata (5th-8th): Professor Emeritus of Osaka University and Honorary Scientist of RIKEN)	10/9	11/7	15		Implemented in English every other year
	Materials Science Special B	L	4077	A	1	Program Director	MS	—	(Hiroyoshi Naito (1st-4th): Tokyo Medical and Dental University), (Takahiro Arakawa (5th-8th): Osaka Prefecture University)	11/2	11/19	15		Implemented in English every other year
	Materials Science Special C	L	4078	A	1	Program Director	MS	—	(Jun-ichi Yoshida(1st-2nd): Kyoto University), (Hiroshi Shimokubo(3rd-6th): Nagoya University), (Hiroyuki Uchida(7th-8th): University of Yamaguchi)	10/5	11/26	15		
	Materials Science Special D	L	4079	A	1	Program Director	MS	—	(Hiroschi Fujii(1st-4th): Nara Women's University), (Takayuki Uchihashi(5th-8th): Nagoya University)	10/23	11/15	15		
	Semiconductor Materials	L	4080	A	1	Yukiharu Uraoka	MS	—	Yukiharu Uraoka	6/4	6/27	15		Implemented in English every other year
	Optoelectronics	L	4081	A	1	Jun Ohta	MS	—	Jun Ohta, Takashi Tokuda	6/5	6/28	15		Implemented in English every other year
	Organic Synthesis and Polymer Science	L	4082	A	1	Hiroko Yamada	MS	—	Hiroko Yamada, Hiroharu Ajiro	6/5	6/28	15		Implemented in English every other year
Project Practice	P	4083	A	1	Supervisor	—	—	Different for respective themes			—	—		
PBL Subjects	Information Science and Engineering PBL I	P	5001	—	1	Program Director	IS	—	Yasuhiko Nakashima, Michiko Inoue, Keiichi Yasumoto, Minoru Ito, Kenichi Matsumoto, Hajimu Iida, Youki Kadobayashi, Yuichi Hayashi, Kazutoshi Fujikawa, Yui Matsumoto, Satoshi Nakamura, Minoru Okada, Kiyoshi Kiyokawa, Hirokazu Kato, Yasuhiro Mukagawa, Norhiro Hagita, Eiji Aramaki, Tsukasa Ogasawara, Kenji Sugimoto, Shoji Kasahara, Kazushi Ikeda, Yoshinobu Sato, Shigehiko Kanaya, Takeo Kanade	Different for respective themes			—	—
	Information Science and Engineering PBL II	P	5002	—	1	Program Director	IS	—	Yasuhiko Nakashima, Michiko Inoue, Keiichi Yasumoto, Minoru Ito, Kenichi Matsumoto, Hajimu Iida, Youki Kadobayashi, Yuichi Hayashi, Kazutoshi Fujikawa, Yui Matsumoto, Satoshi Nakamura, Minoru Okada, Kiyoshi Kiyokawa, Hirokazu Kato, Yasuhiro Mukagawa, Norhiro Hagita, Eiji Aramaki, Tsukasa Ogasawara, Kenji Sugimoto, Shoji Kasahara, Kazushi Ikeda, Yoshinobu Sato, Shigehiko Kanaya, Takeo Kanade	Different for respective themes			—	—
	Computational Biology PBL I	P	5003	—	1	Program Director	BS	IS	Yasunasa Bessho, Shigehiko Kanaya, Naoki Ono, MD.ALTA-UL-AMIN	Different for respective themes			—	—
	Computational Biology PBL II	P	5004	—	1	Program Director	BS	IS	Yasunasa Bessho, Shigehiko Kanaya, Naoki Ono, MD.ALTA-UL-AMIN	Different for respective themes			—	—
	Biological Sciences PBL I	P	5005	—	1	Program Director	BS	—	Yasunasa Bessho, etc	Different for respective themes			—	—
	Biological Sciences PBL II	P	5006	—	1	Program Director	BS	—	Yasunasa Bessho, Kazuto Kato(Osaka University), Shinji Fushiki(Kyoto Prefectural University of Medicine), Masataka Watanabe(University of Tsukuba), etc.	Different for respective themes			—	—
	Bionanotechnology PBL I	P	5007	—	1	Program Director	MS	BS	Masaaki Umeda, Hiroshi Itoh, Naoyuki Inagaki, Yuko Kimura, Hirotomo Takatsuka, Tetsuo Kobayashi, Michiaki Toriyama	Different for respective themes			—	—
	Bionanotechnology PBL II	P	5008	—	1	Program Director	MS	BS	Hironari Kamakubo, Shun Hirota, Takashi Matsuo, Tsunomu Morimoto, Tsuyoshi Ando, Hiroharu Ajiro, Yoichi Yamazaki, Yugo Hayashi, Satoshi Nagao, Masaru Yamazaki, Heiki Tanimoto, Hironobu Hayashi	Different for respective themes			—	—
	Materials Science and Engineering PBL I	P	5009	—	1	Program Director	MS	—	Masakazu Nakamura, Noriaki Kawaguchi, Ken Hattori, Nobuyoshi Hosoto, Jung Min-Cherl, Go Okada, Naoki Kawano, Sakura Takeuchi, Mutsuka Taguchi, Hiroyuki Matsuda, Takahiro Jyo	Different for respective themes			—	—
	Materials Science and Engineering PBL II	P	5010	—	1	Program Director	MS	—	Masakazu Nakamura, Naoki Aratani, Takuya Nakashima, Yastoshi Agari, Yutaka Fujiwara, Masamichi Takahashi, Katsunori Yago, Kinjo Goto, Hidetaka Yamada, Hirotsuka Kojima, Mitsuharu Suzuki, Kayo Terada, Ryoshei Yasukuni, Yoshiaki Nonoguchi, Kazuma Yasuhara	Different for respective themes			—	—
	Intelligent Cyber-Physical Systems PBL I	P	5011	—	1	Program Director	IS	MS	Yasuhiko Nakashima, Michiko Inoue, Keiichi Yasumoto, Minoru Ito, Kenichi Matsumoto, Hajimu Iida, Youki Kadobayashi, Yuichi Hayashi, Kazutoshi Fujikawa, Minoru Okada, Kiyoshi Kiyokawa, Hirokazu Kato, Yasuhiro Mukagawa, Tsukasa Ogasawara, Kenji Sugimoto, Shoji Kasahara	Different for respective themes			—	—
	Intelligent Cyber-Physical Systems PBL II	P	5012	—	1	Program Director	IS	MS	Yukiharu Uraoka, Jun Ohta, Takashi Tokuda, Yasuaki Ishikawa, Mutsumori Uemura, Mami Fuji, Bermardo Juan Pablo Sora, Kiyotaka Sasagawa, Toshikazu Noda, Makoto Harato, Hiroaki Benten, Satoshi Tomita, Keishi Kitamura, Masaaki Kanai, Shigeyoshi Horike	Different for respective themes			—	—
	Data Science PBL I	P	5013	—	1	Program Director	DSC (IS)	BS MS	Satoshi Nakamura, Hirotada Mori, Yukiharu Uraoka, Naoki Ono, Yu Suzuki	12/3	12/11	15		
	Data Science PBL II	P	5014	—	1	Program Director	DSC (IS)	BS MS	Yukiharu Uraoka, Miho Hatanaka, Satoshi Nakamura, Hirotada Mori, Naoki Ono, Mutsumori Uemura, Mami Fuji, Bermardo Juan Pablo Sora	12/13	12/21	15		
Research-based Subjects	Seminar I	—	6001	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory			—	—
	Seminar II	—	6002	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory			—	—
	Colloquium A	—	6003	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes			—	—
	Colloquium B	—	6004	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes			—	—
	Research Experiments I	—	6005	—	2	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory			—	—
	Research Experiments II	—	6006	—	2	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory			—	—
	Research Thesis	—	6007	—	5	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory			—	—

•“L” in the “Type” column stands for lectures, “P” for practices.

•Faculty members in charge shown in parentheses are part-time instructors. The detailed schedule for intensive lectures can be found in the electronic syllabus.

Schedule of subjects whose specific dates are not stated in class period will be posted on the electronic syllabus as details are decided.

<<NAIST TOP PAGE → For Students (Internal Only) → Academic Affairs → Online Syllabus System >>

List of subjects and faculty members in charge for the Graduate School of Science and Technology in academic year 2018 (Doctral Course)

Category	Subject name	Type	Subject Number	Class Code	Number of credit	Responsible person	Main	Sub	Faculty member in charge	Class Period		Total number of classes	English Subject	Remarks
										Start	End			
Courses for research skills	Advanced English A	L	7001	A	1	Mike Barker	IS	—	Mike Barker	12/3	2/4	15	○	
	Advanced English A	L	7001	B	1	Paul McAleese	BS	—	Paul McAleese	1/8	1/31	15	○	
	Advanced English A	L	7001	C	1	Leigh McDowell	MS	—	Leigh McDowell	1/11	2/1	15	○	
	Advanced English B	L	7002	A	1	Mike Barker	IS	—	Mike Barker	11/5	1/7	15	○	
	Advanced English B	L	7002	B	1	(David Sell)	IS	—	(David Sell)	11/2	11/30	15	○	
	Advanced English B	L	7002	C	1	Paul McAleese	BS	—	Paul McAleese	11/1	11/27	15	○	
	Advanced English C	L	7003	A	1	Leigh McDowell	MS	—	Leigh McDowell	11/2	11/30	15	○	
	Advanced English C	L	7003	B	1	(Yukiko Nakayama)	MS	—	(Yukiko Nakayama)	11/7	11/28	15	○	
	Advanced English C	L	7003	C	1	Mike Barker	IS	—	Mike Barker	11/2	1/11	15	○	
	Advanced English D	L	7004	A	1	Paul McAleese	MS	—	Leigh McDowell	9/5	9/28	15	○	
	Advanced English D	L	7004	B	1	(Yukiko Nakayama)	MS	—	(Yukiko Nakayama)	9/7	9/28	15	○	
	Overseas English Training I	P	7005	—	2	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		30	—	
	Overseas English Training II	P	7006	—	2	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		30	—	
	Overseas English Training III	P	7007	—	2	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		30	—	
	International Training I	P	7008	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		15	—	
	International Training II	P	7009	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		15	—	
	International Training III	P	7010	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		15	—	
	Study Abroad I	P	7011	—	2	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		30	—	
	Study Abroad II	P	7012	—	2	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		30	—	
	Study Abroad III	P	7013	—	2	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		30	—	
	Seminar for International Workshop Plans	P	7014	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		15	—	
	Project Management I	P	7015	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		15	—	
	Project Management II	P	7016	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		15	—	
	Project Management III	P	7017	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		15	—	
	Special Lectures in Information Science and Technology	L	7018	A	1	Program Director	IS	—	(Check the Online Syllabus)	(Check the Online Syllabus)		15	○	
	Special Lectures in Computational Biology	L	7019	A	1	Program Director	BS	IS	(Check the Online Syllabus)	(Check the Online Syllabus)		15	○	
	Special Lectures in Biological Science	L	7020	A	1	Program Director	BS	—	Misato Otani, Yasukazu Nakahata, Daisuke Watanabe, Satoko Yoshida, Michinori Toriyama, Yoshiki Tanaka, Shunsuke Miyashima, Shunsuke Yuri	(Check the Online Syllabus)		15	○	
	Special Lectures in Bionanotechnology	L	7021	A	1	Program Director	MS	BS	Shun Hirota, Hironari Kamkubo, Tsuyoshi Ando, Hiroharu Ajiro, Takashi Hashimoto, Taku Demura, Masaaki Umeda, Toshiro Ito	(Check the Online Syllabus)		15	○	
	Special Lectures in Materials Science and Technology	L	7022	A	1	Program Director	MS	—	Masakazu Nakamura, etc	(Check the Online Syllabus)		15	○	
	Special Lectures in Intelligent Cyber-Physics	L	7023	A	1	Program Director	IS	MS	Yukiharu Uraoka, Jun Ohta, IS Lecturers	(Check the Online Syllabus)		15	○	
Special Lectures in Data Science	L	7024	A	1	Program Director	DSC (IS)	BS MS	Satoshi Nakamura, Hirotada Mori, Yukiharu Uraoka, Naoaki Ono, Yu Suzuki	(Check the Online Syllabus)		15	○		
Innovation Management A	L	7025	A	1	Kozo Kubo	IRI (IS)	—	Kozo Kubo	11/1	11/15	15	○		
Innovation Management B	L	7026	A	1	(David Sell)	IS	—	(David Sell)	12/10	2/25	15	○		
Career Management A	L	7027	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor, (External lecturer)	Different for respective themes		15	—		
Career Management B	L	7028	A	1	Supervisor	—	—	Supervisor, (External lecturer)	(Check the Online Syllabus)		15	—		
Courses for independent research abilities	Research Status Hearing	—	8001	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory		—	—	
	Doctoral Research I	—	8002	—	3	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory		—	—	
	Doctoral Research II	—	8003	—	3	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory		—	—	
	Doctoral Research III	—	8004	—	3	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory		—	—	
	Doctoral Research IV	—	8005	—	3	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory		—	—	
	Doctoral Research V	—	8006	—	3	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory		—	—	
	Doctoral Research VI	—	8007	—	3	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory		—	—	

•“L” in the “Type” column stands for lectures, “P” for practices.

•Faculty members in charge shown in parentheses are part-time instructors. The detailed schedule for intensive lectures can be found in the electronic syllabus.

Schedule of subjects whose specific dates are not stated in class period will be posted on the electronic syllabus as details are decided.

<<NAIST TOP PAGE → For Students (Internal Only) → Academic Affairs → Online Syllabus System >>

List of subjects and faculty members in charge in academic year 2018

6 – 2. Numbering Information

Subject numbers consist of 4-digit numbers based on levels of courses.

[How to read the subject numbers]

First digit : The first digit in the 4-digit numbers indicates levels of subjects:

- 1XXX = General Subjects (For master's course)
- 2XXX = Introduction Subjects (For master's course)
- 3XXX = Basic Subjects (For master's course)
- 4XXX = Specialized Subjects (For master's course)
- 5XXX = PBL Subjects (For master's course)
- 6XXX = Research-based Subjects (For master's course)
- 7XXX = Courses for research skills (For doctoral course)
- 8XXX = Courses for independent research abilities (For doctoral course)

From second to fourth digits : The from second to fourth digits in the 4-digit numbers indicate serial

XXXX = Serial numbers (ranging from 01 to 99)

Depending on course subjects there are classifications. The class code is displayed in the list of subjects and faculty members in charge.

6 – 3. 2018 Timetable

Check the 2018 Timetable at:

<<NAIST TOP PAGE → For Students (Internal Only) → Academic Affairs →
Online Syllabus System>>

VII Degree examination criteria, etc.

7 Degree examination criteria, etc.

7 – 1 . Degree examination criteria

<Master's course>

(Criteria for Thesis Examination)

For master's theses, novelty and applicability are important, but examination shall be performed considering the following areas.

Specifically, each screening committee member will evaluate master's theses considering the following areas, and theses shall be deemed as passing the examination if evaluation meets the established criteria.

- 1 . Students have a full understanding of the research background and goals regarding.
- 2 . The research procedures and methods are carefully developed regarding.
- 3 . The experimental data, theoretical calculation results and research results are carefully organized and analyzed according.
- 4 . The development of conclusions and new theories based on achieved data is logically and fully explained.
- 5 . The thesis utilizes the proper academic methodology.
- 6 . Research ethically issues are properly handled

<Doctoral course>

(Criteria for Thesis Examination)

For doctoral theses, novelty and applicability are required, and a principal part of the doctoral thesis being published or scheduled to be published by the candidate in a peer-reviewed scientific journal or as a book or at an international conference with a peer review system, etc. is prerequisite for thesis examination.

When doctoral theses meet the above requirements, examination shall be performed considering the following areas.

Specifically, each screening committee member will evaluate doctoral theses considering the following areas, and theses shall be deemed as passing the examination if evaluation meets the established criteria.

- 1 . Students have a full understanding of the research background and goals regarding.
- 2 . The research procedures and methods are carefully developed regarding.
- 3 . The experimental data, theoretical calculation results and research results are carefully organized and analyzed according.
- 4 . The development of conclusions and new theories based on achieved data is logically and fully explained.
- 5 . The thesis utilizes the proper academic methodology.
- 6 . Research ethically issues are properly handled

○Milestones and capstones for progressive degree achievement

At NAIST, in order to promote a smooth path towards obtaining degrees, capstones and milestones for both the master's and doctoral programs have been established to facilitate progression. This system will be in place for students entering NAIST from the 2018 school year. The following is a guideline example for milestone/capstone timing for students entering NAIST in April and graduating within the standard period of study.

<Master's course>

- Milestone: (A mid-term report) by November of the 2nd year
- Capstone: (Master's thesis examination) in February of the 2nd year

<Doctoral course>

- Milestone: (A mid-term report) by November of the 1st year
- Milestone: (A mid-term report) by November of the 2nd year
- Milestone: (A mid-term report) by November of the 3rd year
- Capstone: (Doctoral thesis examination) in February of the 3rd year

※For the master's course, milestone evaluation is performed every year from the 2nd year

A rubric which indicates milestones and capstones can be found in the Research Guidance System.

In proceeding with your individual research, this rubric may be regularly referred to determine what is necessary to pursue even higher quality research and may also be helpful in writing and revising your thesis.

<<NAIST TOP PAGE → For Students (Internal Only) → Academic Affairs →
Electronic Education Record System>>

7 – 2 . Degree Regulations

Please refer to the next page.

Degree Regulations of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004
Regulations No. 19

Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to conferral of degrees by the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) pursuant to Article 44-3 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology (Regulations No. 1, 2004).

Article 2 (Degree types and majors)

1. Degrees conferred by NAIST shall be master’s degrees and doctoral degrees.
2. Science, engineering or biological sciences shall be specified in the degree certificate as the name of the area of studies.

Article 3 (Degree requirements)

1. A master’s degree shall be conferred to students who have completed the master’s course at NAIST.
2. A doctoral degree shall be conferred to students who have completed the doctoral course at NAIST.
3. In addition, a doctoral degree may be conferred to individuals who have passed the doctoral thesis examination and been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of a student who has completed the doctoral course at NAIST (individuals who have passed the “Examination of Academic Ability”).

Article 4 (Submission of thesis)

1. To complete the master’s course, students shall submit a master’s thesis together with the prescribed application form for thesis examination to the Dean of the Graduate School of Science and Technology and take the master’s thesis examination.
2. Examination of research results on specified themes may be conducted in place of the master’s thesis examination specified in the foregoing subsection.
3. To complete the doctoral course, students shall submit a doctoral thesis together with the prescribed application form for thesis examination, list of related papers, abstract of the thesis and curriculum vitae to the Dean of the Graduate School of Science and Technology and take the doctoral thesis examination.
4. To receive a doctoral degree pursuant to the provision of Article 3-3, students shall specify the major to be indicated in the degree certificate, and pay the thesis examination fee when submitting

a degree application form, doctoral thesis, list of related papers, abstract of the thesis, and curriculum vitae to the President.

5. The thesis examination fee shall be 57,000 yen.
6. Upon receipt of the documents specified in subsection 4 of this Article, the President shall forward the documents to the Dean of the Graduate School of science and Technology.
7. Thesis and other documents, once submitted, shall not be returned, and the thesis examination fee, once paid, shall not be refunded.

Article 5 (Thesis)

1. One thesis shall be accepted for degree examination. Students shall submit one copy per master's thesis and three copies per doctoral thesis, provided, however that additional papers may be attached to the thesis for reference.
2. The Dean of the relevant Graduate School may request submission of a translation of the thesis, model, specimen, or other materials if necessary for the thesis examination.

Article 6 (Thesis examination and Examination of Academic Ability)

1. The master's and doctoral thesis examinations shall be conducted by means of a written or oral examination on specialized topics relating to the thesis.
2. The Examination of Academic Ability specified in Article 3-3 above shall be conducted by means of a written or oral examination on the academic subjects relating to the doctoral thesis and on foreign language.

Article 7 (Screening Committee)

1. The Faculty Council shall have a Screening Committee for evaluating theses, and conducting the master's and doctoral thesis examinations and the Examination of Academic Ability.
2. Each Screening Committee shall consist of at least three faculty members of the Graduate School of Science and Technology and the shared educational and research institutions. In this case the Committee members shall include at least two professors, or one professor and one Associate Professor recognized by the Faculty Council.
3. Each of the Screening Committees shall have a chief referee.
4. Faculty members of other graduate schools or research institutions outside of NAIST may be invited to join the Screening Committee if doing so is deemed necessary by the Faculty Council of the Graduate School for screening purposes.
5. Evaluation of doctoral theses submitted pursuant to Article 4-4 and the Examination of Academic Ability shall be completed within one year after the submission thereof, provided, however, that such a period may be extended if there is a special circumstances, subject to deliberation by the Faculty Council.

Article 8 (Notification of results)

1. The Screening Committee involved in conferral of master's degrees shall notify the Faculty Council of its decision as to whether to confer a master's degree or not in writing, immediately after completion of the evaluation of thesis and master's thesis examination.
2. The Screening Committee involved in conferral of doctoral degrees shall notify the Faculty Council of its decision as to whether to confer a doctoral degree or not in writing, immediately after completion of the evaluation of thesis and doctoral thesis examination or the Examination of Academic Ability. In this case, the relevant document shall be submitted from the following documents:
 - (1) Abstract of the thesis submitted pursuant to Article 4-3, summary of the evaluation of the thesis and summary of the results of the doctoral thesis examination
 - (2) Abstract of the thesis submitted pursuant to Article 4-4, summary of the evaluation of the thesis and summary of the results of the doctoral thesis examination and the Examination of Academic Ability

Article 9 (Deliberation of degree conferral)

The Faculty Council shall discuss whether to confer a degree or not based on the notification specified in the foregoing article.

Article 10 (Notification of conclusion)

The Dean of the Graduate School of Science and Technology shall notify the President of the conclusion of the deliberation reached by the Faculty Council thereof in writing.

Article 11 (Conferral of degree)

1. The President shall confer a degree to the student who has been approved to receive the degree based on the notification specified in the foregoing article.
2. The format of a degree certificate shall be Form No. 1, Form No. 2 or Form No. 3 shown separately.
3. If it has been decided not to confer a degree to a certain student, the President shall notify the student of the decision.

Article 12 (Publication of abstract of doctoral thesis)

Within three months after conferring a doctoral degree, the President shall notify the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology of the conferral and make the abstract of the doctoral thesis and the summary of the results of the evaluation of the thesis public via the internet .

Article 13 (Publication of doctoral thesis)

1. The recipient of a doctoral degree shall make his or her doctoral thesis public within one year after receipt thereof, provided, however, that this provision shall not apply if the thesis has been made public prior to the receipt thereof.

2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, a recipient of a doctoral degree may make the abstract of his or her doctoral thesis public instead of the full text, subject to approval of NAIST, if there is a justifiable reason. In this case, NAIST shall allow access to the full text of the doctoral thesis when requested.
3. The public release established in the previous two clauses for doctoral degree recipient, shall be conducted via NAIST and the internet.

Article 14 (Reference to the degree)

When an individual who has been conferred a degree from NAIST refers to his or her degree, the name of NAIST shall be also mentioned together with the degree.

Article 15 (Withdrawal of a degree)

If it transpires that an individual was conferred a degree by NAIST by fraudulent means, the President shall withdraw the degree, have the degree certificate returned, and make public the fact, following the deliberation by the Faculty Council.

Article 16 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to conferral of degrees shall be provided for separately.

Supplementary provisions

These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on June 1, 2013.
(Transitional measures)
2. The revised degree regulations (hereinafter referred to as “new degree regulations”) outlined in Article 12 shall apply to those who have been conferred the doctoral degree on or after the date of regulation revision. However, for those who were conferred the doctoral degree prior to the date of revision, the regulations in force at the time of conferment shall apply.
3. The revised degree regulations outlined in Article 13 shall apply to those who have been conferred the doctoral degree on or after the date of regulation revision. However, for those who were conferred the doctoral degree prior to the date of revision, the regulations in force at the time of conferment shall apply.

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2018.
(Transitional measures)
2. Those students who entered NAIST in or before the 2017 school year, excluding the regulations of 7-2 and notwithstanding the revised provisions, shall be governed by the previous stipulations.

Form No. 1 (Refer to Article 11) (To be issued for the degree conferred upon completion of the Master's Course)

修第 号

学 位 記

氏 名

年 月 日生

本学大学院先端科学技術研究科先端科学技術専攻の博士前期課程（〇〇プログラム）を修了したので修士（〇〇）の学位を授与する

平成 年 月 日

奈良先端科学技術大学院大学長

学長名
大学の印 学長の印

(Note 1) The sheet is A4-sized.

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY

Hereby confers the degree of
Master of (専攻分野の名称)
upon

(氏 _____ 名)
(Surname) (Givenname)

(Date of Birth)

for having successfully completed the Master's
Course (Program of 〇〇) in the Graduate School of
Science and Technology

Date of Issue: (発行日)

Official Seal of the Institute President's Seal

(学長署名)
(学長名)
President,

Master's No. : (番号) Nara Institute of Science and Technology

(Note 1) The sheet is A4-sized.

Degree Regulations

Form No. 2 (Refer to Article 11) (To be issued for the degree conferred upon completion of the Doctoral Course)

博第 号

学 位 記

氏 名

年 月 日生

本学大学院先端科学技術研究科先端科学技術専攻の博士後期課程を修了したので博士（〇〇）の学位を授与する

論文題目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○

平成 年 月 日

奈良先端科学技術大学院大学長

学長名
大学の印 学長の印

(Note 1) The sheet is A4-sized.

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY

Hereby confers the degree of
Doctor of (専攻分野の名称)
upon

(氏 _____ 名)
(Surname) (Givenname)

(Date of Birth)

for having successfully completed the Doctoral Course
in the Graduate School of Science and Technology

Thesis Title : (論文題目)

Date of Issue: (発行日)

Official Seal of the Institute President's Seal

(学長署名)
(学長名)
President,

Doctorate No. : (番号) Nara Institute of Science and Technology

(Note 1) The sheet is A4-sized.

Form No. 3 (Refer to Article 11.) (To be issued for the degree conferred pursuant to Article 3-3)

博第	号
学 位 記	
氏 名	
年 月 日 生	
本学に学位論文を提出し所定の審査に合格 したので博士(〇〇)の学位を授与する	
論文題目	○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○
平成 年 月 日	
奈良先端科学技術大学院大学長	
大学の印	学長名 学長の印

(Note 1) The sheet is A4-sized.

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY	
Hereby confers the degree of Doctor of (専攻分野の名称) upon	
(氏	名)
(Surname)	(Givenname)
_____ (Date of Birth)	
for having submitted a Doctoral Dissertation and having passed the Prescribed Evaluations	
Thesis Title : (論文題目)	
Date of Issue:(発行日)	
Official Seal of the Institute President's Seal	
(学長署名)	
(学長名)	
President,	
Doctorate No. :	(番号) Nara Institute of Science and Technology

(Note 1) The sheet is A4-sized.

Degree Regulations

7 – 3 . Schedule until degree conferral

Degree conferral is performed every 3 months. (March, June, September and December) The rough schedule until degree conferral below is for April entrance and March graduation within the standard study period for each program.

<Master's course>

Late December	Submission of thesis examination request and thesis summary →Submit these to the graduate school dean by the submission deadline. (the division office of your laboratory) Fill in the name of the specialization (Science, Engineering, or bioscience) you prefer on the request form.
Mid-January	Faculty Council (Thesis title, review committee member approval)
Mid-February to late February	Master's thesis presentation (Thesis review and examination) →Committee members confirm the capstone and follow the Criteria for Thesis Examination for the evaluation. Results are reported to the Faculty Council.
Late February or early March	Faculty Council (Examination report, deliberation, ruling: completion approval) →Confirmation of completion requirements (Graduation credits, passing of thesis examination, passing of examination) and approval of completion

<Doctoral course>

Early December	Submission of thesis examination request, list of research papers, thesis summary and resume →Submit these to the graduate school dean by the submission deadline. (the division office of your laboratory) Fill in the name of the specialization (Science, engineering, or bioscience) you prefer on the request form.
Mid-December to mid-January	Faculty Council (Thesis title, review committee member approval)
Mid-December to mid-February	Public hearing (pre-examination) →Committee members confirm the capstone and follow the Criteria for Thesis Examination for the evaluation. Thesis (final version) guidance is given when necessary. If there are opinions related to evaluation, committee members will consider them. Passing students proceed to thesis examination. Corrections are made to the public hearing version to complete the final thesis version
Upon passing the pre-examination	Thesis Examination →Committee members follow the Criteria for Thesis Examination for the final thesis version examination. Students participate when necessary. Results are reported to the Faculty Council.
Late-February or early March	Faculty Council (Examination report, deliberation, ruling: completion approval) →Confirmation of completion requirements (Graduation credits, passing of thesis examination, passing of examination) and approval of completion

VIII Study Support

8 Study Support

8 – 1. Health Care Center (㊸ on the campus map)

To maintain the physical and mental health of our faculty, staff and students, the Health Care Center provides health examinations, daily treatment, and lifestyle guidance and health education. These three aspects of health promotion, namely checkups, treatment, and prevention, are addressed at the Health Care Center on the 2nd floor of the University Union building. The Center has an examination room, a chat and health counseling room, and a recovery room in a functional layout. A medical doctor and a nurse are regularly on duty.

Director of Health Care Center: Hidetaka Hogaku

Health Care Center Nurse: Kinuyo Nishiyama

Hours: 9:00 – 13:30, 14:30 - 17:00, Monday - Friday (excluding year-end/New Year and national holidays)

The Health Administration Center notifies members of necessary information such as schedule of health examinations by e-mail. In addition, the annual HCC NEWS (Health Care Center News) provides a variety of useful information.

<<NAIST TOP PAGE → About NAIST → Offices → Health Care Center>>

8 – 2. Office for Students with Disabilities

The Office for Students with Disabilities has been established in order to offer support for students with disabilities to have independent student lives at NAIST. The office staff have specialized training and knowledge about disabilities and counseling, and works in cooperation with related NAIST departments, faculty and staff to provide support to students with disabilities and serve as a student counselor.(academic and mental)

8 – 3. Career Services Office

The Career Services Office aims to support students in their career development. The office, located on the first floor of the Administrative Office building (next to the Educational Affairs Division), has job information and a collection of employment-related materials (including study-aid books for SPI and quarterly corporate reports) available. Also, the career development counselor is available to provide various career development support.

1. **Hours:** 9:30-17:30 (Closed between 12:00 and 13:00) (Closed on weekends and university holidays)

2. Career counselling

We provide advice on concerns and anxiety related to your career vision and job hunting. Career development counselors and career advisors from public organizations are available for counselling. Counselling services are available by appointment only and reservation instructions can be found on the Career Services Office website. Confidentiality will be strictly observed.

[URL for booking] <http://www.supersaas.jp/schedule/naist-career/?lang=en>

3. Career guidance

We hold career guidance seminars to support students in their career development and job hunting. Seminars, including the dates, are available on the Career Services Office website or via e-mails.

4. Lending service for materials related to job hunting

You can borrow materials that are useful in job hunting in Japan or career development. The rules for borrowing materials are also on the Career Services Office website.

5. Contact

Extension: 5921/5922 E-mail: career@ad.naist.jp URL: <http://www.naist.jp/career/>

8 – 4. Information Initiative Center (ITC) {⑧ on the campus map}

ITC manages and operates the information infrastructure and information network (Mandara System) in NAIST. ITC also conducts the support of education and research by utilizing Information security management and Information media.

What is "Mandara"

The university-wide information system at NAIST is called "Mandara", which refers to the truth in Esoteric Buddhism (i.e., the seeking of the infinitesimal paradoxically leads to infinite proliferation).

The Mandara system features strategic architectural configurations to meet user needs and build an advanced environment.

Meanwhile, an information processing environment has been developed from the researchers viewpoint, based on the basic principle of "fulfillment without excess or deficiency" represented by the idea Mandara.

○How to use the Mandara System

For information about major services, please see the following URLs.

- Mail
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/Mail/mailenv.en.html>
- Wireless LAN
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/wireless/index.en.html>
- Campus Licensed Software
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/campuslicense/index.en.html>
- Printer (Multi-function Printer)
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/manual/printer/printer.en.html>
- High Performance Computer Server
<http://trac.naist.jp/trac/grid/>

For information about other services and inquiries, please refer to the upper tabs of the following URL.

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/index.en.html>

And, when you use the Mandara System, you must observe the Ethical Regulations and the following Basic Rules.

- Ethical Regulations for NAIST Information Network Use
http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/ethical_regulations.en.pdf
- Mandara Operation Policy
http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/mandara_operation_policy.en.pdf
- Password
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/password/good-passwd.en.html>
- Computer Security on Mandara
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/security/index.en.html>
Keep your computer secure in order to use the network properly.
- Use of P2P Software
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/p2p/p2p-request.en.html>
Use of P2P file-sharing software in NAIST or the NAIST dormitory is prohibited.



IX Campus Life

9 Campus Life

9 – 1. Tuition and payment

○Tuition fee and due date (by automatic bank transfer)

Course	Tuition fee (*1)	Due date (*2)
Master's course	535,800 yen	Spring semester (April to September): Due May 28 (Monday), 2018
Doctoral course	(267,900 yen for a half-year term)	Autumn semester (October to March): Due November 27 (Tuesday), 2018

*1 : If the tuition fee is revised during your enrollment, the new tuition fee will be charged.

(You will be notified of the tuition fee for the semester by e-mail during May and November.)

*2 : Payment (by automatic bank transfer) is due on May 27 and November 27 every year. If the due date falls on a non-business day of the financial institution, the payment will be transferred on the following business day. (Your account balance is checked at 3:00 pm on the business day preceding the due date.)

○Payment

The tuition fee for a half-year term is automatically withdrawn from your bank account on the due dates of the spring and autumn semesters designated by NAIST. If you wish to pay the tuition fee for both semesters combined on the due date in May, please contact us by April 27 (Friday), 2018. If you have applied for tuition fee waiver, payment of the tuition fee will be postponed until the result of the application is announced. For details of automatic bank transfer procedures and other related matters, please inquire at the Accounting Section of the Finance Division (extension: 6227).

Note that failure to pay the tuition fee for two consecutive semesters will result in expulsion from NAIST.

9 – 2. Student ID Card

NAIST students are issued a student ID card, which not only verifies your status as a NAIST student but also serves as an electronic key. This key is needed for: entry to NAIST's facilities before or after the normal service hours, namely between 7:00 pm and 7:30 am, and on Saturday, Sunday and national holidays; use of the automatic certificate issuing machine; and borrowing of books from the NAIST Library. Therefore, you should carry your student ID card at all times while attending NAIST. Your graduate school, year of enrollment, and student number are registered in the card, and card readers automatically scan this information to check whether you are eligible to enter specific facilities in NAIST.

○Precautions on handling your student ID card

- ① You should keep your student ID card in a case and carry it at all times at NAIST.
 - ② You are not allowed to lend or assign your student ID card to anyone else.
 - ③ If you lose your student ID card or your card has become unusable due to failure of the magnetic strip, etc., you should immediately report it to the Academic Affairs Section of the Educational Affairs Division.
- If the card reader does not react properly upon inserting your student ID card to enter a certain building, call the Security Center on the first floor of the Administration Bureau building through the interphone, state your affiliation and name, and the key will be unlocked for you.

- ④ When your student ID card has expired or you are no longer a NAIST student due to withdrawal or for other reasons, return your student ID card to the Academic Affairs Section of the Educational Affairs Division without delay.
- ⑤ Protecting your card:
- Keep your student ID card away from strong magnetic fields or devices (e.g. NMR machines).
 - Do not leave your card in hot places (e.g. in a car during summer).
 - Do not fold your student ID card.

9 – 3. Student Personal Report

The information contained in the “Student Personal Report” (Gakusei kojinhokusho) submitted at the time of enrollment is used for contacting you in case of emergency. If any of the following registration details changes, please inform the Academic Affairs Section of the Educational Affairs Division without delay.

Registration details	<ul style="list-style-type: none"> • Your address and telephone number (fixed and/or mobile) where you can be reached after enrollment in NAIST • Information about your place of work (if you are a working student) • Name of a contact person in case of emergency, person’s relationship with you, and his/her address and telephone number
Where to report	Please report the change to the Academic Affairs Section of the Educational Affairs Division.

9 – 4. Procedures and issuance of certificates

○Procedures

When requested by NAIST, by means of a notice on the bulletin board, etc., you should perform the procedures as requested within the specified period. You should also perform the prescribed procedures when necessary for your own personal reasons. Please note that failure or delay in doing so could cause hinder you in many ways and become an inconvenience to other people.

Document to be submitted	When to submit	Contact office
Leave of absence request form (Kyugaku Negai)	When you are to take a leave of absence for three consecutive months or longer by illness, studying abroad, and so on. (If illness is the reason for the leave, a medical certificate should be attached.) * The form should be submitted at least two weeks in advance.	Academic Affairs Section, Educational Affairs Division
Return from leave request form (Fukugaku Negai)	When you wish to return to NAIST before the period of the leave of absence is over. (For those who were absent due to illness, please attach a medical certificate.)	
Return from leave notice form (Fukugaku Todoke)	When you wish to return from leave during your scheduled leave of absence period.	
Withdrawal form (Taigaku Negai)	When you are to withdraw from NAIST * The form should be submitted at least two weeks in advance.	
Change of name form	When your name changes * A residence certificate or other document proving your change of name	

	should also be submitted.	
Student ID card reissue request form	When you have lost your student ID card or your card has become unusable due to damage or dirt	
Overseas travel Notification	When you are to travel overseas for less than three months (except when the travel is needed as part of the regular coursework at NAIST)	Education Planning Section, Educational Affairs Division
Study Abroad Request	When you go studying abroad * The form should be submitted at least two months in advance.	International Affairs Section, International Affairs Division
Plan after completion of course /job (informal employment offer) report form	When you graduate or leave school	Career Services Office
<p>The forms to be submitted to the Educational Affairs Division are available at its counter, or can be downloaded from the intranet and website for NAIST students at: <<NAIST TOP PAGE → For Students (Internal Only) → Academic Affairs → Electronic Education Record System>></p>		

○ Notes on procedures for leave of absence or withdrawal

(1) Leave of absence

- You can apply for leave of absence if you are unable to attend school for three consecutive months or longer due to illness or for other justifiable reasons.
- The period of leave of absence is up to one year, however, you may apply for an extension of the period for another one year at the longest, if you have special reasons. To apply for an extension of the period of leave of absence, you are required to submit the leave of absence (extension) request form again, at least two weeks prior to the expiration of the initial period of leave of absence.
- Upon expiration of the period of leave of absence, you are automatically readmitted to NAIST. Please submit "Return from leave notice form."
- The period of leave of absence does not count toward the standard years of study and years of enrollment.
- Please also indicate when you expect to complete your course after returning to NAIST.
- Some certificates (including certificate of expected completion, certificate of health, and certificate of student travel discount) cannot be issued during the period of leave of absence.
- You cannot use the NAIST Library during the period of leave of absence.
- You do not have to pay tuition fees for the period of leave of absence.

(2) Withdrawal

- If you withdraw from NAIST after having been enrolled in the doctoral course for at least three years, provided your instructor confirms you have received his or her research guidance, you are treated as "having withdrawn from NAIST with the approval of your research instructor" in your personal record.
- Tuition fees, once paid, cannot be reimbursed.

(3) Common matters

- Permission for both leave of absence and withdrawal is conditioned on payment of the tuition fee.
- Tuition fees, once paid, cannot be reimbursed except in the following cases:
 - If leave of absence is permitted, the portion of the tuition fee for the period of leave of absence will be reimbursed.
 - If you paid the combined tuition fee for the spring and autumn semesters in April, and are permitted to withdraw from NAIST before the beginning of the autumn semester, the tuition fee for the autumn semester will be reimbursed.
- The deadline for submitting the form is two weeks prior to the date you wish to take leave of absence or withdraw. If you fail to submit the form by the deadline, the date of permission will be in the following month.
- In principle, a request for leave of absence or withdrawal should be made on a semester by semester basis.
 - Leave of absence: The period should commence from April or October and end at the end of September or March, in principle.
 - Withdrawal: The date you wish to withdraw from NAIST should be the end of September or March.
- You should indicate the reason for the leave of absence or withdrawal in the form in detail; “for personal reasons” cannot be accepted.
 - Leave of absence: If you take leave of absence due to illness, a medical certificate should be attached. If the reason is “pressure of business,” indicate the name of your workplace.
- Please consult with Health Care Center for your health checkup, soon after you come back from leave of absence.
- Note that you may be required to move from NAIST’s dormitory or take procedures to stop payment of scholarship.

○Certificates that are automatically issued

You can use the automatic certificate issuing machine to have the following certificates issued within the same day: certificate of enrollment, certificate of expected completion, certificate of academic record, certificate of completion, certificate of health and certificate of student travel discount. For conditions of issuance of these certificates, please refer to the following table.

Certificate	Conditions of issuance	Service hours and location of the automatic certificate issuing machine
Certificate of enrollment(Japanese/ English)	Not issued to non-regular students, including research fellows.	Service hours: 7:30 am to 7:00 pm Monday to Friday (excluding national holidays and year-end holidays) Please apply for certificates in advance, as the machine may not be working outside of normal office hours
Certificate of expected completion(Japanese/ English)	Students should have been enrolled in the master’s course for at least six months or be in the second year in the doctoral course to apply for this certificate.	
Certificate of completion of Master’s course (Japanese/ English)	Only available for those who have proceeded to the doctoral course internally from the master’s course at NAIST.	

Certificate of academic records of Master's course (Japanese/ English)		Location: Entrance lobby of NAIST Library
Certificate of academic record (Japanese/ English)	The certificate of academic record is an official certificate issued in the name of the Dean of the Graduate School that does not include failed courses.	
Academic record (Japanese/ English)	The academic record is issued for students to check their academic performance including failed courses.	
Certificate of health (Japanese only)	The certificate is issued only to those who have completed all annual health checkups. Students admitted to NAIST from the autumn semester will be issued the certificate after taking the annual health checkup in the following year.	
Certificate of student travel discount (Japanese only)	<ul style="list-style-type: none"> • Up to 10 certificates are issued per student annually. • The certificate is valid for three months. (Not issued to non-regular students, including research fellows and students on leave of absence.)	

○Certificates issued over-the-counter

If you need certificates other than those issued by the automatic certificate issuing machine, apply at the Student Support Section of the Educational Affairs Division using the prescribed application form. You should apply well in advance, as some certificates take time to issue.

9 – 5. Commuter certificate

○Student commuter pass

To buy a student commuter pass between your place of residence and NAIST, fill in your student number, name and address in a commuter pass application form (Tsuugaku teiki joshaken hakko hikae) distributed at the beginning of each academic year, and present the form together with a commuter pass purchase form and your student ID card to a train station with a commuter pass office. (If there is no more space on your commuter pass application form, please apply at the Educational Affairs Division for an additional copy.)

The nearest Kintetsu stations designated by NAIST are Takanohara Station on the Kyoto Line, Gakuenmae Station on the Nara Line, and Gakken-Kita-Ikoma Station on the Keihanna Line.

○Student commuter passes for commuting to off-campus facilities

If you are going to work at off-campus facilities as part of your study at NAIST and need a student commuter pass for that purpose, you should apply at the Student Support Section of the Educational Affairs Division to have a commuter certificate issued. The application should be

submitted at least one month before starting work at the off-campus facilities (the certificate takes longer to issue because we must obtain approval from the railway company).

* Non-regular students, including research fellows and students on leave of absence, cannot purchase student commuter passes.

9 – 6 . Scholarships of private organizations

Students will be informed of scholarship programs offered by private organizations whenever applications are invited.

9 – 7 . Tuition fee exemption

NAIST offers a tuition fee exemption program, under which students selected from among applicants are exempt from payment of all or part of tuition fees provided that: the student has difficulty in paying tuition fees for financial reasons and is recognized for academic excellence; or the student has extreme difficulty in paying tuition fees because of the death of the person who would normally have paid the tuition fee within one year prior to his or her admission to NAIST or due to damage by natural disasters to the student or the person who would normally have paid the tuition fee. For details about application procedures, please inquire at the Student Support Section of the Educational Affairs Division.

9 – 8 . Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (PAS)

Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (Gakkensai) insures students enrolled in national, public, and private universities in Japan against unexpected physical injuries they may suffer while attending lectures, university events, extracurricular activities, taking a break on campus, or traveling to and from university or off-campus facilities for research/educational purposes. At NAIST, all students are required to take out the Gakkensai insurance as part of enrollment procedures. For more details about the Gakkensai insurance, please refer to the booklet.

Course	Insurance premium	Insurance period *
Master's course	1,750 yen	2 years
Doctoral course	2,600 yen	3 years

* Valid until March 31 in expected year of graduation for students admitted in April and until September 30 in expected year of graduation for students admitted in October.

9 – 9 . Liability Insurance coupled with PAS

All students are also required to take out the Personal Liability Insurance for Students (Gakkenbai). This optional coverage insures students against third-party liability for damage caused by the student to others or their property while attending lectures, university events, extracurricular activities or traveling to and from university facilities, both on- and off-campus. For more details about the Gakkenbai insurance, please refer to the booklet.

Course	Insurance premium	Insurance period *
Master's course	680 yen	2 years
Doctoral course	1,020 yen	3 years
Amount of coverage : Up to 100 million yen per incident		

* Valid until March 31 in expected year of graduation for students admitted in April and until September 30 in expected year of graduation for students admitted in October.

9 – 10. Student dormitories (Campus map 13)

Student dormitories are located within the campus of NAIST as shown below.

[Outline of student dormitories]

Type	Single-person occupancy	Couple occupancy	Family occupancy
Structure	Five-story reinforced concrete building	Five-story reinforced concrete building	Five-story reinforced concrete building
No. of residential units	559	50	10
Floor area	13 m ²	36.98 – 41.45 m ²	51.56 m ²
Fixtures	Desk, bed, mini kitchen, toilet, etc.	Desk, kitchen, toilet, bath, laundry machine, air conditioner, etc.	Desk, kitchen, toilet, bath, laundry machine, air conditioner, etc.
Common facilities	Bath, laundry, lounge, etc.	-----	-----
Dormitory fee	5,900 yen/month	11,900 yen/month	14,200 yen/month
Common service charge	4,100 yen/month	600 – 1,100 yen/month	1,100 yen/month
Utility charge	To be paid by the occupant	To be paid by the occupant	To be paid by the occupant

9 – 11. Dwellings rented by NAIST for students

NAIST also rents apartment complexes (Nakatomi Daisan Danchi, Tomio Danchi and Heijo Daiichi Danchi) owned by the Urban Renaissance Agency, and rents them out to students upon application. If you are interested, please inquire at the Student Support Section of the Educational Affairs Division for details.

9 – 12. Parking a car and bicycle**○Commuting by car**

You are not allowed to drive a car on the premises of NAIST. Please park your car in the public parking lot in the Takayama District, north of NAIST. The parking fee must be paid in cash (300 yen per day) or using a parking pass. Please note that the first time you buy a parking pass, you should buy it at the Foundation for Nara Institute of Science and Technology (in Takayama Science Plaza) at the north of the public parking lot in the Takayama District. Anytime after that, you can buy the pass at the convenience store on the first floor of the University Union.

- Parking pass fee (for students): 1,500 yen per month, 4,000 yen per three months, 7,500 yen per six months

○Commuting by bicycle and motorcycle

You are not allowed to ride a bicycle or motorcycle on the premises of NAIST. Please park your bicycle or motorcycle in the public parking lot in the Takayama District, north of NAIST. Parking is free.

If you wish to use the parking lot, you must register at the Student Support Section of the Educational Affairs Division. Parking of bicycles and motorcycles in the parking lot without registration constitutes illegal parking, and such bicycles and motorcycles will be removed.

9 – 13. Student welfare facilities

○University Union (Campus map 3)

University Union houses a restaurant, tea room, convenience store, and healthcare center for the welfare of students and faculty members of NAIST.

○Social venue for researchers: Guesthouse Sentan (Campus map6)

The guesthouse Sentan is a facility for faculty/staff and students as well as visiting researchers. For more details, please refer to the website of NAIST.

http://www.naist.jp/en/campuslife/recreational_facilities/sentan.html

[Accommodation] Reservations: Welfare Section of Personnel Division

[Assembly Hall] Reservations: Welfare Section of Personnel Division

[Fitness Room] No reservation needed to use the fitness room.

○Sports facilities

Students and faculty members of NAIST may use the following sports facilities for free.

Facilities	Open hours	Selection by drawing
Athletic field	8:00 am to sunset	Successful applicants are selected by ballot, which is held on the 20 th day of the preceding month (or the following weekday if the day falls on a Saturday, Sunday or national holiday). Venue of ballot: Lobby on the first floor, Interdisciplinary Frontier Research Complex No.2 Time of ballot: 9:00 am
Volleyball/basketball court	8:00 am to 10:00 pm	
Tennis court	weekdays 8:00 am to sunset weekends,holidays 7:00 am to sunset	
Tennis court (with lighting)	weekdays 8:00 am to 9:00 pm weekends,holidays 7:00am to 9:00 pm	

You can also rent sporting goods for tennis, softball, etc. and barbecue equipment.

For details about using the sports facilities, please inquire at the Student Support Section of the Educational Affairs Division.

9 – 14. Student Consultation, Our various counseling service systems

○Student Consultation

Graduate students are faced with a variety of different problems and worries in the course of their everyday lives. In order to give support to students facing problems, each graduate school, the Health Care Center, and the Educational Affairs Division, has a Miscellaneous Consultation for Students office with consultation staff on hand. As well as providing advice for the solution of problems, consultation staff can also point consults to an appropriate consultation office. So don't keep your troubles to yourself. If you have any worries, please talk them over with Miscellaneous Consultation for Students staff. Strict confidentiality is maintained regarding the content of all consultations. For more details about consultation staffs, please refer to the website of NAIST.

<<NAIST TOP PAGE → For Students (Internal Only) → Student Consultation>>

○Consulting Issues Related to Harassment

Harassment is behavior which violates a person's human rights by unwanted verbal and/or physical conduct that hurts the person's sense of self. There are primarily five types of harassment:

Sexual Harassment	Academic Harassment	Power Harassment
Harassment related to leave due to pregnancy, birth and child-care, etc.		Moral Harassment

In our University, we have harassment consultants to deal with complaints and consultation needs related to harassment. If you have any complaints or issues, feel free to contact a consultant by phone or e-mail. For more details regarding harassment consultants etc., please refer to the University's homepage.

<<NAIST TOP PAGE → For Students (Internal Only) → Consulting Issues Related to Harassment >>

○Counseling regarding course content

We have office hours for you to help deepen your understanding of the courses offered. During office hours, students can visit the laboratories of our teaching staff overseeing the courses and ask questions about the courses or consult the teaching staff. As the office hour schedules and contact methods are established by each professor please check the corresponding page on each subject's syllabus. Check the course syllabus at:

<<NAIST TOP PAGE → For Students (Internal Only) → Academic Affairs → Online Syllabus System >>

○Counseling related to research guidance

If you have issues related to education and research, you can consult one of your research supervisors. (This university has adopted a system whereby each student is assigned multiple research supervisors.)

9 – 15. Other matters

○Counter hours of the Educational Affairs Division

8:30 am – 5:30 pm (except Saturdays, Sundays, national holidays, foundation day of NAIST, Office closing days for summer, and December 29 to January 3)

In case of emergency, you can enter the office, if open, even before or after the counter hours.

○Notification from NAIST

NAIST notifies students of necessary information by e-mail or through the bulletin board. Private notices will usually be sent by e-mail. Please check incoming e-mails carefully: If you overlook important information sent by NAIST such as a request to submit an application, you may suffer a disadvantage.

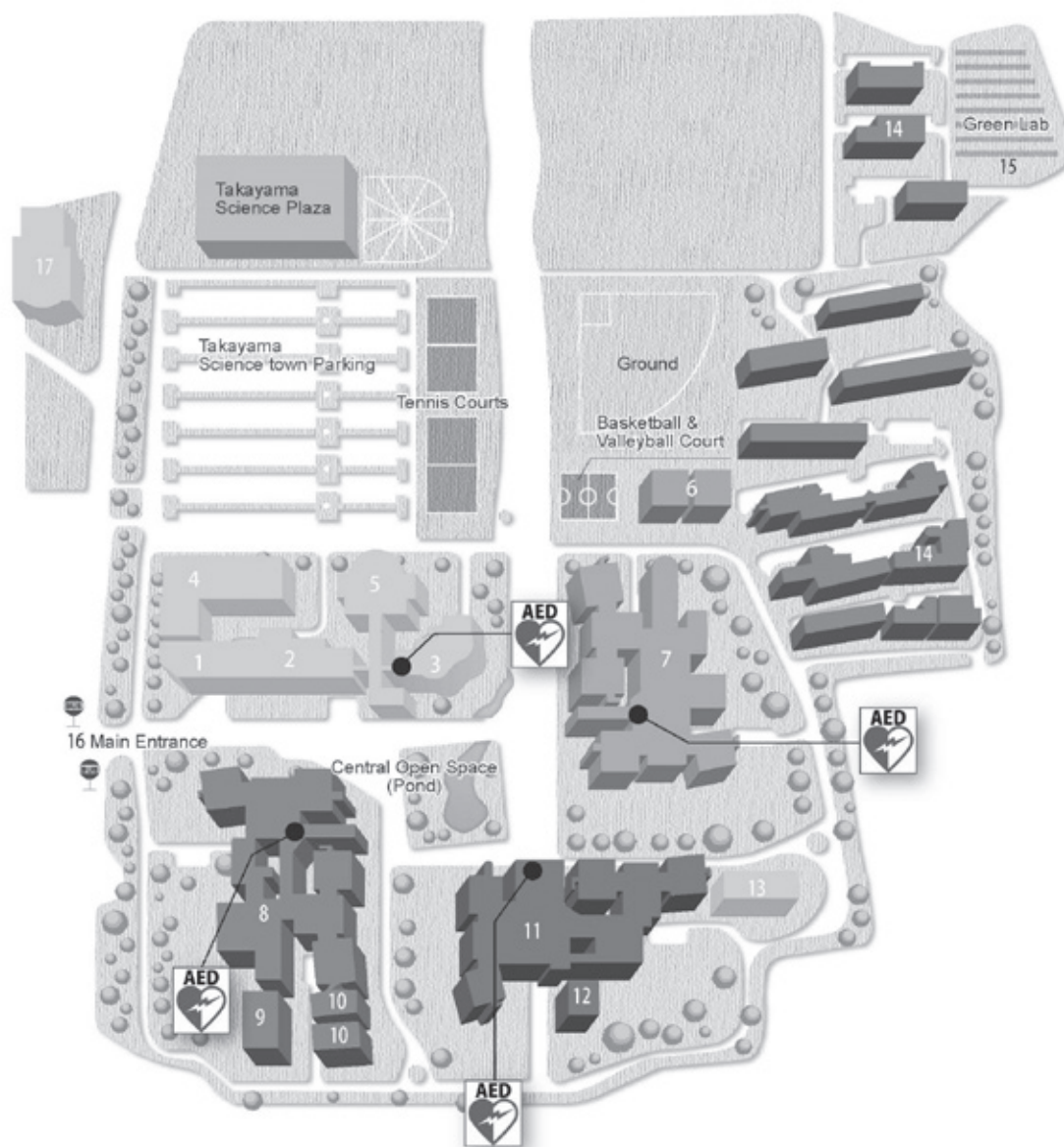
○Website for students [<https://ad-info.naist.jp/member/>]

You can access the website for students by clicking “Internal Only” on NAIST's website. This website contains various useful information, including announcements (the latest updates), Academic affairs (curriculum, notice to students for the academic records, changes of class schedule), an online English study system (ALC NetAcademy) and job information.

9 – 16. Campus Map

Please refer to the next page.

- Campus Map



- | | |
|--|--|
| ①Administration Bureau | ⑨Animal Experimentation Facility |
| ②Library | ⑩Botanical Greenhouses |
| ③University Union / Health Care Center | ⑪Materials Science -
Research and Education Center for
Materials Science |
| ④Interdisciplinary Frontier Research Complex No.2 | ⑫Bio Nano Process Laboratory |
| ⑤Millennium Hall | ⑬Interdisciplinary Frontier Research Complex No.1 |
| ⑥Guesthouse Sentan | ⑭Student Dormitories / Staff Residences |
| ⑦Information Science -
Data Science Center
Information Initiative Center | ⑮Green Lab |
| ⑧Biological Sciences -
Research and Education Center for Genetic
Information | ⑯Main Entrance |
| | ⑰Administration Bureau Annex |

Regulations of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004
Regulations No. 1

Table of Contents

- I. General Provisions (Articles 1 to 3)
 - II. Educational and Research Organization (Articles 4 to 11)
 - III. President, Vice President, Deans, etc. (Articles 12 to 19)
 - IV. Faculty Council (Article 20)
 - V. Admission Capacity and Enrollment Capacity (Article 21)
 - VI. Academic Year, Semesters, and Closed Days (Articles 22 to 24)
 - VII. Admission (Articles 25 to 30)
 - VIII. Standard Terms of Study and Maximum Years of Enrollment (Articles 31 to 32)
 - IX. Education at Graduate School (Articles 33 to 40)
 - X. Course and Degree Requirements (Articles 41 to 46)
 - XI. Leave of Absence, Study Abroad, Readmission, Transfer from/to another School, Withdrawal, and Expulsion (Articles 47 to 53-2)
 - XII. Entrance Examination, Admission and Tuition Fees (Articles 54 to 65)
 - XIII. Special Auditing Students, Special Research Students, Non-Degree Students, Research Students and Undergraduate Internship Students (Articles 66 to 69-2)
 - XIV. Recognition and Punishments (Articles 70)
 - XV. Student Dormitories (Article 71)
 - XVI. Open Lectures (Article 72)
- Supplementary Provisions

I. General Provisions

Article 1 (Purpose)

Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) aims to promote cutting-edge research activities and train skilled personnel through advanced education based on the results of such research activities, thereby contributing to the advancement of science and technology and prosperity of society.

Article 2 (Self-assessment)

1. NAIST shall inspect and assess educational and research activities conducted internally (“Self-assessment”) and make the results of the Self-assessment publicly available, in order to raise NAIST’S education and research standards and achieve the goals and social mission described in the foregoing article.
2. NAIST shall have the results of the Self-assessment examined by third party reviewers.
3. Matters concerning implementation of the Self-assessment shall be provided for separately.

Article 3 (Active provision of information)

NAIST shall actively provide information on its educational and research activities through publications or other suitable means.

II. Educational and Research Organization

Article 4 (University with graduate school curriculum)

NAIST is a university with graduate school curriculum only.

Article 5 (Graduate School and department)

The graduate school and its department shall be established as shown in the following table.

Graduate School	Department
Graduate School of Science and Technology	Department of Science and Technology

Article 6 (Objectives of the Graduate School)

The Graduate School promotes world-leading research in the core fields of advanced science and technology, information, biological, and materials science, and their interdisciplinary areas, and, while pursuing the development and fusion of this research and the exploration of new research fields, will aim to foster human resources with ‘aggressiveness, comprehensive skills and knowledge, integrative abilities, and a global outlook’ to undertake the solving of the problems facing society and our future, and the new developments in advanced science and technology, through the structured education based on NAIST’s research achievements.

Article 7 (Faculty)

1. The Graduate School has an academic faculties.
2. Matters relating to the academic faculty shall be provided for separately.

Article 8 (Courses and their purposes)

1. The Graduate School of NAIST have doctoral courses.
2. Each doctoral course consists of a first course (“Master’s Course”) and a latter course (“Doctoral Course”).
3. The Master’s Course aims to equip students with profound academic knowledge from broad perspectives, and help students develop the ability to conduct advanced research in their fields of specialty or engage in professions that require highly specialized skills.
4. The Doctoral Course aims to help students develop the ability to conduct advanced research activities on their own, and research skills of the highest level necessary for highly sophisticated professions, and to foster profound academic knowledge indispensable for such research activities and professions.

Article 8-2 (Education Programs)

1. The Doctoral Course and the Master’s Course have each of the following Education Programs:
Information Science and Engineering
Computational Biology

Biological Science
 Bionanotechnology
 Materials Science and Engineering
 Intelligent Cyber-Physical Systems
 Data Science

2. Matters relating to the Education Programs shall be provided for separately.

Article 9 (Information Initiative Center)

1. NAIST has an Information Initiative Center.
2. Information Initiative Center has a NAIST Library.
3. Matters relating to the Information Initiative Center shall be provided for separately.

Article 10 (Collaborative educational and research institutions)

1. NAIST has the following common educational and research institutions:
 - (1) Research and Education Center for Genetic Information
 - (2) Research and Education Center for Materials Science
2. Matters relating to the collaborative educational and research institutions shall be provided for separately.

Article 11 (Health Care Center)

1. NAIST has a Health Care Center.
2. Matters relating to the Health Care Center shall be provided for separately.

III. President, Vice President, Deans, etc.

Article 12 (Organization)

1. The organization of NAIST consists of the following members:

President

Vice President

Dean of the Graduate School

Division Directors

Deputy Directors of the Divisions

Director of Information Initiative Center (ITC)

Directors of collaborative educational and research facilities

Director of the Research and Education Center for Genetic Information

Director of the Research and Education Center for Materials Science

Director of the Data Science Center

Director of Health Care Center

Faculty members

General staff members

Other staff members

2. The faculty members of NAIST consist of professors, associate professors, lecturers, assistant professors, and research associates.
3. General staff members of NAIST consist of administrative staff, technical staff, nurses and academic

staff.

Article 13 (President)

The President shall be responsible for management of internal affairs at NAIST and supervision of all faculty and staff members thereof.

Article 14 (Vice President)

The Vice President shall be responsible for supporting the President and, upon receiving authorization from the President, be responsible for management of affairs at NAIST.

Article 15 (Dean of Graduate School)

The Dean shall be responsible for the operation of the Graduate School.

Article 16 (Division Directors)

Each Division Director shall be responsible for supporting the Dean of the Graduate School and the operation of the respective division.

Article 16-2 (Division Deputy Directors)

Each Division Deputy Director shall be responsible for supporting the Division Director.

Article 17 (Director of Information Initiative Center (ITC))

The Director of the Information Initiative Center (ITC) shall be responsible for administration of the Information Initiative Center (ITC).

Article 18 (Directors of the collaborative educational and research facilities)

Each Director of the collaborative educational and research facilities shall be responsible for affairs of their respective facility.

Article 19 (Director of Health Care Center)

The Director of the Health Care Center shall be responsible for its administration.

IV. Faculty Council

Article 20 (Faculty Council)

1. The Graduate School has a Faculty Council.
2. The Faculty Councils shall be responsible for expressing opinions concerning the following items which the president deliberates:
 - (1) Student admission and course completion
 - (2) Degree conferment
 - (3) Arrangement of curriculum
 - (4) Student recognition and punishment
3. In addition to the items stipulated in the foregoing subsection, the Faculty Councils may also discuss the following areas concerning the education and research governed by the President and the Deans, and present opinions concerning these upon request of the president and/or Deans.

- (1) Matters relating to student registration at and credits from other institutions
 - (2) Matters relating to the acceptance of special auditing students, special research students, non-degree students, research students and undergraduate internship students
 - (3) Matters relating to agreements concluded by the Graduate School
 - (4) Matters relating to laboratory establishment, reorganization and closing
 - (5) Matters relating to required Graduate School evaluation and assessments pertaining to university appraisal
 - (6) Other matters relating to education and research
4. The Faculty Council shall consist of full-time and associate professors engaged in educational or research activities of the Graduate School. However, the Dean of the Graduate School may invite faculty members involved in educational or research activities of other Graduate Schools to join its Faculty Council when deemed necessary.
 5. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, members of the Faculty Council who are on an official trip abroad, on leave of absence or absent for other reasons may be removed from the Faculty Council.
 6. The Dean of the Graduate School shall serve as Chairperson of the Faculty Council.
 7. The Chairperson of each Faculty Council shall preside over the council's meetings.
 8. In case the Chairperson has become unable to serve his or her role, the Division Deputy chosen in advance by the Dean shall act as the chairman in place of him or her.
 9. For the Faculty Council meetings and resolutions to be valid, a majority of all the members thereof shall be present.
 10. Resolutions at Faculty Council meetings shall be passed with assenting votes of a majority of the faculty members present at the meeting. In case of a tied vote, the Chairperson shall cast the deciding vote.
 11. The Dean may invite individuals who are not Faculty Council members to attend council meetings if he or she deems it necessary to do so.

Article 20-2 (Representative Council)

1. The Faculty Council shall have a Representative Council consisting of those chosen from members the Faculty Council, as designated by the Faculty Council
2. The Faculty Council may make resolutions using the Representative Council resolutions, as designated by the Faculty Council.

V. Admission Capacity and Enrollment Capacity

Article 21 (Admission and enrollment capacity)

The admission capacity and enrollment capacity of the Graduate School of NAIST shall be as shown in the attached table.

VI. Academic Year, Semesters, and Closed Days

Article 22 (Academic year)

1. At NAIST, the academic year shall commence on April 1 and end on March 31 of the following year.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the academic year shall commence on October 1 and end on September 30 of the following year for students who are admitted to NAIST in the

autumn semester.

Article 23 (Semesters)

The academic year specified in the foregoing article shall consist of:

- (1) Spring semester (from April 1 to September 30), and
- (2) Autumn semester (from October 1 to March 31 of the following year).

Article 24 (Closed days)

1. NAIST shall be closed on the following days:

- (1) Sunday and Saturday
- (2) Days designated as national holidays under the Public Holiday Law (1948 Law No. 178)
- (3) Anniversary of the founding of NAIST (October 1)
- (4) Spring, summer and winter holidays

2. Details about the spring, summer and winter holidays in the foregoing subsection (4) shall be provided for separately.

3. The President may designate temporary closed day(s) if he deems it necessary to do so.

4. Regardless of Article 1, classes may be held on holidays when deemed necessary for educational purposes by the dean.

VII. Admission

Article 25 (Applicant qualifications)

1. Admission to the Master's Course is granted to individuals who:

(1) Have graduated from a university stipulated in Article 83-1 of the School Education Law (1947 Law No. 26)

(2) Have been awarded a bachelor's degree pursuant to Article 104-4 of the School Education Law

(3) Have completed the equivalent of a 16-year course of school education abroad

(4) Have taken a correspondence course in Japan offered by a foreign school, thereby completing a 16-year course of school education of the foreign country where the school is located

(5) Have completed a course of an educational institution that is recognized as offering a regular curriculum of a foreign university in compliance with the school education system of the country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, provided that completion of the said course shall constitute completion of a 16-year course of school education in the country

(6) Have completed the specialized course offered by a special training school that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, on or after the day specified by the Minister, provided that the said course shall be a four-year or longer course, and meet all the other criteria set forth by the Minister

(7) Have been designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, in accordance with Article 155-1 (6), of the Enforcement Regulations for the School Education Law (1947 Ordinance of the Ministry of Education No. 11)

(8) Fall into any of the following categories and are recognized by NAIST as having earned the necessary credits with outstanding academic grades:

- (a) Individuals who have been enrolled in university for at least three years

(b) Individuals who have completed the equivalent of a 15-year course of school education abroad

(c) Individuals who have taken a correspondence course in Japan offered by a foreign school, thereby completing a 15-year course of school education of the foreign country where the school is located

(d) Individuals who have completed a course of an educational institution that is recognized as offering a regular curriculum of a foreign university in compliance with the school education system of the country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, provided that completion of the said course shall constitute completion of a 15-year course of school education in the country

(9) Have been enrolled in graduate school before pursuant to Article 102-2 of the School Education Law and are recognized by NAIST as having adequate academic ability to be educated at the Graduate School thereof

(10) Have been recognized by NAIST through an individual entrance screening as having academic ability equivalent to or greater than that of a university graduate and are at least 22 years of age

2. Admission to the Doctoral Course is granted to individuals who:

(1) Have been awarded a master's degree or a professional degree specified in Article 5-2 of the Rules for Degrees (1953 Ordinance of the Ministry of Education No. 9) pursuant to Article 104-1 of the School Education Law ("Professional Degree")

(2) Have been awarded a master's degree or other degree equivalent to a Professional Degree abroad

(3) Have been awarded a master's degree or other degree equivalent to a Professional Degree by completing a correspondence course in Japan offered by a foreign school

(4) Have been awarded a master's degree or other degree equivalent to a Professional Degree by completing a course of an educational institution in Japan that is recognized as offering a regular curriculum of a foreign graduate school in compliance with the school education system of the country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology

(5) have completed their degree by March 2016 by graduating from the United Nations University established under the resolution of the United Nations General Assembly on December 11, 1972 as stipulated in subsection 2, Article 1 of the Special Measures Incidental to Enforcement of the Agreement between the United Nations and Japan regarding the Headquarters of the United Nations University Act (Act No.72 of 1976).

(6) have been recognized as having achieved at least the academic equivalence of a Master's degree through an educational program of ① a foreign educational institute, ② educational institutions which have received the designation in (4) above, or ③ the United Nations University and have passed the equivalent examination and screening process as stipulated in the subsection 2, Article 16 of the Standards for the Establishment of Graduate School (Act No. 28, 1974).

(7) Have been designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, in accordance with Article 155 (6), of the Enforcement Regulations for the School Education Law

(8) Have been recognized by NAIST through an individual entrance screening as having academic ability equivalent to or greater than that of a master's degree or Professional Degree holder and are at least 24 years of age

3. Methods for implementing entrance screening, etc., set forth in Paragraph 1 (10) and Paragraph 2 (6), hereof shall be stipulated separately.

Article 26 (Timing of admission)

Students shall be admitted to NAIST at the beginning of each semester.

Article 27 (Application for admission)

To apply for admission to NAIST, an admission application form shall be submitted together with designated documents to the President of NAIST.

Article 28 (Screening)

Applicants for admission to NAIST shall be screened by the procedures set forth separately.

Article 29 (Enrollment procedures and admission)

1. Applicants who have received notification of acceptance as a result of the screening specified in the foregoing article shall submit the designated documents to be admitted to NAIST.
2. The President shall admit applicants to NAIST upon completion of the procedures set forth in the foregoing subsection.

Article 30 (Admission to Doctoral Course)

Subject to screening by the Faculty Council, the President shall admit students to the Doctoral Course upon completion of the Master's Course of NAIST.

VIII. Standard Terms of Study and Maximum Years of Enrollment

Article 31 (Standard terms of study)

The standard terms of study at the Master's Course and Doctoral Course shall be two years and three years, respectively.

Article 32 (Maximum years of enrollment)

Maximum years of enrollment in the Master's Course and Doctoral Course shall be four years and six years, respectively.

IX. Education at the Graduate School

Article 33 (Graduate school education)

Education at the Graduate School shall be provided by means of lectures on subjects and guidance on writing theses ("Research Guidance").

Article 34 (Courses, credits, and registration procedures)

The courses to be taught as set forth in the foregoing article, the credits allotted to the said courses, and registration procedures shall be provided for separately.

Article 35 (Calculation of credits)

1. Based on the general rule that one credit shall be composed of a total of 45 hours of studying by students, the following basis shall be adopted for calculating credits at NAIST, taking into consideration the educational effects and hours required for off-campus studying, which vary depending on how the subject is taught:

- (1) For lectures and seminars, one credit shall require from fifteen up to thirty class hours.

(2) For experiments and practical classwork, one credit shall require from thirty up to forty-five class hours.

(3) When a combination of two or more methods of lectures, seminars, experiments, or practical classwork is employed for a course, one credit shall consist of class hours determined in light of the standards stipulated in the foregoing two subsections, in accordance with the combination of such methods.

2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the number of credits to be allotted to thesis writing and thematic research may be determined upon consideration of the amount of study needed therefor, if it is deemed appropriate to award credits based on an evaluation of the results of the study.

Article 35-2 (Publication of Standards for Evaluating Grades)

1. The Graduate School shall present to students, in advance, a clear outline of the methodology and contents of classes and Research Guidance, as well as a class and Research Guidance schedule for the year.

2. The Graduate School shall, when assessing students' academic achievement and theses and approving their completion, present them with a clear outline of the standards therefor, in advance, so as to ensure objectivity and rigidity, and shall conduct an assessment and approval process appropriately in accordance with said standards.

Article 35-3 (Organized Training for Improving Educational Contents)

1. NAIST shall conduct organized training and research for improving the contents and methodology used to give classes and Research Guidance.

2. Necessary matters related to organized training for improving educational contents shall be stipulated separately.

Article 36 (Awarding of credits)

Students who have completed each course can earn credits therefor upon passing the examination or acceptance of a research report.

Article 37 Deleted

Article 38 (Studying in a graduate school outside of NAIST)

1. Contingent on prior consultation with the graduate school offering classes, students may take a course offered by a graduate school outside of NAIST if the Dean of the Graduate School deems it educationally beneficial to do so, subject to screening by the Faculty Council.

2. Course credits that students have earned pursuant to the foregoing subsection shall be treated as credits earned internally, provided that the number of such credits shall not exceed ten.

3. The period of studying at another graduate school pursuant to subsection 1 of this Article shall be counted toward the period of study at NAIST.

4. The provisions of the foregoing three subsections shall apply to cases in which students take classes from ① a correspondence program offered by a foreign school in Japan ② a foreign graduate school in compliance with the school education system of that country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, or ③ the United Nations University graduate program.

5. Matters relating to taking of courses of other graduate schools shall be provided for separately.

Article 38-2 (Approval of credits for courses completed at a foreign university during a leave of absence)

1. Students may earn credits for courses completed at foreign universities during a leave of absence if the Dean of their Graduate School deems it educationally beneficial to do so, subject to screening by the Faculty Council of the Graduate School.
2. Course credits that students have earned pursuant to the foregoing subsection shall be treated as credits earned internally, provided that the number of such credits shall not exceed ten.

Article 39 (Treatment of credits earned prior to admission to NAIST)

1. Credits that a student has earned at a graduate school prior to admission to NAIST, including credits that have been earned by the student as a non-degree student as defined in the Standards for the Establishment of Graduate Schools (1974 Ordinance of the Ministry of Education No. 28), may be treated as credits that have been earned by the student at NAIST after his or her admission thereto, if the Dean of the Graduate School deems it educationally beneficial to do so, subject to screening by the Faculty Council.
2. The number of credits that have been earned at another graduate school but are treated as having been earned at NAIST pursuant to the foregoing subsection shall not exceed ten.
3. Other matters relating to credits earned prior to admission to NAIST shall be provided for separately.

Article 40 (Research Guidance at another graduate school)

1. Contingent on prior consultation with the graduate school or research institution, students may receive Research Guidance offered by the graduate school or research institution outside of NAIST as needed if the Dean of the Graduate School deems it educationally beneficial to do so, subject to screening by the Faculty Council. However, the period during which students enrolled in the Master's Course are allowed to receive Research Guidance at another graduate school or research institution shall not exceed one year.
2. Research Guidance that students receive from another graduate school or research institution pursuant to the foregoing subsection may be treated as Research Guidance received by the students at the Graduate School of NAIST.
3. The period during which students receive Research Guidance pursuant to subsection 1 of this Article shall be counted toward the period of study at NAIST.
4. Matters relating to Research Guidance at another graduate school or research institution shall be provided for separately.

X. Course and Degree Requirements

Article 41 (Requirements for completion of Master's Course)

1. To complete the Master's Course, students shall have been enrolled in the Master's Course for the standard term of study at the shortest, earn at least thirty credits in the subjects designated by the Graduate School, receive necessary Research Guidance, and pass the master's thesis evaluation and examination. However, students who have achieved outstanding research results may complete the Master's Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of the standard term of study.
2. Pursuant to the provision of the foregoing subsection, an examination of research results on specified themes may be conducted in place of the master's thesis evaluation if the Dean of the Graduate School deems it appropriate to do so.

Article 42 (Requirements for completion of Doctoral Course)

1. To complete the Doctoral Course, students shall have been enrolled in the Doctoral Course for the standard term of study at the shortest, receive necessary Research Guidance, and pass the doctoral thesis evaluation and examination. However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of the standard term of study.
2. The part of the provision of the foregoing subsection that reads “However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of the standard term of study” shall read “However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for the period of three years less the period of enrollment in the Master’s Course at the shortest, instead of the standard term of study,” to apply to students who have completed the Master’s Course at NAIST in one year at the shortest pursuant to subsection 1 of Article 41, or who have completed the master’s course of a graduate school outside of NAIST taking between one and two years.
3. Notwithstanding the provisions of the foregoing two subsections, for students who have been admitted to the Doctoral Course after having been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of a master’s degree holder pursuant to Article 156 of the Enforcement Regulations for the School Education Law, the requirements for completion of the Doctoral Course shall be: enrollment in the said course for three years at the shortest, receipt of necessary Research Guidance, and passing of the doctoral thesis evaluation and examination. However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of three years.

Article 43 (Approval of completion)

Approval of completion of the Master’s Course and Doctoral Course shall be given by the President, subject to screening by the Faculty Council.

Article 44 (Awarding of degrees)

1. Students who have completed the Master’s Course or Doctoral Course shall be awarded a master’s degree or doctoral degree, respectively.
2. In addition to the provision of the foregoing subsection, a doctoral degree shall be awarded to individuals who have submitted a doctoral thesis to NAIST, passed the doctoral thesis examination and been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of an individual who has completed the Doctoral Course at NAIST.
3. Matters relating to awarding of degrees shall be provided for separately.

Article 45 (Timing of completion)

1. The Master’s Course and Doctoral Course shall be completed at the end of each semester.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the Master’s Course and Doctoral Course may be completed during a semester if deemed necessary by the President.

Article 46 (Teaching qualifications)

1. Students who wish to obtain teaching qualifications shall earn the credits specified by the Teacher’s Certificate Law (1949 Law No. 147) and the Enforcement Regulations for the Teacher’s Certificate Law (1954 Ordinance of the Ministry of Education No. 26).

2. Teaching qualifications that can be obtained at the Graduate School of NAIST are as shown in the following table.

Graduate School of Science and technology	Department of Science and Technology	Teaching qualifications	Subject
		Junior high school qualifications	Science
		High school qualifications	Science

XI. Leave of Absence, Study Abroad, Readmission, Transfer from/to another School, Withdrawal, and Expulsion.

Article 47 (Leave of absence)

1. A student who must be absent from school for three consecutive months or longer due to illness, or for other reasons deemed justifiable by the President, may take a leave of absence with President's permission.
2. The President may order a student who is recognized to be too ill to attend school to take leave of absence.
3. When the grounds for the leave of absence have been resolved, the student may return to school with permission of the President.
4. The period of leave of absence shall be up to one year, provided, however, that the said period may be extended for up to another one year if there is any justifiable reason.
5. The period of leave of absence shall not exceed two years in total during enrollment in the Master's Course or Doctoral Course, respectively.
6. Notwithstanding the provision of subsections 4 and 5, a student may be given special permission to take a leave of absence if deemed appropriate by the President.
7. The period of leave of absence shall not be counted toward the standard term of study specified in Article 31 and the minimum years of enrollment specified in Article 32.

Article 48 (Study abroad)

1. A student who wishes to study at a graduate school or research institution abroad shall obtain permission of the President in advance.
2. The provisions of Article 38 and Article 40 shall apply for the treatment of credits earned during study abroad.

Article 49 (Readmission)

1. An individual who withdrew or was expelled from NAIST in the past and wishes to be readmitted to the Graduate School of NAIST may be permitted to do so by the President, subject to screening by the Faculty Council, only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of the Graduate School.
2. If readmission is permitted pursuant to the provision of the foregoing subsection, the Dean of the Graduate School shall decide whether to count the credits earned during the previous enrollment and years of the previous enrollment toward course requirements, subject to screening by the Faculty Council.

Article 50 (Transfer from another Graduate school)

1. A student who is enrolled in another graduate school outside of NAIST and wishes to transfer to NAIST

may be permitted to do so by the President, subject to screening by the Faculty Council, only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of NAIST.

2. If transfer to NAIST is permitted pursuant to the provision of the foregoing subsection, the Dean of the Graduate School shall decide whether to count credits earned during the previous enrollment and years of the previous enrollment toward course requirements, subject to screening by the Faculty Council.

3. The provisions of the foregoing two subsections shall apply to cases in which students are enrolled in a foreign graduate school in compliance with the school education system of that country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (limited to schools stipulated in subsection 1, Article 102 of the School Education Law), or the United Nations University graduate program.

Article 51 (Transfer to a graduate school outside of NAIST)

1. A NAIST student who wishes to transfer to a graduate school outside of NAIST shall obtain permission of the President in advance.

2. If transfer to a Graduate School outside of NAIST is permitted pursuant to the provision of the foregoing subsection, it shall apply to cases in which students will enroll in a foreign graduate school in compliance with the school education system of that country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, or the United Nations University graduate program.

Article 52 Deleted

Article 53 (Withdrawal)

A NAIST student who wishes to withdraw from NAIST shall obtain permission of the President in advance.

Article 53-2 (Expulsion)

A student shall be expelled from NAIST if he or she:

- (1) Has been enrolled in NAIST for longer than the period specified in Article 32.
- (2) Has been on leave of absence for longer than the period stipulated in Article 47, subsections 5 and 6.
- (3) Has failed to pay the admission fee by the due date if the student has not been exempted from payment of the admission fee, has been exempted from payment of part of admission fee, has been allowed delayed payment of the admission fee, or has the payment exemption withdrawn.
- (4) Has failed to pay the tuition fee by the due date and still not paid it even after receiving a reminder.
- (5) Has been declared missing.
- (6) Has deceased

XII. Entrance Examination, Admission and Tuition Fees

Article 54 (Amounts of the entrance examination, admission and tuition fees)

The amounts of the entrance examination, admission and tuition fees shall be as shown in the following table.

Entrance examination fee	Admission fee	Annual tuition fee
30,000 yen	282,000 yen	535,800 yen

Article 55 (Payment of the entrance examination fee)

1. Individuals who apply for admission, readmission or transfer to NAIST shall submit an application form and pay the entrance examination fee at the same time.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, students who apply for admission by recommendation in accordance with Article 4 of MEXT Guidelines for International Scholarship Student System Implementation shall not have to pay entrance examination fees.

Article 56 (Payment of the admission fee)

1. Individuals who are to be admitted, readmitted or transferred to NAIST shall pay the admission fee by the due date specified by NAIST.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, MEXT Scholarship Students (as defined in Article 2 of MEXT Guidelines for International Scholarship Student System Implementation) shall not have to pay admission fees.

Article 57 (Payment of the tuition fee)

1. Students shall pay the annual tuition fee in two equal installments for the spring semester (from April to September) and the autumn semester (from October to March of the following year).
2. The due dates of the tuition payment shall be in May and November except when delayed payment is permitted pursuant to the provision of Article 63.
3. Notwithstanding the provisions of the foregoing two subsections, students, by submitting an application, may pay the tuition fee for the autumn semester at the same time as paying the tuition fee for the spring semester.
4. Notwithstanding the provisions of subsections 1 and 2 above, students may, by submitting an application, pay the tuition fee for the spring semester or for the spring and autumn semesters of the year of admission, at the time when accepted for admission.
5. Notwithstanding the provision of subsection 1, MEXT Scholarship Students (as defined in Article 2 of MEXT Guidelines for International Scholarship Student System Implementation) shall not have to pay tuition.

Article 58 (Amount and payment of the tuition fee in case of re-enrollment)

In case of re-enrollment, transfer from another school, and readmission (“Re-enrollment”) during the spring or autumn semester, the tuition fee shall be paid in an amount of one twelfth of the annual tuition fee (“Monthly Fee”) multiplied by the number of months from the month of Re-enrollment to the month preceding the next tuition payment. Payment shall be made in the month of Re-enrollment.

Article 59 (Amount of the tuition fee in case of completion of the course before the end of the academic year)

In case of completion of the course before the end of the academic year due to special circumstances, the tuition fee shall be paid in an amount of the Monthly Fee multiplied by the number of months of enrollment in NAIST.

Article 60 (Amount of the tuition fee in case of leave of absence)

1. Payment of tuition fee is not required during leave of absence.

2. The amount of the tuition fee for which payment is not required shall be the Monthly Fee multiplied by the number of months from the month following the leave of absence to the month preceding Re-enrollment.

Article 61 (Amount of the tuition fee in case of withdrawal)

1. In case of withdrawal, whether voluntary or forced, transfer to another school, or expulsion from NAIST during a spring or autumn semester, the tuition fee for the entire semester shall be paid.
2. The tuition of students which have been suspended shall be collected for the duration of the suspension.
3. Notwithstanding the provision of subsection 1, the tuition to be collected from students who have been removed from enrollment due to death or disappearance will be recalculated according to the number of months enrolled.

Article 62 (Exemption from payment of admission and tuition fees)

Students may be exempted from payment of all or part of the admission fee or allowed delayed payment thereof if he or she has difficulties paying the admission fee for financial reasons and also is recognized as having outstanding academic ability, or if he or she has other justifiable reasons.

Article 63

Students may be exempted from payment of all or part of the tuition fee or allowed delayed payment thereof if he or she has difficulties paying the tuition fee for financial reasons and also is recognized as having outstanding academic ability, or if he or she has other justifiable reasons.

Article 64

Matters relating to exemption of payment of admission and tuition fees and delayed payment thereof shall be provided for separately.

Article 65 (Treatment of entrance examination, admission and tuition fees once paid)

1. Once paid, entrance examination, admission and tuition fees cannot be refunded.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the tuition fee shall be refunded in the following cases.
 - (1) If a student who paid the tuition fees for both the spring and autumn semester at the same time pursuant to the provision of Article 57 subsection 3 above is to withdraw from NAIST before September 30 of that school year, the tuition fee for the autumn semester shall be refunded.
 - (2) If a student who paid the tuition fee at the time when he or she was accepted for admission pursuant to the provision of Article 57-4 above declares his or her intention to decline the acceptance by the last day of the month preceding the admission, the amount equivalent to the paid tuition fee shall be refunded.
 - (3) If a student who paid tuition fees pursuant to the provision of Article 57 is to complete his or her course before the end of the academic year due to special circumstances, the amount of the paid tuition fee less the Monthly Fee multiplied by the number of months of enrollment shall be refunded.
 - (4) If a student who paid tuition fees is to take leave of absence, the amount specified in Article 60-2 shall be refunded.
 - (5) In the case of removal from enrollment due to death or disappearance, tuition paid shall be refunded after deducting for the partial enrollment period.

XIII. Special Auditing Students, Special Research Students, Non-Degree Students, Research Students and Undergraduate Internship Students

Article 66 (Special auditing students)

1. Contingent on consultation with the students' graduate school, students enrolled in a graduate school outside of NAIST, whether domestic or foreign, may be admitted to NAIST as special auditing students to take a course at the Graduate School of NAIST if deemed beneficial for educational purposes by the Dean of the Graduate School, subject to screening by the Faculty Council.
2. If admission is permitted pursuant to the provision of the foregoing subsection, it shall apply to cases in which students are enrolled in a foreign graduate school in compliance with the school education system of that country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, or the United Nations University graduate program.
3. Matters relating to special auditing students shall be provided for separately.

Article 67 (Special research students)

1. Contingent on consultation with the students' graduate school, students enrolled in another graduate school outside of NAIST, whether domestic or foreign, may be admitted to NAIST as special research students to receive Research Guidance at the Graduate School of NAIST if deemed beneficial for educational purposes by the Dean of the Graduate School, subject to screening by the Faculty Council.
2. Matters relating to special research students shall be provided for separately.

Article 68 (Non-degree students)

1. Individuals who are not NAIST students but wish to study one or more elective subjects at the Graduate School of NAIST may be admitted to NAIST as non-degree students and awarded credits only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of the Graduate School by the Dean of the Graduate School, subject to screening by the Faculty Council.
2. Matters relating to non-degree students shall be provided for separately.

Article 69 (Research students)

1. Individuals who wish to conduct research on a specific theme at a Graduate School of NAIST may be admitted to NAIST as research students only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of the Graduate School by the Dean of the Graduate School, subject to screening by the Faculty Council.
2. Matters relating to research students shall be provided for separately.

Article 69-2 (Undergraduate internship students)

1. Contingent on consultation with the students' university or institution, students enrolled in a university (including foreign universities) or technical college may be admitted to NAIST as undergraduate internship students to receive academic guidance in the graduate school of NAIST if deemed beneficial for educational purposes by the Dean of the Graduate School, subject to screening by the Faculty Council.
2. Matters relating to undergraduate internship students shall be provided for separately.

XIV. Rewards and Punishments

Article 70 (Rewards and punishments)

1. Students may be recognized by the President for outstanding achievements and valuable contributions, subject to screening by the Faculty Council.
2. The President may take disciplinary measures against students who have acted against the rules of NAIST or who have materially disturbed the educational and research activities of NAIST, following deliberation by the Faculty Council.
3. The disciplinary measures set forth in the foregoing subsection shall mean forced withdrawal, suspension from NAIST, and warning.
4. The period of suspension shall be subtracted from the maximum period of study stipulated in Article 32, but not added to the standard period of study stipulated in Article 31. However, if the period of suspension is less than three months, the semester shall be added to the standard period of study.

XV. Student Dormitories

Article 71 (Student dormitories)

1. NAIST has student dormitories.
2. Matters relating to the student dormitories shall be provided for separately.

XVI. Open Lectures

Article 72 (Open lectures)

1. NAIST may offer open lectures with a view to educating the public and contributing to cultural enrichment.
2. Matters relating to the open lectures shall be provided for separately.

XVII. Special Programs

Article 73 (Special programs)

1. NAIST may organize special programs for individuals who are not NAIST students and issue certificates certifying the successful participant's course completion.
2. Matters relating to the implementation of the foregoing subsection shall be provided for separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

(Transitional measures)

2. In case of amendment of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology, the Regulations before the amendment shall remain applicable to the students who are enrolled in NAIST as of March 31, 2004 ("Existing Students") and also to the students who are readmitted or transferred to NAIST after April 1, 2004 if they are in the same grade as the Existing Students.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 21, 2005, while the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology as amended hereunder shall be applied from April 1, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on November 17, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2007.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on January 24, 2008, while the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology as amended hereunder shall be applied from December 26, 2007.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2009.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2010.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on December 1, 2010.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on December 1, 2010.

Supplementary provision

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2010.
2. Notwithstanding the provision of revised Article 5, the Graduate School of Information Science Department of Information Processing, Department of Information Systems and Department of Bioinformatics and Genomics, along with Graduate School of Biological Science Department of Cell Biology and Department of Molecular Biology shall be maintained until the students enrolled in these departments as of March 31, 2011 are no longer enrolled.
(Enrollment capacity for 2011, 2012 school year)
3. Notwithstanding the provision of Article 21 of these Regulations, the enrollment capacity for the 2011 and 2012 school years shall be as shown in the following table.

Fiscal Year	Graduate school	Department	Admission capacity		Enrollment capacity
			Master's Course	Doctoral Course	
2011	Information Science	Information Science	135	40	175
		Information Processing			96
		Information Systems			77
		Bioinformatics and Genomics			59
		Total	135	40	407

	Biological Sciences	Biological Sciences Cell Biology Molecular Biology Total	125 125	37 37	162 81 101 344
2012	Information Science	Information Science Information Processing Information Systems Bioinformatics and Genomics Total	135 135	40 40	350 18 14 11 393
	Biological Sciences	Biological Sciences Cell Biology Molecular Biology Total	125 125	37 37	324 15 19 358

(Transitional measures concerning attainable qualifications for teacher licensing at the Graduate School)

4. Notwithstanding the provision of revised Article 46 subsection 2 of these Regulations, the types and subjects of teaching licenses attainable at the departments in supplementary provision 2 shall depend upon previously offered licensing.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2011.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2012.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on June 1, 2012.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on February 1, 2013.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2013.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2014.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on December 1, 2014.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2015

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on November 26, 2015

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on May 17, 2016

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on December 1, 2016

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2017

Supplementary provision

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2018.

(Transitional measures concerning the Graduate Schools and Departments)

2. Notwithstanding the provision of revised Article 5 of these Regulations, the Graduate School of Information Science, Department of Information Science, Graduate School of Biological Sciences, Department of Biological Sciences, Graduate School of Materials Science, and the Department of Materials Science shall be maintained until the students enrolled in these departments as of March 31, 2018 (Current Students) are no longer enrolled.

(Enrollment capacity for 2018, 2019 school year)

3. Notwithstanding the provision of Article 21, the enrollment capacity for the 2018 and 2019 school years shall be as shown in the following table.

Fiscal Year	Graduate school	Department	Admission capacity		Enrollment capacity
			Master's Course	Doctoral Course	
2018	Science and Technology	Science and Technology	350	107	457
	Information Science	Information Science			215
	Biological Sciences	Biological Sciences			199
	Materials Science	Materials Science			150
2019	Science and Technology	Science and Technology	350	107	914
	Information Science	Information Science			40
	Biological Sciences	Biological Sciences			37
	Materials Science	Materials Science			30

(Transitional measures concerning Current Students)

4. The education of Current Students in the continuing Graduate Schools of subsection 2 of this Article, notwithstanding the provisions of these revised regulations, shall depend upon the previous regulations.

Schedule (supplementary to Article 21)

Graduate school	Department	Admission capacity		Enrollment capacity
		Master's Course	Doctoral Course	
Science and Technology	Science and Technology	350	107	1,021